

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第711集

あおぞら  
青猿 I 遺跡発掘調査報告書

三陸沿岸道路建設事業関連遺跡発掘調査

2020

国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所  
(公財)岩手県文化振興事業団

# 青猿 I 遺跡発掘調査報告書

三陸沿岸道路建設事業関連遺跡発掘調査



## 序

本県には、旧石器時代をはじめとする1万箇所を越す遺跡や貴重な埋蔵文化財が数多く残されています。それらは、地域の風土と歴史が生み出した遺産であり、本県の歴史や文化、伝統を正しく理解するのに欠くことのできない歴史資料です。同時に、それらは県民のみならず国民的財産であり、将来にわたって大切に保存し、活用を図らなければなりません。

一方、豊かな県土づくりには公共事業や社会資本整備が必要ですが、それらの開発にあたっては、環境との調和はもちろんのこと、地中に埋もれ、その土地とともにある埋蔵文化財保護との調和も求められるところです。

当事業団埋蔵文化財センターは、設立以来、岩手県教育委員会の指導と調整のもとに、開発事業によって止むを得ず消滅する遺跡の緊急発掘調査を行い、その調査の記録を保存する措置をとってまいりました。

本報告書は、三陸沿岸道路建設事業に関連して、平成27・28・29年度の3箇年にわたって発掘調査を行った青猿I遺跡の調査成果をまとめたものであります。調査の結果、古代の堅穴住居跡や土坑からなる集落跡、鉄生産に関連する工房跡とそれに伴う数多くの遺物が確認されており、貴重な資料を得ることができました。

本書が広く活用され、埋蔵文化財についての関心や理解につながると同時に、その保護や活用、学術研究、教育活動などに役立てられれば幸いです。

最後になりましたが、発掘調査及び報告書の作成にあたり、ご理解とご協力をいただきました委託者の国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所をはじめ、地元の宮古市教育委員会をはじめとする関係各位に対し、深く感謝の意を表します。

令和2年3月

公益財団法人 岩手県文化振興事業団

理事長 高橋 嘉行

## 例 言

- 1 本報告書は、岩手県宮古市近内第2地割46ほかに所在する青猿Ⅰ遺跡の発掘調査成果を収録したものである。
- 2 本遺跡の調査は、三陸沿岸道路建設事業に関わる事前の緊急発掘調査である。調査は国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所と岩手県教育委員会事務局生涯学習文化課との協議を経て、(公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターが受託事業として実施したものである。
- 3 本遺跡の岩手県遺跡台帳番号と調査時の遺跡略号は以下のとおりである。  
遺跡台帳登録番号：LG33-0221、遺跡略号：AZI-15・AZI-16・AZI-17
- 4 野外調査の対象面積は14,500㎡である。各年度の調査期間、調査担当者は以下のとおりである。
  - ・調査期間：平成27年4月20日～7月24日 9月7日～10月1日 11月4日～11月26日  
担当者：阿部勝則・菊池貴広・川村 均・白戸このみ
  - ・調査期間：平成28年4月7日～7月22日 担当者：阿部勝則・光井文行・藤原雅仁
  - ・調査期間：平成29年4月6日～12月15日 担当者：阿部勝則・野中裕貴・直江康雄・川村 英
- 5 各年度の室内整理期間、整理担当者は以下のとおりである。
  - ・整理期間：平成27年11月2日～平成28年3月31日 担当者：阿部勝則・菊池貴広・白戸このみ
  - ・整理期間：平成28年11月1日～平成29年3月31日 担当者：阿部勝則・光井文行
  - ・整理期間：平成29年11月1日～平成30年3月30日 担当者：野中裕貴・直江康雄・川村 英
  - ・整理期間：平成30年9月3日～平成30年12月28日 担当者：阿部勝則
- 6 各種分析・鑑定などは、以下の機関に委託した。
  - ・放射性炭素年代測定：株式会社加速器分析研究所。
  - ・炭化材肉眼鑑定：阿部利吉(元岩手県木炭協会会員)。
  - ・石質鑑定：花崗岩研究会(代表 柳沢忠昭)。
  - ・動物遺存体・植物遺存体：バリノ・サーヴェイ株式会社。
  - ・石器実測：株式会社ラング。
  - ・金属製品保存処理：(公財)山梨文化財研究所。
- 7 基準点測量及び航空写真撮影・表土掘削は、以下の業者に業務委託した。
  - ・基準点測量：釜石測量設計株式会社(平成27年度)。株式会社スカイ測量設計(平成28年度)。  
株式会社鈴木測量設計(平成29年度)。
  - ・航空写真撮影：東邦航空株式会社(平成27年度・平成28年度・平成29年度)。
  - ・表土掘削：熊谷住建(平成27年度・平成29年度)・アート工業株式会社(平成28年度)。
- 8 野外調査及び整理、本書の作成にあたり、次の方々からご指導・ご助言賜った(敬称略、順不同)。  
佐藤淳一・島居達人・半澤武彦・高橋 祐(岩手県教育委員会事務局生涯学習文化課)、高橋憲太郎・鎌田祐二・安原 誠・長谷川真・江口邦泰(宮古市教育委員会)、井上雅孝(滝沢市教育委員会)、竹下将男(宮古市)。
- 9 本稿の執筆は、Ⅰ 調査に至る経過は、国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所へ原稿を依頼した。その他の執筆の詳細は、Ⅲ・2・(6)原稿執筆・編集に記した。
- 10 今回の調査に関わる成果については、先に概報等で報告しているが、本書の記載内容が優先する。詳細は、Ⅲ・1・(9)広報活動・概報などに記した。
- 11 本遺跡から出土した遺物及び調査に関わる資料は、岩手県立埋蔵文化財センターに保管している。

# 凡 例

## 1 掲載図版の構成

図版構成は、調査年次別に遺構・遺物に分けている。遺構図版は、竪穴住居跡・工房跡・土坑・炭窯跡・焼土遺構などの順で種類毎に掲載した。遺物図版は土器・土製品・石器・石製品・金属製品・銭貨・鉄屑類・動物遺存体・植物遺存体の種別毎に図版を作成し、出土地点・層位（下→上）を基準に掲載した。遺物の掲載番号は、掲載順に連番とし、図版・写真図版とも同一番号とした。掲載遺物にはすべて観察表を付した。観察表内の〔数値〕は残存値、〔数値〕は復元値である。

## 2 掲載図版の縮尺

掲載図版の縮尺は以下を原則としたが、一部変更したところもあり、各図にスケール・縮尺を付した。

### 遺構図版

竪穴住居跡・工房跡の平面図・断面図：1/60、土坑・炭窯跡の平面図・断面図：1/50、炉跡・焼土遺構などの平面図・断面図：1/30。

### 遺物図版

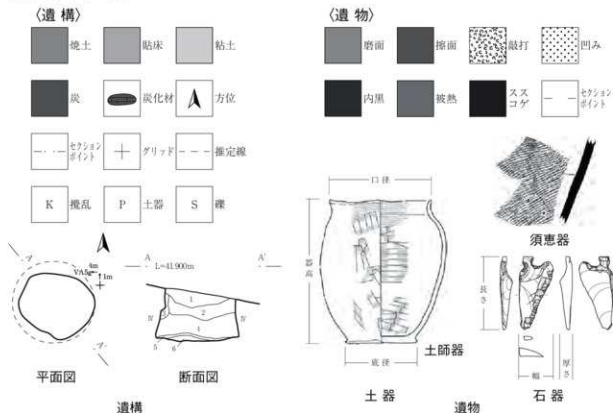
土器・陶磁器：1/3、土製品：1/3、剥片石器：1/2、礫石器：1/3、石製品：1/2、金属製品：1/2、銭貨：1/1。

### 写真図版

遺構の写真図版の縮尺は不定である。遺物の写真図版の縮尺は、概ね図版と同一縮尺になることを基本として編集したが、一部変更したところもあり、スケールを入れ、大きさを示したものがある。

## 3 図版の凡例

図中に使用した記号と網かけの凡例は以下のとおりである。それ以外については、個々の図版毎に凡例を示している。



# 目 次

I	調査に至る経過	1
II	遺跡の位置と立地	1
1	遺跡の位置と地理的環境	1
2	遺跡の立地と周辺の地形・地質	3
3	周辺の遺跡	3
4	青猿I遺跡の過去の調査履歴と調査範囲	9
5	遺跡の基本層序	10
III	調査・整理の方法	14
1	調査の方法	14
2	整理の方法	19
IV	平成27年度調査	23
1	検出遺構	23
2	出土遺物	57
V	平成28年度調査	74
1	検出遺構	74
2	出土遺物	125
VI	平成29年度調査	145
1	検出遺構	145
2	出土遺物	179
VII	分析・鑑定	195
1	放射性炭素年代（AMS測定）（平成27年度調査）	195
2	放射性炭素年代（AMS測定）（平成28年度調査）	198
3	動物遺存体同定（平成28年度調査）	201
4	植物遺存体（炭化種実）同定（平成28年度調査）	206
5	放射性炭素年代（AMS測定）（平成29年度調査）	209
6	動物遺存体同定（平成29年度調査）	212
7	科学的分析・鑑定結果と調査所見	215
VIII	総 括	216
1	遺 構	216
2	遺 物	218
3	ま と め	222
	報告書抄録	315

## 図版目次

<b>II 遺跡の位置と立地</b>	
第1図 遺跡位置図……………	2
第2図 遺跡周辺の地形分類図……………	4
第3図 遺跡周辺の地質分類図……………	5
第4図 周辺の遺跡分布図……………	8
第5図 調査区と周辺地形図……………	11
第6図 基本層序……………	12
<b>III 調査・整理の方法</b>	
第7図 遺構配置図 全体図……………	15
<b>IV 平成27年度調査</b>	
第8図 遺構配置図 平成27年度調査 全体図……………	33
第9図 遺構配置図 平成27年度調査 部分図1……………	34
第10図 遺構配置図 平成27年度調査 部分図2……………	35
第11図 トレンチ位置図……………	36
第12図 S I 01 堅穴住居跡……………	37
第13図 S I 02 (1/3) 堅穴住居跡……………	38
第14図 S I 02 (2/3) 堅穴住居跡……………	39
第15図 S I 02 (3/3) 堅穴住居跡……………	40
第16図 S X I 01 工房跡……………	41
第17図 S X I 02 工房跡……………	42
第18図 S X I 03 工房跡……………	43
第19図 S X I 04 (1/2) 工房跡……………	44
第20図 S X I 04 (2/2) 工房跡……………	45
第21図 S K 01・02・03・04 土坑……………	46
第22図 S K 05・06・07・08 土坑……………	47
第23図 S K 09・10・11・12・13 土坑……………	48
第24図 S K 14・15・16・17 土坑……………	49
第25図 S K 18・19・20・21・22 土坑……………	50
第26図 S K 23・24・25・26 土坑……………	51
第27図 S K 27・28・29 土坑……………	52
第28図 S K 30・31・32・33 土坑、S W 01 炭灰跡……………	53
第29図 S N 01・02 焼土遺構……………	54
第30図 S N 03・04 焼土遺構……………	55
第31図 S N 05 焼土遺構、6 区谷部……………	56
第32図 土器 (1)……………	65
第33図 土器 (2)……………	66
第34図 土器 (3)……………	67
第35図 土器 (4)・土製品……………	68
第36図 石器 (1)……………	69
第37図 石器 (2)・石製品……………	70
第38図 金属製品 (1)……………	71
第39図 金属製品 (2)・銭貨……………	72
第40図 遺構内出土遺物集成図……………	73
<b>V 平成28年度調査</b>	
第41図 遺構配置図 平成28年度調査 全体図……………	89
第42図 遺構配置図 平成28年度調査 部分図1……………	90
第43図 遺構配置図 平成28年度調査 部分図2・3……………	91
第44図 S I 03 堅穴住居跡……………	92
第45図 S I 04 (1/2) 堅穴住居跡……………	93
第46図 S I 04 (2/2) 堅穴住居跡……………	94
第47図 S I 05 (1/2) 堅穴住居跡……………	95
第48図 S I 05 (2/2) 堅穴住居跡……………	96
第49図 S I 06 堅穴住居跡……………	97
第50図 S I 07 堅穴住居跡……………	98
第51図 S I 08 (1/2) 堅穴住居跡……………	99
第52図 S I 08 (2/2) 堅穴住居跡……………	100
第53図 S I 09 堅穴住居跡……………	101
第54図 S X I 05・06 (1/2) 工房跡……………	102
第55図 S K I 05・06 (2/2) 工房跡……………	103
第56図 S X I 07・08 工房跡……………	104
第57図 S X I 09・10 工房跡……………	105
第58図 S K 34・35・36・37 土坑……………	106
第59図 S K 38・39・40・41 土坑……………	107
第60図 S K 42・43・44 土坑……………	108
第61図 S K 45・46・47 土坑……………	109
第62図 S K 48・49・50・51 土坑……………	110
第63図 S K 52・53・54・57 土坑……………	111
第64図 S K 55・56・58・59・61 土坑……………	112
第65図 S K 60 陥し穴状遺構、62・63・64 土坑……………	113
第66図 S K 65・66・67 土坑……………	114
第67図 S K 68・69 土坑……………	115
第68図 S K 70・71 土坑……………	116
第69図 S K 72・73 (1/2)・75 (1/2)・76 (1/2) 土坑……………	117
第70図 S K 73 (2/2)・75 (2/2)・76 (2/2)・S K 77 (1/2)・78 (1/2) 土坑……………	118
第71図 S K 77 (2/2)・78 (2/2) 土坑……………	119



第72図	S K 79・81・82・83土坑……………	120	第96図	S K I 01・02堅穴状遺構、 S X I 11工房跡……………	167
第73図	S K 84・85・94土坑……………	121	第97図	S K 96・97土坑……………	168
第74図	S K 86・87・88・89・95土坑……………	122	第98図	S K 98・99・100・101土坑……………	169
第75図	S K 90・91・92・93土坑……………	123	第99図	S K 102・103・104・105土坑……………	170
第76図	S W 02・03炭窯跡、 S N 06・07焼土遺構……………	124	第100図	S K 106・107・108・109・110土坑……………	171
第77図	土器 (1) ……………	135	第101図	S K 111・112・113・114土坑……………	172
第78図	土器 (2) ……………	136	第102図	S K 115・116・117・118土坑……………	173
第79図	土器 (3) ……………	137	第103図	S K 119・120・121土坑……………	174
第80図	土器 (4) ……………	138	第104図	S K 122・123土坑……………	175
第81図	土器 (5)・土製品……………	139	第105図	S K 124・125・126土坑……………	176
第82図	石器 (1) ……………	140	第106図	S K 127・128・129土坑、 S W 04・05炭窯跡……………	177
第83図	石器 (2) ……………	141	第107図	S X 01・02・03・04・05・06・ 07家畜埋葬墓壇……………	178
第84図	金属製品 (1) ……………	142	第108図	土器 (1)……………	188
第85図	金属製品 (2) ……………	143	第109図	土器 (2)……………	189
第86図	遺構内出土遺物集成図……………	144	第110図	土器 (3)、 家畜埋葬墓壇と石碑位置図……………	190
<b>VI 平成29年度調査</b>			第111図	石器 (1)……………	191
第87図	遺構配置図 平成29年度調査 全体図……………	158	第112図	石器 (2)……………	192
第88図	遺構配置図 平成29年度調査 部分図1……………	159	第113図	金属製品・ガラス製品……………	193
第89図	遺構配置図 平成29年度調査 部分図2……………	160	第114図	遺構内出土遺物集成図……………	194
第90図	S I 10・14 (1/2) 堅穴住居跡……………	161	<b>VII 総括</b>		
第91図	S I 10・14 (2/2) 堅穴住居跡……………	162	第115図	遺構配置図……………	217
第92図	S I 11堅穴住居跡……………	163	第116図	遺構別出土遺物集成図 (1)……………	220
第93図	S I 12 (1/2) 堅穴住居跡……………	164	第117図	遺構別出土遺物集成図 (2)……………	221
第94図	S I 12 (2/2) 堅穴住居跡……………	165			
第95図	S I 13堅穴住居跡……………	166			

## 表 目 次

<b>II 遺跡の位置と土地</b>		第10表	出土遺物掲載一覧表……………	60
第1表	周辺の遺跡一覧表 (1)・(2)……………	第11表	縄文土器・弥生土器観察表……………	61
第2表	青猿1遺跡の調査履歴……………	第12表	土師器・須恵器観察表 (1)・(2)……………	61・62
<b>III 調査・整理の方法</b>		第13表	土製品観察表……………	63
第3表	遺構一覧表……………	第14表	石器・石製品観察表……………	63
<b>IV 平成27年度調査</b>		第15表	金属製品観察表……………	63
第4表	堅穴住居跡観察表……………	第16表	銭貨観察表……………	63
第5表	工房跡観察表……………	第17表	鉄滓類観察表……………	64
第6表	土坑類観察表 (1)・(2)・(3)……………	第18表	炭化材観察表……………	64
第7表	炭窯跡観察表……………	<b>V 平成28年度調査</b>		
第8表	炉跡・焼土遺構観察表……………	第19表	堅穴住居跡観察表……………	85
第9表	出土地点別遺物重量表……………	第20表	工房跡観察表……………	85

第21表	土坑類觀察表 (1)・(2)・(3)……	86・87・88
第22表	炭窟跡觀察表……	88
第23表	跡・焼土遺構觀察表……	88
第24表	出土地点別遺物重量表……	127
第25表	出土遺物掲載一覧表……	128
第26表	土師器・須恵器觀察表 (1)・(2) ……	129・130
第27表	陶磁器觀察表……	131
第28表	土製品觀察表……	131
第29表	石器・石製品觀察表……	131
第30表	金属製品觀察表 (1)・(2) ……	131・132
第31表	鉄滓類觀察表……	132
第32表	動物遺存体觀察表……	133
第33表	植物遺存体觀察表……	133
第34表	炭化材觀察表……	134
VI 平成29年度調査		
第35表	竪穴住居跡觀察表……	155
第36表	竪穴状遺構觀察表……	155
第37表	工房跡觀察表……	155
第38表	土坑類觀察表 (1)・(2)・(3) ……	155・156・157

第39表	炭窟跡觀察表……	157
第40表	家畜埋葬墓壇觀察表……	157
第41表	出土地点別遺物重量表……	181
第42表	出土遺物掲載一覧表……	181
第43表	縄文土器・弥生土器觀察表……	182
第44表	土師器・須恵器觀察表……	182
第45表	陶磁器觀察表……	183
第46表	石器・石製品觀察表……	183
第47表	金属製品觀察表……	183
第48表	鉄滓類觀察表 (1)・(2) ……	183・184
第49表	ガラス製品觀察表……	184
第50表	動物遺存体觀察表 貝……	184
第51表	動物遺存体觀察表 骨 (1)・(2) ……	185・186
第52表	炭化材觀察表……	187

## VI 分析・鑑定

第53表	放射性炭素年代測定値一覧表……	215
第54表	動物遺存体種別一覧表……	215
第55表	植物遺存体種別一覧表……	215

## 写真図版目次

### 平成27年度調査

写真図版1	遺跡遠景・調査区近景……	225
写真図版2	6区・7区・基本層序……	226
写真図版3	2区・3区……	227
写真図版4	S I 01竪穴住居跡……	228
写真図版5	S I 02 (1/2) 竪穴住居跡 ……	229
写真図版6	S I 02 (2/2) 竪穴住居跡 ……	230
写真図版7	S X I 01工房跡……	231
写真図版8	S X I 02工房跡……	232
写真図版9	S X I 03 (1/2) 工房跡 ……	233
写真図版10	S X I 03 (2/2) 工房跡 ……	234
写真図版11	S X I 04工房跡……	235
写真図版12	S K 01・02・03土坑……	236
写真図版13	S K 04・05・06土坑……	237
写真図版14	S K 07・08・09・10・11土坑……	238
写真図版15	S K 12・13・14・15土坑……	239
写真図版16	S K 16・17・18・19 (1/2)・ 20 (1/2) 土坑 ……	240
写真図版17	S K 19 (2/2)・20 (2/2)・21・ 22土坑……	241

写真図版18	S K 23・24・25・26土坑……	242
写真図版19	S K 27・28・29・30土坑……	243
写真図版20	S K 31・32・33土坑、 S W 01炭窟跡……	244
写真図版21	S N 01・02・03 (1/2) 焼土遺構……	245
写真図版22	S N 03 (2/2)・04・05焼土遺構……	246
写真図版23	土器 (1) ……	247
写真図版24	土器 (2) ……	248
写真図版25	土器 (3)・土製品 ……	249
写真図版26	石器・石製品……	250
写真図版27	金属製品 (1) ……	251
写真図版28	金属製品 (2)・銭貨・鉄滓類 ……	252

### 平成28年度調査

写真図版29	遺跡遠景・調査区近景……	253
写真図版30	1区・基本層序……	254
写真図版31	4区・基本層序……	255
写真図版32	S I 03竪穴住居跡……	256
写真図版33	S I 04竪穴住居跡……	257
写真図版34	S I 05竪穴住居跡……	258

写真図版35	S I 06 竪穴住居跡……………	259	写真図版63	鉄滓類・動物遺存体……………	287
写真図版36	S I 07 竪穴住居跡……………	260	写真図版64	植物遺存体……………	288
写真図版37	S I 08 竪穴住居跡……………	261	<b>平成29年度調査</b>		
写真図版38	S I 09 竪穴住居跡……………	262	写真図版65	調査区近景……………	289
写真図版39	S X I 05・06 工房跡……………	263	写真図版66	5区・基本層序……………	290
写真図版40	S X I 07・08・09・10 工房跡……………	264	写真図版67	S I 10 竪穴住居跡……………	291
写真図版41	S K 34・35・36・37 土坑……………	265	写真図版68	S I 11 竪穴住居跡……………	292
写真図版42	S K 38・39・40・41 土坑……………	266	写真図版69	S I 12 竪穴住居跡……………	293
写真図版43	S K 42・43・44・45 土坑……………	267	写真図版70	S I 13 竪穴住居跡……………	294
写真図版44	S K 46・47・48・49・ 50 (1/2) 土坑……………	268	写真図版71	S I 14 竪穴住居跡……………	295
写真図版45	S K 50 (2/2)・51・52・53 土坑……………	269	写真図版72	S K I 01・02 竪穴状遺構、 S X I 11 工房跡……………	296
写真図版46	S K 54・55・56・57 土坑……………	270	写真図版73	S K 96・97・98・99 土坑……………	297
写真図版47	S K 58・59 土坑・ 60 縮し穴状遺構……………	271	写真図版74	S K 100・101・102・103 土坑……………	298
写真図版48	S K 61・62・63・64・ 65 (1/2) 土坑……………	272	写真図版75	S K 104・105・106 土坑……………	299
写真図版49	S K 65 (2/2)・66・67・ 68・69 土坑……………	273	写真図版76	S K 107・108・109・110 土坑……………	300
写真図版50	S K 70・71・72・73 土坑……………	274	写真図版77	S K 111・112・113 土坑……………	301
写真図版51	S K 75・76・77 (1/2)・78 土坑……………	275	写真図版78	S K 114・115・116 土坑……………	302
写真図版52	S K 77 (2/2)・79・81・82 土坑……………	276	写真図版79	S K 117・118・119・120 土坑……………	303
写真図版53	S K 83・84・85・86 土坑……………	277	写真図版80	S K 121・122・123・124 土坑……………	304
写真図版54	S K 87・88・89・90 (1/2)・95 土坑……………	278	写真図版81	S K 125・126・127・128 土坑……………	305
写真図版55	S K 90 (2/2)・91・92・93・94 土坑……………	279	写真図版82	S K 129 土坑、S W 04・05 炭窟跡……………	306
写真図版56	S W 02・03 炭窟跡、 S N 06・07 焼土遺構……………	280	写真図版83	S X 01・02・03・04 (1/2)・ 05 (1/2)・06・07 (1/2) 家畜埋葬墓壇……………	307
写真図版57	土器 (1)……………	281	写真図版84	S X 04 (2/2)・05 (2/2)・07 (2/2) 家畜埋葬墓壇、石碑……………	308
写真図版58	土器 (2)……………	282	写真図版85	土器 (1)……………	309
写真図版59	土器 (3)・土製品……………	283	写真図版86	土器 (2)……………	310
写真図版60	石器 (1)……………	284	写真図版87	石器 (1)……………	311
写真図版61	石器 (2)……………	285	写真図版88	石器 (2)……………	312
写真図版62	金属製品……………	286	写真図版89	金属製品・ガラス製品……………	313
			写真図版90	鉄滓類・植物遺存体……………	314

## I 調査に至る経過

青猿 I 遺跡は、一般国道45号三陸沿岸道路事業（宮古中央～田老）の事業区域内に存在することから発掘調査を実施することとなったものである。三陸沿岸道路は、宮城、岩手、青森の各県の太平洋沿岸を結ぶ延長359kmの自動車専用道路で、東日本大震災からの早期復興に向けたリーディングプロジェクトとして、平成23年度にこれまで事業化されていた区間も含め、全線事業化された復興道路である。

当該遺跡に係る埋蔵文化財の取り扱いについては、平成26年10月29日付け国東整陸一調第46号により、三陸国道事務所長から岩手県教育委員会生涯学習文化課長あてに試掘調査を依頼し、平成26年12月8日～11日にわたり試掘調査を行い、平成27年1月27日付け教生第1531号により、工事に先立って発掘調査が必要と回答がなされたものである。

その結果を踏まえて、岩手県教育委員会と協議を行い、平成27年4月10日付、平成28年4月1日付及び平成29年4月3日付で公益財団法人岩手県文化振興事業団と委託契約を締結し、発掘調査を実施することとなった。

(国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所)

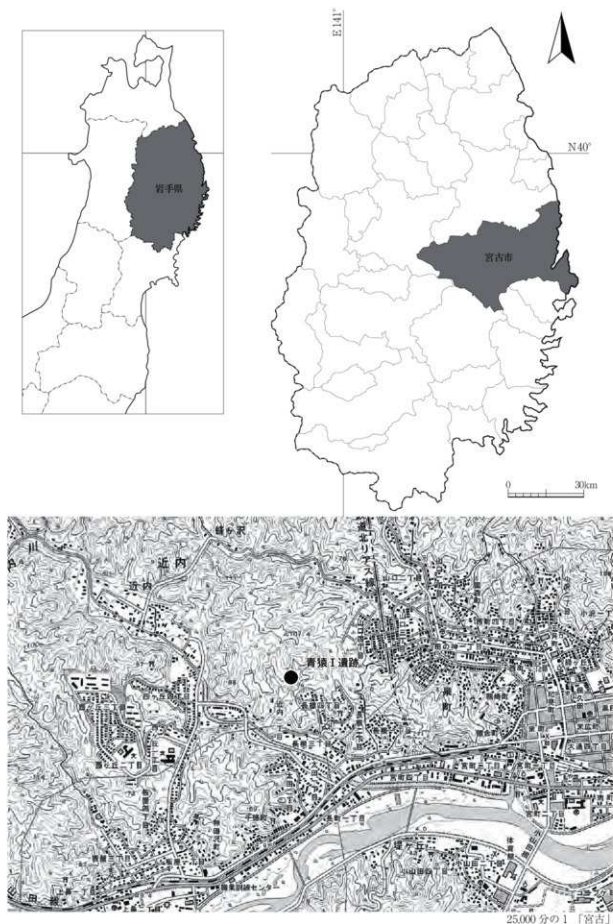
## II 遺跡の位置と立地

### 1 遺跡の位置と地理的環境

青猿 I 遺跡が所在する宮古市は、岩手県の最東端に位置し、東側には三陸海岸を擁し、外洋である太平洋が広がる。平成17（2005）年に行われた市町村の新設合併（いわゆる平成の大合併）により市域の北側に隣接していた田老町、市域の西側に隣接していた新里村が、宮古市と合併し、宮古市の市域面積は、339.48km<sup>2</sup>から696.82 km<sup>2</sup>に拡大した。さらに平成22（2010）年には川井村との合併によって、市域面積が1,259.15km<sup>2</sup>と拡大した。人口は、令和元（2019）年9月1日現在52,064人である（宮古市公式ホームページ）。

宮古市は、古くから太平洋上の海上交通や漁業における寄港地として栄え、現在も幾多の港が存在しており、各種船舶が出入りしている。これはアラスカ海岸として知られる三陸海岸のほぼ中央で大きく入り込んだ宮古湾を有しているためである。宮古市の産業は水産業で、鮭、イクラ、ウニ、わかめなどの特産物がある。観光業では国指定名勝の浄土ヶ浜をはじめとして多くの景勝地が存在し、県内外から多くの観光客が訪れている。

本書で報告する青猿 I 遺跡は、宮古市市内第2地割46ほか1に所在し、JR山田線千徳駅から北東約1.8kmの近内川左岸の丘陵地縁部に位置する。遺跡は、北緯39度38分41秒、東経141度55分32秒付近である。国土交通省国土地理院発行5万分の1地形図「宮古」（N J - 54 - 13 - 3：平成20年3月1日発行）、2万5千分の1地形図「宮古」（N J - 54 - 13 - 3 - 1：平成18年3月1日発行）の図幅に属する（第1図）。



第1図 遺跡位置図

## 2 遺跡の立地と周辺の地形・地質

青猿Ⅰ遺跡の所在する宮古市は、西側に北上高地が南北に連なり、その東縁が直接太平洋に張り出している山地・丘陵地形で大半が占められている。そのなかに閉伊川・八木沢川・津軽石川とその支流によって形成された谷底地形・氾濫平野が分布する。なかでも、標高1,005mを測る旧川井村の兜明神岳を源を発して東流する閉伊川が、市域のほぼ中央を西から東に向かって流れ、太平洋に注いでおり、この閉伊川の北側と南側によって宮古市域の地形は大きく分かれる。低地は、河川流域沿いの狭小な範囲に限定される傾向が見られる。標高100m以下の丘陵地は、この低地周辺や海岸に沿って見られ、具体的には、閉伊川の北側においては板屋付近から東に山地と低地に囲まれるように帯状に延び、南側では長沢川との合流地点や磯鶏西側の低地と山地の間に分布する。丘陵地の背後には、起伏量が比較的小さい小起伏や中起伏山地が広がる。宮古市街地の北東側においては、標高約300mまでの低い山地が多く、南西側では標高約100～200mの山地が多く分布している（第2図）。

青猿Ⅰ遺跡は、JR山田線千徳駅から北東約1.8kmに位置し、閉伊川北側の支流の内川とその支流によって形成された、いわゆる千徳丘陵と呼ばれる丘陵地の縁辺部に立地する（註1）。本遺跡の調査区の微地形は、大きく西側と東側に大別され、西側は丘陵地Ⅰを主体とし、東側は谷底平野及び氾濫地を主体とする。地質もまた、大きく西側と東側に大別され、西側は花崗岩質岩石に分類され、調査区の大半を占める。東側は砂礫（沖積世）に分類される。調査区の標高は約30～80mを測る（第3図）。

（白戸このみ）

## 3 周辺の遺跡

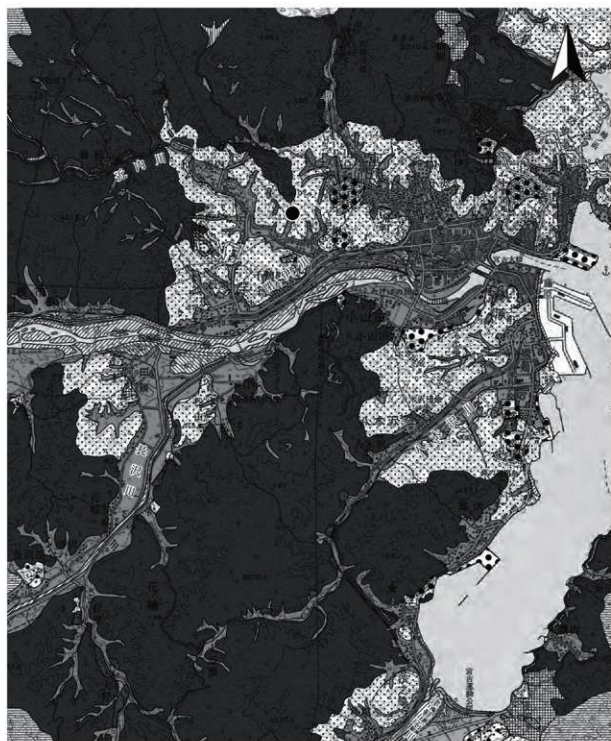
### （1）遺跡の概観

岩手県遺跡検索システム（宮古地方振興局平成27年3月31日現在）に掲載されている宮古市の遺跡数は、672を数える。時代別にみると複合遺跡が含まれるが、縄文時代479遺跡、弥生時代20遺跡、古代125遺跡、中世78遺跡、近世10遺跡である。図示した278遺跡（第1表・第4図）のうち、これまで宮古市教育委員会、当埋蔵文化財センターによる発掘調査が行われ、報告書が刊行されている遺跡を中心に青猿Ⅰ遺跡の周辺の遺跡の内容について概観する。なお、記載にあたっては、今回の青猿Ⅰ遺跡の調査で確認された同時期・同種の遺構・遺物が確認された遺跡を中心に時代ごとに概観する。

### （2）時代ごとの様相

#### 縄文時代

青猿Ⅰ遺跡では、縄文時代の堅穴住居跡などの遺構は確認されていない。遺物は小片で時期の詳細は不明である。青猿Ⅰ遺跡とほぼ同時期に（公財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターで調査を行った高根遺跡（58）・山口駒込Ⅰ遺跡（84）では、縄文時代中期の集落跡が確認されている。また、八木沢川流域の遺跡になるが、八木沢野来遺跡（223）では、前期の堅穴住居跡・土坑、遺物包含層などが確認されている。中期の遺跡の調査事例は多いが、上村貝塚（180）では、堅穴住居跡のほか、いわゆる埋葬や人骨が確認されている。また、本遺跡から北東約4.3kmの臨海小丘陵地にある国指定史跡崎山貝塚（27）では、中期の集落や前期から中期の貝塚、遺物包含層などが確認されている。



土地分類基本調査「宮古・鹿ヶ崎」を一部改変

0 1:5000 200

第2図 遺跡周辺の地形分類図



土地分類基本調査「宮古・鉾ヶ崎」を一部改変

0 1:50000 2km

第3図 遺跡周辺の地質分類図



第1表 周辺の遺跡一覧表(1)

番号	遺跡名	種別	時代	出土遺構・遺物
1	ヒビナキ	散佈地		
2	雄針跡	散佈地	縄文土器(前・中期)	
3	雄石Ⅱ	集落跡	縄文土器(早・前・中期)	
4	雄石Ⅱ	集落跡	縄文土器(前・中期)	
5	雄石Ⅰ	集落跡	縄文土器(前・中期)	
6	明屋Ⅰ	散佈地	縄文土器(早・前・中期)	
7	雄石日向	集落跡	縄文土器(中期)	
8	明屋Ⅱ	散佈地		
9	一の渡Ⅰ	集落跡	縄文土器	
10	長平	散佈地	縄文土器(中期)	
11	トロノキV	集落跡	縄文土器(早・前期)	
12	古栗Ⅱ	散佈地	縄文土器	
13	古栗V	集落跡	縄文土器(中期)	
14	古栗Ⅳ	散佈地	縄文土器	
15	古栗Ⅳ	散佈地	縄文土器(後期)	
16	トロノキⅠ	集落跡	縄文・奈良	竪穴住居跡、掘立柱建物跡、井戸、灰層跡
17	トロノキⅡ	散佈地	縄文土器(中期)	
18	トロノキⅢ	集落跡	縄文土器(中期)、竪穴住居跡、竪穴	
19	トロノキⅣ	散佈地	縄文土器(前・中期)	
20	沢沢Ⅰ	集落跡	縄文土器	
21	古栗Ⅰ	散佈地	縄文土器(前・中期)	
22	瀬吹Ⅱ	散佈地	縄文土器(前・中期)	
23	沢沢Ⅱ	集落跡	縄文・古代	縄文土器(前・中期)、銅鉄片、木炭
24	瀬吹Ⅱ	散佈地	縄文土器(前・後期)	
25	瀬吹Ⅰ	集落跡	縄文土器(前期)	
26	わたのは	散佈地	縄文土器(前・中・後期)、石砌	
27	峠山貝塚	貝塚	縄文土器(前・後期)、骨角器、貝類	
28	子栗長根	集落跡	縄文土器	
29	白石	集落跡	縄文土器	竪穴住居跡、土壇、貝類
30	大付	集落跡	縄文・弥生	竪穴住居跡、墓塚、貝類、人骨
31	黒石沢	集落跡	縄文・古代	縄文土器(前・中・後期)、須恵器
32	高子舞Ⅰ	散佈地	縄文・中世	縄文土器(中期)、陶器、山茶碗
33	高子舞Ⅱ	散佈地		
34	早船橋Ⅱ	散佈地	縄文	土坑、石割か
35	早船橋Ⅲ	散佈地	縄文	土坑(早・前・中期)
36	早船橋Ⅳ	散佈地	縄文	土器(中・後期)、竪穴住居跡
37	早船橋Ⅴ	散佈地	縄文	土器(中期)
38	宇奈家Ⅰ	散佈地	縄文	土器(中期)
39	宇奈家Ⅱ	散佈地	縄文	貝類、釣針封
40	大石	散佈地	縄文	土器
41	塚地	散佈地	縄文	土器(後期)
42	長縄	散佈地	縄文	土器(前・中期)
43	ナメギ沢Ⅰ	散佈地	縄文土器(前・中期)、磨製石器	
44	橋原Ⅱ	散佈地	縄文土器、弥生土器、土師器、須恵器	
45	アサナ子沢	散佈地	縄文・古代	縄文土器、土師器、須恵器、須恵器
46	橋原Ⅰ	散佈地	縄文	土器
47	橋原Ⅰ	散佈地	縄文	土器(早・中期)、竪穴住居跡
48	曾ノ沢	集落跡	縄文・古代	縄文土器、土師器、鉄片、須恵器
49	曾ノ沢Ⅱ	散佈地		
50	曾ノ沢Ⅲ	散佈地		
51	曾ノ沢Ⅳ	散佈地		
52	曾ノ沢Ⅴ	集落跡	縄文・古代	縄文土器(前・後期)、土師器、鉄片、須恵器
53	牛沢	散佈地	縄文	土器(中・後期)
54	小平Ⅱ	散佈地	縄文	土器
55	小平Ⅲ	散佈地	縄文	土器
56	黒森山	寺院跡		勾玉
57	小平Ⅰ	集落跡	縄文	土器(中期)、竪穴住居跡
58	高根	土壇跡	縄文	土器(中期)、墓塚、土壇
59	赤間集	集落跡	縄文・奈良・古墳	縄文土器、鉄片、中世の竪穴住居跡
60	赤間集	集落跡	縄文・奈良	縄文土器(早・中期)、竪穴住居跡
61	加島	散佈地		
62	黒森アサ子沢	集落跡	縄文	土器(早期)
63	山口園	城跡跡	古代・中世	土器、銅器、二の浜、三の浜、空堀
64	南沢Ⅰ	散佈地		
65	早船橋Ⅵ	散佈地	縄文	
66	早船橋Ⅶ	散佈地	縄文	土器(中期)
67	黒森	集落跡	縄文・古代	竪穴住居跡、土壇
68	佐栗Ⅱ	散佈地	縄文土器(前期・中期・後期)、石割、平安	土師器、鉄片、磨製石
69	日の出町Ⅰ	散佈地	縄文	土器(早・前期・中期)、竪穴住居跡、土坑、石割

番号	遺跡名	種別	時代	出土遺構・遺物
70	佐栗	集落跡	縄文土器	
71	熊野町	集落跡	縄文	竪穴住居跡、青磁、茶臼
72	平松Ⅱ	散佈地	縄文土器(前・中期)	
73	平松Ⅰ	集落跡	縄文土器(前・中期)	
74	平松Ⅲ	散佈地	縄文土器(中期)	
75	岩船	散佈地	縄文土器(前・中期)、鉄片、須恵器	
76	与手子Ⅰ	散佈地	縄文土器	
77	与手子Ⅱ	散佈地		
78	板木	集落跡	縄文・古代	縄文土器(中・後期)、土師器
79	横川	散佈地	縄文・古代	縄文土器(中期)、土師器
80	宮内中村	集落跡	縄文・奈良・古代	縄文土器、土師器、須恵器
81	宮内船	城跡跡	中世	土器、物見台、土壇、空堀、土師器、鉄片
82	宮内跡Ⅱ	散佈地		
83	山口跡Ⅰ	集落跡	縄文	鉄片
84	山口跡Ⅱ	集落跡	縄文	土器、土師器、須恵器
85	天神山	散佈地	縄文・奈良・古代	縄文土器、弥生土器、土師器、須恵器
86	黒森町Ⅰ	見倉跡・塚跡	奈良	両面器、磨製石、墓塚
87	神崎ノ沢	集落跡	縄文・古代	土師器、土師器、須恵器、鉄片
88	神崎Ⅱ	集落跡	縄文	縄文土器(後期)
89	小沢V神楽石	集落跡	縄文・古代	縄文土器(後期)、土師器、土興
90	小沢Ⅱ	集落跡	縄文土器	
91	小沢Ⅲ人影島	散佈地	縄文・古代	縄文土器(土師器、須恵器)
92	小沢Ⅳ石名平	散佈地	縄文	土器(前・後期)
93	小沢Ⅴ大上	貝塚	縄文	土器、貝類
94	小沢Ⅵ土	散佈地	縄文	土器
95	日の出町Ⅱ	散佈地	縄文	土器(中期)、須恵器
96	日の出町Ⅲ	散佈地	縄文	土器
97	沢田Ⅰ	散佈地	古代	土師器
98	沢田Ⅱ	散佈地		
99	日影町Ⅰ	散佈地	縄文	縄文土器(後期)
100	小山船	散佈地	縄文・奈良・古代	縄文土器、弥生土器、土師器
101	日影町Ⅱ	散佈地		
102	黒ヶ崎船具塚	貝塚	縄文	貝類
103	野ノ子別	集落跡	縄文	土器
104	山田船	城跡跡	中世	土器、二の浜、三の浜、空堀
105	夏保	散佈地	縄文土器	
106	黒ヶ崎船具	散佈地	縄文	土器(後期)
107	黒ヶ崎上町	散佈地	縄文	土器
108	光澤地	集落跡	縄文	土器(後期)
109	板の沢	散佈地	縄文	土器(中期)
110	下根市	散佈地	縄文	土器(中期)、鉄片
111	宮井沢Ⅰ	散佈地	縄文	土器(中・後期)、土師器
112	宮井沢Ⅱ	散佈地	縄文	土器(中期)、鉄片
113	板原Ⅰ	散佈地		
114	板原Ⅱ	散佈地		
115	神川田	散佈地	縄文・古代	縄文土器(中期)、土師器、竪穴住居跡、土坑
116	千歳城遺跡跡	城跡跡	奈良・平安・中世	土器、二の浜、三の浜、空堀、子母堀、堀台
117	宮内白石Ⅰ	集落跡	縄文	鉄片、須恵器
118	宮内白石Ⅱ	城跡跡	中世	土器、磨製石、物見
119	宮内白石Ⅲ	散佈地	縄文	土器(後期)、土師器、須恵器
120	宮内本寺Ⅰ	散佈地	縄文・古代	縄文土器、土師器、須恵器
121	宮内本寺Ⅱ	散佈地	古代	土師器
122	青嶺Ⅰ	集落跡	弥生・古代	弥生土器(後期)、土師器、須恵器、鉄製器
123	嵐所	散佈地	縄文	縄文土器
124	青嶺Ⅱ	集落跡	縄文・古代	縄文土器(中期)、土師器
125	青嶺Ⅲ	集落跡	弥生・平安	弥生土器、土師器、竪穴住居跡
126	長根Ⅰ	群衆集	弥生～中世	古銭、兼手刀、直刀、和同開珎、玉璽
127	嵐所	集落跡	縄文・奈良・平安	縄文土器、土師器、鉄片、竪穴住居跡
128	泉町嵐所Ⅱ	集落跡	縄文・奈良・平安	縄文土器、土師器、竪穴住居跡
129	泉町嵐所Ⅰ	散佈地		
130	泉町嵐所Ⅲ	散佈地	古代	土師器
131	鴨Ⅰ	集落跡	古代	土師器
132	鴨Ⅱ	散佈地	古代	土師器
133	笠間船	城跡跡	中世	土器、磨製石
134	長根寺田	散佈地		
135	長根Ⅱ	散佈地		
136	栗木船	城跡跡	中世	土器、二の浜、三の浜、空堀
137	田原船	城跡跡	中世	土器、二の浜、空堀、物見台

第1表 周辺の遺跡一覧表(2)

番号	遺跡名	種別	時代	出土遺構・遺物	番号	遺跡名	種別	時代	出土遺構・遺物
128	田原	散佈地	縄文・古代	縄文土器、土器器、須恵器	210	上大野田	散佈地		
129	河尻	集落跡			211	大谷地Ⅴ	散佈地		縄文土器
140	柳沢	集落跡	奈良・平安	聖穴住居跡、製鉄炉跡、土器器	212	大谷地Ⅵ	散佈地		縄文土器
141	田原草堂前	散佈地	縄文・古代	縄文土器、土器器	213	大谷地Ⅶ	集落跡	縄文	縄文土器(早・中期)、鉄器
142	松山園	散佈地	古代・中世	磨石刀、須恵器、土器器、骨、空埴	214	大谷地Ⅷ	散佈地		土器、鉄器
143	真木田	散佈地	縄文	縄文土器	215	大谷地Ⅰ	散佈地		縄文土器
144	七所沢Ⅰ	散佈地	古代	土器器	216	下大谷地Ⅲ	散佈地	縄文	縄文土器(前・後期)、鉄器
145	七所沢Ⅱ	散佈地		縄文土器	217	下大谷地Ⅴ	散佈地	縄文	鉄器
146	七所沢Ⅲ	散佈地	縄文	縄文土器	218	下大谷地Ⅳ	散佈地	縄文	縄文土器
147	松山下谷地	散佈地	縄文・古代	縄文土器、土器器、須恵器、鉄器	219	下大谷地Ⅵ	散佈地	縄文	縄文土器、鉄器
148	松山大地田沢	集落跡	縄文・古代・中世	聖穴住居跡、鍛冶炉、製鉄炉	220	下大谷地Ⅶ	集落跡	縄文	縄文土器(前・中期)
149	柳原Ⅰ	集落跡	縄文・古代	縄文土器、須恵器、鉄器	221	下大谷地Ⅰ	散佈地	縄文	縄文土器(前・中期)
150	水戸舟内Ⅱ	散佈地	縄文	陶土穴	222	養の埀Ⅰ	散佈地	縄文	縄文土器(前・中・後期)
151	柳原Ⅱ	集落跡	縄文	縄文土器	223	八木沢野末	集落跡	縄文	縄文土器(早・前期)
152	水戸舟内Ⅲ	集落跡	縄文・古代	土器器、須恵器、聖穴住居跡	224	八木沢野末Ⅱ	集落跡	縄文	縄文土器(前期)
153	柳原Ⅲ	集落跡	縄文・古代	縄文土器、土器器	225	八木沢野末Ⅲ	集落跡	縄文・古代	縄文土器、土器器、鉄器、土坑
154	柳原Ⅳ	集落跡	縄文・古代	縄文土器、土器器、須恵器、鉄器、土坑	226	八木沢ラントⅠ沢Ⅰ	好埵跡	縄文	陶土穴状遺構、土坑
155	柳原Ⅴ	集落跡	縄文・古代	縄文土器、土器器、須恵器	227	八木沢ラントⅡ沢Ⅱ	縄文	遺土遺構、土坑、陶土、縄文土器、石器	
156	柳原Ⅵ	散佈地			228	八木沢Ⅲ	古穴	鉄器	
157	柳原Ⅶ	散佈地	古代	土器器、鉄器、土坑	229	八木沢Ⅰ白土山	散佈地	縄文	縄文土器(前期)
158	柳原Ⅷ	散佈地	古代	土器器、鉄器	230	八木沢古沢	城館跡	中世、近世	土器、土器の破片、漆器、骨、空埴
159	八木沢Ⅰ	集落跡	縄文・古代	縄文土器(前・中期)、聖穴住居跡	231	八木沢古田	中世	鉄器	
160	水戸舟内Ⅳ	集落跡	奈良	聖穴住居跡、土器器	232	八木沢古田Ⅱ	城館跡	近世	土器、土器の破片、漆器、骨
161	水戸舟内Ⅴ	散佈地	縄文	聖穴住居跡	233	岡田Ⅱ	集落跡	古代	土器器、須恵器、鉄器、磨石、土坑
162	水戸舟内Ⅵ	散佈地	縄文	古穴土坑	234	高瀬Ⅰ坂ノ下	集落跡	縄文	縄文土器
163	水戸舟内Ⅶ	散佈地	弥生・古代	弥生土器、土器器	235	岡田Ⅰ	集落跡	平安	聖穴住居跡、溝、自然遺物
164	宮ノ沢	散佈地	縄文・古代	縄文土器、土器器、須恵器	236	磯崎中谷地	散佈地	縄文・古代	土器器、須恵器
165	小山田Ⅰ	城館跡	中世	漆器、平器、二重空埴	237	岡田Ⅱ	集落跡	縄文・古代	縄文土器、土器器
166	小山田Ⅱ	散佈地	古代	土器器、鉄器	238	磯崎山	城館跡	縄文・中世	聖穴住居跡、製鉄炉、貝類、建物跡
167	八木沢守ノ越Ⅱ	散佈地	縄文・古代・中世	縄文土器、土器器、弥生土器	239	八木沢Ⅱ	集落跡	縄文・平安	縄文土器、土器器、聖穴住居跡、鉄器
168	柳原Ⅷ	散佈地	縄文・古代	縄文土器、石器、土器器	240	八木沢Ⅰ	散佈地	縄文	土器器
169	八木沢守ノ越Ⅲ	散佈地	縄文	縄文土器	241	高瀬Ⅱ今ヶ淵	散佈地	縄文	縄文土器(前・中・後期)
170	八木沢守ノ越Ⅳ	散佈地	縄文・古代	縄文土器、土器器	242	高瀬Ⅲ野原	散佈地	縄文	縄文土器
171	八木沢ノ越Ⅰ	散佈地	縄文	縄文土器	243	高瀬Ⅳ橋原	散佈地	縄文	縄文土器(前・後期)
172	小山田Ⅲ	城館跡	中世	物置、腰郭	244	高瀬Ⅴ下地埵	散佈地	縄文	縄文土器(早・前・中期)
173	小山田Ⅳ	散佈地	縄文・古代	縄文土器、聖穴住居跡	245	高瀬Ⅵ下地埵	散佈地	縄文	縄文土器(中期)
174	上村Ⅱ	集落跡	縄文・古代	縄文土器(中期)、土器器	246	金浜ヶ沢Ⅰ	鉄器跡		
175	磯崎Ⅱ	集落跡	平安	土器器	247	金浜Ⅱ	城館跡	縄文・中世	土器器、骨類、空埴、アラスカ土坑
176	磯崎Ⅲ	集落跡	縄文・古代	縄文土器、土器器	248	金浜Ⅰ	集落跡	縄文・平安	縄文土器(前・後期)、石器、土器器
177	上村Ⅰ	散佈地	縄文・古代	縄文土器(中期)、土器器	249	金浜Ⅲ	集落跡	古代	土器器
178	小沢田	貝塚	縄文・古代	縄文土器、土器器、須恵器、貝類	250	金浜Ⅳ	散佈地	縄文・古代	縄文土器、土器器
179	上村Ⅱ	散佈地	縄文・古代	縄文土器(中期)、土器器	251	金浜Ⅴ	散佈地	縄文	縄文土器
180	上村貝塚	集落跡	縄文・平安	聖穴住居跡、貝類	252	金浜Ⅵ	散佈地	縄文	縄文土器(中期)、鉄器
181	早坂	貝塚	縄文・弥生・古代	縄文土器、土器器、須恵器、貝類	253	馬越Ⅰ	集落跡	古代	土器器、鉄器
182	柳原上町Ⅰ	散佈地	縄文・古代	縄文土器(前期)、須恵器	254	馬越Ⅱ	散佈地	縄文・古代	縄文土器(後期)、土器器、鉄器
183	柳原上町Ⅱ	集落跡	奈良	聖穴住居跡	255	津輕石大森	集落跡	縄文・弥生・古代	土器器、須恵器、聖穴住居跡
184	柳原上町Ⅲ	散佈地	縄文・古代	縄文土器、土器器	256	伊賀	集落跡	縄文・奈良	土器器、土器器、聖穴住居跡
185	磯崎磯崎貝塚	貝塚	縄文・古代	縄文土器、土器器、人骨、骨角器	257	山崎Ⅱ	城館跡	中世	土器器、骨類、骨
186	磯崎Ⅳ	城館跡	中世・近世	城館跡・古堀	258	山崎Ⅰ	散佈地	縄文	縄文土器
187	磯崎石輪	散佈地	縄文・古代	縄文土器、土器器	259	白土田ⅠⅠ	散佈地	縄文	縄文土器(中期)
188	花輪園(エノ原)	城館跡	中世	土器器、土器器、土器器、骨、空埴	260	白土田Ⅱ	散佈地	縄文	縄文土器(前・後期)
189	原久保	城館跡	中世		261	白土田ⅢⅠ	散佈地	縄文	縄文土器
190	磯崎Ⅴ	城館跡	中世	土器器、腰郭、木築	262	白土田ⅢⅡ	散佈地	縄文	縄文土器(中期)
191	内沢	散佈地	縄文・平安	縄文土器(前期)、石器、鉄器	263	白土田ⅢⅢ	散佈地	縄文	縄文土器
192	柳沢Ⅰ	集落跡			264	白土田ⅢⅣ	散佈地	縄文	縄文土器
193	柳沢Ⅱ	散佈地	縄文	縄文土器(前・中・後期)、鉄器	265	柳内Ⅰ	散佈地	縄文	縄文土器
194	下野原Ⅱ	城館跡	中世	郭	266	柳内Ⅱ	散佈地	縄文	縄文土器
195	下野原Ⅰ	散佈地	縄文	縄文土器	267	柳内Ⅲ	散佈地	縄文	縄文土器
196	ミヤナリ沢	散佈地	縄文	縄文土器	268	柳内Ⅳ	散佈地	縄文	縄文土器(前・中期)
197	折原Ⅱ	城館跡	中世	土器器、土器器、骨類、骨、空埴	269	柳内Ⅴ	散佈地	縄文	縄文土器
198	中西原Ⅰ	散佈地	縄文	縄文土器(前・中・後期)	270	小瀬内Ⅰ	集落跡	縄文・弥生・奈良	縄文土器、弥生土器、土器器
199	中西原Ⅱ	散佈地			271	小瀬内Ⅱ	散佈地	縄文	縄文土器
200	下大野Ⅰ	散佈地	縄文	縄文土器	272	小瀬内Ⅲ	散佈地	縄文・奈良	縄文土器、土器器、須恵器
201	下大野Ⅱ	散佈地			273	赤原Ⅰ茶屋ノ沢	集落跡	縄文・古代	縄文土器、土器器、須恵器、陶磁器
202	中大野Ⅰ	散佈地			274	赤原Ⅱ柳沢	集落跡	縄文・古代	縄文土器、土器器
203	中大野Ⅱ	散佈地			275	赤原Ⅲ八木田	集落跡	縄文・平安	縄文土器(早・中期)、聖穴住居跡、土坑、鉄器
204	上大野Ⅰ	散佈地	縄文	縄文土器(前期)	276	赤原Ⅳ	集落跡	縄文・平安	縄文土器(前・中期)、聖穴住居跡、土坑、鉄器
205	長沢橋街道Ⅰ	散佈地	縄文	縄文土器(中期)	277	横山	集落跡	古代	土器器、須恵器、鉄器
206	長沢橋街道Ⅱ	散佈地			278	養の埀Ⅱ	集落跡	縄文・古代・中世	聖穴住居跡、製鉄炉、鉄製品
207	長沢橋街道Ⅲ	散佈地	縄文	縄文土器	279	養の埀Ⅲ	散佈地	縄文・古代	土坑、縄文土器、石器
208	上大野Ⅲ	散佈地	縄文	縄文土器(前・中期)					
209	上大野Ⅳ	散佈地	古代	鉄器					



### 弥生時代

青猿Ⅰ遺跡では、弥生時代後半の遺物が確認されている。近隣の遺跡で同時期の遺物が確認された遺跡に長根Ⅰ遺跡(126)がある。他に上村貝塚(180)、佐原Ⅱ遺跡(68)などで前期の竪穴住居跡が確認されている。鱈沢遺跡(140)では、後期の竪穴住居跡が確認されている。

### 奈良時代

青猿Ⅰ遺跡では、奈良時代の遺物は確認されていない。長根Ⅰ遺跡(126)で8～9世紀代の群集墳が調査され、麻手刀や直刀などの鉄製武器類、ガラス玉類、和同開珎などが出土している。近年の調査では、津軽石大森遺跡(255)で、7世紀後半～8世紀代の竪穴住居跡が多数確認されている。

### 平安時代

本遺跡の位置する丘陵地・山地を含む周辺の地質は、いわゆるマサ土と呼ばれる花崗岩質岩石である。砂鉄の始発原料を採取できる基盤層に分布する遺跡では、鉄生産に関連する遺構や遺物が多く認められるとされている(註2)。宮古市教育委員会で調査が行われた青猿Ⅰ遺跡(122)で確認された製鉄炉跡は、当地域での鉄生産遺構の調査の先駆けとなった事例である。(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターが調査した八木沢川流域の烏田Ⅱ遺跡(233)は、平安時代の鉄生産関連遺跡で、製鉄、精錬、鍛錬の各工程を例示する工房跡・炉跡などが確認されている。同じ八木沢川流域に位置する八木沢ラントノ沢Ⅱ遺跡(227)では古代と思われる炭窯跡、賽の神Ⅲ遺跡(278)では古代の製鉄炉8基、八木沢Ⅱ遺跡(159)では小鍛冶を行ったと推測される古代の炉跡などが確認されている。松山大地田沢遺跡(148)で奈良～平安時代前期の竪穴住居跡床面から農耕具に用いられる鉄製鋤先と鉄製鎌が出土している。その他、山口館跡(63)で古代の竪穴住居跡から10世紀代とされる密教法具(錫杖、三鈷鏡、鐘鈴)が一括出土しており、天台宗・真言宗の布教と黒森神楽を生み出した黒森修験道・黒森神社との関連が想定される。また、鱈沢遺跡(140)で竪穴住居跡から平安時代の馬具(轡金具)が出土している。また、隠里Ⅲ遺跡(155)では、10世紀の火葬関連施設、竪穴住居跡床面・土坑底面から灰釉陶器が出土している。

### 中世

青猿Ⅰ遺跡では、中世の遺構・遺物は確認されていない。近内川を挟んで南側の丘陵に千徳城遺跡群(116)が位置している。また、宮古市教育委員会と(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターにより調査が行われた山口館跡(63)は、北東側1.5kmほどの距離に位置している。中世城館に伴う工房跡が斜面部に多数確認されるなど、尾根筋の自然地形を利用した城館内の土地利用の様相が明らかになった。

### 近世以降

青猿Ⅰ遺跡では、近世の遺構・遺物は確認されていない。これまでの調査事例では、黒森町Ⅰ遺跡(86)で近世の墓壇・铸造炉が確認されており、18世紀代を中心とした瀬戸美濃産陶器、肥前産磁器が出土している。近年の調査では八木沢駒込Ⅰ遺跡(225)で掘立柱建物跡、木戸井内Ⅳ遺跡(152)で炭窯跡・畑跡が確認されている。その他、青猿Ⅰ遺跡では、近代の家畜埋葬墓壇を確認しているが、類似する遺構として、早稲橋Ⅱ遺跡(34)でも時期不明の馬の墓壇Ⅰ基が確認されている(註3)。

(菊池貴広)

## 4 青猿Ⅰ遺跡の過去の調査履歴と調査範囲

### (1) 青猿Ⅰ遺跡の過去の調査履歴

宮古市教育委員会により昭和62(1987)年、平成元(1989)年、平成2(1990)年の3回調査が行われている。縄文時代の陥し穴状遺構、古代の竪穴住居跡や製鉄炉跡の遺構が調査されており、少量の土師器・須恵器や鉄製品、多量の鉄滓が出土している(註4)。特に昭和62年の調査で確認された製鉄炉跡は、竪穴と炉本体、廃滓場など鉄生産に係わる一連の遺構が確認された良好な資料である。

今回の三陸沿岸道路建設事業に伴う、(公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターによる平成27(2015)年、平成28(2016)年、平成29(2017)年の3回の調査は、同遺跡の西側への集落の広がりを確認する貴重な調査になった(第2表)。

第2表 青猿I遺跡の調査履歴

No.	調査年次	調査原因	検出遺構	出土遺物	調査主体	調査報告書等	備考
1	昭和62年 (1987)	宅地造成	平安時代竪穴住居跡・鉄生産関連遺構(炉跡)、縄文時代陥し穴遺構等	土師器、羽目など	宮古市教育委員会	『青猿I遺跡・下在家I遺跡・千徳城遺跡群(調査報告)』宮古市埋文報14集	遺跡範囲
2	平成元年 (1989)	宅地造成	平安時代竪穴住居跡・土坑	縄文土器・土師器など	宮古市教育委員会	『青猿I遺跡・千徳城遺跡群』宮古市埋文報27集	遺跡範囲
3	平成2年 (1990)	宅地造成	平安時代土坑	土師器など	宮古市教育委員会	『青猿I遺跡・千徳城遺跡群』宮古市埋文報27集	遺跡範囲
4	平成27年 (2015)	三陸沿岸道路建設	平安時代竪穴住居跡・工房跡・土坑・炭灰跡・焼土遺構	弥生土器・土師器・須恵器・羽目・石器・金属製品など	(公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	『青猿I遺跡発掘調査報告書』岩文報第711集	遺跡範囲が西側に拡大
5	平成28年 (2016)	三陸沿岸道路建設	平安時代竪穴住居跡・工房跡・土坑・炭灰跡・焼土遺構・縄文時代陥し穴状遺構	土師器・須恵器・羽目・石器・金属製品・動物遺存体・植物遺存体など	(公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	『青猿I遺跡発掘調査報告書』岩文報第711集	遺跡範囲が西側に拡大
6	平成29年 (2017)	三陸沿岸道路建設	平安時代竪穴住居跡・工房跡・土坑・炭灰跡・近代家畜糞堆積場	縄文土器・土師器・須恵器・石器・金属製品・動物遺存体など	(公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	『青猿I遺跡発掘調査報告書』岩文報第711集	遺跡範囲が西側に拡大

## (2) 青猿I遺跡の調査範囲

今回の青猿I遺跡の調査範囲は、過去に調査が行われた青猿I遺跡とは別地点で、谷を挟んで西側に位置しており、それ以前に周知されていた青猿I遺跡の範囲の西側であった(第5図)。今回の調査範囲は、岩手県教育委員会により青猿I遺跡として試掘調査が行われていたが(註5)、本調査開始前の現地確認の際、調査担当者が周知の青猿I遺跡の範囲とは異なる場所であることを確認したことから、埋蔵文化財センターは岩手県教育委員会事務局生涯学習文化課(以下、生文課と略記する)にその内容を照会した。その結果、周知の青猿I遺跡の範囲拡大として調査する旨の指示を受けた。よって本遺跡の調査成果は青猿I遺跡の調査成果として報告する。

## 5 遺跡の基本層序

青猿I遺跡の調査範囲は東西約84m、南北約226m、面積は14,500㎡である。調査区内の地形は、大きく北西から南東方向に傾斜しており、北西方向から延びる丘陵の先端部に位置する。詳細にみると、三つの尾根と二つの谷から構成され、調査区の北側・南側・東側は埋没谷が廻っている。遺跡の現況は、山林である。調査区は地形区分を反映していた地割を基準に1～7区に分けた。年度毎の調査区が概ね地割に沿って設定されたことによる。各地区の微地形は次のとおりである。1区：尾根1、2区：北東斜面、3区：南斜面・埋没谷1、4区：尾根2・東斜面、5区：尾根2・3から西斜面、6区：東斜面・埋没谷2、7区：東斜面。調査区の微地形は、大きくは尾根・斜面・谷に分かれる。



第 5 図 調査区と周辺地形図

## 平成 27 年度調査

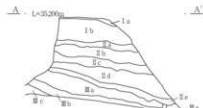
## 6 区 基本層序



- I a 75YR3/4 暗褐色  
II a 10YR5/4 に近い黄褐色  
II b 10YR8/1 灰白色

商業上の埋積層  
砂質シルト・締まり中  
マサ土の風化層  
木根等の影響により風化したもの  
マサ土・締まり密・系埋層

## 7 区 基本層序



- I a 10YR3/4 暗褐色  
I b 10YR3/1 黒褐色  
II a 10YR3/2 黒褐色  
II b 10YR3/1 黒褐色  
II c 10YR3/1 黒褐色  
II d 10YR3/1 黒褐色  
II e 10YR2/1 黒色  
II f 10YR4/3 に近い黄褐色  
II g 10YR5/6 黄褐色  
II h 10YR4/4 褐色

黒植土  
シルト・締まり中・小礫20%含む  
上位に木根多量に含む  
黒褐色土層と砂土の互層  
砂質シルト・締まり中・花崗岩粒1%含む  
シルト・締まり中・花崗岩粒1%含む  
砂質シルト・締まり中・小礫5%含む  
粘土質シルト・締まり中・小礫3%含む  
砂質シルト・締まり中・黄色土粒3%含む  
砂質粘土・締まり密  
粘土・締まり密・砂礫混入

## 平成 29 年度調査

## 5 区 A 頂部 基本層序



- I 10YR3/4 暗褐色  
II a 10YR7/3 に近い黄褐色  
II b 10YR8/4 に近い黄褐色  
III 10YR8/2 灰白色

砂質シルト・締まりやや硬  
植物根多量含む  
粗砂・締まりやや硬  
赤風化している  
粗砂・締まりやや硬  
赤風化している  
遺構確認層  
粗砂・締まり密(マサ土)

## 5 区 B 基本層序 西側断面①



- I 10YR3/4 暗褐色  
II a 10YR5/6 黄褐色  
II b 10Y1R6/6 明黄褐色  
II c 10YR6/6 明黄褐色  
III 10YR8/2 灰白色

砂質シルト・締まりやや硬  
植物根多量含む  
粘土  
粘土  
赤遺構確認層  
粘土・締まり密  
砂質粘土  
粗砂・締まり密(マサ土)

## 5 区 C 基本層序 西側断面②



- I a 10YR3/1 黒褐色  
I b 10YR3/4 暗褐色  
II a 10YR5/4 に近い黄褐色  
III 10YR8/2 灰白色

砂質シルト・締まり硬  
黒植土層  
砂質シルト・締まり硬  
粗砂・締まり中  
花崗岩の風化した土層  
粗砂・締まり密(マサ土)

0 1:60 (断面図) 3m

## 平成 28 年度調査

## 1 区 基本層序

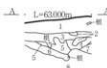


- I 10YR3/4 暗褐色  
II a 25Y6/4 に近い黄褐色  
II b 25Y7/3 浅黄褐色  
III 10YR3/4 暗褐色

砂質シルト  
細砂・締まり密  
IV層の同化した層  
粗粒・締まり密  
風化花崗岩層

※ 1区は1層除去後のIV層が遺構検出面である

## 4 区 基本層序

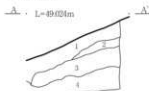


- 1 10YR3/2 黒褐色  
2 10YR5/3 に近い黄褐色  
3 10YR3/3 暗褐色  
4 10YR4/3 に近い黄褐色  
5 10YR5/3 に近い黄褐色  
6 10YR4/3 に近い黄褐色  
7 10YR4/3 に近い黄褐色  
8 10YR7/3 に近い黄褐色

砂質シルト・締まり中  
マサ土粒 (2%)  
砂質シルト・締まり中  
マサ土粒 (7%)  
砂質シルト・締まり中  
炭化物 (1%)・マサ土粒 (3%)  
砂質シルト・締まり中  
にに近い黄褐色 (10YR6/3) のブロック (5%)  
マサ土粒 (3%)  
砂質シルト・締まり中  
マサ土粒 (7%)  
締まり硬・マサ土粒 (5%)  
締まり硬・マサ土粒 (5%)  
締まり中・にに近い黄褐色 (10YR5/4)  
砂質シルトが混じる (30%) マサ土粒 (50%以上)

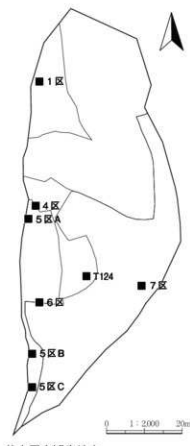
(1層-1, IIa層-3 - 7, IV層-8)

## T124 基本層序



- 1 10YR3/4 暗褐色  
2 10YR5/6 黄褐色  
3 5YR3/6 暗赤褐色  
4 10YR6/4 に近い黄褐色

シルト  
粘土・締まり中  
風化した花崗岩  
粘性弱・締まり強  
風化した花崗岩  
粘性弱・締まり強  
粘性弱・締まり強



基本層序観察地点

以下、調査年度毎に各地区の土層の堆積状況を記す（第6図）。

#### 平成27年度調査

調査対象区域は2区・3区・4区の一部、6区・7区である。頂部から斜面部と低地部が調査範囲となった。黒褐色土を主とするⅡa～Ⅱe層の堆積は、3区の西側、6区の谷、7区で認められた。Ⅱ層の堆積状況は、斜面上位で薄く、斜面下位（6区谷・7区）で厚くなる。斜面下位ではⅡ層で遺構・遺物が確認されたことから同層面で遺構検出を行った。それ以外の2区、3区東側、4区西側の斜面地では、Ⅰ層除去後に露出したⅢ層またはⅣ層で遺構検出を行った。

6区基本層序は、Ⅰ層表土の下位は、Ⅲ層のぶい黄褐色土層、Ⅳ層の灰白色土の花崗岩の基盤層であった。7区基本層序は、Ⅰ層の下位にⅡ層黒色土が厚く堆積しており、5層に細分している。下位には、火山灰起源のⅢ層のぶい黄褐色土があり、遺構検出面とした。

#### 平成28年度調査

調査対象区域は、1区・4区の一部である。1区・4区とも尾根上及び斜面地である。谷状に落ち込む箇所以外は、Ⅰ層表土の除去後にⅣ層の花崗岩層（マサ土）が確認されたことから、同層面を遺構検出面とした。

1区・4区ともに基本層序は、Ⅰ層表土の下位は、Ⅳ層のぶい黄褐色からは灰白色の花崗岩の基盤層で、遺構検出面とした。部分的にⅢ層のぶい黄褐色土が露出している面が確認された。

#### 平成29年度調査

調査対象区域は、5区で、尾根上及び斜面地である。概ねⅠ層表土の下位はⅣ層灰白色の花崗岩層（マサ土）が露出したことから、Ⅳ層面を遺構検出面とした。斜面部の一部では、Ⅲ層の黄褐色の粘土層が遺構検出面となった。

5区基本層序は、概ねⅠ層表土の下位は、Ⅲ層・Ⅳ層で、遺構検出面である。

（阿部勝則）

#### 註

- (1) 宮古市教育委員会 1988・1991
- (2) 岩手県教育委員会 2006
- (3) 宮古市教育委員会 1992
- (4) 宮古市教育委員会 1988・1991
- (5) 岩手県教育委員会 2016 なお、『岩手県遺跡情報検索システム』（平成29年度）における青猿Ⅰ遺跡の範囲は、従来の範囲から変更されていない。そのため、本報告書で調査した範囲は、青猿Ⅰ遺跡の範囲には含まれていない。

#### 引用・参考文献

- 宮古市教育委員会 1988 『青猿Ⅰ遺跡・下在家Ⅱ遺跡・千徳城遺跡群（組合館）-昭和62年度発掘調査報告書』宮古市埋蔵文化財調査報告書14
- 宮古市教育委員会 1991 『青猿Ⅰ遺跡・千徳城遺跡群-平成元年・2年度発掘調査報告書』宮古市埋蔵文化財調査報告書17
- 宮古市教育委員会 1992 『早稲場Ⅱ遺跡-第1次・第2次発掘調査報告書-』宮古市埋蔵文化財調査報告書39
- (財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 1999 『高田Ⅱ遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第337集
- (財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 2006 『山口館跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第485集
- 岩手県教育委員会 2006 『岩手の製鉄遺跡-岩手県内重要遺跡詳細分布調査報告書-』岩手県教育委員会文化財調査報告書第122集
- (財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 2008 『八木沢Ⅱ遺跡・八木沢ラントノ沢Ⅰ遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第528集
- 岩手県教育委員会 2016 『岩手県内遺跡発掘調査報告書』岩手県文化財調査報告書第146集



### Ⅲ 調査・整理の方法

#### 1 調査の方法

##### (1) グリッド設定と調査区

グリッドの設定は、平面直角座標（第X系：世界測地系）に合わせて、調査区全体にメッシュがかかるようにグリッドを設定した。調査は3年に及んだことから基準点設置も各年度に行った。基準点・区画杭が、併行して行われた伐採木の撤出作業により、調査終了時まで機能しなかったことによる。

各年度に打設した基準点は、次の通りである。座標値等は各年度の遺構配置図を参照されたい。

##### 平成27年度調査

基準点（1・2）2点、補点（1～6）6点を打設した。※1回目

基準点（3・4）2点、補点（7～12）6点を打設した。※2回目

##### 平成28年度調査

基準点（5・6）2点、補点（21～26）6点を打設した。

##### 平成29年度調査

基準点（7・8）2点、補点（31～36）6点を打設した。

グリッドは40×40mメッシュの北西端を基準に南北方向の北から南にⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵのローマ数字を付し、東西方向の西から東にA・B・Cの大文字アルファベットを付し、その組み合わせで6×3=18等分される大グリッドを設けた。更にこの大グリッドを4×4mの小区画に細分し、南北方向の北から南にアラビア数字の1～10、東西方向の西から東に小文字アルファベットa～jを付し、大グリッドを100等分する小グリッドに区画した。グリッド名称は、大小グリッドを組み合わせ、「ⅠA1a」のように表記し、実際の調査では、北西隅の杭にグリッド名を与えた。

また、調査区北側から南側にかけて、アラビア数字1～7の名称を付して地区名称とした（第7図）。

##### (2) 遺構名と検出遺構

遺構名は、遺構の種類に応じてアルファベットで略号化し、検出順にそれぞれ番号を付けて、S I 01、S I 02、S K 01、S K 02のように遺構名を付した。遺構略号は次に記したとおりである。

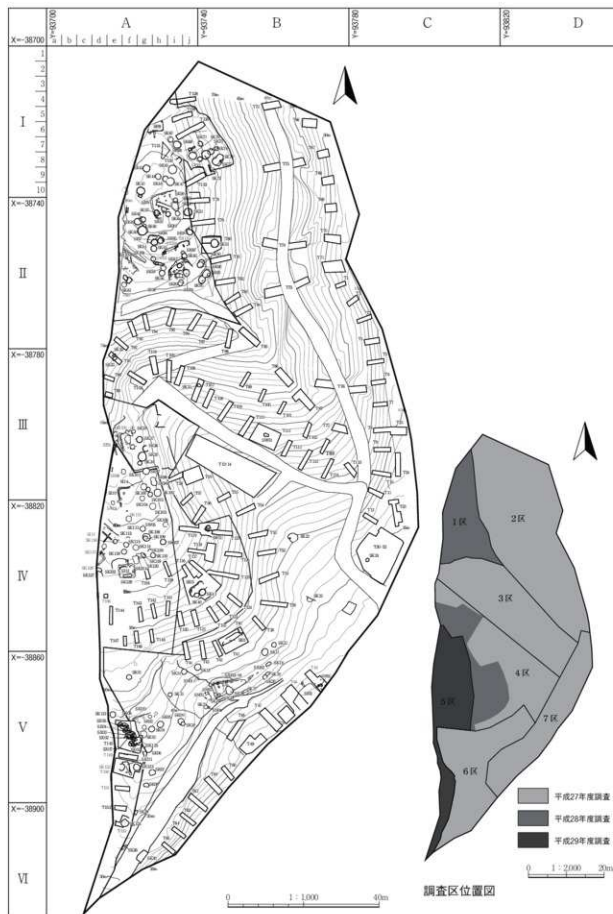
S I：堅穴住居跡、S K I：堅穴状遺構、S X I：鉄生産関連遺構（工房跡）、S K：土坑、S W：炭窯跡、S N：炉跡・焼土遺構。

各年度に調査し、報告する遺構数は、以下のとおりである。欠番もある。

##### 平成27年度調査

- ・堅穴住居跡：S I 01・02（2棟）
- ・鉄生産関連遺構（工房跡）：S X I 01・02・03・04（4棟）
- ・土坑：S K 01・02・03・04・05・06・07・08・09・10・11・12・13・14・15・16・17・18・19・20・21・22・23・24・25・26・27・28・29・30・31・32・33（33基）
- ・炭窯跡：S W 01（1基）
- ・炉跡・焼土遺構：S N 01・02・03・04・05（5基）

##### 平成28年度調査



第7図 遺構配置図 全体図

## 1 調査の方法

- ・ 堅穴住居跡：S I 03・04・05・06・07・08・09（7棟）※S I 04は平成29年度継続調査
- ・ 鉄生産関連遺構（工房跡）：S X I 05・06・07・08・09・10（6棟）
- ・ 土坑：S K 34・35・36・37・38・39・40・41・42・43・44・45・46・47・48・49・50・51・52・53・54・55・56・57・58・59・60（陥し穴）・61・62・63・64・65・66・67・68・69・70・71・72・73・75・76・77・78・79・81・82・83・84・85・86・87・88・89・90・91・92・93・94・95（60基）  
※S K 74・80欠番
- ・ 炭窟跡：S W 02・03（2基）
- ・ 灰跡・焼土遺構：S N 06・07（2基）
- 平成29年度調査
- ・ 堅穴住居跡：S I 10・11・12・13・14（5棟）※S I 04は平成28年度継続調査
- ・ 堅穴状遺構：S K I 01・02（2棟）
- ・ 鉄生産関連遺構（工房跡）：S X I 11（1棟）
- ・ 土坑：S K 96・97・98・99・100・101・102・103・104・105・106・107・108・109・110・111・112・113・114・115・116・117・118・119・120・121・122・123・124・125・126・127・128・129（34基）
- ・ 炭窟跡：S W 04・05（2基）
- ・ その他：家畜埋葬墓壇：S X 01・02・03・04・05・06・07（7基）

第3表 遺構一覧表

AZI-15				AZI-16				AZI-17					
遺構名	担当	遺構名	担当	遺構名	担当	遺構名	担当	遺構名	担当	遺構名	担当		
SI01	菊池	SK18	阿部	SI03	藤原	SK47	阿部	SK73	光井	SI10	野中	SK114	直江
SI02	阿部	SK19	阿部	SI04	光井	SK48	阿部	SK75	光井	SI11	直江	SK115	直江
SX101	阿部	SK20	阿部	SI05	阿部	SK49	阿部	SK76	光井	SI12	阿部	SK116	直江
SX102	阿部	SK21	阿部	SI06	阿部	SK50	阿部	SK77	光井	SI13	阿部	SK117	直江
SX103	阿部	SK22	菊池	SI07	阿部	SK51	阿部	SK78	光井	SI14	野中	SK118	野中
SK104	阿部	SK23	阿部	SI08	阿部	SK52	阿部	SK79	光井	SK101	直江	SK119	野中
SK101	阿部	SK24	菊池	SI09	光井	SK53	阿部	SK81	阿部	SK102	野中	SK120	野中
SK102	阿部	SK25	阿部	SX105	光井	SK54	阿部	SK82	阿部	SX111	阿部	SK121	阿部
SK103	阿部	SK26	菊池	SX106	光井	SK55	阿部	SK83	阿部	SK96	直江	SK122	阿部
SK104	阿部	SK27	阿部	SX107	阿部	SK56	阿部	SK84	阿部	SK97	直江	SK123	阿部
SK105	阿部	SK28	菊池	SX108	阿部	SK57	阿部	SK85	阿部	SK98	直江	SK124	阿部
SK106	阿部	SK29	阿部	SX109	阿部	SK58	阿部	SK86	阿部	SK99	直江	SK125	阿部
SK107	阿部	SK30	菊池	SX110	阿部	SK59	阿部	SK87	阿部	SK100	直江	SK126	野中
SK108	阿部	SK31	阿部	SK34	光井	SK60	阿部	SK88	阿部	SK101	直江	SK127	野中
SK109	阿部	SK32	阿部	SK35	光井	SK61	阿部	SK89	阿部	SK102	野中	SK128	野中
SK110	阿部	SK33	阿部	SK36	光井	SK62	阿部	SK90	阿部	SK103	野中	SK129	阿部
SK111	菊池	SW01	阿部	SK37	光井	SK63	阿部	SK91	阿部	SK104	直江	SW04	阿部
SK112	菊池	SN01	阿部	SK38	光井	SK64	阿部	SK92	阿部	SK105	直江	SW05	直江
SK113	菊池	SN02	阿部	SK39	光井	SK65	阿部	SK93	阿部	SK106	野中	SX01	阿部
SK114	菊池	SN03	阿部	SK40	藤原	SK66	阿部	SK94	阿部	SK107	野中	SX02	阿部
SK115	菊池	SN04	阿部	SK41	藤原	SK67	光井	SK95	阿部	SK108	直江	SX03	阿部
SK116	阿部	SN05	阿部	SK42	阿部	SK68	光井	SW02	藤原	SK109	直江	SK04	阿部
SK117	阿部			SK43	阿部	SK69	光井	SW03	阿部	SK110	野中	SX05	阿部
				SK44	阿部	SK70	光井	SN06	光井	SK111	野中	SX06	阿部
				SK45	阿部	SK71	光井	SN07	光井	SK112	直江	SX07	阿部
				SK46	阿部	SK72	光井			SK113	直江		

### (3) 粗掘と遺構検出

幅約1～2m、長さ約5～10mの試掘溝を地形に応じて任意の場所に入れ、土層の堆積状況、遺構検出面までの深さ、遺構密度等を把握した。急斜面地で遺構・遺物が存在する可能性が低いと判断された区域は試掘調査のみで調査を終了した。それ以外の区域は、試掘結果を受けて重機で表土を除去

し、その後、鋤鎌（ジョレン）・両刃鎌を用いて人力で遺構検出を行った。遺構の検出は、尾根上はⅣ層で検出を行い、斜面部ではⅢ層からⅣ層で検出を行った。谷部・低地部ではⅡ層、Ⅲ層、Ⅳ層と層位順に上位から段階的に検出を行った。

#### （４）精 査

検出された遺構は、半載もしくは土層観察用ベルトを設定し、埋土を観察しながら掘削を行った。精査の各段階で必要図面の作成や写真撮影を行った。遺構内出土遺物は埋土で可能な限り分層して取り上げ、床面出土の遺物は基本的に写真撮影・図面作成後に取り上げた。遺構外出土遺物は、原則としてグリッド毎に出土した層位を記して取り上げ、適宜写真撮影・図面作成を行った。現場での記録作成は、上記の図面・写真以外にField・Cardを使用し、遺構の特徴や精査の進捗状況を記録した。

#### （５）実測・写真撮影

平面図の実測は電子平板システム「遺構くん」（株式会社キュービック製）を用いて光波トランシットによる測量を行った。断面図は水平に設定した水糸を基準にして実測・作図を行った。縮尺は1/20を基本としてマイラー用紙に記録した。

写真撮影は、デジタルカメラ35mm・モノクローム35mm・モノクローム6×7cm判（平成27・28年度）・モノクローム6×4.5cm判（平成29年度）各1台を使用して行った。撮影に際しては、整理時の混乱を避けるために撮影カードを使用した。実際の撮影は各種遺構の断面：埋土堆積状況、平面：完掘状況、遺物の出土状況、調査前風景、作業風景などについて行っている。調査終了時には、セスナ飛行機による航空写真撮影を行っている。

#### （６）土 層 注 記

断面図作成後に土層注記を行った。観察項目は、色調・土性・締まり、混入物などである。基本的には『新版標準土色帳』（2006年版、農林水産省農林水産技術会議事務局・財団法人日本色彩研究所小山正忠、竹原秀雄編・著）をもとに行い、締まりは、密・やや密・中・やや疎・疎の5段階で判断した。個々の遺構の埋土堆積状況は、自然か人為かの判断と埋没している土の起源を把握することを課題とした。層名は調査区内に見られる基本層序をローマ数字（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）、遺構内埋土をアラビア数字（1・2・3）で表した。層位の細分の必要が生じた場合は、小文字のアルファベットを付し、I a・I b…と表した。なお、複数の調査員による記録のため、表記等に若干のばらつきがあるが、誤記を訂正し、最小限の表記の統一を行った以外は、現場での記録をそのまま掲載した。

#### （７）土 壤 水 洗

古代の竈穴住居跡とカマドや焼土遺構においては、動物遺存体・植物遺存体が存在する可能性、古代の鉄生産関連遺構の炉跡では、鍛造剥片が存在する可能性を考慮し、カマドや炉跡の埋土及び焼土を水洗し、微細遺物の採取に務めた。採取した土壌は、水洗い・天日での乾燥・篩（5mm・3mm・1mm）による仕分けを行い、鍛造剥片等の採取においては、必要により磁着作業を行った。この工程を経て得られた遺物には、土器・石器の細片や鉄滓類・砂鉄、動物遺存体・植物遺存体などがある。

#### （８）調 査 経 過

3箇年の各年度の調査経過を記す。

#### 平成27年度調査

野外調査は、4月20日から7月24日、9月7日から10月1日、11月4日から11月26日に行った。調査条件が整わなかったことにより調査は2度中断した。作業実働日数は87日である。作業員の登録人数は当初37人で、一日の平均稼働作業員は24人ほどであった。以下に調査経過を記す。

- ・4月20日（月）：資材搬入、プレハブ内外の環境整備。
- ・5月20日（水）：基準点設置（釜石測量設計株式会社）。
- ・7月14日（火）：航空写真撮影（東邦航空株式会社）。
- ・7月16日（木）：部分終了確認（6,500㎡）。
- ・7月24日（金）：調査中断。
- ・9月7日（月）：調査再開。
- ・10月1日（木）：調査中断。
- ・10月23日（金）：基準点設置（釜石測量設計株式会社）。
- ・11月4日（水）：調査再開。
- ・11月24日（火）：終了確認（4,500㎡）。
- ・11月26日（木）：調査終了。

調査対象面積は15,000㎡であったが、調査区1～3区、5区は土地買収の交渉段階で立木が未伐採の状態であったことから、調査可能な4・6・7区の調査を行った。立木伐採が9月以降となる見通しから、7月16日に調査区4・6・7区の部分終了確認を行い、7月26日に面積6,500㎡の調査を終了した。9月7日から調査を再開し、1・3区の一部と部分終了確認段階で未着手だった4区を調査した。調査進行中に山口胸込I遺跡への調査支援要請によって、10月1日に調査を再び中断した。11月4日から1区の立木伐採のための重機進入路を確保するために進入路と想定された範囲の2・3区の調査を再開した。試掘調査を行い、遺構・遺物が確認されなかった区域は調査を終了した。11月26日に調査が終了し、調査対象面積15,000㎡のうち調査可能面積11,000㎡の調査を終了した。

#### 平成28年度調査

野外調査は、4月7日から7月22日まで行った。作業実働日数は65日である。作業員の登録人数は、当初32人で始まり、一日の平均稼働作業員は30人ほどであった。以下に調査経過を記す。

- ・4月7日（月）：資材搬入、プレハブ内外の環境整備。
- ・5月2日（火）：基準点設置（株式会社スカイ測量設計）。
- ・7月5日（火）：終了確認（2,100㎡）。
- ・7月11日（月）：航空写真撮影（東邦航空株式会社）。
- ・7月22日（金）：調査終了。

調査対象面積は4,000㎡であったが、調査区5区1,900㎡は、立木未伐採の状態であったことから、調査可能な1・4区の調査を行った。4月は、4区の調査と1区の雑物撤去を行った。4区は平成27年度調査時に試掘・表土掘削を行っていたことから、遺構検出作業から行い、確認された遺構の精査を行った。4月下旬に1区の試掘調査を行い、遺構の存在が確認されたことから、重機による表土掘削を行い、その後、5・6月は1区の遺構精査を行った。6月末頃に遺構数が確定し、調査終了の目処がついたことから、7月5日に2,100㎡の終了確認を行い、7月11日に航空写真撮影を行い、7月22日に調査を終了した。終了確認時に5区1,900㎡は、次年度以降の継続調査となることを確認した。

#### 平成29年度調査

野外調査は、4月6日から7月14日まで行った。作業実働日数は64日である。作業員の登録人数は、

当初28人で始まり、一日の平均稼働作業員は25人ほどであった。以下に調査経過を記す。

- ・ 4月6日(木)：資材搬入、プレハブ内外の環境整備。
- ・ 4月25日(月)：基準点設置(株式会社鈴木測量設計)。
- ・ 7月6日(月)：航空写真撮影(東邦航空株式会社)。
- ・ 7月11日(火)：終了確認(1,400㎡)。
- ・ 7月14日(金)：現場撤収。※調査終了日は同年行われた千徳城遺跡群と同日の12月15日。

調査対象区の5区1,900㎡は、冬期間に立木伐採が行われ、調査可能な状態となっていた。平成26・27年度調査区は、平成27年度調査終了後に事業が開始され、平成28年度は、道路工事区域内で発掘調査を行った。また、現地確認の際に土地取用の関係から当初面積より西側の調査範囲500㎡が減少した。平成29年度調査面積は1,400㎡で、3年間通算での総調査面積は14,500㎡となった。

4月は、調査区全体の雑物撤去・試掘を行った。その結果、尾根頂部・尾根東斜面に遺構が確認されたが、遺構が確認できなかった中段の急な南斜面は、試掘で調査を終えた。5月以降、尾根頂部は北側から面的に表土掘削・遺構検出を行い、遺構精査を行った。西斜面は、試掘を行い、遺構が確認された部分を拡張して遺構精査を行った。尾根頂部では、古代の堅穴住居跡と土坑、西斜面では、古代の土坑のほか、獣骨が出土した墓壇を複数基確認した。6月末頃に遺構数が確定し、調査終了の目処がついたことから、調査を終了した1,400㎡について、7月6日に航空写真撮影を行い、7月11日に終了確認を行い、7月14日に調査を終え、撤収した。これにより本事業に係る青猿Ⅰ遺跡の調査のすべてが終了した。3箇年に及ぶ調査の総面積は14,500㎡である。

### (9) 広報活動・概報など

今回の調査では、併行して行われた工事に伴う安全管理等諸事情により現地公開等は行わなかった。調査時に当センターホームページの「遺跡情報」に調査成果を報告したほか、本報告に先立ち、以下に記す報告書において概要を報告している。内容については本報告が優先する。

- ・「平成27年度発掘調査報告書」岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第661集。
- ・「平成28年度発掘調査報告書」岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第676集。
- ・「平成29年度発掘調査報告書」岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第692集。

## 2 整理の方法

野外調査で得られた実測図、写真、遺物などの各種資料は、室内整理の段階で次のように処理し、整理を行い、報告書作成とともに資料化を行った。

### (1) 遺構に関わる記録

実測図は遺構ごとに分類し、点検を行い、必要に応じて第2原因を作成した。電子平板で測量したデータについては、現場で入手した情報Sitファイルをそのまま保存することとし、手作業で作図した図を読み込んで電子データ化し、パソコンを用いてトレース・図版作成を行った。モノクローム35mm、モノクローム6×7cm判フィルム、モノクローム6×4.5cm判フィルムについては現像後、アルバムに保管し、デジタル写真はRAW画像を当センターの写真用HDDに保管した。以上の記録は、センターの内規に従って収納・保存を行った。

## (2) 遺物の整理

遺物は野外及び当センター整理室で水洗した後、出土地点・層位ごとに仕分けを行い、重量計測を行い、登録作業を実施した。その後、土器は、細片は別として、出土地点・層位等を登録した遺物Noを全破片に注記した。その後、遺構ごと、遺構外出土の遺物はグリッドごとに接合・復元作業を行った。遺物の実測図は実大とし、トレースは遺物の状況に応じて実大あるいは縮小して図化した。石質・炭化材・動物遺存体・植物遺存体・放射性炭素年代測定・鉄製品の保存処理、鉄滓類の成分分析など、各種分析は、外部の専門家に委託した。遺物の写真撮影はセンター内の専門技師1名が行った。

## (3) 遺物の選別・図化の基準

遺物の整理・報告にあたって作業・記録作成は以下の方針を進めた。報告書に掲載された遺物は出土した遺物のすべてではなく、整理のなかで設定した基準を基に選別した一部の資料である。以下に選別基準を明示する。また、資料化は図化・写真が全てではない。不掲載資料についても可能な限りの数的処理を行い、出土資料全体の傾向を把握するためのデータとした。

### a 土器・土製品

はじめに仕分け・登録を行い、出土地点別に重量計測を行った。土器の接合と並行して、遺物の選別を進めた。接合した土器は、原則としては計測値(口径・器高・底径)1箇所以上記可能なもの(器形が把握できるもの)を立体土器として登録し、図化した。破片資料は、径5cm以上の口縁部破片を優先的に選択したが、内容により一部胴部破片や小片も選んでいる。以上の資料について、該当する土器の時期・型式名を記録して数的処理を行った。底部破片は、底部圧痕・調整が認められる破片を選別して図化した。土製品は、出土したすべてを対象として、仕分け・登録作業・計測・分類を行い、全点の観察表・図・写真を掲載した。素材による分類から、羽口は土製品として扱った。

### b 石器・石製品

石器は、出土したすべてを対象として、個々に仕分け・登録作業・計測・分類を行い、全点について観察表・図・写真を掲載した。石製品は、出土したすべてを対象として、仕分け・登録作業・計測・分類を行い、全点の観察表・図・写真を掲載した。石器の実測図作成は、株式会社ランクに委託した。

### c 陶磁器

陶磁器は、出土したすべてを対象として、個々に仕分け・登録作業・計測・分類を行い、さらに一部資料、遺構内出土遺物及び19世紀代までの陶磁器について可能な限り図化した。

### d 金属製品

鉄製品は、出土したすべてを対象として、個々に仕分け・登録作業・計測・分類を行い、全点の観察表・図・写真を掲載した。また、金属製品は山梨文化財研究所に委託し、保存処理を行った。

### e 鉄滓類

鉄滓類については、以下の作業工程によって分類作業を行い、分類された遺物のすべてについて観察表を掲載し、出土地点別に代表的な遺物についてのみ写真を掲載した。

外観の観察によって、他の遺物と鉄滓類を分類し、鉄滓類として分けたものは、磁着作業を行い、磁着の有無を確認し、磁着有鉄滓・磁着無鉄滓に大別した。磁着有鉄滓については、さらにメタルチェッカーの反応について確認作業を行い、鉄の含有率について調べ、鉄塊系遺物と鉄滓類に分類した。測定にあたっては、当センターの製鉄関連遺跡(宮古市島田Ⅱ遺跡:第450集など)の整理・報告で使用された機器を使用することとし、強力磁石(タジマツール製ピックアップ)と、メタルチェッカー

(埋蔵文化財用特殊金属探知機(鉄塊系遺物対応調整)／形式:MR-50B(L型))(平成27年度)を使用した。その後、メタルチェッカーの在庫が無くなったことから、KDS MR-50 METAL CHECKER／シンワ測定地下センサーEX(78657)(平成28・29年度)を使用した。

採取した土壌は水洗し、乾燥させた後に篩掛けを行い、各段階(5mm・3mm・1mm)に分けられた資料について、仕分け・磁着作業を行い、粒状滓・鍛造剥片・砂鉄の抽出を行った。

第一段階:外観観察・磁着作業などにより、鉄関連遺物として他の遺物と分類する。

・鉄製品(金属製品として報告)／鍛造剥片(本分類)／鉄滓類(本分類)／羽口(土製品)

第二段階:鉄滓類の磁着の有無とメタル度により分類する。

強力磁石で磁着の有無を確認し、磁着有の鉄滓については、メタルチェッカーによるメタル度の反応による細分を行った。結果として次の4つに大別することができた。分類したすべての資料について、出土地点別に仕分けした後、重量計測を行い、外観観察による所見とともに観察表に掲載した。

・強力磁石により、鉄滓の磁着の有無を確認し、磁着有の鉄滓、磁着無の鉄滓に分ける。

・磁着有の鉄滓について、メタルチェッカーでメタル度の反応を確認する。

・メタルチェッカー大反応 → 鉄塊系遺物／メタルチェッカー中反応 → 鉄滓(鉄含有率強)  
／メタルチェッカー小反応 → 鉄滓(鉄含有率弱)

仕分け・分類された鉄滓類と報告内容は、次の通りである。

・鉄滓類

[化学的分類]

[外観観察による分類]

- |            |                        |
|------------|------------------------|
| ・磁着無の鉄滓    | → 製鉄滓・鍛冶滓(炉底滓・炉内滓・流動滓) |
| ・磁着有の鉄滓    |                        |
| ・鉄塊系遺物     | → 鍛冶滓                  |
| ・鉄滓(鉄含有率強) | → 鍛冶滓(炉底滓・炉内滓・流動滓)     |
| ・鉄滓(鉄含有率弱) | → 鍛冶滓(炉底滓・炉内滓・流動滓)     |
| ・粒状滓       | → 鍛冶滓                  |
| ・鍛造剥片      | → 鍛冶滓                  |

#### f 動物遺存体

貝類・獣骨類がある。現場で取り上げた資料ごとに現地及び室内で乾燥・篩い掛けを行った。その後、重量計測、登録作業を行った。動物遺存体の同定・分析は、全点を外部の専門機関に委託して行い、その結果を掲載した(Ⅶ 分析・鑑定)。代表的な資料のみ写真掲載とした。

#### g 植物遺存体

炭化種実と炭化材がある。取り上げた資料ごとに仕分け、登録作業・計測・分類を行った。炭化種実・炭化材とも観察表・写真掲載とし、樹種名・重量を掲載した。なお、遺構内出土資料を中心に種実同定・放射性炭素年代測定を外部の専門機関に委託して行い、その結果を掲載した(Ⅶ 分析・鑑定)。

### (4) 遺物の掲載番号

遺物の掲載番号(点数)は以下のとおりである。年度毎に整理し、遺物の種別ごとに番号を付けた。異なる遺物の種類ごとに番号を繰り下げて付けている。

#### 平成27年度調査

土器(縄文・弥生):1~6(6)、土師器・須恵器:11~44(34)、土製品:51(1)、石器:61~70(10)、金属製品:71~86(16)、銭貨:91~93(3)、鉄滓類:101~106(6)



#### 平成28年度調査

土師器・須恵器：201～245 (45)、陶磁器：246 (1)、土製品：251・252 (2)、石器：261～270 (10)、金属製品：271～299 (29)、鉄滓類：301～309 (9)、動物遺存体：311～324 (14)、植物遺存体：331～347 (17)

#### 平成29年度調査

土器 (縄文・弥生)：401 (1)、土師器・須恵器：411～431 (21)、陶磁器：441・442 (2)、石器：451～460 (10)、金属製品：461～469 (9)、ガラス製品：471 (1)、鉄滓類：481～489 (9)、動物遺存体：491～499 (9)

### (5) 分析・鑑定

分析・鑑定は、次の内容について、外部機関に委託して行い、報告書等成果を本報告書に掲載した。

- ・石質鑑定：花崗岩研究会 (代表柳沢忠昭) (平成27・28・29年度)。
- ・炭化材樹種鑑定 (肉眼)：阿部利吉氏 (元岩手県木炭協会会員) (平成27・28・29年度)。
- ・放射性炭素年代測定：加速器分析研究所 (平成27・28・29年度)。
- ・動物遺存体同定・分析：バリノ・サーヴェイ株式会社 (平成28・29年度)。
- ・植物遺存体同定・分析：バリノ・サーヴェイ株式会社 (平成28年度)。

### (6) 原稿執筆

原稿執筆の作成者の内訳は、次のとおりである。

I 国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所。II 菊池・白戸・阿部。III 阿部。IV 阿部。V 阿部・光井。VI 阿部・野中・直江。VII 各委託業者に拠る報告書に掲載。VIII 阿部。各章とも阿部以外は、文末に執筆者名を入れた。報告書の編集・校正は阿部が行った。

遺構の事実記載は、現場での各遺構の調査担当者が整理・原稿執筆することを基本としたが、叶わなかった遺構は、図面・写真・フィールド・カード等の記録をもとに阿部が記載した。

なお、土層注記・遺物の取上げ・写真撮影の方法など、調査・記録の方針が十分に統一されなかった部分がある。その理解を助けるため、各遺構の調査担当者を遺構一覧表に明示した (第3表参照)。

### (7) 整理の経過

各年度の遺物の水洗・計量・注記・接合・実測・写真撮影・遺構図作成の記録の整理は、各年度で行い、最終年度に各年度の記録をまとめ、図版作成・原稿執筆・割付・編集作業などを行った。

#### 平成27年度

室内整理の期間：平成27年11月2日～平成28年3月31日。作業員数：2名。

#### 平成28年度

室内整理の期間：平成28年11月1日～平成29年3月31日。作業員数：3名。

#### 平成29年度

室内整理の期間：平成29年11月1日～平成30年3月30日。作業員：2名。

#### 平成30年度

室内整理の期間：平成30年9月1日～平成30年12月28日。作業員：1名。

## Ⅳ 平成27年度調査

### 1 検出遺構

#### (1) 検出遺構の概要

古代の竪穴住居跡2棟、工房跡4棟、土坑33基、炭窯跡1基、焼土遺構5基を検出した(第8・9・10図)。遺構は、尾根上の平坦面から南東側の緩斜面にかけて分布する。遺構内出土遺物は、土師器・須恵器、鉄製品など古代に属するものが主体である。以下、種別毎に報告する。

#### (2) 竪穴住居跡

調査区6・7区。南北を埋没沢に挟まれた北西-南東方向に延びる尾根上で古代の竪穴住居跡2棟を確認した。以下に個別に詳述する。計測値などは、第4表 竪穴住居跡観察表を参照されたい。

#### S101竪穴住居跡

遺構(第12図、写真図版4)

[位置・検出状況] 4区、ⅣB9c・10b・10cグリッド。トレンチ41の調査時に直角礫を方形基調に組んだ石囲炉を確認した。竪穴住居跡に伴うものと想定し、試掘溝を拡張して調査を行った。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 東側の斜面下位は削平されており、正確な規模・形状は不明である。残存する部分で、一辺6.04m、残存する壁は直線的で、平面形は方形基調と推測される。

[埋土・堆積状況] マサ土粒を含む明黄褐色土主体で構成される。自然堆積と思われる。

[壁・床面] 壁・床はⅣ層を掘り込んでつくられている。残存している西壁は、ほぼ垂直に立ち上がる。壁高は0.96mである。床面はほぼ平坦である。貼り床は施されていない。

[柱穴・配置] 検出されなかった。

[炉] 石囲炉1基を確認した。住居跡西壁側に位置する。炉石は大小6個の礫が方形基調に配置される。この炉石は床面と想定した部分より10cmほど高い位置につくられている。石囲部の内外に微量の焼土粒が確認されたので、石囲炉の痕跡と判断した。

[その他の付属施設] なし。

遺物(第32図、写真図版23)

[出土状況] 埋土から土師器315.2gが出土している。

[土器] 土師器(11)。

時期 出土遺物から古代(平安時代)と推定される。

#### S102竪穴住居跡

遺構(第13・14・15図、写真図版5・6)

[位置・検出状況] 7区の中央付近、ⅤB3g・3h・4g・4hグリッド。南東側は調査区外にかかる。Ⅱ層を掘り下げている途中で焼土の広がりを確認し、焼失した竪穴住居跡として調査した。

[重複関係] 北東側でS N02焼土遺構がS102竪穴住居跡の旧カマドの煙道(煙出)を覆っていた。

そのため S I 02 竪穴住居跡 (旧) → S N 02 焼土遺構 (新) の関係と判断した。

[規模・平面形] 南東側は調査区域外である。同地点は、旧水田造成の際に削平されたと判断した。規模は、計測できる北東-南西方向で7.0m。北西-南東方向でも4.0mほど残存している。平面形は方形基調である。竪穴住居跡は北東-南西方向の等高線に沿って壁が設定されているようである。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土が主体である。3層の焼土層と4層の炭化物層は、竪穴住居跡が火災にあった際の痕跡で、焼土は斜面上方の北壁際に沿って厚く堆積している状況が確認できた。

[壁・床面] 壁はやや傾斜して立ち上がる。壁高は、もっとも残存する北西壁で約0.85m立ち上がる。床面はほぼ平坦で、貼床(7層)が施されている。北西側には壁溝が廻る。この溝跡は新カマドに切られており、旧カマド使用時の竪穴住居跡に伴う壁溝の可能性がある。

[柱穴・配置] PP 1~13を確認した。住居全体を確認できていないが、PP 6・11、PP 8・9の組み合わせが考えられる。カマドのつくり替えに伴い、柱も建て替えがあった可能性がある。なお、旧カマドの煙道を囲む方形形状に確認されたPP 1・2・3・4は、竪穴住居跡から張り出す煙道部分の覆屋に係わる小規模な柱穴とも推測される。

[カマド] 2箇所を確認した。北東壁の旧カマド、北西壁の新カマドである。旧カマドは燃焼部の脇に1個礫があった以外にカマドの痕跡は確認できず、燃焼部と煙道部のみ確認した。燃焼部は径50×45cm、焼土の厚さは4cm。煙道は径25cm、長さ1.2mのトンネル状に削り貫かれていた。新カマドは、袖と天井を構成する石組が残されており、天井は径30×60cmほどの亜角礫2個を芯材とする。燃焼部は径25cmの円形で、焼土の厚さ4cmである。煙道は径20~30cmのトンネル状に削り貫かれていた。この煙道の南側にカマド付近から1.2mほど延びる深さ25cmの別の掘り方を確認している。煙道をつくろうとして途中で止めた痕跡であろうか。埋土の締まりは弱く、新カマドの煙道部分と異なる。

[その他の付属施設] なし。

遺物 (第32・33・35・36・37・38・40 (集成) 図、写真図版23・24・25・26・27・28)

[出土状況] カマドの周辺から多く出土している。土器No 1~4を取り上げた。土器No 1 (12) は旧カマドから、土器No 3・4は新カマド焼土の下位から、土器No 2 (18) は壁際付近からの出土である。また、炭化材No 1~26を取り上げた。出土した遺物は土師器7790.65g、須恵器28.80gの他、縄文土器34.05g、弥生土器6.53g、羽口530.50g、石器、金属製品、鉄滓類(1255.10g)、炭化材61.64gなどが出土している。

[土器] 弥生土器 (1・2)、土師器 (12~22)、須恵器 (23)。

[土製品] 羽口 (51)。

[石器・石製品] 石匙 (62)、敲磨器類 (磨石64・擦石66)、砥石 (69)、穿孔礫 (70)。

[金属製品] 紡錘車 (73)、刀子 (75・76・77)。

[鉄滓類] 流動滓 (101・102)。

[炭化材] 肉眼樹種鑑定でクリ・ケヤキ・ナラと判定された。1点について放射性炭素年代測定を行った。

時期 出土した炭化材の放射性炭素年代測定を行い、<sup>14</sup>C年代1.100±20yrBP、暦年較正年代898~979cal ADとの結果を得た(Ⅶ分析・鑑定)。出土遺物と併せて考えると、平安時代(10世紀)と推定される。

### (3) 工 房 跡

4棟確認した。竪穴状に掘り込み、壁際に柱穴や壁溝、内部に炉跡を持つ構造である。鉄生産を示唆する明瞭な痕跡を確認できていないが、規模・形状と他遺跡の調査事例から工房跡と判断して調査

を行った。計測値などは、第 5 表 工房跡観察表を参照されたい。

### SX101 工房跡

#### 遺構 (第16図、写真図版 7)

[位置・検出状況] 6区、VA5f・VA5g グリッド。表土除去後のIV層での検出である。削平されているため、壁・床面など一部の検出にとどまった。

[重複関係] SK16土坑と重複する。新旧関係は不明である。

[規模・平面形] 南東側の斜面下は失われている。規模は、残存部で7.0×2.0mを測る。平面形は不明だが、地形の等高線に沿った北東-南西方向に長軸を持つ堅穴状の遺構と推測される。

[埋土・堆積状況] マサ土起源のにぶい黄褐色土が主体である。

[壁・床面] 北西側で壁の一部が残るが、詳しい状況は不明である。床面は平坦でIV層を掘り込んでつくられていた。比較的残存状況の良かった北西側でのみ壁溝が確認された。

[柱穴] 6個確認した。大きさにばらつきがある。大型で掘り込みの浅いPP1・2、小型のPP3・4は対の組み合わせが想定される。PP1・2のほぼ中間に地床炉が位置し、堅穴の両端に柱穴が設けられたものと推測される。PP3・4が支柱を構成し、PP1・2が堅穴内の土坑の可能性もある。

[炉跡] 地床炉1基を確認した。一辺50cmほどの方形基調である。攪乱を受けていて、表面に凹凸がある。焼土はにぶい黄橙色で、厚さは3cmほどである。

[その他の付属施設] なし。

#### 遺物 (第32・34・40 (集成) 図、写真図版23・24・28)

[出土状況] 埋土から縄文土器11.40g、弥生土器50.17g、土師器1739.8g、須恵器113.5g、鉄滓類408.2gが出土している。

[土器] 弥生土器 (3)、土師器 (24~26)、須恵器 (27)。

[鉄滓類] 流動滓 (103)。

時期 出土遺物から古代 (平安時代) と推定される。

### SX102 工房跡

#### 遺構 (第17図、写真図版 8)

[位置・検出状況] 6区、VB1e・2d・2e グリッド。表土除去後のIV層での検出である。削平されているため、堅穴状の壁・柱穴など一部の検出にとどまった。

[重複関係] SK18土坑と重複する。SK18土坑が新しい可能性がある。

[規模・平面形] 南東側の斜面下は失われている。規模は、残存部から、長軸方向が6.0m以上と推測される。平面形は不明だが、地形の等高線に沿った北東-南西方向に長軸を持つ遺構と推測される。

[埋土・堆積状況] マサ土起源のにぶい黄褐色土が主体である。

[壁・床面] 南西端で壁の一部が確認されたが、壁の詳しい状態は不明である。床面はIV層を掘り込んでつくられていたと推測されるが、詳細は不明である。

[柱穴] 4個確認した。直線状に並び、壁際に設けられたものと推測されるが、詳細は不明である。

[炉跡] 確認できなかった。不明である。

[その他の付属施設] なし。

#### 遺物 (第39図、写真図版27)

[出土状況] 金属製品が出土した。

[金属製品] 鉄鍋 (84) の破片が。

時期 出土遺物から古代 (平安時代) と推定される。

### SX I 03工房跡

遺構 (第18図、写真図版9・10)

[位置・検出状況] 6区、VB2a・2b・2c・3a・3b・3cグリッド。表土除去後のIV層で検出した。削平されているため、壁・床面など一部の検出にとどまった。検出段階では1棟の工房跡と考え精査を進めたが、その後、精査を進めながら2棟が重複していると判断した。

[重複関係] 貼床の下位にあるSX I 04工房跡・SK29土坑を切っている。

[規模・平面形] 規模は、残存部で6.0×4.5mを測る。平面形は方形基調と思われるが、詳細は不明である。地形の等高線に沿った北東-南西方向に長軸を持つ竪穴状の遺構と推測される。

[埋土・堆積状況] マサ土起源のいぶい黄褐色土・暗褐色土が主体である。自然堆積のようである。

[壁・床面] 壁は外傾して立ち上がる。もともと残りの良い北壁で壁高は1.15mである。壁・床面はIII層を掘り込み、SX I 04工房跡の埋土上に貼床を施し、SX I 03工房跡の床面をつくっている。

[柱穴] 6個確認した。壁際に5個を確認した。PP1と対となる柱穴は確認できなかった。

[炉跡] 地床炉2基を確認した。1号炉跡は径70×65cm、焼土の厚さ6cm、2号炉跡は径55×45cm、焼土の厚さ4cmである。焼土の色調は、いずれも明赤褐色土である。2基の炉は貼床上に形成されている。

[その他の付属施設] なし。

遺物 (第34・40 (集成) 図、写真図版24)

[出土状況] SX I 03として取り上げたものに、土師器583.9g、須恵器309.9g、鉄滓類10.5gがある。SX I 03・04として取り上げたものに土師器221.5g、須恵器186.6g、鉄滓類150.80gがある。

[土器] 土師器 (28・29)。

時期 出土遺物から古代 (平安時代) と推定される。

### SX I 04工房跡

遺構 (第19・20図、写真図版11)

[位置・検出状況] 6区、VB2c・2d・3a・3b・3c・3dグリッド。SX I 03工房跡の下位からの検出である。検出面はIV層である。斜面下位の南東側は消失している。SX I 04工房跡は、SX I 03工房跡の貼床除去後に、その下位にある平坦面・壁溝の一部を確認し、工房跡の存在として認識した。

[重複関係] SX I 03工房跡に切られている。SX I 03工房跡は、SX I 04工房跡の埋没した後に貼床を施し、つくられている。ほかにSK25・29土坑と重複する。

[規模・平面形] 南側の斜面下は失われている。規模は、残存部で9.0×4.0mを測る。平面形は隅丸長方形と推測され、地形の等高線に沿った北東-南西方向に長軸を持つ竪穴状の遺構と推測される。

[埋土・堆積状況] マサ土起源のいぶい黄褐色土が主体である。

[壁・床面] 壁は外傾して立ち上がる。もともと残りの良い北壁で0.9mである。壁・床面はIV層を掘り込んで、平坦面をつくっている。北壁側に壁溝が廻る。深さは10cmほどである。

[柱穴] 17個を確認した。そのうち規則的に並ぶ、PP1・2・3・4・5・6・7が主柱を構成すると推測される。PP1と対になる柱穴は南側では確認できなかった。消失したものと推測した。

[炉跡] 確認できず、不明である。S K 29土坑があった堅穴の中央付近に炉があったとすれば、S K 29土坑が、S X I 04工房跡より新しかった可能性がある。

[その他の付属施設] なし。

**遺物** (第34・38・40(集成)図、写真図版24・27・28)

[出土状況] 埋土から弥生土器7.21g、土師器140.3g、須恵器7.8g、金属製品、鉄滓類が出土した。S X I 03工房跡と接合した遺物を掲載した。S X I 03工房跡との時期差は、それほどないと思われる。

[土器] 須恵器 (30)。

[金属製品] 鉄鏃 (71)。

[鉄滓類] 炉内滓 (104・105)。

**時期** 出土遺物から古代(平安時代)と推定される。埋土13層の炭化材の放射性炭素年代測定を行った。<sup>14</sup>C年代1050±50yrBP、暦年較正年代987～1016calADの測定値が出ている(Ⅶ 分析・鑑定)。

#### (4) 土 坑

33基の土坑を確認した。個々の土坑の形状・計測値などは、第6表 土坑類観察表を参照されたい。以下、各土坑の特徴的な部分について調査所見を記す。

#### S K 01～33土坑

**遺構** (第21～28図、写真図版12～20)

S K 01土坑は、生文課試掘の際に確認された土坑である。6区南端の南斜面、V A・V B区でまとも土坑が確認された。両地点は埋没沢を挟んで北側と南側に分かれるが、おおむね北西から南東方向の緩斜面である。同地点で確認されたS K 02～10土坑の規模は、この区域全体が割平されており、小さい。最大の深さを持つS K 03土坑は深さ113cmである。平面形は円形で、断面形がフラスコ状やピーカー状を呈し、底部は平坦である。底面に副穴や溝跡は確認されていない。多くの土坑はⅢ・Ⅳ層を起源とする土で埋まっており、自然堆積と推測される。出土遺物は、S K 02土坑・S K 04土坑から鉄製品が出土したほか、土師器片・鉄滓類も出土している。時期は、古代の土坑と推測される。

S K 22・23土坑は、4区(ⅣBグリッド)の谷部のⅡ層で確認された。ともに黒色土の埋土中に焼土が確認された。時期・性格などは不明である。S K 30土坑は、崖で落ち込む東側が消失していると判断した。方形基調で規模も大きく、内部から柱穴を確認していることから、堅穴状遺構の可能性もある。

**遺物** (第34・36・37・38・39図、写真図版24・25・26・27・28)

各土坑からの出土した遺物の内容・量などは、表を参照されたい。土師器・石器・金属製品・鉄滓類などが出土しており、縄文・弥生土器より出土量が多い。掲載した遺物は次のとおりである。

[出土状況] S K 02埋土下位から鉄製品No. 1 (78、刀子)が出土している。S K 04南半埋土下位から鉄製品No. 1 (74、紡錘車)が出土している。

[土器] 土師器 (31/S K 04、32/S K 04・05、34/S K 16、35/S K 17)、須恵器 (33/S K 05)。

[石器] 石鏃 (61/S K 05)、台石 (68/S K 29)。

[金属製品] 青銅製品 (86/S K 01)、刀子 (78/S K 02)、紡錘車 (74/S K 04)、鉤 (82/S K 30)。

[鉄滓類] 炉底滓 (106/S K 29)

**時期** S K 01土坑出土の炭化材の放射性炭素年代測定を行った。<sup>14</sup>C年代1050±20yrBP、暦年較正年代898～978calADの測定値が出ている(Ⅶ 分析・鑑定)。これらの土坑群の時期は、古代(平安時代:10世紀)に属するものと推定される。

### (5) 炭 窯 跡

炭窯跡を1基確認した。埋土の最下層に炭化物の堆積を確認し、床面に被熱して赤変した部分を確認したことから炭窯跡と判断した。計測値などは、第7表 炭窯跡観察表を参照されたい。

#### SW01炭窯跡

遺構 (第28図、写真図版20)

[位置・検出状況] 3区、ⅢB6eグリッド。試掘調査(トレンチ111)で、IV層で炭化材の広がりを確認し、範囲を拡張して調査した。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 規模は、開口部径138×71(残存部)cm、底部径124×56(残存部)cm、平面形は、楕円形と推測される。

[埋土・堆積状況] マサ土起源のふい黄褐色土を主体とし、底面直上に炭化物層が形成されている。

[壁・底面] 壁は外傾して立ち上がる。底面はほぼ平坦で、IV層を掘り込んでいる。深さ40cmである。斜面上方の床面が部分的に被熱し、焼土が形成された箇所が点在していた。

[その他の付属施設] なし。

#### 遺物

[出土状況] 炭化材34.50gが出土している。

時期 時期は古代と推定される。

### (6) 炉跡・焼土遺構

5基検出した。6・7区で検出した。焼土遺構の周囲で、柱穴や壁など住居跡としての痕跡を確認できていないため、単独遺構の焼土遺構として報告するが、住居跡に伴う炉跡やカマドなどの可能性をもつものもある。個々の焼土遺構の計測値などは、第8表 炉跡・焼土遺構観察表を参照されたい。以下、各遺構の特徴的な部分について調査所見を記す。

#### SN01～05焼土遺構

遺構 (第29～31図、写真図版21・22)

SN01焼土遺構は、6区、VA2j・VB2aグリッドに位置する。埋没沢上面の黒褐色土層で検出した。焼土の周囲に礫・黄色の粘土層の広がりを確認したことから、堅穴住居跡のカマドの可能性を考えて周辺を調査したが、その痕跡は確認できなかった。規模は、46×31cm、平面形は不整形である。焼土の厚さは8cm、色調は明赤褐色である。出土遺物はないが、北東側では金属製品(79)が出土している。SN01焼土遺構に伴うものかは不明だが、確認面は同じである。

SN02焼土遺構は、7区、VB3iグリッドに位置する。SI02堅穴住居跡の北東側の旧カマドの煙道(煙出)を覆った状態で確認した。よって、SI02堅穴住居跡の旧カマド使用時より新しいと判断した。規模は、115×63cm、平面形は不整形である。焼土は厚さ7cmで、色調はやや汚れた感じの暗赤褐色である。焼土上面から鉄鍋片(85)が出土した。

SN03焼土遺構は、6区、VB3aグリッドに位置する。6区埋没沢の黒褐色土層で検出した焼土の上に須恵器片、周囲には炭化材や粘土範囲を確認した。堅穴住居跡のカマドの痕跡として明確に確認することができなかったが、その可能性はある。規模は、45×29cm、焼土の厚さは7cmで、色調は

明赤褐色である。その他の付属施設は確認できていない。焼土中から須恵器の長頸瓶の上部片No.1(41)が正立で出土している。

S N04焼土遺構・05焼土遺構は、ともに6区、5B4aグリッド付近。埋没沢の黒褐色土中で検出した。S N04焼土遺構は、規模は、139×82cm、焼土の厚さは7cm、色調はにぶい赤褐色土である。

S N05焼土遺構は、規模は残存する箇所、67×21cm、厚さ2cm、色調はにぶい赤褐色土である。平面形はいずれも不整形な形状である。S N04・05焼土遺構とも、4m四方の比較的狭い範囲でまとまって確認されたが、各焼土遺構の検出面には高低差があり、同時存在ではないと推測する。

遺物（第34・35・38・39・40（集成）図・写真図版25・27・28）

[出土状況] 土師器・須恵器・金属製品などが出土している。土師器687.90g、須恵器269.60gが出土した。S N03焼土遺構出土の土師器（40）と須恵器（41）は、S X I 01出土遺物とそれぞれ接合している。

[土器] 土師器（36/S N02）、土師器（37～40/S N03）、須恵器（41/S N03）。

[金属製品] 刀子（79/S N01）、斧？（72/S N02）、鍋？（85/S N02）。

時期 検出状況や出土遺物などから、古代と推定される。

## （7）その他

谷（埋没沢）は2箇所を確認された。それぞれの調査状況について所見を記す。

### 埋没沢1

調査区はほぼ中央、3・4区の境界に位置し、1区と4区の尾根に挟まれた部分で北西-南東方向に走る。調査区内で確認された比高は約30mである。調査開始前の現況が谷地形であったことから埋没沢の存在が予想された。傾斜の急な谷部の上位では試掘調査を行い、傾斜が比較的緩い下位では試掘調査後に面的に掘り下げて、Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ層面で遺構確認を行った。Ⅱ層中でS K 23・24土坑以外に遺構は確認されなかった。埋没沢からの出土遺物は尾根上からの流れ込みと判断した。

### 埋没沢2（第31図、写真図版2）

調査区南側、4・5区から6・7区を通って北西-南東方向に走る。調査区内で確認された比高は約10mである。Ⅲ・Ⅳ層を掘り込み、開口部の幅は長短の差がある。6区の埋没沢中で土坑（S K 14・15・21・27）と焼土遺構（S N01・03・04・05）を確認した。いずれもⅡ層での遺構確認である。これらの遺構の時期は古代と推定され、埋没沢は古代以前に埋没したものと推定された。数箇所を試掘調査を行い、Ⅲ～Ⅳ層まで掘り下げたが、遺構は確認できなかった。遺物は、土師器614.0gが出土している。





第 6 表 土坑観察表 (2)

(単位) : 保存係

遺構名 (区画)	位置 (オウリット)	検出経	断面	平面形状	規模 (cm)		断面形	埋土状態状況 (上土→下土) (人倉、自然)	遺構関係 (注→前)	付属	時期	備考	図面別 写真別	
					開口部	深さ								
SK09	6 V A51・5	IV層	円形?	円形?	100 × 167	160 × 168	27	自然	SK10 → SK09	無	古代		23	14
SK10	6 V A51・5	IV層	円形	円形	111 × 103	103 × 99	33	に白い黄褐色	SK10 → SK09	無	古代		23	14
SK11	6 V B09・V B14	IV層	円形	円形	197 × 174	182 × 158	49	に白い黄褐色・黒褐色	SK10 → SK09	無	古代		23	14
SK12	6 V B09・104	IV層	円形?	円形?	120 × 122	109 × 99	31	黒褐色	無	無	古代		23	15
SK13	6 V A11・21 V B14・2a	IV層	円形	円形	177 × 173	148 × 142	75	黒褐色・赤色・黒褐色	無	無	古代		23	15
SK14	6 V A23・2	II層	円形	円形	146 × 145	135 × 100	85	黄褐色・黒褐色	無	無	古代		24	15
SK15	6 V A33	II層	円形	円形	122 × 112	99 × 86	18	に白い黄褐色	無	無	古代?	埋土層があるが、由土層階が薄く、 積層品が出土している土境と状況が異なる	24	15
SK16	6 V A54	IV層	円形	円形	99 × 86	107 × 107	68	黒褐色・に白い黄褐色	SK03と重複	無	古代		24	16
SK17	6 V B54	IV層	円形?	円形?	156 × 160	142 × 153	48	黒褐色・赤色	無	無	古代		24	16
SK18	6 V B14	IV層	溝と方形?	溝と方形?	160 × 70	138 × 60	55	黒褐色・に白い黄褐色	無	無	古代		25	16
SK19	6 V B24	IV層	円形?	円形?	(155) × 180	(135) × 90	52	黒褐色	SK20 → SK19	無	古代		25	16・17
SK20	6 V B24	IV層	円形?	円形?	123 × 95	115 × 97	79	黒褐色	SK20 → SK19	無	古代		25	16・17
SK21	6 V B44	II層	円形	円形	107 × 100	121 × 118	97	黒褐色・黒褐色	無	無	古代		25	17
SK22	4 V B70	II層	円形?	円形?	143 × 101	130 × 93	35	黒褐色・赤色・黒褐色	無	無	古代?	断面により北側面は、埋土上で地上層が形成 されていた。検出品、埋土から土師器出土	25	17
SK23	4 V B24	II層	円形?	円形?	241 × 238	220 × 226	43	明褐色・赤色 人倉?	無	無	古代?		26	18
SK24	7 V C16・15b	IV層	円形	矩形	100 × 82	75 × 64	21	赤色	無	不明			26	18
SK25	6 V B24	IV層	溝と方形	溝と方形	90 × 89	72 × 65	6	赤色	SK25 → SK03 M	不明			26	18
SK26	6 V A31・4f	IV層	円形?	円形?	(130) × 50	(174) × 145	81	に白い黄褐色・黒褐色・に白い黄褐色	無	無	古代		26	18
SK27	6 V B24・4a	II層	溝と方形?	溝と方形?	162 × 110	117 × 90	31	黒褐色・赤色・黒褐色	無	無	古代		27	19
SK28	6 V A11・14	IV層	円形?	円形?	120 × 70	119 × 68	71	に白い黄褐色・赤色	無	無	古代		27	19
SK29	6 V B24・3a	IV層	円形	円形	201 × 191	191 × 191	112	灰黄褐色・に白い黄褐色・黒褐色	SK29 → SK03 M	無	古代	断面により東側面は、 埋土品が出土した土境と状況が類似している	27	19
SK30	6 V A14	IV層	方形?	方形	201 × 170	281 × 160	50	赤色・黒褐色・黒褐色	無	特欠	古代?	断面?	28	19

第6表 土坑観察表(3)

遺構名	区域	位置 (グリッド)	検出層	底層	平面形状	開口部		縦横 (cm)		断面形状	断面形状 図	土質状況 (上段→下段) (人込・自然)	土質状況 (注1→注)	付属施設	時期	備考	H26/36 写真No.
						開口部	底層	開口部	底層								
SK31	3	Ⅱ B3a	Ⅱ層	Ⅱ層	不整形円形	107 × 82	92 × 43	40	40	楕形	無	にぶい黄褐色	無	不明		28	20
SK32	4	Ⅱ A1e	Ⅱ層	Ⅱ層	円形?	106 × (45)	103 × (41)	24	フラスコ?	フラスコ?	無	にぶい黄褐色・黄褐色	無	古代?		28	20
SK33	4	Ⅱ A1e	Ⅱ層	Ⅱ層	楕円形	138 × 86	(118) × 68	33	フラスコ?	フラスコ?	無	黄褐色・にぶい黄褐色	無	古代?		28	20

(数値): 残存値

第7表 灰窯観察表

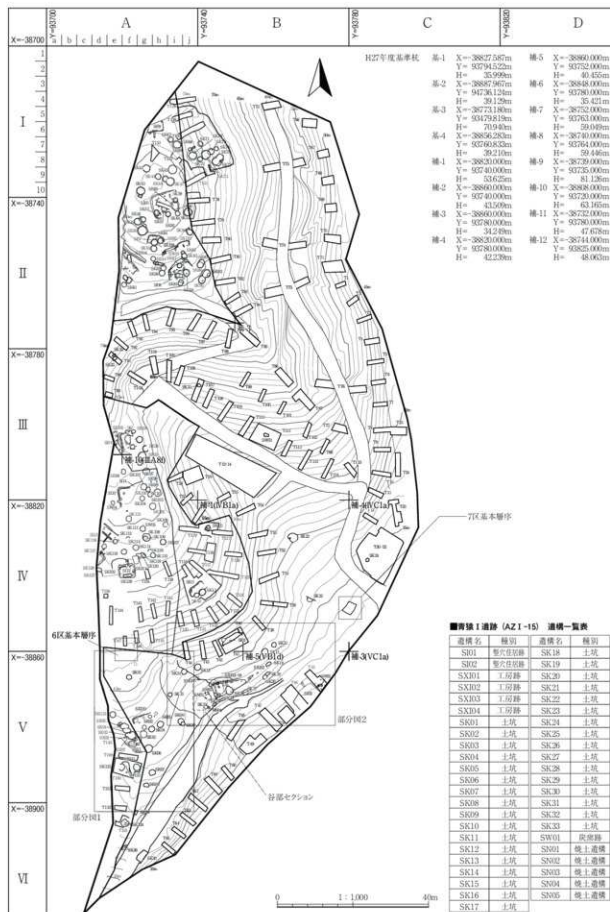
遺構名	区域	位置 (グリッド)	検出層	底層	平面形状	縦横 (cm)		断面形状	断面形状 図	土質状況 (上段→下段) (人込・自然)	土質状況 (注1→注)	重畳関係	時期	備考	H26/36 写真No.	
						開口部	底層									開口部
SW01	3	Ⅱ D6	Ⅱ層	Ⅱ層	円形?	138 × (71)	124 × (56)	40	楕形	無	にぶい黄褐色・黄褐色	無	古代?		28	20

(数値): 残存値

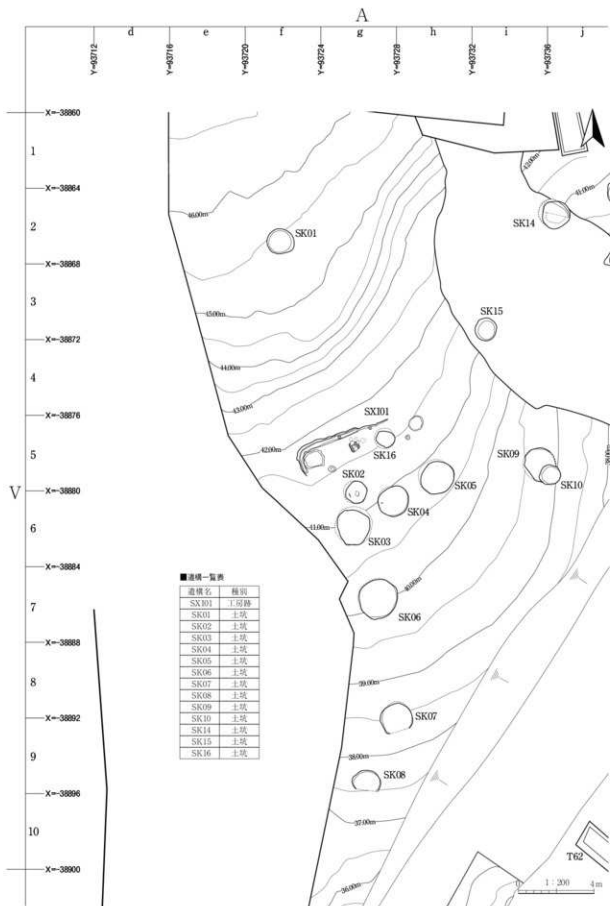
第8表 炉跡・粘土遺構観察表

遺構名	区域	位置 (グリッド)	検出層	底層	平面形状	形状	縦横 (cm)		土質	土質状況	時期	備考	H26/36 写真No.	
							平面	厚さ						
SW01	6	V A2j, V B3a	Ⅱ層	Ⅱ層	地盤中	楕円形	68 × 31	8	明赤褐色	明赤褐色	古代	型穴仕様のカマド? 黄褐色粘土	29	21
SW02	7	V B3	Ⅱ層	Ⅱ層	焼土	楕円形	115 × 63	7	明赤褐色	明赤褐色	古代	型穴仕様のカマド?	29	21
SW03	6	V B3a	Ⅱ層	Ⅱ層	焼土	楕円形	65 × 29	7	明赤褐色	明赤褐色	古代	型穴仕様のカマド? 黄褐色粘土	30	21・22
SW04	6	V B4a・4b	Ⅱ層	Ⅱ層	焼土	楕円形	120 × 82	7	明赤褐色	明赤褐色	古代	型穴仕様のカマド?	30	22
SW05	6	V B4a	Ⅱ層	Ⅱ層	焼土	楕円形	(67) × 21	2	明赤褐色	にぶい赤褐色	古代	型穴仕様のカマド?	31	22

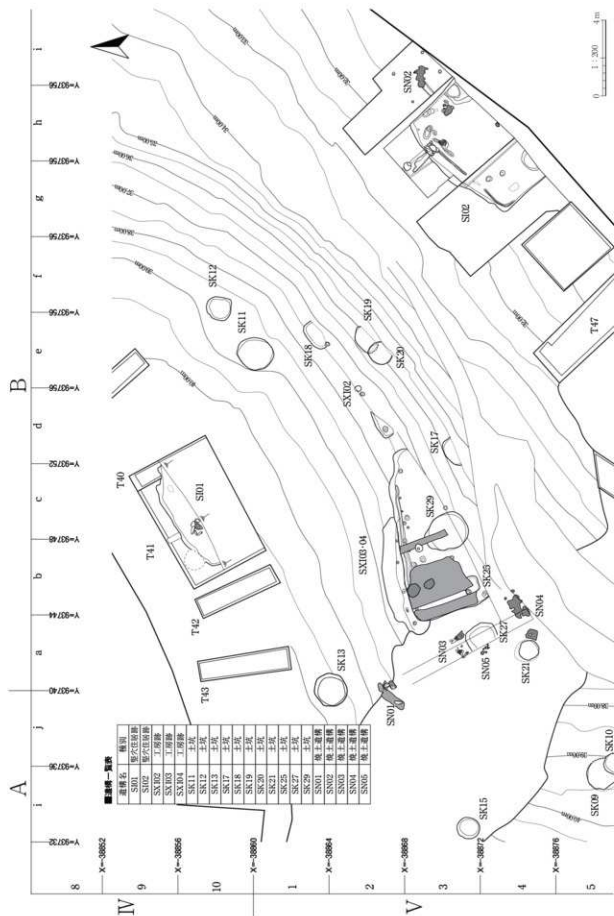
(数値): 残存値



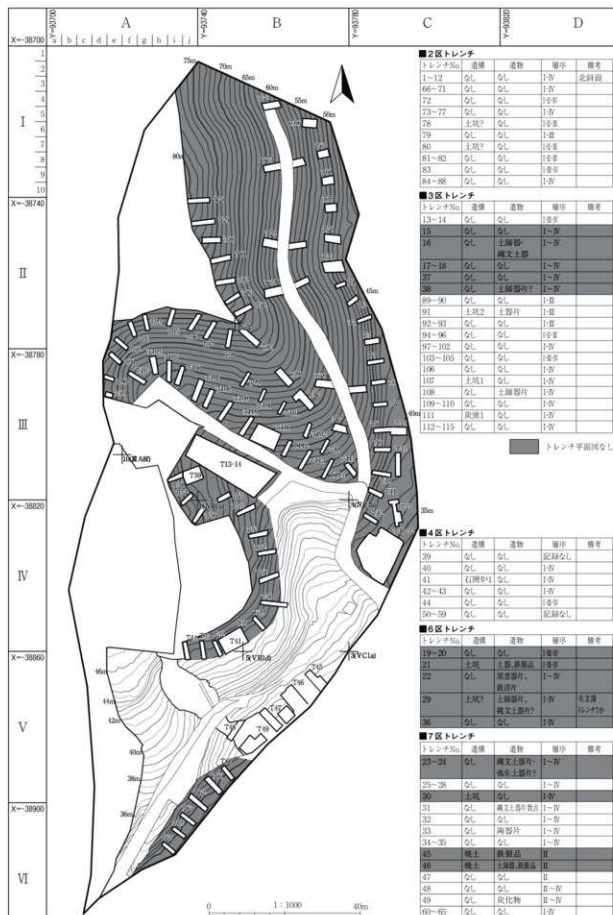
第8図 遺構配置図 平成27年度調査 全体図



第9図 遺構配置図 平成27年度調査 部分図1

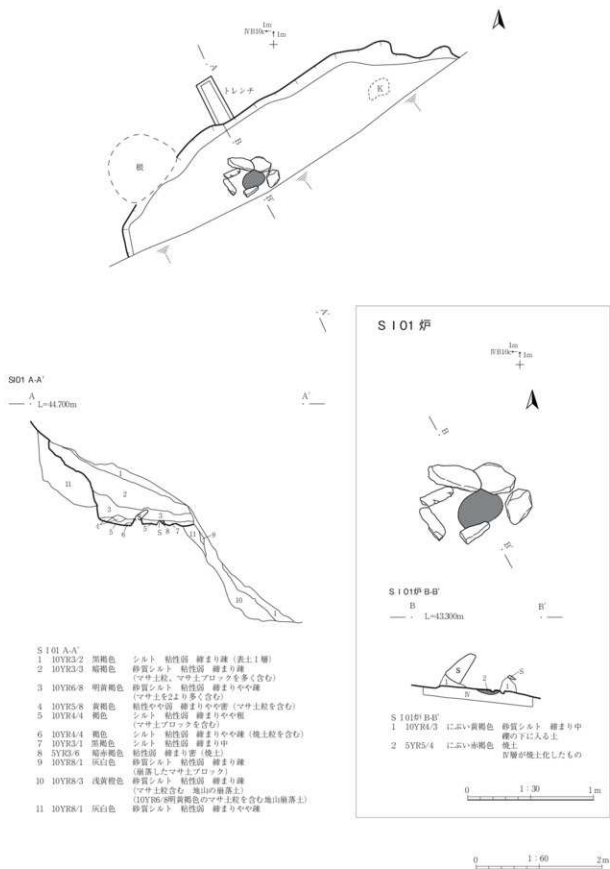


第10図 遺構配置図 平成27年度調査 部分図2



第11図 トレンチ位置図

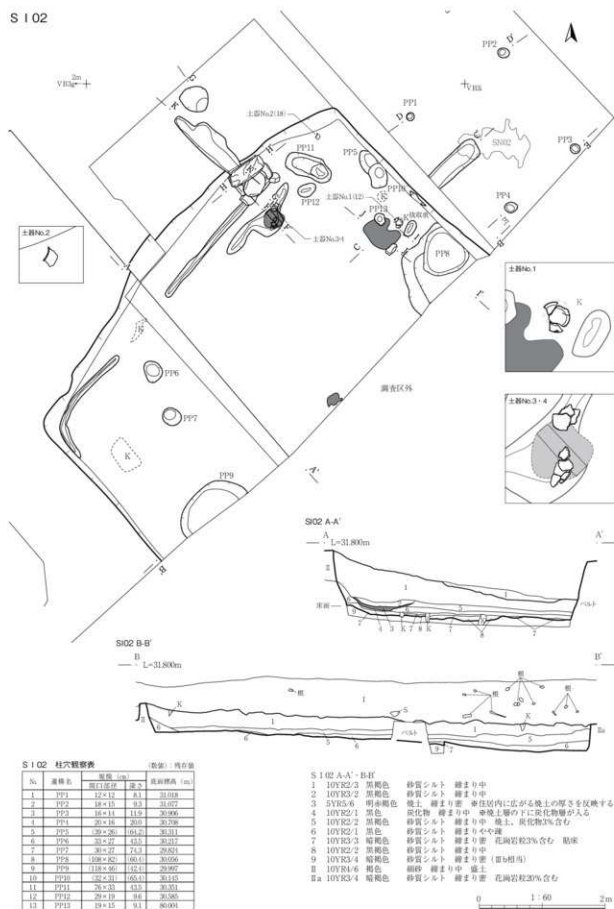
S 101



第12図 S 101 壁穴住居跡



S 102



第13図 S 102 (1/3) 竪穴住居跡

S 102 PP1・2 D-D'



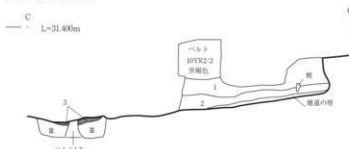
- S 102 PP1・PP2 D-D'
- 1 10YR2/3 黒褐色 砂質シルト 練まり礫 花崗岩粒1%含む

S 102 PP3・4 E-E'



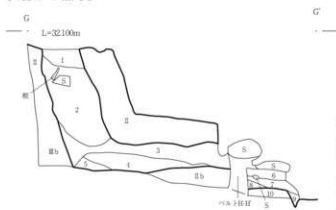
- S 102 PP3・PP4 E-E'
- 1 10YR2/3 黒褐色 砂質シルト 練まり礫 花崗岩粒1%含む

S 102 カマド (田) C-C'



- S 102 カマド (田) C-C'
- 1 10YR2/3 黒褐色 砂質シルト 練まり礫 黄色土粒5%含む
  - 2 10YR2/1 黒色 砂質シルト 練まり礫 木炭含む
  - 3 5YR3/6 暗赤褐色 焼土 練まり密 花崗岩粒1%含む ※最層の焼土化したもの

S 102 カマド (畷) G-G'

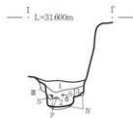


S 102 カマド (畷) K-K'



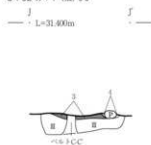
- S 102 カマド (畷) K-K'
- 1 10YR4/4 褐色 粘土 練まり密 地山混入層か?
  - 2 10YR3/4 暗褐色 粘土質シルト 練まり中 植物根多量に含む
  - 3 10YR2/3 黒褐色 砂質シルト 練まり礫 黄色土粒3%含む 植物根多量に含む
  - 4 10YR5/4 に近い黄褐色 砂質粘土 練まり密 10YR2/3 黒褐色土10%含む
  - 5 10YR2/1 黒色 砂質シルト 練まりやや疎
  - 6 10YR2/3 黒褐色 砂質シルト 練まり礫

S 102 PP8 H'



- S 102 PP8 H'
- 1 10YR2/2 黒褐色 砂質シルト 練まり中 焼土ブロック5%含む 炭化物3%含む
  - 2 10YR2/2 黒褐色 砂質シルト 練まりやや疎 炭化物5%含む 黄色粘土3%含む 土砂片含む ※1・2層より遺物多く出土している
  - 3 10YR3/2 黒褐色 砂質シルト 練まり密 暗褐色土ブロック20%含む

S 102 カマド (田) J-J'



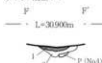
- S 102 カマド (田) J-J'
- 3 5YR3/1 暗赤褐色 焼土 練まり密
  - 4 10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 練まり中 花崗岩粒1%含む
- ※ 10YR4/7 に近い黄褐色 砂質粘土 練まり密  
※ C-C層と共通

S 102 カマド (畷) H-H'



- S 102 カマド (畷) G-G・H-H'
- 1 10YR2/3 黒褐色 砂質シルト 練まり中
  - 2 10YR2/2 暗褐色 砂質シルト 練まり礫 煙灰入 黄色土粒1%含む
  - 3 10YR2/1 黒色 砂質シルト 練まり礫 黄色土粒1%含む
  - 4 10YR3/4 暗褐色 粘土 練まり礫 黄色土ブロック1%含む 暗褐色土ブロック1%含む
  - 5 10YR2/1 黒色 砂質シルト 練まり中 黄色土ブロック1%含む
  - 6 10YR2/3 暗褐色 砂質シルト 練まりやや疎 木炭含む 黄色土粒3%含む 6層下に炭化物・焼土粒含む
  - 7 10YR4/4 褐色 粘土 練まり中 花崗岩粒1%含む
  - 8 10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 練まり中 黄色土ブロック1%含む
  - 9 10YR2/3 暗褐色 砂質シルト 練まり中 黄色土5%含む
  - 10 10YR3/4 暗褐色 煙層相当 練りすぎ

S 102 焼土 F-F'

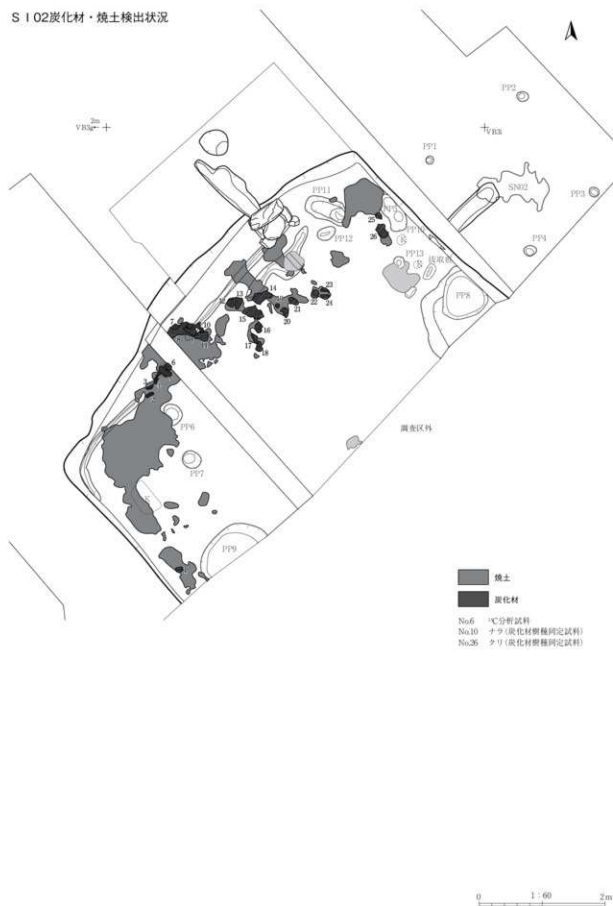


- S 102 焼土 F-F'
- 1 5YR5/5 明赤褐色 焼土 練まり密
  - 2 10YR2/3 黒褐色 砂質シルト 練まり密
- ※掘り方の底面直上に土跡があり、その上に焼土が形成された。



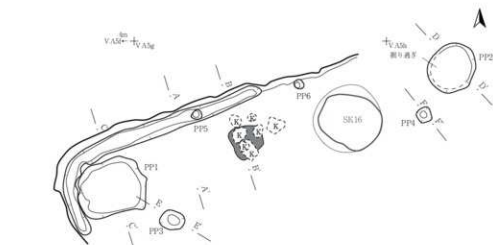
第14図 S 102 (2/3) 竪穴住居跡

S102炭化材・焼土検出状況



第15図 S102 (3/3) 竪穴住居跡

## SX 101



## SX 101 A-A'



## SX 101 A-A'

- 1 10YR4/3 に近い黄褐色 砂 締まり中  
2 10YR5/4 に近い黄褐色 粗砂 締まり中

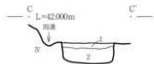
## SX 101 B-B' 1



## SX 101 B-B' 1

- 1 7.5YR3/2 灰褐色 砂質シルト 締まり中  
マサ土約3%含む 傘形の焼土直上の層上

## SX 101 PP1 C-C'



## SX 101 PP3 E-E'



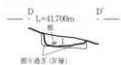
## SX 101 PP1 C-C'

- 1 10YR4/3 に近い黄褐色 砂 締まり中  
2 10YR6/3 に近い黄褐色 粗砂 締まり中

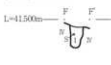
## SX 101 PP2 D-D'

- 1 10YR4/3 に近い黄褐色 砂 締まり中

## SX 101 PP2 D-D'



## SX 101 PP4 F-F'



## SX 101 PP3 E-E'

- 1 10YR3/2 暗褐色 砂質シルト 締まり中  
2 10YR5/3 に近い黄褐色 砂 締まり中

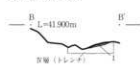
## SX 101 PP4 F-F'

- 1 10YR5/2 に近い黄褐色 砂 締まり中

## SX 101 柱穴観測表

No.	遺構名	直径 (cm)	掘削高さ (cm)
1	PP1	111×111	41200
2	PP2	81×74	41211
3	PP3	41×30	41600
4	PP4	26×21	41616
5	PP5	17×14	41380
6	PP6	16×11	41377

## SX 101 B-B' 2



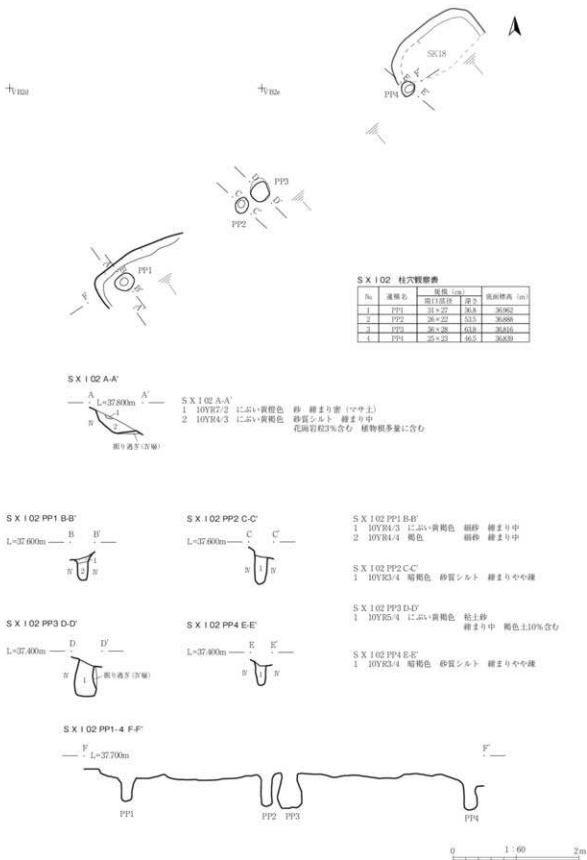
## SX 101 B-B' 2

- 1 10YR5/4 に近い橙色 焼土 締まり中 IV層が焼熱したものと

0 1:60 2m

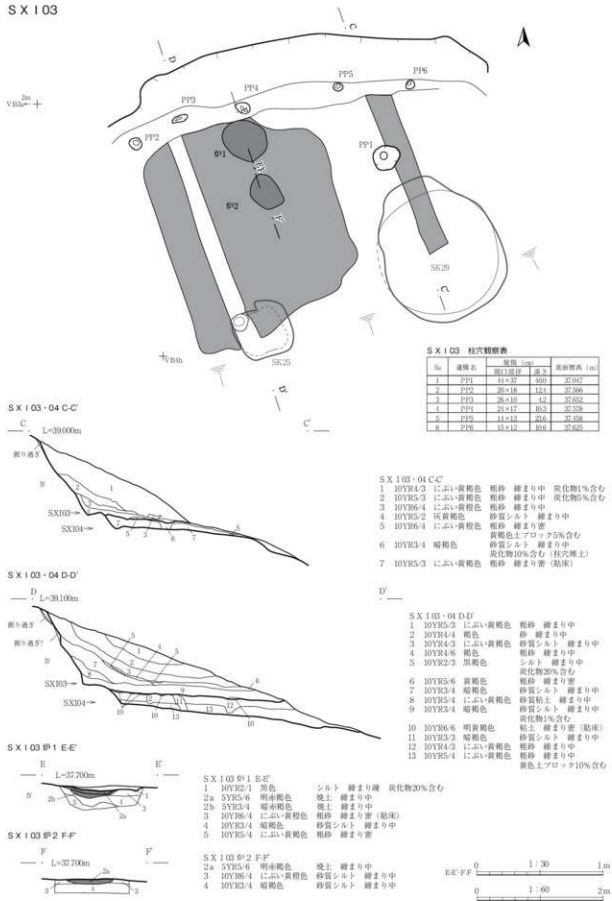
第16図 SX 101工房跡

S X 1 0 2

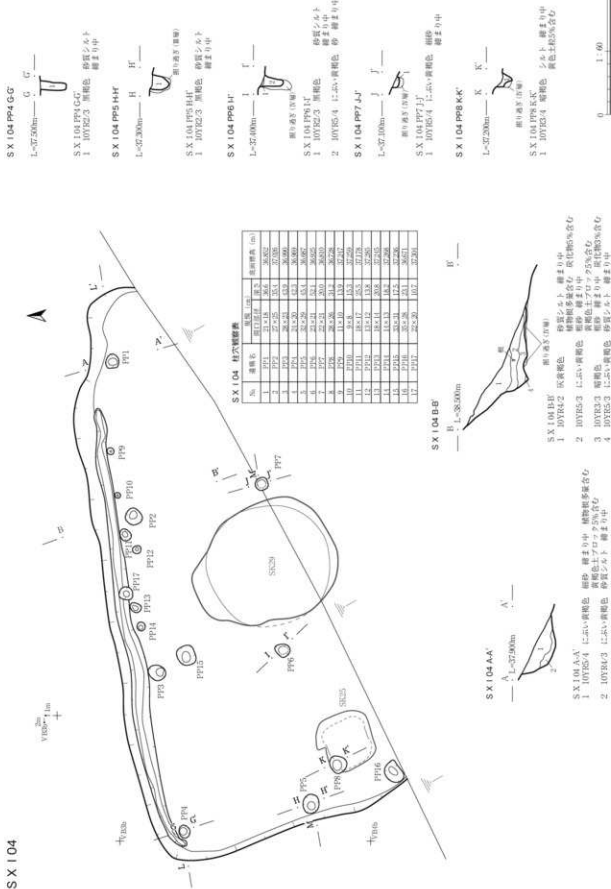


第17図 S X 1 0 2工房跡

SX 103

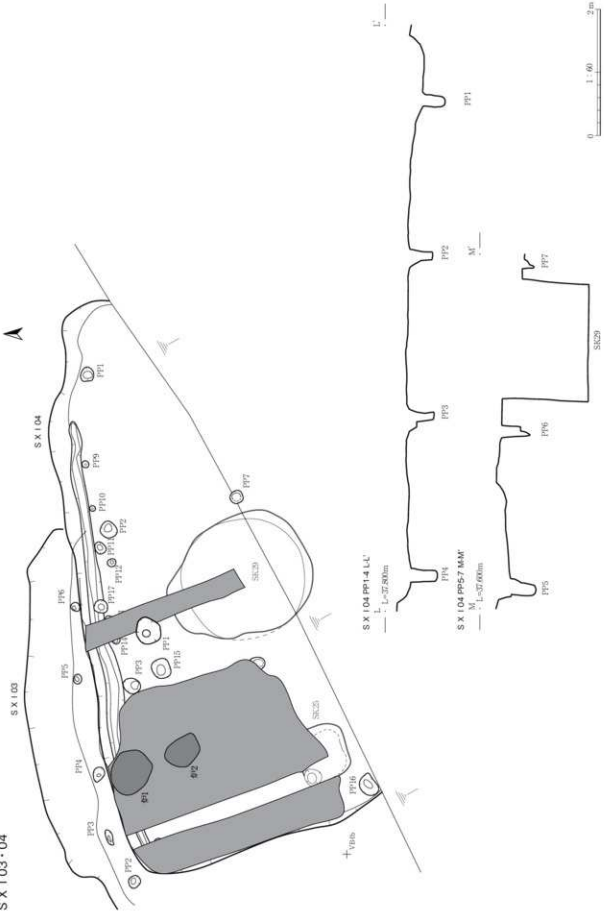


第18図 SX 103工房跡



第19図 SX 104 (1/2) 工所跡

SX 103・04

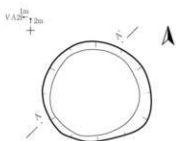


第20図 SX 104 (2/2) 工房跡

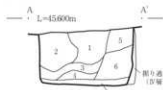


1 検出遺構

SK01



SK01 A-A'



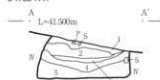
SK01 A-A'

- 1 10YR4/4 褐色 砂 締まりやや硬 マサ土ブロック5%含む 植物根多量含む  
 2 10YR3/2 黒褐色 砂質シルト 締まり中 本根多量含む  
 3 10YR3/1 黒褐色 砂質シルト 締まり中  
 4 10YR3/2 黒褐色 砂質シルト 締まり中  
 5 10YR4/4 褐色 砂質シルト 締まり中  
 6 10YR3/2 黒褐色 砂質シルト 締まり中  
 7 10YR3/2 黒褐色 砂質シルト 締まり中

SK02



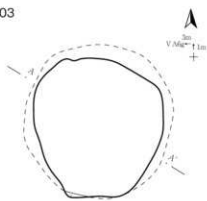
SK02 A-A'



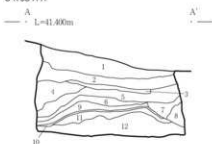
SK02 A-A'

- 1 10YR3/4 暗褐色 砂質シルト 締まり中 炭化物3%含む  
 2 10YR6/4 にぶい黄褐色 粗砂 締まり密 炭化物1%含む  
 3 10YR6/3 にぶい黄褐色 砂 締まり中  
 4 10YR7/4 にぶい黄褐色 砂 締まり中  
 5 10YR7/3 にぶい黄褐色 砂 締まり中

SK03



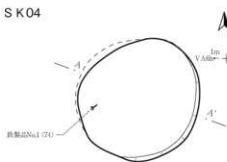
SK03 A-A'



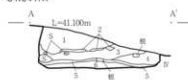
SK03 A-A'

- 1 10YR5/3 にぶい黄褐色 粗砂 締まり密  
 2 10YR5/4 にぶい黄褐色 粗砂 締まり密  
 3 10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 締まり中  
 4 10YR5/3 にぶい黄褐色 砂 締まり中 暗褐色土20%含む  
 5 10YR5/4 にぶい黄褐色 粗砂 締まり密 黄色土ブロック5%含む  
 6 10YR6/4 にぶい黄褐色 粗砂 締まり密  
 7 10YR3/4 暗褐色 シルト 締まり中 黄色土ブロック5%含む  
 8 10YR5/4 にぶい黄褐色 砂質シルト 締まり中 黄色土ブロック3%含む  
 9 10YR3/4 暗褐色 砂質シルト 締まり中 黄色土ブロック1%含む  
 10 10YR2/3 黒褐色 砂質シルト 締まり中  
 11 10YR4/4 褐色 粗砂 締まり中 黄色土ブロック3%含む  
 12 10YR5/2 灰黄褐色 砂 締まり中 炭化物3%含む 黄色土ブロック3%含む

SK04

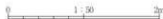


SK04 A-A'



SK04 A-A'

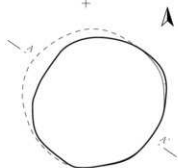
- 1 10YR5/3 にぶい黄褐色 粗砂 締まり密 黄褐色ブロック10%含む  
 2 10YR6/3 にぶい黄褐色 粗砂 締まり密  
 3 10YR2/2 黒褐色 砂質シルト 締まり中 炭化物1%含む  
 黄色土ブロック5%含む  
 4 10YR5/4 にぶい黄褐色 砂 黄色土粒3%含む  
 5 10YR2/2 黒褐色 砂質シルト 締まり中 炭化物3%含む  
 6 10YR5/3 にぶい黄褐色 砂 締まり中



第21図 SK01・02・03・04土坑

SK05

3m  
VA5m<sup>+</sup> 1.2m  
+



SK05 A-A'

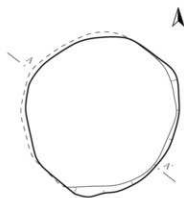


SK05 A-A'

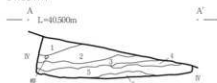
- 1 IOYRS/4 にぶい黄褐色 砂 雜まり雜 植物根多い
- 2 IOYRS/3 にぶい黄褐色 砂 雜まり中 植物根多い マサ土5%含む
- 3 IOYR4/3 にぶい黄褐色 砂 雜まり中 植物根含む
- 4 IOYRS/3 にぶい黄褐色 粗砂

SK06

3m  
VA5m<sup>+</sup> +



SK06 A-A'

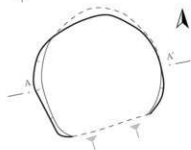


SK06 A-A'

- 1 IOYRS/3 にぶい黄褐色 砂 雜まり中
- 2 IOYR6/3 にぶい黄褐色 砂 雜まり密 マサ土ブロック5%含む
- 3 IOYR6/4 にぶい黄褐色 砂 雜まり密 マサ土ブロック10%含む
- 4 IOYR6/3 にぶい黄褐色 粗砂 雜まり密 マサ土ブロック3%含む
- 5 IOYRS/3 にぶい黄褐色 砂 雜まり密 マサ土10%含む 5種が黄味強い
- 6 IOYR6/4 にぶい黄褐色 砂質シルト 雜まり中

SK07

3m  
VA5m<sup>+</sup> 1.2m  
+



SK07 A-A'



SK07 A-A'

- 1 IOYRS/4 にぶい黄褐色 砂 雜まり密 (N層起層) マサ土5%含む

SK08

3m  
VA5m<sup>+</sup> 1.2m  
+

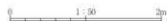


SK08 A-A'



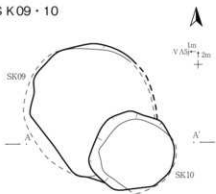
SK08 A-A'

- 1 IOYRS/4 にぶい黄褐色 砂 雜まり密 (N層起層)

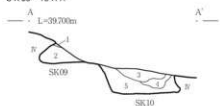


1 検出遺構

SK09・10



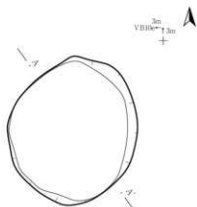
SK09・10 A-A'



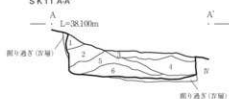
SK09・10 A-A'

- 1 10YR7/2 にぶい・黄褐色 砂 締まり密 マサ土
- 2 10YR5/3 にぶい・黄褐色 砂 締まり密 (IV層起源)
- 3 10YR7/2 にぶい・黄褐色 砂 締まり密 マサ土
- 4 10YR7/2 にぶい・黄褐色 砂 締まり密 黄褐色土30%含む
- 5 10YR5/3 にぶい・黄褐色 砂 締まり密

SK11



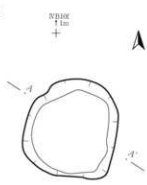
SK11 A-A'



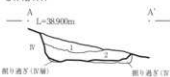
SK11 A-A'

- 1 10YR6/3 にぶい・黄褐色 粗砂 締まり密 マサ土 暗褐色土10%含む
- 2 10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 締まり中
- 3 10YR3/4 暗褐色 砂質シルト 締まり中 にぶい・黄褐色土砂5%含む
- 4 10YR5/4 にぶい・黄褐色 砂 締まり中 暗褐色土10%含む 植物根多量含む
- 5 10YR5/3 にぶい・黄褐色 粗砂 締まり中
- 6 10YR3/4 暗褐色 砂質シルト 締まり中 にぶい・黄褐色土砂20%含む

SK12



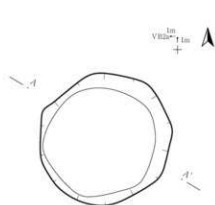
SK12 A-A'



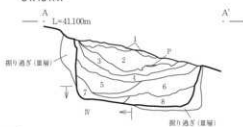
SK12 A-A'

- 1 10YR3/4 暗褐色 砂質シルト 締まり中 にぶい・黄褐色土30%含む  
黄褐色土10%含む
- 2 10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 締まり中 木屑多量含む

SK13

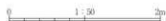


SK13 A-A'



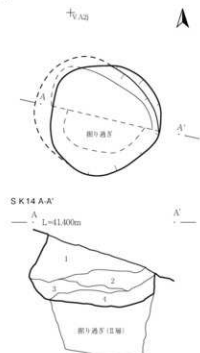
SK13 A-A'

- 1 10YR5/6 黄褐色 粘土 締まり密
- 2 10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 締まり中 土器片含む 植根含む
- 3 10YR3/4 暗褐色 砂質シルト 締まり中 砂土30%含む
- 4 10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 締まり中 黄色土粒1%含む
- 5 10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 締まり中 砂土30%含む
- 6 10YR4/4 褐色 砂質粘土 締まり中 暗褐色土10%含む
- 7 10YR4/3 にぶい・黄褐色 砂質シルト 締まり中 黄褐色土ブロック3%含む
- 8 10YR2/3 暗褐色 砂質シルト 締まり中 砂粒含む



第23図 SK09・10・11・12・13土坑

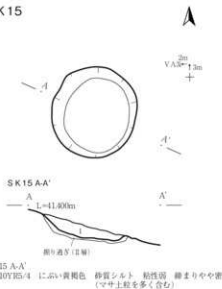
SK 14



SK 14 A-A'

- 1 10YR5/6 黄褐色 砂質シルト 粘性弱 締まり中  
(マサ土粒を含む、褐色土をプロック状に含む)
- 2 10YR3/4 暗褐色 砂質シルト、粘性弱 締まりやや強  
(マサ土粒を含む、黄褐色土を粒状、プロック状に含む)
- 3 10YR3/3 暗褐色 シルト 粘性弱 締まりやや強 (マサ土粒を含む)
- 4 10YR3/3 暗褐色 砂質シルト、粘性弱 締まり中 (少量を含む、黒色土を含む)

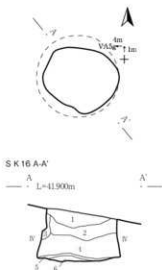
SK 15



SK 15 A-A'

- 1 10YR5/4 にぶい黄褐色 砂質シルト 粘性弱 締まりやや密  
(マサ土粒を多く含む)

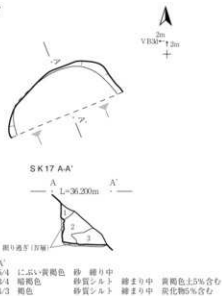
SK 16



SK 16 A-A'

- 1 10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 締まり中 炭化物1%含む
- 2 10YR5/4 にぶい黄褐色 砂 締まり中 暗褐色土10%含む
- 3 10YR7/4 にぶい黄褐色 砂質粘土 締まり中
- 4 10YR6/4 にぶい黄褐色 粗砂 締まり密 黄褐色土プロック3%含む
- 5 10YR3/3 暗褐色 砂 締まり中
- 6 10YR4/3 にぶい黄褐色 砂質シルト 締まり中

SK 17

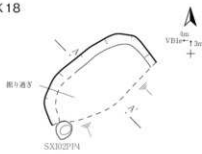


SK 17 A-A'

- 1 10YR5/4 にぶい黄褐色 砂 締り中
- 2 10YR3/4 暗褐色 砂質シルト 締まり中 黄褐色土5%含む
- 3 10YR4/3 褐色 砂質シルト 締まり中 炭化物5%含む

0 1:50 2m

SK18



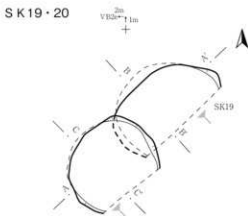
SK18 A-A'



SK18 A-A'

- 1 10YR3/4 暗褐色 砂質シルト 雜まり中 花崗岩粒3%含む  
2 10YR4/3 に近い黄褐色 砂 雜まり中

SK19・20



SK19・20 A-A'



SK19 B-B'



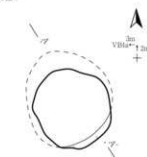
SK20 C-C'



SK19・SK20 A-A'・B-B'・C-C'

- 1 10YR3/4 暗褐色 砂質シルト 雜まり中 黄褐色土ブロック10%含む、花崗岩粒1%含む  
2 10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 雜まり中 黄褐色土ブロック30%含む、花崗岩粒3%含む  
3 10YR3/3 暗褐色 砂質シルト

SK21



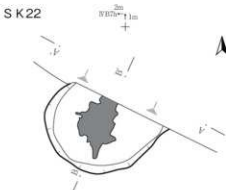
SK21 A-A'



SK21 A-A'

- 1 10YR4/3 に近い黄褐色 粗砂 雜まり中 炭化物1%含む  
黄色土ブロック10%含む  
2 10YR2/3 黒褐色 砂質シルト 雜まり中 花崗岩粒1%含む  
黄色土ブロック20%含む  
3 10YR5/2 灰黄褐色 粗砂 雜まり中 花崗岩粒1%含む  
4 10YR3/4 暗褐色 細砂 雜まり中 黄色土粒3%含む  
5 10YR2/3 黒褐色 砂質シルト 雜まり中 花崗岩粒3%含む  
6 10YR3/3 暗褐色 黄色土ブロック5%含む  
7 10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 雜まり中 黄色土粒5%含む  
8 10YR2/3 黒褐色 砂質シルト 雜まり中 炭化物1%含む  
9 10YR4/2 灰黄褐色 粗砂 雜まり中

SK22



SK22 A-A'



SK22 B-B'



SK22 A-A'

- 1 5YR4/4 に近い赤褐色 シルト 粘性弱 雜まり中や硬(晩土) 焼成良好  
2 10YR1.7/1 黒色 シルト 粘性やや強 雜まり中  
3 10YR3/1 黒褐色 やや弱 雜まり中

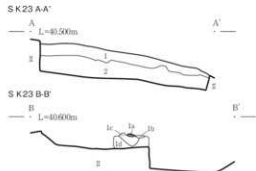
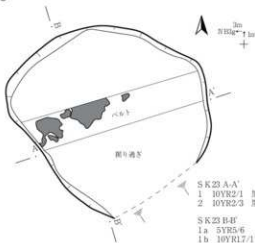
SK22 B-B'

- 1 5YR4/4 に近い赤褐色 シルト 粘性弱 雜まり中(晩土)  
2 10YR1.7/1 黒色 シルト 粘性弱 雜まり中(晩土)含む  
3 10YR2/1 黒色 シルト 粘性やや強 雜まり中  
4 10YR1.7/1 黒色 シルト 粘性弱 雜まり中



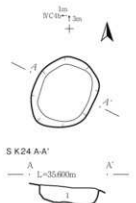
第25図 SK18・19・20・21・22土坑

S K 23



- S K 23 A-A'  
 1 10YR2/1 黒色 砂質シルト 締まり中 花崗岩粒1%含む、上面に炭化物・焼土の堆積あり  
 2 10YR2/3 黒褐色 砂質シルト 締まり中 花崗岩粒1%含む
- S K 23 B-B'  
 1a 5YR5/6 明赤褐色 焼土 締まり中  
 1b 10YR1/1 黒色 炭化物 締まり中  
 1c 10YR2/1 黒色 砂質シルト 締まり中 10YR5-6明赤褐色 焼土ブロック含む 本根含む  
 1d 10YR2/1 黒色 砂質シルト 締まり中

S K 24



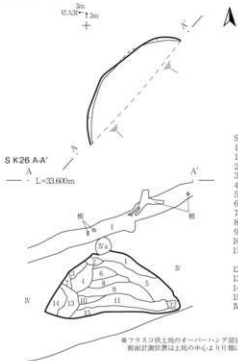
- S K 24 A-A'  
 1 10YR4/4 褐色 砂質シルト 粘性弱 締まり密 (マサ土粒を多量に含む)

S K 25



- S K 25 A-A'  
 1 10YR2/1 黒色 砂質シルト 締まり中 10YR3-3暗褐色土20%含む 黒色土中に炭化物3%含む

S K 26



- S K 26 A-A'  
 1 10YR4/1 褐色 砂質シルト 粘性弱 締まり密 (表土)  
 1 10YR4/2 灰黄褐色 砂質シルト 粘性弱 締まりやや密 (マサ土粒少量含む) マサ土3%  
 2 10YR4/3 に近い黄褐色 砂質シルト 粘性弱 締まり密 (マサ土粒含む) マサ土10%  
 3 10YR5/4 に近い黄褐色 砂質シルト 粘性弱 締まり密 (マサ土粒少量含む) マサ土3%  
 4 7.5YR3/1 黒褐色 砂質シルト 粘性弱 締まり密 (マサ土粒少量含む) マサ土2%  
 5 10YR5/3 に近い黄褐色 砂質シルト 粘性弱 締まり密 (マサ土粒、ブロックを50%含む)  
 6 2.5YR6/4 に近い黄色 砂質シルト 粘性弱 締まり密 (マサ土粒多量に含む マサ土50%)  
 7 10YR6/6 明黄褐色 砂質シルト 粘性弱 締まり密 (地山崩落上?)  
 8 10YR4/4 褐色 砂質シルト 粘性弱 締まり密 (マサ土粒3%ほど含む)  
 9 10YR4/4 褐色 砂質シルト 粘性弱 締まり密 (マサ土粒ブロックを50%以上含む)  
 10 10YR3/2 黒褐色 砂質シルト 粘性弱 締まり密 (マサ土粒3%ほど含む)  
 11 10YR5/4 に近い黄褐色 砂質シルト 粘性弱 締まり密 (マサ土粒、マサ土ブロックを50%以上含む)  
 12 10YR6/4 に近い黄褐色 砂質シルト 粘性弱 締まり密 (マサ土粒2%含む)  
 13 10YR2/2 黒褐色 砂質シルト 粘性弱 締まり密 (マサ土粒10%ほど含む)  
 14 10YR3/2 黒褐色 砂質シルト 粘性弱 締まり密 (マサ土粒10%ほど含む)  
 15 10YR6/4 に近い黄褐色 砂質シルト 粘性弱 締まり密 (マサ土粒40%ほど含む)  
 W 10YR8/2 灰白色 粘性弱 締まり密 (WよりW/aは強い)

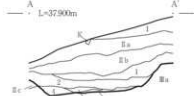
第26図 S K 23・24・25・26土坑

1 検出遺構

SK27



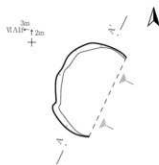
SK27 A-A'



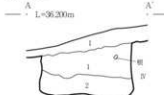
SK27 A-A'

- |     |         |        |       |      |         |
|-----|---------|--------|-------|------|---------|
| 1   | 10YR5/3 | にぶい黄褐色 | 粗砂    | 締まり中 | 炭化物1%含む |
| IIa | 10YR2/1 | 黒褐色    | 砂質シルト | 締まり中 | 炭化物3%含む |
| 1   | 10YR2/1 | 黒褐色    | 砂質シルト | 締まり中 | 炭化物3%含む |
| 2   | 10YR2/1 | 黒褐色    | 砂質シルト | 締まり中 | 炭化物3%含む |
| 3   | 10YR3/3 | 暗褐色    | 砂質シルト | 締まり中 |         |
| 4   | 10YR3/4 | 暗褐色    | 砂質粘土  | 締まり中 |         |

SK28



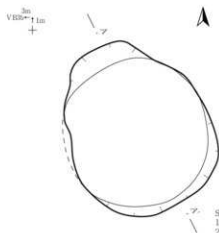
SK28 A-A'



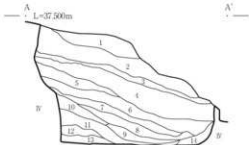
SK28 A-A'

- |   |         |        |       |     |                                |
|---|---------|--------|-------|-----|--------------------------------|
| 1 | 10YR4/3 | にぶい黄褐色 | 砂質シルト | 粘性弱 | 締まりやや硬<br>(マサ土粒微量を含む)          |
| 2 | 10YR4/6 | 褐色     | 砂質シルト | 粘性弱 | 締まり中<br>(マサ土粒、マサ土ブロックを20%ほど含む) |

SK29

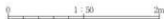


SK29 A-A'



SK29 A-A'

- |    |         |        |       |        |                               |
|----|---------|--------|-------|--------|-------------------------------|
| 1  | 10YR6/2 | 灰黄褐色   | 粗砂    | 締まり中   | 10YR5/8褐色土ブロック5%含む、暗褐色土10%含む  |
| 2  | 10YR5/2 | 灰黄褐色   | 粗砂    | 締まり中   | 黄色土ブロック5%含む、暗褐色土20%含む、炭化物1%含む |
| 3  | 10YR3/3 | 暗褐色    | 砂質シルト | 締まり中   | 黄色土ブロック5%含む                   |
| 4  | 10YR4/3 | にぶい黄褐色 | 砂質シルト | 締まり中   | 黄色土ブロック5%含む、にぶい黄褐色土10%含む      |
| 5  | 10YR3/3 | にぶい黄褐色 | 砂質シルト | 締まり中   | 黄色土ブロック3%含む、炭化物1%含む           |
| 6  | 10YR3/3 | 暗褐色    | 砂質シルト | 締まり中   | 黄色土ブロック3%含む                   |
| 7  | 10YR3/3 | にぶい黄褐色 | 砂質シルト | 締まり中   | 黄色土ブロック3%含む                   |
| 8  | 10YR5/4 | にぶい黄褐色 | 砂質シルト | 締まり中   | 黄色土ブロック3%含む                   |
| 9  | 10YR5/6 | 黄褐色    | 砂質粘土  | 締まり密   | 10YR2/1灰白色土5%含む、にぶい黄褐色土10%含む  |
| 10 | 10YR5/8 | 黄褐色    | 砂質粘土  | 締まり密   | 10YR2/1灰白色土5%含む               |
| 11 | 10YR6/6 | 明黄褐色   | 粘土    | 締まり密   | 10YR2/1灰白色土5%含む               |
| 12 | 10YR5/4 | にぶい黄褐色 | 粗砂    | 締まりやや硬 |                               |
| 13 | 10YR5/3 | にぶい黄褐色 | 粘土    | 締まり密   |                               |
| 14 | 10YR5/3 | にぶい黄褐色 | 粗砂    | 締まりやや硬 |                               |
- 1～8層：古墳総堀の上  
9～14層：古墳崩落土

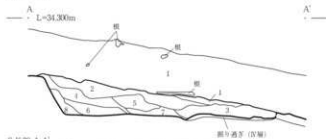


第27図 SK27・28・29土坑

## SK 30

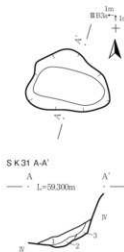


## SK 30 A-A'



- SK 30 A-A'
- 1 10YR4/4 褐色 砂質シルト 粘性弱 締まり中 (表土)
  - 2 10YR4/4 褐色 砂質シルト 粘性弱 締まり中 (マサ土粒5%ほど含む)
  - 3 10YR3/2 暗褐色 砂質シルト 粘性弱 締まり中 (マサ土粒3%ほど含む)
  - 4 10YR4/2 灰黄褐色 砂質シルト 粘性弱 締まり密 (マサ土粒・マサ土ブロック5%以上含む)
  - 5 10YR4/4 褐色 砂質シルト 粘性弱 締まりやや密 (マサ土粒30%以上含む)
  - 6 10YR2/3 暗褐色 砂質シルト 粘性弱 締まり密 (マサ土粒1%ほど含む)
  - 7 10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 粘性弱 締まり密 (マサ土粒30%以上含む)
  - 8 10YR2/4 灰黄褐色 砂質シルト 粘性弱 締まり密 (マサ土粒50%以上含む 埋崩落土と思われる)

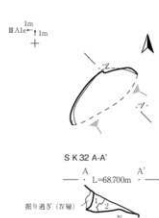
## SK 31



## SK 31 A-A'

- SK 31 A-A'
- 1 10YR4/3 にぶい黄褐色 砂 締まりやや疎 花園岩粒1%含む
  - 2 10YR5/4 にぶい黄褐色 粗砂 締まり中
  - 3 10YR7/2 にぶい黄褐色 マサ土 締まり密 (崩落土)

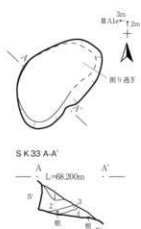
## SK 32



## SK 32 A-A'

- SK 32 A-A'
- 1 10YR3/3 にぶい黄褐色 粗砂 締まり中 10YR5/6黄褐色土ブロック30%含む  
10YR4/4褐色土ブロック5%含む
  - 2 10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 締まり中 10YR5/6黄褐色土ブロック5%含む

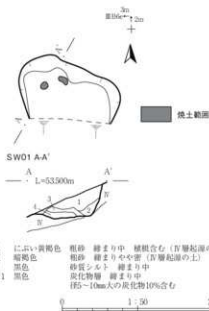
## SK 33



## SK 33 A-A'

- SK 33 A-A'
- 1 10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 締まり中
  - 2 10YR5/3 にぶい黄褐色 粗砂 締まり中 10YR4/4褐色土ブロック%含む
  - 3 10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 10YR5/6黄褐色土ブロック10%含む 木根含む
  - 4 10YR5/3 にぶい黄褐色 粗砂 締まり中 本根含む

## SW01

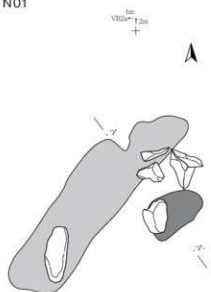


## SW01 A-A'

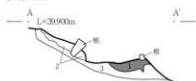
- SW01 A-A'
- 1 10YR4/3 にぶい黄褐色 粗砂 締まり中 埋れ含む (青層粘土の上)
  - 2 10YR3/3 暗褐色 粗砂 締まりやや密 (古層粘土の上)
  - 3 10YR2/1 黑色 砂質シルト 締まり中
  - 4 10YR17/1 黑色 灰化物層 締まり中 灰5-10mm大の灰化物10%含む



S N01

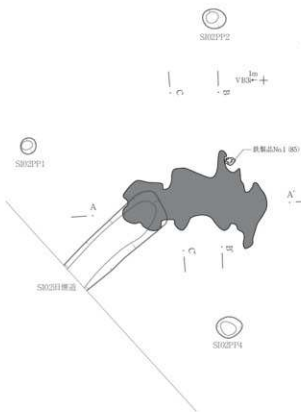


S N01 A-A'

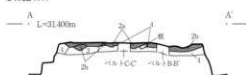


- S N01 A-A'
- 1 5YR5/8 明赤褐色 焼土 雜まり中
  - 2 10YR5/4 にがい黄褐色 砂質粘土 雜まり中  
黄褐色土ブロック5%含む
  - 3 10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 雜まり中
- ※断面上空欄のみに礎と黄褐色粘土が混じる

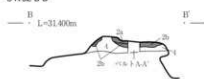
S N02



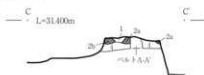
S N02 A-A'



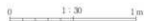
S N02 B-B'



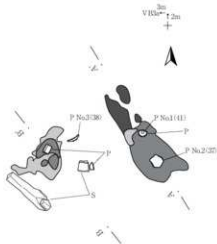
S N02 C-C'



- S N02 A-A'・B-B'・C-C'
- 1 10YR2/3 黒褐色 砂質シルト 雜まり中
  - 2a 5YR3/2 暗赤褐色 焼土 雜まり中 焼土はブロック状に入る部分もある
  - 2b 5YR5/6 明赤褐色 焼土 雜まり中
  - 3 10YR2/1 黒色 砂質シルト 雜まり中 (雑道埋土)
  - 4 10YR3/4 暗褐色 砂質シルト 雜まり中 (日撃箇所)
- 10YR5/6 明黄褐色土 粘土ブロック 北面で顕著に入る



## S N03



## S N03 A-A'



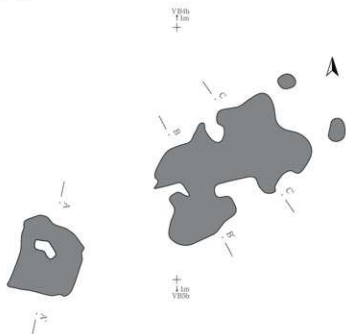
- S N03 A-A'
- 1a 5YR5/4 に近い赤褐色 焼土 雜まり中 明赤褐色 焼土ブロックが混入する
  - 1b 5YR5/8 明赤褐色 焼土 雜まり中 花崗岩粒1%含む
  - 2 10YR2/1 黒色 シルト 雜まり中 炭化物70%含む
  - 3 10YR2/4 暗褐色 上位に濃い黄褐色ブロック入る
  - 4 10YR4/4 褐色 砂質シルト 雜まり中 土層と2に入る層
- 粘土 雜まり中 (Ia層出土) II層とIII層の間に入る層

## S N03 B-B'

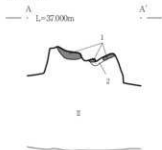


- S N03 B-B'
- 1 10YR5/6 黄褐色 粘土 雜まり密 10YR2/3暗褐色土 70%含む 粘土上面にある汚れ
  - 2 10YR5/6 黄褐色 粘土 雜まり密
  - 3 10YR2/3 黒褐色 砂質シルト 雜まりやや密
  - 4 10YR5/6 黄褐色 粘土 雜まり密 下に5YR2/6暗赤褐色 焼土3%含む
  - 5 10YR2/3 黒褐色 砂質シルト 雜まり中 10YR5/6黄褐色ブロック5%含む
  - 6 10YR2/4 暗褐色 砂質シルト 雜まり中

## S N04

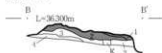


## S N04 A-A'



- S N04 A-A'
- 1 5YR5/6 明赤褐色 焼土 雜まり中 黒褐色土30%含む
  - 2 5Y2/1 黒色 炭化物
- II 10YR2/2 黒褐色 砂質シルト 雜まり中

## S N04 B-B'



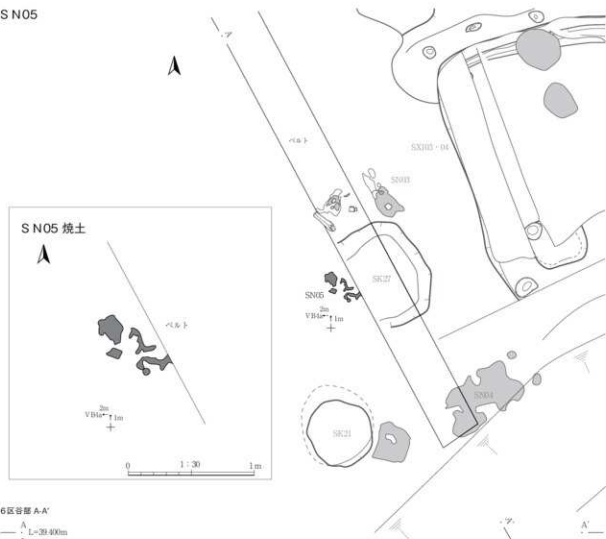
## S N04 C-C'



- S N04 B-B'・C-C'
- 1 5YR2/3 極暗褐色 汚れた焼土 雜まり中
  - 2 5YR4/4 に近い赤褐色 焼土 雜まり中 花崗岩粒1%含む
  - 3 10YR2/1 黒色 焼土 雜まり中 黒褐色土30%含む
  - 4 10YR2/2 黒褐色 砂質シルト 雜まり中 花崗岩粒3%含む
- 砂質シルト 雜まり中

0 1:30 1m

S N05



6区谷部 A-A'

A  
L=39.400m



- |           |         |        |                                |
|-----------|---------|--------|--------------------------------|
| 6区谷部 A-A' |         |        |                                |
| 1         | IOYR5/4 | にぶい黄褐色 | 粗砂とIOYR3/4暗褐色砂質シルトの混土 1a~1cに細分 |
| 1a        | IOYR4/4 | 褐色     | 粗砂 締まり中                        |
| 1b        | IOYR3/4 | 暗褐色    | 砂質シルト 締まり中                     |
| 1c        | IOYR5/4 | にぶい黄褐色 | 粗砂 締まり中                        |
| 1d        | IOYR4/4 | 褐色     | 粗砂 締まり中                        |
| 1e        | IOYR2/4 | 暗褐色    | 砂質シルト 締まり中                     |
| 1f        | IOYR4/6 | 褐色     | 粗砂 締まり中                        |
| 2         | IOYR2/3 | 黒褐色    | 砂質シルト 締まり中 炭化物1%含む             |
| 3         | IOYR4/3 | にぶい黄褐色 | 砂質粘土 締まり中                      |
| 4         | IOYR5/4 | にぶい黄褐色 | 砂質粘土 締まり中                      |
| 5         | IOYR2/2 | 黒褐色    | 砂質シルト 締まり中 炭化物1%含む             |
| 6         | IOYR2/3 | 黒褐色    | 砂質シルトとIOYR3/4暗褐色粘土の混土 暗褐色土3%含む |
| 7         | IOYR3/3 | 暗褐色    | 砂質シルト 締まり中                     |
| 8         | IOYR2/2 | 黒褐色    | 砂質シルト 締まり中 炭化物1%含む             |
| 9         | IOYR3/3 | 暗褐色    | 砂質シルト 締まり中                     |
| 10        | IOYR4/3 | にぶい黄褐色 | 粘土 締まり中                        |
| 11        | IOYR3/4 | 暗褐色    | 粘土 締まり中                        |
| 12        | 5YR4/4  | にぶい赤褐色 | 焼土 締まり中 (SN02)                 |
| 13        | 5YR2/2  | 暗赤褐色   | 焼土 締まり中 (SN02)                 |
- 6区谷部の土層で西から東に傾斜している。2層中に焼土SN05がある

第31図 S N05焼土遺構、6区谷部

## 2 出土遺物

### (1) 出土遺物の概要

土器(縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器)大コンテナ2.5箱、弥生土器0.5箱、土製品(羽口)1点、石器・石製品10点、金属製品16点(鉄製品15点・銅製品1点)、銭貨3点、鉄滓類、炭化物などが出土している。以下に種別ごとに記載する。

### (2) 土器(第32～35図、写真図版23～25)

縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器がある。重量は、縄文土器311.65g、弥生土器1260.22g、土師器16933.15g、須恵器995.00gであり、全体としては、縄文土器・弥生土器は極少量で、土師器・須恵器の出土量が多い。確認されている遺構の時期を反映していると考えられる。

縄文土器は、小片であり、不掲載とした。詳細は不明である。

弥生土器は、計6点を掲載した。交互刺突・沈線・燃糸文による施文を特徴とする土器で、色調は全体に、にぶい褐色を呈する。S I 02堅穴住居跡・S X 1 01工房跡など6区の谷部の両側に分布する遺構から出土しているが、出土した遺構の時期を反映してはいない。周囲より流れ込んだものと推測する。4・6は同一個体である。貼り付けた突起を持ち、四単位と推測され、口縁部に2条の沈線を2段に施し、その沈線内に交互に刺突を施している。胴部にも弧状の沈線が横位に廻る。地文は燃糸文(単軸絡条体第1類L)が施されている。2・3も類似する文様が施される別個体の資料である。1は胴部が膨らむ甕の破片で、斜縄文と燃糸文が施されている。弥生時代後期の土器で、小田野編年IV期(小田野1987)に相当すると思われる。5は原体側面圧痕が横位に施された口縁部破片で、ここに含めたが、他の資料とやや感じが異なる。時期の詳細は不明である。

土師器は、S I 02堅穴住居跡からまとめて出土している。12はロクロ成形の坏、13は甕の口縁部破片、14～22は甕である。23は須恵器の甕の破片である。平安時代(10世紀代)と推定される。全体の傾向をみると、器種は、土師器は坏・甕、須恵器は甕・長頸瓶などが出土している。坏はロクロ成形で内黒である。甕は、口縁部が若干外側に短く張り出し、最大径が胴部上半分にあつて、全体の形状が膨らみを持つものが多い。底部の縁が外側に張り出すものも確認できるものが多い。調整は、口縁部はヨコナデ、胴部はハケメ・ヘラナデが主体である。須恵器は、S I 02堅穴住居跡・S X 1 01・03工房跡・S N 03焼土遺構から出土している。41は長頸瓶で胴部下部を欠く。他は甕の破片である。10世紀前半頃と推定される。

### (3) 土製品(第35図、写真図版25)

羽口の破片が5点・総重量675.60g出土している。すべて破片で全体の規模を類推できるものはない。S I 02堅穴住居跡とS K 04土坑から出土している。1点掲載した。51はS I 02堅穴住居跡の旧カマドの燃焼部直上から出土したもので、支脚として使用された可能性がある。

### (4) 石器・石製品(第36・37図、写真図版26)

10点出土した。総重量3624.75gである。内訳は、石鏃1点、石匙1点、磨製石斧1点、磨石2点、擦石1点、凹石1点、台石1点、砥石1点、穿孔礫1点である。縄文時代と古代に製作・使用された石器が混在する。石質は、剥片石器は頁岩、礫石器類は、ヒン岩・花崗岩・礫岩・流紋岩など多様で

ある。61の石鏃は平基鏃である。62の石匙は縦型で刃部を欠く。63の磨製石斧は刃部を欠く。64の磨石は両面に磨面、片面と一端に敲打痕がある。65の磨石は全面が磨面で、66は両面が磨面で、一側縁に擦面が形成されている。面的に磨面を持つものを磨石、側縁に使用痕を持つものを擦石とした。68の台石は両面に煤の付着と被熱痕が認められる。

出土状況は、S I 02堅穴住居跡から石匙・擦石・砥石・穿孔礫がまとまって出土している。69の砥石は堅穴住居跡の時期に伴う石器と推測されるが、他の器種の時期は、はっきりしない。66の擦石の被熱痕は、住居跡の焼失時に被熱したものであろうか。穿孔礫とした石製品70の石質は、白色の軽石（十和田火山起源）で、浮子として使用された可能性もあるのかもしれない。

#### (5) 金属製品 (第38・39図、写真図版27・28)

16点出土した。総重量583.8gである。材質別では鉄製品15点、銅製品1点である。器種別の内訳は、刀子7点、鉄鏃1点、紡錘車2点、鉄斧1点、鉤1点、鍋2点である。その他に用途不明の棒状のものが1点ある。71は欠損し、屈曲しているが、鉄鏃の一部であったと推定した。72は鉄斧の一部である。紡錘車2点のうち、73は円盤部分のみで軸棒を欠き、74は、軸の部分が途中で折れている。折れた状態での出土状況のままで図化し、掲載した。本来の形状の軸棒の長さは、円盤の上部で16～17cmほどと推定される。いずれの紡錘車も円盤の径は5cm程で、ほぼ同じ大きさである。75～81は刀子である。刀子75・78・79・80の4点は一部刃や柄の先端を欠くものの、ほぼ全体の形状が類推できる。82は鉤である。83は詳細不明。84と85は、鍋の底部破片と推定した。86は、青銅製で縁が湾曲することから、容器などの一部と推定した。何らかの仏具の可能性があるが、詳細は不明である。

出土状況は、S I 02堅穴住居跡から紡錘車1点(73)・刀子3点(75・76・77)、S K 02土坑から刀子1点(78)、S K 04土坑から紡錘車1点(74)、S K 30土坑から鉤1点(82)が出土した。

#### (6) 銭貨 (第39図、写真図版28)

3点出土した。銭種は寛永通寶である。91は銅銭で新寛永である。92・93は鉄銭で四文銭である。いずれも遺構外の出土である。

#### (7) 鉄滓類 (写真図版28)

総重量2821.10g出土している。遺構内では、S I 02堅穴住居跡、S X I 03・04工房跡などから比較的多く出土し、S K 04・13・29土坑からも出土している。いずれの遺構の時期も古代の可能性が推定される傍証となる。6区の谷部からも出土している。鉄滓の状態を観察すると、色調が茶褐色で表面がゴツゴツしている炉内滓・炉底滓と考えられるものが多く、色調が黒く光沢を帯び、表面が滑らかな形状の流出滓・流状滓と考えられるものは少ない。また、鍛造剥片や粒状滓は出土していない。

#### (8) 炭化材

22点：総重量178.7g出土した。多くは焼失住居跡と推測したS I 02堅穴住居跡埋土から出土した。他にS N 02～05焼土遺構からも出土した。うち9点について、肉眼による樹種同定を行った。S I 02堅穴住居跡のカマド周辺から出土した炭化材1・3はケヤキ、炭化材6(遺構図No10)はナラ、炭化材7(遺構図No26)はクリ、S X I 01工房跡出土の炭化材18はクリ、S X I 03・04工房跡の炭化材19はケヤキ、S N 03・04焼土遺構出土の炭化材14・15はクリと鑑定された。炭化材3点(S I 02堅穴住居跡・S X I 04工房跡・S K 01土坑)について、放射性炭素年代測定を行っている(Ⅶ分析・鑑定)。

第9表 出土地点別遺物重量表

出土地点	総重量 (g)							
	縄文土器	弥生土器	土師器	須恵器	陶器	磁器	石口	鉄滓
SB01			315.20					
SB2	34.05	6.53	2790.65	28.80			530.50	1255.10
SX01	11.40	30.17	1739.80	113.50				408.20
SX03			583.90	30.90				16.50
SX03-04			221.50	186.60				150.80
SX04		7.21	140.30	7.80				
SK01			238.30					
SK02			76.10					
SK04			1255.70				23.60	233.20
SK06			275.40	11.60				
SK07			7.80					
SK13			36.60					85.10
SK14			87.00					
SK15	4.40							
SK16			74.30					
SK17			219.40					
SK20			12.10					
SK21		9.80	30.30					
SK22			25.20					
SK23			34.50					
SK27		15.20						
SK29			122.10					73.40
SK30			50.20		47.52			
SN01			29.60					
SN02			45.80					
SN03			687.90	269.60				
SN04		24.90	70.60					
3IC			3.50					
4IC			77.50					
6IC		1035.31	552.20	118.70				217.80
6区谷部			614.00					75.00
7区	41.92	4.04	299.00					283.50
トレンチ16	83.59	76.60	531.20					
トレンチ18	30.06							
トレンチ21				74.50				
トレンチ23	32.90		16.10		27.50			
トレンチ24	6.00		17.40	60.80				
トレンチ30			28.60					
トレンチ31		22.81						
トレンチ33					2.79			
トレンチ34					188.80			
トレンチ37			2.80					
トレンチ47			6.70					
トレンチ91			4.90					
トレンチ108			3.50					
トレンチ9・10下 のトレンチ						31.89		
IV A3a								28.50
IV B7i			29.50					
IV C8a	2.77							
IV A					15.11			
IV B			92.70		5.29			
V B3a			19.50					
V A						2.60		
V B	12.00		180.90	45.00				
不明	52.56	7.65	273.80	47.20	1.96	39.21	121.50	
総重量	311.65	1290.22	16933.15	995.00	298.97	73.70	675.60	2821.10

## 2 出土遺物

第10表 出土遺物掲載一覧表

出土地点	発掘 土層	土層部	相違部	土製品	石器	石製品	金属製品	紙貨	鉄器
S01		11							
S02	1・2	12～22	23	瓦(瓦葺)	62(石靴)・64(磨石)・66(磨石)・ 69(砥石)	70(穿孔鏝)	73(結核車)・75(刀子)・ 76・77(刀子?)		101・102
SX01	3	24～26	27						103
SX02							84(鏝?)		
SX03		28～29							
SX03・04			30				71(鉄鏝)		104・105
SK01							86(青銅製品)		
SK02							78(刀子)		
SK04		31					74(結核車)		
SK04・05		32							
SK05			33		61(石鏝)				
SK16		34							
SK17		35							
SK29					68(杵石)				106
SK20							82(削)		
S01							79(刀子)		
S02		36					72(斧?)・85(鏝?)		
S03									
(SX01・03)		37～39・(40)	(41)						
(SX03)									
トレンチ16		42							
トレンチ30							81(刀子?)・83(棒状)		
トレンチ30 東側								91	
トレンチ60・ 61の部					63(磨製石器)				
3区谷部					65(磨石)				
6区	4～6		43・44				80(刀子)		
6区谷部					67(磨石)				
SK30北側								92・93	

第11表 縄文土器・弥生土器観察表

図録No.	出土地点	層位	時期	器種	支脚の特徴	スズの付着	内面	底面	粘土	色澤	計量値 (cm)		備考	HIS/N	写真No.
											口径	高さ			
1	SR02P78-6区II層	南平塚土器(黄色土層)1層・砂層	弥生前期	甕	側・肩・胴・底に3段に押して いる。車輪跡と体部1層上層同様に 一致する。	—	ナテ	小楕 多量含	—	25YR5.4 1.5-2.0 25YR3.1 黒褐色	11.60	5.6	肩周1センチ 口径部径6センチ	32	23
2	SR02	同上	弥生前期	甕	側・肩・口径部に突起	—	ナテ	楕状含	—	25YR6.3 1.5-2.0 25YR6.3 1.5-2.0	—	—	赤生 口径部	32	23
3	SX001	1号区跡 黒褐色土層	弥生前期	甕	側・車輪跡と体部1層上層同様に一致 する。	—	ナテ	楕状含	—	10YR6.3 1.5-2.0 10YR6.4 1.5-2.0	—	—	赤生 口径部	32	23
4	V北アツツテ E5	谷原塚土器(赤褐色土層)1層・砂層 谷原塚土器(黒褐色土層)1層・砂層	弥生前期	甕	側・車輪跡と体部1層上層同様に一致 する。	—	ナテ	楕状含	—	10YR6.3 1.5-2.0 10YR6.4 1.5-2.0	—	—	赤生 口径部 赤生 口径部 赤生 口径部 赤生 口径部	32	23
5	6区	谷原塚土器(赤褐色土層)	縄文?	深鉢	側・車輪跡と体部1層上層同様に一致 する。	—	ナテ	楕状含	—	25YR5.4 1.5-2.0 10YR6.4 1.5-2.0	—	—	縄文? 口径部	32	23
6	6区	谷原塚土器(赤褐色土層)	弥生前期	甕	側・車輪跡と体部1層上層同様に一致 する。	—	ナテ	楕状含	—	10YR6.4 1.5-2.0 10YR6.4 1.5-2.0	—	—	赤生 胴部 4.4-同一-胴部	32	23

(数値) : 検出数

第12表 土師器・須恵器観察表(1)

図録No.	出土地点	層位	分類	器種	部位	スズの付着	外面	内面	底面	粘土	色澤	計量値 (cm)		備考	HIS/N	写真No.	
												口径	高さ				
11	SH01	北アツツテ(赤土)	土師器	甕	胴部	—	ヘラナテ	ヘラナテ	—	細砂含	25YR5.4 1.5-2.0 25YR5.4 1.5-2.0	—	6.1	—	—	32	23
12	SR02	北アツツテ(赤土)・北平塚土器2層・7区(黒土)・灰皿	土師器	杯	口径・底面	—	口ナテ	口ナテ	—	細砂多量含	25YR7.4 1.5-2.0 25YR7.4 1.5-2.0	[1.36]	4.5	64	—	32	23
13	SR02	カマツテ新南平塚土層	土師器	甕	口径・胴部	—	口ナテ・ヘラナテ	口ナテ・ヘラナテ	—	細砂多量含	25YR7.4 1.5-2.0 25YR7.4 1.5-2.0	—	6.7	—	—	32	23
14	SR02	北平塚土器6層(黒土)7区(北平塚土器)6層(黒土) カマツテ(灰皿)・灰皿(赤土)・芝平塚土器(赤土)・灰皿	土師器	甕	口径・底面	—	口ナテ・ヘラナテ	口ナテ・ヘラナテ	—	細砂含	25YR6.3 1.5-2.0 25YR6.3 1.5-2.0	[2.4]	2.60	[10.4]	—	32	23
15	SR02	北平塚土器6層・北平塚土器2層・灰皿	土師器	甕	口径・底面	—	ヘラナテ	ヘラナテ	—	本量皿	25YR6.4 1.5-2.0 25YR6.4 1.5-2.0	—	14.60	[11.2]	—	32	23
16	SR02	北平塚土器6層・7区(黒土)・灰皿	土師器	甕	胴部・底面	—	ヘラナテ	ヘラナテ	—	本量皿	25YR6.2 灰褐色 25YR6.2 灰褐色	—	6.00	64	—	32	23
17	SR02	北平塚土器6層	土師器	甕	胴部・底面	—	ヘラナテ	ヘラナテ	—	—	—	—	—	—	—	32	23
18	SR02	北平塚土器6層	土師器	甕	口径・胴部	—	ヘラナテ	ヘラナテ	—	—	—	—	—	—	—	32	23
19	SR02	円形北平塚土器・7区(黒土)・灰皿	土師器	甕	口径・底面	—	口ナテ・ヘラナテ	口ナテ・ヘラナテ	—	本量皿	25YR6.2 灰褐色 25YR6.2 灰褐色	[1.20]	5.90	—	—	32	24
20	SR02	円形北平塚土器・円形(赤土)7区	土師器	甕	胴部・底面	—	ナズリ	ナズリ	—	本量皿	25YR6.2 灰褐色 25YR6.2 灰褐色	—	4.00	[6.0]	—	32	24
21	SR02	円形北平塚土器	土師器	甕	口径・胴部	—	口ナテ・ヘラナテ	口ナテ・ヘラナテ	—	—	—	—	—	—	—	32	24
22	SR02	円形北平塚土器(赤土)1層(赤土)6区(赤土)12層 円形北平塚土器(赤土)7区E	土師器	甕	胴部・底面	—	ヘラナテ	ヘラナテ	—	—	—	—	—	—	—	32	24
23	SR02	円形北平塚土器(赤土)1層(赤土)6区(赤土)12層 7区E	土師器	甕	胴部・底面	—	ナズリ	ナズリ	—	—	—	—	—	—	—	32	24
24	SX001	南西平塚土器	土師器	甕	胴部・底面	—	口ナテ・ヘラナテ	口ナテ・ヘラナテ	—	—	—	—	—	—	—	34	24
25	SX001	南西平塚土器	土師器	甕	胴部・底面	—	口ナテ・ヘラナテ	口ナテ・ヘラナテ	—	—	—	—	—	—	—	34	24

(数値) : 検出数 (数値) : 検出数



第12表 土師器・須器観察表(2)

(単位)：横径×縦径×高さ×厚さ

図録 No.	出土地点	層位	分類	形状	部位	スズの 付着	外面調査	内面調査	底面	胎土	色調	断面調査 (mm)		備考	図録 No.			
												口径	底径			底厚		
36	SK001	北平層土下位	土師器	甕	口縁・胴部	—	ヨコナデ・ハナナデ	ヨコナデ・ハナナデ	—	相模・中層	K0703.2 灰褐色～ K0706.3 土色・黄褐色	—	10.7	—	34	24		
37	SK004	上層部・II層土	須器	甕	胴部	—	タタキ	タタキ?	—	相模合	K075.1 灰色	—	—	—	34	24		
38	SK003	①南平層土下位	土師器	甕	口縁・胴部	—	ヨコナデ・ハナナデ	ヨコナデ・ハナナデ	—	相模・中層	K0706.4 土色・黄褐色	—	12.0	4.2	—	34	24	
39	SK003	③南平層土下位	土師器	甕	口縁・胴部	—	ヨコナデ・ハナナデ	ヨコナデ	—	相模合	K0707.4 土色・黄褐色	—	5.1	—	—	34	24	
30	SK003-04	③南平層土下位	須器	甕	胴部	—	タタキ	タタキ	—	砂状土	土色	—	—	—	—	34	24	
31	SK004	南平層土下位・北平層土上層	土師器	甕	口縁・胴部	—	ヨコナデ・ハナナデ	ヨコナデ・ハナナデ	—	相模・中層	K0708.3 灰褐色	1.60	9.4	—	—	34	24	
32	SK04-05	南平層土上位・南平層土5層	土師器	甕	口縁・胴部	—	ヨコナデ・ハナナデ	ヨコナデ・ハナナデ	—	相模多量含	K0708.3 灰褐色	1.25	11.0	—	—	34	24	
33	SK005	南平層土下位	須器	甕	胴部	—	ヨコナデ・ハナナデ	ヨコナデ・ハナナデ	—	砂状土	土色	—	—	—	—	34	24	
34	SK16	北平層土1層	土師器	甕	口縁・胴部	—	ハナナデ	ハナナデ	—	相模合	K0707.5 土色・黄褐色	—	5.0	—	—	34	24	
35	SK17	南平層土下位・南平層土5層	土師器	甕	口縁・胴部	—	ヨコナデ・ハナナデ	ヨコナデ・ハナナデ	—	相模・中層	K0706.4 土色・黄褐色	1.17	7.8	—	—	34	25	
36	SK02	焼土中	土師器	甕	口縁・胴部	—	ヨコナデ・ハナナデ	ヨコナデ・ハナナデ	—	相模・砂状	K0707.2 土色・黄褐色	—	5.1	—	—	34	25	
37	SK03	土師5.2	土師器	甕	口縁・胴部	—	ヨコナデ・ハナナデ	ヨコナデ・ハナナデ	—	相模・中層	K0707.3 土色・黄褐色	—	6.8	—	—	35	25	
38	SK03	土師5.3・土師5.4・黄色土粘土の黄褐色土	土師器	甕	口縁・胴部	—	ヨコナデ・ハナナデ	ヨコナデ・ハナナデ	—	相模・砂状	K0705.3 土色・黄褐色	1.42	5.4	6.2	相模? 内底	35	25	
39	SK03	同層黄褐色土	土師器	甕	胴部・胴部	—	タタキ	タタキ	—	相模・中層	K0706.3 灰褐色	—	2.9	1.0	—	35	25	
40	SK03	黄色土下位の黄褐色土層・黄色土粘土下の黄褐色土・⑤南平層土下位	土師器	甕	胴部・胴部	—	ハナナデ	ハナナデ	—	相模・中層	K0706.3 灰褐色	—	16.3	—	—	35	25	
41	SK03	土師5.1	土師器	甕	口縁・胴部	—	ヨコナデ・ハナナデ	ヨコナデ	—	相模・中層	K0706.3 灰褐色	—	6.7	13.0	—	—	35	25
42	SK03-03	1a層・1a層部?層土・⑤南平層土下位	土師器	甕	胴部	—	タタキ	タタキ	—	相模・中層	K0706.3 灰褐色	—	12.0	10.1	—	—	35	25
43	SK03-03	1a層部?黄褐色土・II層	土師器	甕	胴部・胴部	—	ハナナデ	ハナナデ	—	相模多量含	K0706.4 土色・黄褐色	—	—	—	—	—	35	25
44	SK03	1a層部?黄褐色土・II層	土師器	甕	胴部	—	タタキ	タタキ	—	相模合	K0705.4 黄褐色	—	—	—	—	—	35	25
44	SK03	1a層部?黄褐色土・II層	土師器	甕	胴部	—	タタキ	タタキ	—	相模多量含	K0705.4 黄褐色	—	—	—	—	—	35	25

第13表 土製品観察表

(数値): 推定値

図版No.	出土地点	層位	種別	長さ (cm)	内径 (cm)	内径 (cm)	重量 (g)	装着角度 (°)	部位	備考	図版No.	写真No.
51	S202	カマド(田)	焼土直土 支脚?	開口	(118)	—	285.40	不明	底		35	25

第14表 石器・石製品観察表

(数値): 推定値

図版No.	出土地点	層位	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	石質	産地	時代	備考	図版No.	写真No.
61	SK05	南平塚土下位	石錘	(20.0)	(14.0)	5.0	1.17	頁岩	北上山地	中生代	平基盤	36	26
62	S202	埋土中位	石匙	(38.0)	(26.0)	(7.0)	5.49	頁岩	北上山地	中生代	縦形 刀部 片面二側縁加工	36	26
63	トレンチ30の東側	残土	磨製石斧	(117.0)	(58.0)	33.0	355.70	ヒン岩	北上山地	中生代白亜紀	刃部欠損	36	26
64	S202	カマド前 埋土直土	磨石	97.0	74.0	55.0	579.60	花崗岩	北上山地	中生代白亜紀	両面磨面 片面に浅い縦行痕	36	26
65	3区谷部	黒層黒土	磨石	101.0	88.0	55.0	705.80	輝岩	原山山麓?	中生代白亜紀	全面磨面	36	26
66	S202	南平塚土2層	磨石	131.0	69.0	51.0	629.90	凝灰岩	北上山地	中生代	片面に執熱痕あり 両面磨面 一端縁磨面 厚約 25mm	36	26
67	6区谷部	黒層黒土層	閃石	(101.0)	63.0	44.0	415.10	流紋岩	赤土ヶ丘・松山・立丸峠	新生代古第三紀	砥石の転用? 片面に窪み 閃石 執熱痕あり	36	26
68	SK29	南平塚土下位	閃石	(170.0)	(90.0)	20.0	487.70	流紋岩	赤土ヶ丘・松山・立丸峠	新生代古第三紀	両面に窪付痕 執熱痕あり	37	26
69	S202	北平塚土2層	砥石	120.0	64.0	45.0	410.50	流紋岩	赤土ヶ丘・松山・立丸峠	新生代古第三紀	片面に窪みあり	37	26
70	S202	ベルトA-A6層	穿孔礫	67.0	47.0	44.0	221.79	輝石	千船田火山	新生代新第四紀	穿孔部径 6mm	37	26

第15表 金属製品観察表

(数値): 推定値

図版No.	出土地点	層位	種別	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	材質	備考	図版No.	写真No.	
71	SX00-04	①南平塚土下位	鉄鍔	(6.3)	0.8	0.6	13.10	鉄	両面欠損 刃部縮曲	38	27	
72	S202	黄褐色土下の黒褐色土	斧?	(4.7)	(3.4)	(0.6)	72.30	鉄	壊状?	38	27	
73	S202	北平塚土下位6層	結縛帯	4.9	5.1	0.3	22.70	鉄	軸棒なし 中央部穿孔あり	38	27	
74	SK04	南平塚土下位層	鉄製品No.1	結縛帯	(11.5)	5.3	0.4	23.60	鉄	軸棒一端が欠損、一端が折れ	38	27
75	S202	南平塚土2層	刀子	19.4	1.4	0.3	21.30	鉄		38	27	
76	S202	7区住居跡?埋土	刀子?	(3.8)	(1.3)	0.2	5.30	鉄	77と同一個体	38	27	
77	S202	7区住居跡?埋土	刀子?	(2.3)	(1.3)	0.2	2.10	鉄	76と同一個体	38	27	
78	SK02	南平塚土下位	鉄製品No.1	刀子	(21.8)	1.9	0.3	35.30	鉄	柄の端部欠損	38	27
79	SN01	鉄製品No.1	刀子	(21.4)	1.8	0.3	41.00	鉄	刃部欠損	38	27	
80	6区	南側1層	刀子	(14.7)	2.1	0.1	23.30	鉄	刃部欠損	39	27	
81	トレンチ30	探丸層	刀子?	(3.3)	1.2	0.3	4.90	鉄	柄?	39	27	
82	SK30	北側トレンチ直土	鈎	10.5	0.8	0.3	20.30	鉄	両面に屈曲あり 先端とがる	39	27	
83	トレンチ30	探丸層	棒状	(4.5)	0.8	0.9	18.20	鉄	断面円型	39	27	
84	SX102	南平塚土下位	鋸?	(8.8)	(4.6)	0.5	76.50	鉄	底部?	39	27	
85	SN02	焼土中位層土	鉄製品No.1	鋸?	(8.8)	(6.9)	1.1	177.70	鉄	底部、径・厚さ	39	28
86	SK01	南平塚土2層	青銅製器	(5.6)	(2.4)	0.2	16.20	銅	器の口縁部? 仏具 茶托、口縁・器高・厚さ	39	28	
							総重量	583.80				

第16表 銭貨観察表

製の段差: ○明確、△不明瞭、×なし (数値): 推定値

図版No.	出土地点	層位	銭名	外形 (mm)	内径 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	材質	初铸年	表部			備考	図版No.	写真No.	
										内	外	内				
91	トレンチ30の東側	埴土1層	寛永通寶	20 × (23.0)	6.5 × 6.0	1.0	2.20	銅銭	1607 ~	○	○	△	△	新寛永	39	28
92	SK30の北側	トレンチ内直土	寛永通寶	20 × 20.0	4.5 × 5.0	2.0	5.80	鉄銭	1768 ~	○	○	△	○	四文銭 流鏑あり	39	28
93	SK30の北側	トレンチ内直土	寛永通寶	20 × 20.0	5.5 × 5.5	1.5	4.60	鉄銭	1768 ~	○	○	×	×	四文銭 流鏑不明瞭	39	28

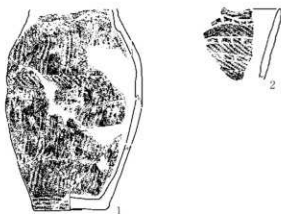
第17表 鉄滓類観察表

整理No.	検体No.	出土地点	層位	重量 (g)	分類	縮尺	メタル反応	種別	備考	写真No.
1	101	SI02	北カマド床面	33.50	I A	有	無	流動滓		28
2		SI02	北カマド床面	55.60	I B	無	—	流動滓		
3		SI02	北カマド付点床底	0.90	II A	有	無	中内滓		
4		SI02	北カマド付点床底	36.10	II A	有	無	中内滓		
5		SI02	北平理土2層	78.70	I A	無	—	流動滓		
6	102	SI02	北平理土2層	803.10	I A	無	—	流動滓		28
7		SI02	PPS 北平理土	36.90	I A	無	—	流動滓		
8		SI02	?	210.30	I A	無	—	流動滓		
		SI02		総重量	1255.10					
18		SK04	北平理土3層	233.20	II A	無	—	中内滓		
19		SK13	理土2	85.10	I A	無	—	流動滓		
20	100	SK29	南平理土上位	73.40	II B	無	—	中内滓		28
9	103	SX101	⑤工房跡?理土	336.90	I A	無	—	流動滓		28
10		SX101	⑥工房跡?理土下部	2.50	II A	有	弱	中内滓		
11		SX101	⑥区工房跡?	78.80	II A	無	—	中内滓		
		SX101		総重量	408.20					
12		SX103	⑤南平理土下位	5.80	II A	有	強	中内滓		
13		SX103	⑤南平理土下位	4.70	I B	無	—	流動滓		
		SX103		総重量	10.50					
14	104	SX103-04	⑤南平理土下位	69.50	II A	有	弱	中内滓		28
15	105	SX103-04	⑤南平理土下位	25.60	II A	無	—	中内滓		28
16		SX103-04	ベルトC→C'理土1	2.10	II A	有	弱	中内滓		
17		SX103-04	ベルトC→C'理土1	53.60	II A	有	強	中内滓		
		SX103-04		総重量	150.80					
22		6区分層	II層	19.20	II B	無	—	中内滓		
23		6区分層	II層	8.20	II A	有	弱	中内滓		
24		6区分層	II層	4.40	I A	有	無	流動滓		
25		6区分層	II層	22.30	II A	有	強	中内滓		
26		6区分層	ベルトA-A'1層	20.90	I A	無	—	流動滓		
		6区分層		総重量	75.00					
27		⑧	南壁 木根より	5.90	II A	有	無	中内滓		
28		6区	表土南側	48.30	II A	有	無	中内滓		
29		6区	表土南側	27.70	II A	有	強	中内滓		
30		6区	斜面	37.20	I A	有	無	流動滓		
31		⑨	昭和色土	98.70	II A	有	中	中内滓		
		6区		総重量	217.80					
32		⑦	II層黒褐色 トレンチ23付点	10.00	II A	有	中	中内滓		
33		⑦	II層黒褐色 トレンチ23付点	6.50	I C	無	—	流動滓		
34		⑦	II層黒褐色 トレンチ23付点	14.40	I B	無	—	流動滓		
35		⑦	II層黒褐色 トレンチ23付点	69.80	I A	無	—	流動滓		
36		7区	残土	182.80	II A	有	弱	中内滓		
		7区		総重量	283.50					
21		IV A3a	I層	28.50	II A	有	強	中内滓		
				重量合計	2821.10					

第18表 炭化材観察表

整理No.	出土地点	層位	重量 (g)	種類判定	備考
1	SI02	西カマド理土	4.05	ケヤキ	
2	SI02	北カマド理土	0.48		
3	SI02	北側カマド床	2.16	ケヤキ	
4	SI02	南平理土4層	3.24		炭化材No.6 <sup>13</sup> C分析
5	SI02	記入なし	0.64		炭化材No.7
6	SI02	北平理土	11.02	ナラ	炭化材No.10
7	SI02	北平理土2層	19.57	ナリ	炭化材No.26
8	SI02	北平理土下位	4.31		
9	SI02	理土下部	2.35		
10	SI02	理土下部	13.82	ケヤキ (ナラ合)	
		SI02	総重量	61.64	
18	SX101	⑤工房跡? 理土	11.41		
19	SX101-04	ベルトA-A'1層	2.61		
20	SX101	理土13層	1.26		<sup>13</sup> C分析
11	SK01	西平理土6層	0.53		<sup>13</sup> C分析
12	SK23	ベルトA-A'	34.18	ナモ (アカ)	
21	SN01	西平理土4層	34.50		
13	SN02	北平理土4層	2.33		
14	SN03	炭化物層	8.41	ナリ	
15	SN04	2層	6.64	ナリ	
16	SN04	記入なし	9.57		
		SN04	総重量	16.21	
17	SN05	記入なし	1.02	ケヤキ	
22	トレンチ110	根拠部 参考	4.60		
			重量合計	178.70	

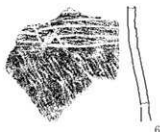
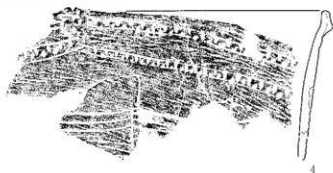
S I 02



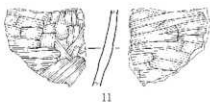
S X I 01



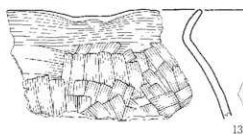
6区・VBグリッフェン



S I 01



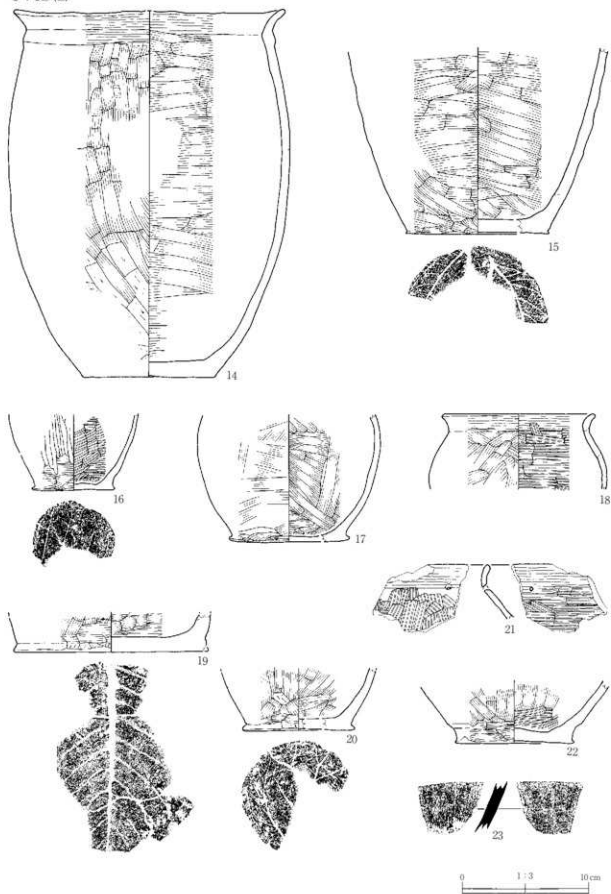
S I 02 (1)



13

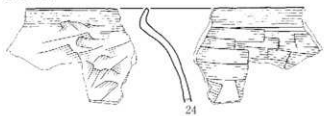


S 102 (2)

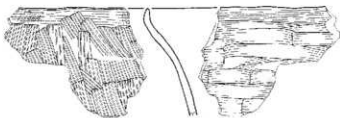


第33圖 土器 (2)

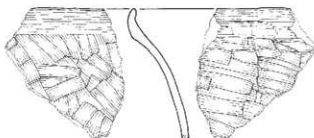
S X I 01



24



25

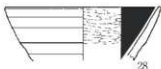


26

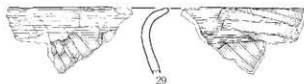


27

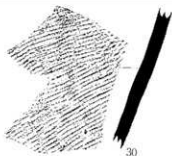
S X I 03



28

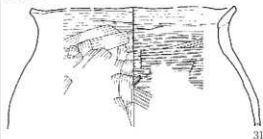


29

S X I 03 ·  
S X I 04

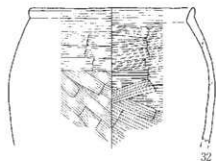
30

S K 04



31

S K 04 · 05



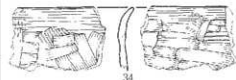
32

S K 05



33

S K 16



34

S K 17



35

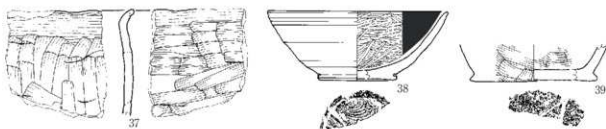
S N 02



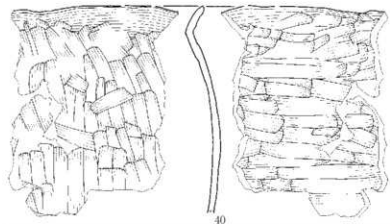
36



SN03



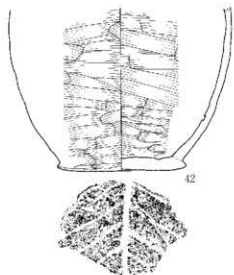
SN03・SX103



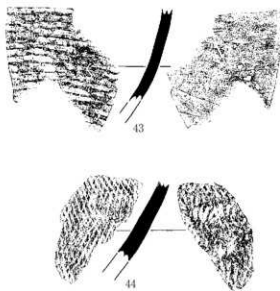
SN03・SX101・03



トレンチ16



6区



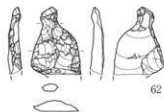
S102



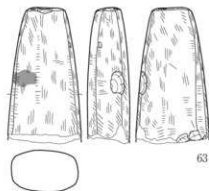
第35図 土器(4)・土製品



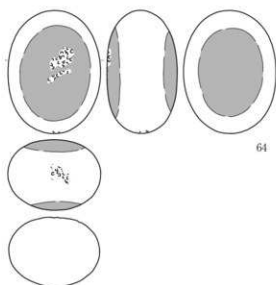
61



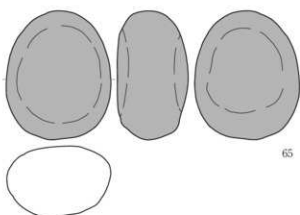
62



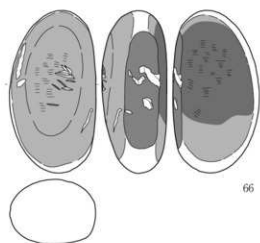
63



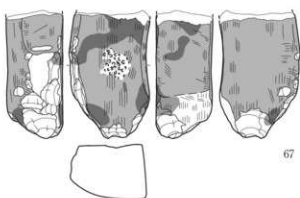
64



65



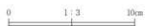
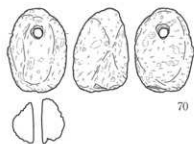
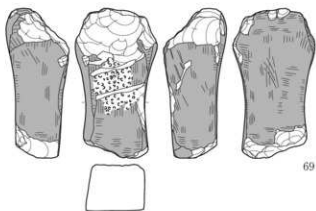
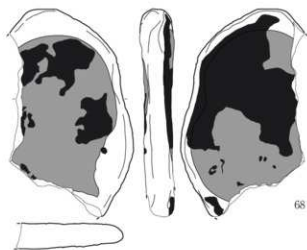
66



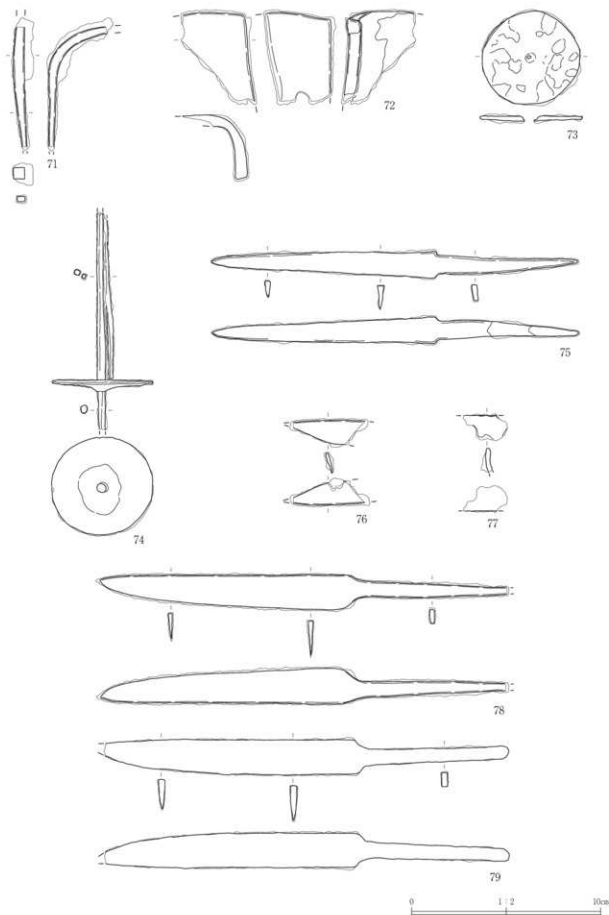
67



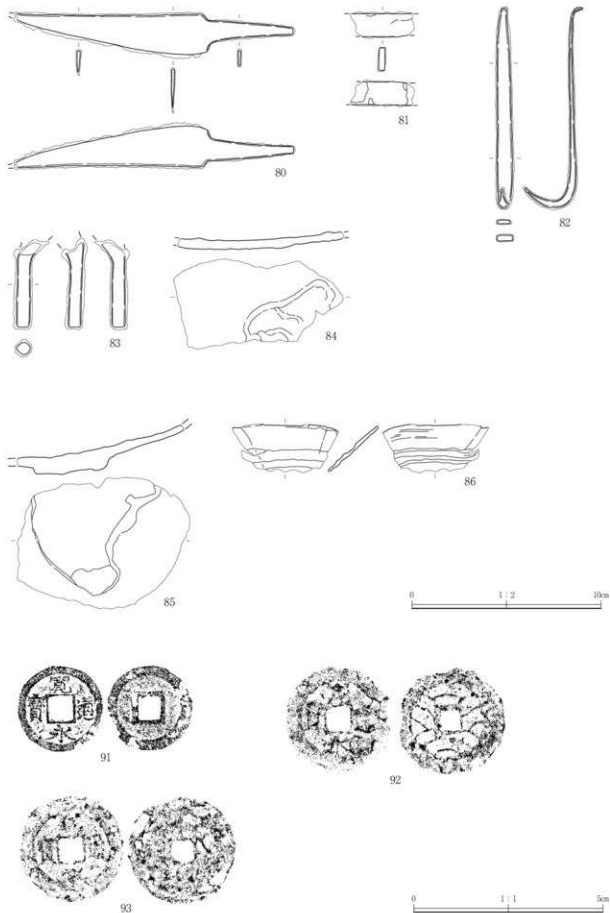




第37図 石器(2)・石製品

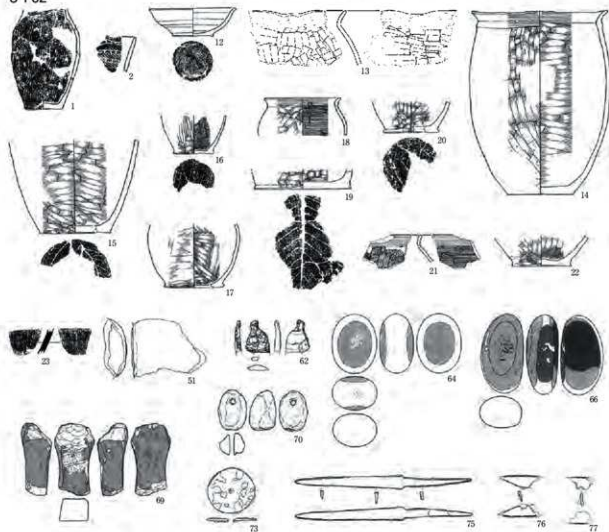


第38図 金属製品 (1)



第39回 金屬製品(2)・錢貨

S I 02



S X I 01



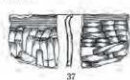
S X I 03



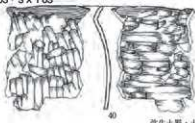
S X I 03・04



S N 03



S N 03・S X I 03



S N 03・S X I 01・03



弥生土器・土師器・須恵器・羽口・糠石器：1/6  
銅片石器・金属製品：1/4

## V 平成28年度調査

## 1 検出遺構

## (1) 検出遺構の概要

古代の竪穴住居跡7棟、工房跡6棟、土坑59基、陥し穴状遺構1基、炭窯跡2基、焼土遺構2基を検出した。遺構は、尾根頂部の平坦面から東側・南側の緩斜面で確認した(第41～43図)。以下、種別毎に報告する。

## (2) 竪穴住居跡

古代の竪穴住居跡7棟(1棟は平成29年度継続調査遺構)を確認した。調査区4区の尾根上から南斜面にかけて2棟、調査区1区の尾根上から南斜面にかけて5棟を確認した。以下に個別に詳述する。計測値などは、第19表 竪穴住居跡観察表を参照されたい。

## S I 03竪穴住居跡

遺構(第44図、写真図版32)

[位置・検出状況] 4区、IV A 6 j・7 j、IV B 6 a・7 aグリッド。平成27年度調査トレンチ116の調査時に平面形の一部が確認されていたもので、試掘溝を拡張して調査を行った。

[重複関係] 東側で、S K 40・41土坑と重複している。新旧関係は判然としない。いずれもS I 03竪穴住居跡の精査途中で、土坑の存在に気付いたものである。

[規模・平面形] 東側の斜面下位は削平されており、正確な規模・形状は不明である。残存する部分で一辺4.7m、残された壁は直線的で、平面形は隅丸方形と推測される。

[埋土・堆積状況] マサ土粒を含む暗褐色土を主体として構成される。自然堆積と思われる。

[壁・床面] 壁・床はIV層を掘り込んでつくられている。残存している西壁は、やや傾斜して立ち上がる。壁高は0.75mである。残存する床面はほぼ平坦である。貼り床は施されていない。

[柱穴・配置] 壁際にPP 1・2を確認したが、配置は不明である。

[カマド] 北壁側に壁を掘り込んだ窪みがあり、その南側で焼土を確認した。精査途中で汚れた焼土や粘土、礫等が散在した状態で確認されており、焼土はカマド燃焼部と推測される。焼土は径80cm、厚さ5cmである。北壁の窪み部分は木根と重複し、不明瞭だが、人為的掘り込み(煙道)と判断した。

[その他の付属施設] なし。

遺物(第77・81図、写真図版57・59・63)

[出土状況] 土師器828.7g、須恵器4.6g、陶磁器、鉄滓類が出土した。陶磁器は、木根の攪乱があったカマド付近の出土であり、後世の混入と推測する。

[土器] 土師器(201～203)、須恵器(204)、陶磁器(246)。

[鉄滓類] 炉内滓(301)。

時期 遺構の形状と出土遺物から古代(平安時代)と推定される。

## S I 04 竪穴住居跡

## 遺構 (第45・46図、写真図版33)

[位置・検出状況] 4区・5区、ⅢA 6 e・7 e グリッド。西側は調査区外にかかる。確認した範囲は、北側4区の範囲を平成28年度、南側5区の範囲を平成29年度に調査した。遺構図は、各年度の調査範囲を明示した1枚の図にまとめて図示した。平成28年度調査では、表土除去後にIV層で黒褐色土の広がりを確認し、遺構の存在を認識した。平成29年度調査では、S I 04 竪穴住居跡の南側で検出作業を行い、IV層上面で炭化物を含む焼土の広がりがや複数の礫を確認し、調査を行った。

[重複関係] 東側でS X I 04・05工房跡と重複する。新旧関係は判然としなが、東側をS X I 05工房跡に切られているようにみえる。

[規模・平面形] 東側は斜面地形で失われ、S X I 05・06工房跡と重複しており、全体の規模・形状は不明である。検出された西壁及びそれに続く床面が残存する。南北6.0×東西1.5mの範囲である。

[埋土・堆積状況] 表土から床面まで埋土は大きく5つに分けられる。最上位の表土の黒褐色土、上位のぶい黄褐色土、中位の炭化物を含む黒褐色土、下位のぶい黄褐色土、最下位の焼土粒・土師器・炭化物を多く含む黒褐色土で構成される(平成28年度調査分)。炭化材は途切れた状態で床面直上から、焼土粒は床面より数cm浮いた形で堆積している。埋土中央部の攪乱を除けば、全体的に自然堆積の様相を呈している。断面B-B' 20層の落ち込みは、平成29年度調査で柱穴PP 6として確認した。

[壁・床面] IV層を掘り込んでつくられている壁面は、外傾しながら立ち上がる。壁高は北壁で0.96m、南端で0.4mである。床面は、IV層を掘り込み、そのまま床面としており、貼り床は施されていない。床面は木根による凹凸が幾分あるが、締まっている。床面は全体的に斜面下方に傾斜している。北壁に沿って検出された壁溝の規模は、幅10~14cm、長さ90cm以上、深さ14cmである。

[柱穴・配置] 6個を確認した。規模・位置からPP 5・6が主柱配置を構成する可能性がある。

また、小規模なPP 2~4はカマドの右袖部分にあり、カマド構築に関わる痕跡の可能性が高い。

[カマド] 調査範囲の西側に礫がまとまって出土し、埋土下位に炭化材・焼土を確認した。図上で推測される竪穴住居跡の西壁はほぼ中央に位置する。竪穴の西側にカマドが存在した可能性が高い。

[その他の付属施設] なし。

## 遺物 (第77・108・112・114 (集成) 図、写真図版57・63・85・88・90)

[出土状況] 埋土から土師器1117.8g (844.2g (平成28年度調査) + 273.6g (平成29年度調査))、石器1点、鉄滓80.1g (81g (平成28年度調査) + 72.0g (平成29年度調査))が出土し、土器No 1 (411)・2、石器No 1 (457)を取り上げた。床面及び直上の遺物はほとんどカマド周辺から出土である。出土遺物は、平成28年度・平成29年度の各年度の遺物図版に掲載し、集成図 (第114図) でまとめた。

[土器] 土師器 (205・206※平成28年度調査、411※平成29年度調査)。

[石器] 台石 (457※平成29年度調査)。

[鉄滓類] 流動滓 (302※平成28年度調査、481・482※平成29年度調査)。

[炭化材] カマド周辺の埋土下位から取り上げた炭化材は、肉眼鑑定でクリと判定されている。

時期 出土遺物から、古代 (平安時代) と推定される。

## S I 05 竪穴住居跡

## 遺構 (第47・48図、写真図版34)

[位置・検出状況] 1区の中央付近、I A 10 h・10 i・II A 1 h・1 i・2 h・2 i グリッド。調査区内で最も標高の高い地点である。

[重複関係] S K57・58・59・64・65・66・82土坑など複数の土坑と重複する。いずれもS I 05竪穴住居跡の精査中に確認したものである。新旧関係が明瞭なものは、S K57土坑がS I 05竪穴住居跡の周溝を切っており、S I 05 (旧) → S K57 (新) の重複関係がある。その他の遺構は判然としない。

[規模・平面形] 東側・南側の範囲が不明瞭だが、7.5×6.5m以上の隅丸方形と推測される。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土・暗褐色土が主体である。自然堆積と推測される。

[壁・床面] 壁はやや外傾して立ち上がる。壁高は、もともと残る北西壁で約0.3mである。床面は、ほぼ平坦でIV層を床面とする。北壁から西壁に沿って壁溝が廻る。

[柱穴・配置] PP 1～PP19の19個を確認した。PP 2・14・7などが支柱を構成する可能性があり、また、PP 1・2とPP14・15などの位置関係から、柱の建て替えが行われた可能性もある。

[カマド] 北壁ほぼ中央付近で1箇所確認した。袖に当たる粘土等は未確認で焼土と礫、壁溝に連なる掘り込みを確認した。焼土の規模は60×40cm、厚さ4cmである。煙道も確認できなかった。

[その他の付属施設] なし。

遺物 (第77・82・85・86 (集成) 図、写真図版57・60・62・63図)

[出土状況] 土師器882.1g、須恵器19.5g、石器2点、鉄滓159.5gが出土した。磨石 (262) はPP 5からの出土である。

[土器] 土師器 (207)、須恵器は、小片のため不掲載。

[石器] 敲磨器類：磨石 (262)・凹石 (265)。

[金属製品] 鈎針 (290)、棒状 (295)。

[鉄滓類] 炉底滓 (303)。

時期 出土遺物から、古代 (平安時代) と推定される。

## S I 06竪穴住居跡

遺構 (第49図、写真図版35)

[位置・検出状況] 1区南西側、II A 4 f・5 f グリッド。西側が調査区域外にかかる。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 西側は調査区域外で、南側は攪乱を受けており、全体の規模は不明である。確認された北東壁は長さ5.8mである。方形基調の形状であった可能性がある。

[埋土・堆積状況] 暗褐色土・マサ土起源のにぶい黄褐色土・黒色土が主体である。

[壁・床面] 壁はやや外傾して立ち上がる。壁高は、もともと残る北東壁で約0.6m立ち上がる。床面はほぼ平坦で、IV層を床面とする。貼床は確認されていない。

[柱穴・配置] PP 1～11を確認した。支柱の構成など不明である。

[カマド] 北東壁側に1箇所確認した。天井・袖となる粘土の痕跡は確認できず、煙道も確認できなかった。礫が散在する状態で確認され、その下位で焼土を確認し、カマドの痕跡と推測した。焼土の大きさは径60cmの楕円形、厚さは3～4cmである。周辺から羽口を縦位置に置いた状態で出土し、支脚としての再利用も考えたが、燃燒部より西側の位置であり、詳細は不明である。

[その他の付属施設] 床面から埋設土器 (208) が出土している。

遺物 (第77・81図、写真図版57・59)

[出土状況] 土師器1056.5g、羽口486.8gが出土している。カマドの周辺から多く出土している。

[土器] 土師器 (208～210)。

[土製品] 羽口 (251・252)。

時期 出土遺物から、古代（平安時代）と推定される。

### S I 07 竪穴住居跡

遺構（第50図、写真図版36）

〔位置・検出状況〕1区の中央より南東側、II A 3 g・3 h グリッド。表土除去後、IV層でマサ土起源の黄褐色土の広がりとして確認した。

〔重複関係〕SK84土坑を切り、SK83土坑に切られている。重複関係は、SK84土坑→S I 07 竪穴住居跡→SK83土坑の新旧関係がある。S I 07 竪穴住居跡の床面でSK84土坑を検出し、SK84土坑の埋土上にS I 07 竪穴住居跡に伴うと判断した焼土を確認し、SK84土坑が古いと判断した。

〔規模・平面形〕斜面上位の北側が残存する。斜面下位の南側は消失している。全体の規模・形状の詳細は不明だが、一辺4.4mほどの隅丸方形を呈していたものと推測される。

〔埋土・堆積状況〕黄褐色土・にぶい黄褐色土が主体である。東側の埋土では、S I 07 竪穴住居跡を切るSK83土坑の埋土の堆積が確認された。

〔壁・床面〕壁はやや外傾して立ち上がる。壁高は、もともと残る北壁で約0.45m立ち上がる。床面はほぼ平坦で、IV層を掘り込んでいる。北側の一部に壁溝が廻る。

〔柱穴・配置〕確認できなかった。

〔カマド〕北壁側で1箇所確認した。礫と粘土・焼土などが確認できたことから、カマドの痕跡と推測した。煙道は確認できなかった。

〔その他の付属施設〕なし。

遺物（第77図、写真図版57・64）

〔出土状況〕土師器250.7g、植物遺存体0.28gが出土した。植物遺存体は、西半埋土から出土した。

〔土器〕土師器（211）。

〔植物遺存体〕ミズナラ（333）、コナラ（334）。分析結果は、Ⅶ 分析・鑑定を参照されたい。

時期 出土遺物から、古代（平安時代）と推定される。

### S I 08 竪穴住居跡

遺構（第51・52図、写真図版37）

〔位置・検出状況〕1区の南側斜面、II A 5 i・5 j・6 i・6 j グリッド。にぶい黄褐色土の広がり、黒褐色土の広がりとして確認された。南側の斜面下位は遺構が消失している。

〔重複関係〕SK87・88・89・95土坑と重複する。新旧関係は判然としなかった。

〔規模・平面形〕竪穴住居跡の北側半分ほどの検出と推測される。北壁で一辺約7.0mである。

〔埋土・堆積状況〕にぶい黄褐色土・灰黄褐色土が主体である。西側に位置するカマド周辺に比較的明らかににぶい黄褐色土層の堆積と広がりが確認された。カマドの痕跡であった可能性がある。

〔壁・床面〕壁はやや外傾し、壁高は北壁で約0.95mである。床面はほぼ平坦で、IV層を掘り込んでいる。黄褐色粘土層の下位で確認された壁溝が北東壁に部分的に廻る。幅8～10cm、深さ5cmである。

〔柱穴・配置〕PP 1～19を確認した。PP12・15・5などが主柱穴の可能性はあるが、判然としなかった。

〔カマド〕西側で1箇所確認した。住居跡の検出と同時ににぶい黄褐色土の広がりとして確認した。記録作成後に粘土を除去したところ、礫が散在し、焼土を確認した。礫はカマドの袖の芯材として使用されたような状態を示すものもあった。壁と焼土の間に土器が確認されており、使用後に遺された土器と推測する。煙道は確認できなかった。住居東側の床面でも小規模な焼土遺構を2箇所確認して



いる。

[その他の付属施設] なし。

**遺物** (第77・78・83・84・85・86 (集成) 図、写真図版57・61・62・63・64)

[出土状況] 土師器2587.8g、石器2点、鉄製品3点、鉄滓497.4g、植物遺存体1.35gが出土した。カマド周辺から多く出土した。土師器213はS K88土坑、214はS K87土坑と接合した資料である。

[土器] 土師器 (212・213・214)。

[石器] 敲磨器類：凹石 (266)、支脚使用の礫 (270)。

[金属製品] 刀子 (278)、棒状 (296・297)、不明 (299)。

[鉄滓類] 炉内滓 (304)、炉底滓 (305)。

[植物遺存体] オニグルミ (331) が出土している。詳細は、Ⅶ 分析・鑑定を参照されたい。

[炭化材] 炭化材が出土している。

**時期** 出土した炭化材について、放射性炭素年代測定を行った。<sup>14</sup>C年代930±20 yrBP、暦年較正年代1045～1145CalADとの結果を得た(Ⅶ 分析・鑑定)。出土遺物とあわせて考えると、古代(平安時代)と推定される。

## S I 09 竪穴住居跡

**遺構** (第53図、写真図版38)

[位置・検出状況] 1区北側、I A 6g・6hグリッド。1区北側で尾根上にあり、北斜面から平坦面にかかる地点である。表土を除去し、Ⅲ層～Ⅳ層で黒褐色土の広がりを確認し、遺構と判断した。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 北側と西側は調査区域外にかかる。南壁の一部が検出された。南壁は4.4m、東壁と推測される部分が2.8mである。残存する東壁と南壁から平面形は方形基調と推測される。

[埋土・堆積状況] 表土から床面まで埋土は大きく6つに分けられる。最上部の表土、旧表土の黒褐色土、上部中位の炭化物と褐色土ブロックを含む暗褐色土、上部下位の炭化物とにぶい黄褐色土を含むにぶい黄褐色土、下部上位がにぶい黄褐色土ブロックを含む暗褐色土、下部中位がにぶい黄褐色土、最下部の黒褐色土である。全体としては自然堆積の様相を呈している。

[壁・床面] 壁高は南壁で最大0.6mを測り、外傾して立ち上がる。床面は、Ⅲ層を掘り込んで平坦につくられており、貼り床は施されていない。南壁側の一部の床面が残存する。南壁で確認された壁溝の規模は、幅10～15cm、長さ64cm、深さ8cmである。

[柱穴・配置] PP 1・2・3の3個を確認した。主柱穴を構成する可能性がある。

[カマド] カマドは南壁側につくられ、煙道につながる両袖の壁際に芯材としての礫が原位置で残存している。焚口側の細長い扁平な礫は、カマドの天井部を構成した礫が崩壊したと考えられる。カマド袖は扁平な礫を芯材にして褐色粘土で被覆して構築されていたと推測する。燃烧部の規模は、径45×56cmの不整な楕円状で、厚さ6cmである。カマド本体の規模は幅が約60cm、奥行き約45cmと推測される。煙道は壁際上部が削平を受けている。割り貫き式の長煙道で、燃烧部から緩く立ち上がり、半分より奥側に幾分下降しながら煙出し口につながる。煙出し口は、外傾し、上部を粘土塊や扁平な礫で外周を囲んでいる。規模は、径26×45cm、深さ48cmである。煙道部の長さは176cmである。

[その他の付属施設] カマド西側に南壁とつながる形で張り出す段差が検出されている。形状は隅丸方形で、規模は径40×62cmである。位置、形態、規模から出入り口状施設の一部と推測される。

**遺物** (第78・85図、写真図版57・62・64)

[出土状況] 土師器307.7g、金属製品1点、植物遺存体0.05gが出土している。植物遺存体は、コマドから出土した。

[土器] 土師器(215)。

[金属製品] 鉄釘(280)。

[植物遺存体] イネ(335)、アワ(336)、キビ(337~346)、不明(347)。分析結果は、Ⅶ分析・鑑定を参照されたい。

時期 出土遺物から古代(平安時代)と推定される。

(光井文行)

### (3) 工 房 跡

4棟確認した。竪穴状に掘り込み、壁際に柱穴や壁溝、内部に炉跡の施設を持つ。これまでの調査事例から工房跡として調査を行い、報告する。計測値などは第20表 工房跡観察表を参照されたい。

#### S X I 05工房跡

遺構(第54・55図、写真図版39)

[位置・検出状況] 4区、ⅢA6e・7eグリッド。尾根筋から東斜面上位に位置している。Ⅳ層上面まで掘り下げた際に黒褐色～暗褐色土の広がりがみられ、遺構と判断した。

[重複関係] 西側でS I 04竪穴住居跡、東側でS X I 06工房跡と重複する。S I 04竪穴住居跡・S X I 06工房跡を切る。

[規模・平面形] 斜面下方の東側は削平され、消失している。北側は攪乱を受けて壊されている。検出した西壁の長さは5.2mである。残存する西壁と北壁から、平面形は方形基調と推測される。

[埋土・堆積状況] 埋土は上位にふい黄褐色砂質シルト、中位に炭化物含む黒色～暗褐色砂質シルト、下位のふい黄褐色～黄褐色砂質シルトで構成されている。埋土断面が三角状にみられる堆積の仕方していることから、自然堆積の様相を呈している。

[壁・床面] 床面は攪乱を受けて凹凸な面もあるが、全体としては平坦で、やや斜面下方側に傾斜している。西壁側からS X I 06工房跡と重複する部分まで、中央部を中心に固くしまっている。

[柱穴] S X I 06工房跡と併せて、PP 1～14を確認した。位置、規模、埋土から、S X I 05工房跡に伴うものはPP1、PP5、PP6、PP8で、これらが主柱穴の一部を構成していたものと考えられる。

[炉跡] 検出されていない。北側の攪乱層近くに焼土が検出されたが、異地性の焼土塊で、現地性焼土ではなかった。東側半分は攪乱を多く受けているため、炉の存在は不明である。

[その他の付属施設] なし。

遺物(第78図、写真図版57)

[出土状況] 土師器51g、須恵器480.8gが出土している。

[土器] 須恵器(216)。

時期 出土遺物から古代(平安時代)と推定される。

(光井文行)

#### S X I 06工房跡

遺構(第54・55図、写真図版39)

[位置・検出状況] 4区、ⅢA6f・7fグリッド。尾根筋から東斜面上部に位置している。S X I

05工房跡を精査している段階で下部から検出された。斜面下方の東側は、擾乱・削平で消失している。  
[重複関係] S X I 05工房跡に切られており、S X I 06 (旧) → S X I 05 (新)の新旧関係がある。  
[規模・平面形] S X I 05工房跡に上半部が切られている。検出した西壁の長さは、4.0mである。一辺4m前後の規模で、平面形は方形基調と推測される。

[埋土・堆積状況] 僅かに残る埋土は炭化物を含むにぶい黄褐色砂質シルトで占められている。  
[壁・床面] IV層マサ土を掘り込んでつくられている床面はしまっている。貼り床は施されていない。擾乱による大小の凹凸があり、全体的に斜面下方の東側に幾分傾斜している。  
[柱穴] S X I 05工房跡と併せてPP 1～14を確認した。位置や規模から西壁にあるPP 9・10・11はS X I 06工房跡に伴うものである。その他のものについては確定できず、柱穴配置は不明である。

[炉跡] なし。

[その他の付属施設] 検出されなかった。

遺物 なし。

時期 出土遺物はないが、古代と推定される。

(光井文行)

#### S X I 07工房跡

遺構 (第56図、写真図版40)

[位置・検出状況] 1区、II A 4 f・4 g・5 gグリッド。表土除去後のIV層で細長い溝状の形で確認した。溝状の遺構の可能性もあるが、工房跡の壁・床の痕跡として調査した。西側は調査区域外に延びる。斜面下位は失われていると推測する。南側に同様の遺構の先端部分を確認した。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 規模は、確認した部分で、7.3×1.4mである。長軸が等高線に沿っている。細長い溝状の形状である。

[埋土・堆積状況] マサ土起源のにぶい黄褐色土が主体である。自然堆積と思われる。

[壁・床面] 壁は外傾して立ち上がる。もっとも残りの良い北壁で壁高0.3mである。壁・床面はIV層を掘り込んで、平坦面をつくっている。

[柱穴] 確認できなかった。

[炉跡] 確認できなかった。

[その他の付属施設] なし。

遺物 なし。

時期 出土遺物はないが、古代と推定される。

#### S X I 08工房跡

遺構 (第56図、写真図版40)

[位置・検出状況] 1区、II A 5 hグリッド。表土除去後のIV層で、にぶい黄褐色土の広がりとして検出した。工房跡の壁・床の痕跡として調査した。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 規模は、3.05×0.8mを測る。先端が湾曲する溝状の形状である。長軸が地形の等高線に沿って掘り込まれた形状である。

[埋土・堆積状況] マサ土起源のにぶい黄褐色土が主体である。

[壁・床面] 壁は外傾して立ち上がる。もっとも残りの良い北壁で、壁高0.35mである。壁・床面はⅣ層を掘り込んで、平坦面をつくっている。

[柱穴] 確認できなかった。

[炉跡] 確認できなかった。

[その他の付属施設] なし。

**遺物** (第78図、写真図版58)

[出土状況] 土師器30.3gが出土した。土師器(217)は、S X I 09出土破片と接合したものである。

[土器] 土師器(217)。

**時期** 出土遺物から古代(平安時代)と推定される。

### S X I 09工房跡

**遺構** (第57図、写真図版40)

[位置・検出状況] 1区、II A 4 h・4 i グリッド。表土除去後のⅣ層で検出した。検出段階では1棟の工房跡と考え、精査を進めたが、その後、S X I 09・10の2棟の重複遺構であることが判った。

[重複関係] S X I 10工房跡・S W 03炭窯跡と重複する。新旧関係は、S W 03炭窯跡を切り、S X I 10工房跡に切られていると推測する。S W 03炭窯跡→S X I 09工房跡→S X I 10工房跡の新旧関係がある。

[規模・平面形] 南側の斜面下は失われている。規模は、残存部で4.4×1.65mである。南西-北東方向の地形の等高線に沿って長軸を持つ竪穴状の遺構と推測される。

[埋土・堆積状況] 褐色・暗褐色土とにぶい黄褐色土が主体である。

[壁・床面] 壁は外傾して立ち上がる。北壁で壁高0.55mである。壁・床面はⅢ層を掘り込んで、平坦面をつくっている。重複するS X I 10工房跡より床面が10~15cmほど高い。

[柱穴] 確認されなかった。

[炉跡] 確認されなかった。

[その他の付属施設] なし。

**遺物** (第78図、写真図版58・63)

[出土状況] 土師器・鉄滓類が出土している。

[土器] 土師器(218)。

[鉄滓類] 流動滓(309)。

**時期** 出土遺物から古代(平安時代)と推定される。

### S X I 10工房跡

**遺構** (第57図、写真図版40)

[位置・検出状況] 1区、II A 3 j・4 i・4 j グリッド。表土除去後のⅣ層での検出である。削平されているため、壁・床面など一部の検出である。検出段階では、1棟の工房跡と考え精査を進めたが、2棟の重複があることが分かった。S X I 09・10工房跡の重複遺構である。

[重複関係] S X I 09工房跡と重複する。新旧関係は、S X I 09工房跡を切っていると推測する。

[規模・平面形] 南側の斜面下は失われている。規模は、残存部で4.35×2.0mである。南西-北東方向の地形の等高線に沿って、長軸を持つ竪穴状の遺構と推測される。

[埋土・堆積状況] 暗褐色土とにぶい黄褐色土・褐色土が主である。

[壁・床面] 壁は外傾して立ち上がる。北壁で壁高0.65mである。壁・床面はⅢ層を掘り込んで、平坦面をつくっている。重複するS X I 09工房跡より床面が10～15cmほど低い。長軸の壁際に沿って壁溝が廻る。幅30cm、深さ3cmである。

[柱穴] 2個確認した。西壁際にあり、壁際に柱穴が設けられていた可能性がある。

[竈跡] 竈穴のほぼ中央付近で地床炉が確認された。40×30cmの楕円形である。

[その他の付属施設] なし。

遺物 なし。

時期 古代と推定される。

#### (4) 土 坑・陥し穴状遺構

59基の土坑を確認した。個々の土坑の規模・形状・新旧関係などは、第21表 土坑類観察表を参照されたい。以下、各土坑の特徴、調査所見や出土遺物などについて記載する。

#### S K 34 ～ 59・61 ～ 73・75 ～ 79・81 ～ 95土坑・S K 60陥し穴状遺構

遺構 (第58～75図、写真図版41～55)

4区では、S K 34～41土坑の8基を確認した。S K 34～39土坑は4区東側、S K 40・41土坑は4区南側で確認した。尾根頂部からの斜面部にかけて分布する。S K 34～39土坑、S K 40・41土坑ともに位置は、近接もしくは重複する竈穴住居跡より若干斜面下位に分布する傾向がある。

1区では、S K 42～95土坑の53基を確認した。S K 46・47土坑は重複する。S K 46土坑は、S K 47土坑が完全に埋没した後に掘り込まれており、S K 47土坑の2次精査時、北半埋土3層以下の精査中にS K 46土坑の埋土と貼床状の底面を確認した。S K 48・49土坑は、平面では新旧関係が把握できなかったため、2基同時に精査を行い、断面観察でS K 49土坑(旧)→S K 48土坑(新)の新旧関係を把握した。S K 50土坑は、底面ほぼ中央付近に土器の底部が正立の状態出土した。S K 57・58・59・65・64・66・82土坑は、S I 05竈穴住居跡の精査時に確認した土坑群である。S K 57土坑は、検出時の平面形がS I 05竈穴住居跡の壁溝を切っており、S I 05竈穴住居跡(旧)→S K 57土坑(新)の新旧関係を確認した。重複するS K 65・66土坑は、精査時の不手際で新旧関係を把握できなかった。

S K 60陥し穴状遺構は、長軸3.5m、短軸0.5mで、いわゆる溝状の陥し穴状遺構である。S K 48・49土坑の1次精査時にS K 49土坑の底面のⅣ層で、他より軟弱な土質部分を確認し、その軟弱部分が溝状を呈するS K 60陥し穴状遺構の埋土であった。南側に位置するS K 50・86土坑の精査時にも、同遺構に切られるS K 60陥し穴状遺構の南側部分を確認した。周辺で同様の遺構は確認されなかった。

S K 67～79土坑の13基は、北東側斜面で確認した。S K 74～77土坑の4基は、規模が大きく、斜面の等高線と直交する方向につくり替えられていた。S K 75土坑の埋土26・27層からイガイ主体の貝殻が出土している。S K 81土坑の底部から須恵器片が出土した。S K 83・84土坑は、S I 07竈穴住居跡と重複する。S K 83土坑がS I 07竈穴住居跡を切り、S K 84土坑の埋土上にS I 07竈穴住居跡の床面から続く焼土が形成されていたことから、新旧関係を把握した。

S K 87・88・89・95土坑の4基の土坑群は、S I 08竈穴住居跡と重複する土坑である。S K 87土坑4層の炭化物を含む黒褐色土層から大型の礫が横位で出土した。S K 88土坑11層・12層の炭化物を含む黒褐色土層から礫・土器類が出土した。S K 87・88土坑の埋土状態は類似する。S K 89土坑は、南側に位置するS K 81土坑と埋土状態が類似する。S K 95土坑は、S K 89土坑の1次精査で確認したもので、S K 95土坑(旧)→S K 89土坑(新)の新旧関係がある。S K 85・94土坑は重複し、S K 85土

坑の 2 次精査中に S K 94 土坑を確認した。S K 90・91 土坑は重複し、S K 90 土坑(旧)→S K 91 土坑(新)の新旧関係がある。S K 90 土坑埋土上位から鉄製品、底面付近の埋土下位からイガイ主体の貝殻が出土した。S K 92・93 土坑は、S K 93 土坑(旧)→92 土坑(新)の新旧関係がある。

土坑群全体の特徴は、平面形は円形基調で、断面形はフラスコ状・ピーカー状を呈するものが多い。少数の土坑底面に副穴状の落ち込みを伴う。他遺構と重複する事例が多い。竪穴住居跡と重複する土坑も多く、その場合、竪穴住居と同じか、もしくは若干斜面下側位につくられる傾向がある。

遺物(第 79・80・81・82・83・84・85・86(集成)図、写真図版 58・59・60・61・62・63・64)

出土遺物を見ると、竪穴住居跡と重複する遺構に出土遺物が多い傾向がある。具体的には、1 区頂部の S I 05 竪穴住居跡と重複する S K 58・65・59・65 土坑、南斜面の S I 08 竪穴住居跡と重複する S K 81・88 土坑である。特に須恵器片や鉄製品が多く出土している。また、土坑全体 59 基のうち 40 基(67%)から土師器・須恵器・金属製品などが出土している。各遺構の掲載遺物は次のとおり。

[土器] 土師器(219/S K 39、220/S K 50、221/S K 55、222/S K 59、223/S K 61、224/S K 63、225~227/S K 65、230/S K 67、231/S K 71、232/S K 72、233/S K 73、235/S K 75、236/S K 77、237/S K 78、239/S K 83、240/S K 85、241・242/S K 87、243/S K 88、244/S K 90、245/S K 92)。

須恵器(228・229/S K 65、234/S K 73、238/S K 81)。

[石器] 台石(267/S K 41)、敲打石(264/S K 61)、砥石(268/S K 67)、擦石(263/S K 71)、石錘?(261/S K 78)。

[金属製品] 刀子(279/S K 58)、鉄釘(281/S K 58)、鉄鎌(271/S K 59、272~276/S K 65)、鉄釘(282~285/S K 65、286・287/S K 71、288/S K 73)、槍鉤(292/S K 65)、棒状(298/S K 65)、円筒状(293/S K 73、294/S K 77)、釣針?(291/S K 82)、紡錘車(277/S K 90)。

[鉄滓類] 炉内滓(306/S K 48、307/S K 65)、流動滓(308/S K 65)。

[動物遺存体] キサゴ類殻(313/S K 75)、タイ類?歯牙?(318・319/S K 75)、ケボガイ類殻(311・312/S K 90)、ヨウラクガイ?殻(314/S K 90)、チヂミボラ殻(315/S K 90)、パツラマイマイ殻(316/S K 90)、チシマフジツボ殻(317/S K 90)、ムラサキインコ左殻・右殻(320・321/S K 90)、イガイ左殻・右殻(322・323/S K 90)、マルスダレガイ科左殻(324/S K 90)。詳細は、Ⅶ 分析・鑑定を参照されたい。

[植物遺存体] オニグルミ(332/S K 75)。詳細は、Ⅶ 分析・鑑定を参照されたい。

時期 2 基について放射性炭素年代測定を行った。S K 65は、<sup>14</sup>C年代920±20yrBP、暦年較正年代1046~1155cal AD。S K 88土坑は、<sup>14</sup>C年代1090±20yrBP、暦年較正年代901~988cal AD。詳細はⅦ 分析・鑑定を参照されたい。出土遺物と併せて考えると、これらの土坑の時期は、古代(平安時代)と推定される。

### (5) 炭 窯 跡

炭窯跡を 2 基確認した。埋土の最下層に炭化物の堆積を確認し、床面に被熱して変化した部分を確認したことから炭窯跡と判断した。計測値などは第 22 表 炭窯跡観察表を参照されたい。

### SW02 炭窯跡

遺構(第 76 図、写真図版 56)

[位置・検出状況] 4 区、IV B 2 a グリッド。トレンチ 111 の精査中、IV 層で炭化材の広がりを確認し、拡張して調査した。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 規模は、開口部径153×115cm、底部径135×90cmで、楕円形と推測される。

[埋土・堆積状況] マサ土起源のにおい黄褐色土を主とし、底面直上に炭化物層が形成されている。

[壁・底面] 壁は外傾して立ち上がる。底面はほぼ平坦で、IV層を掘り込んでいる。深さ30cmである。斜面上方の床面が部分的に被熱し、焼土が形成された箇所が点在していた。

[その他の付属施設] なし。

#### 遺物

[出土状況] 炭化材2.3gが出土した。

時期 時期は古代と推定される。

### SW03炭窯跡

遺構 (第76図、写真図版56)

[位置・検出状況] 1区、II A 4 h グリッド。S X I 09工房跡の精査中に確認した。

[重複関係] S X I 09工房跡と重複する。S X I 09工房跡に切られていると判断した。

[規模・平面形] 規模は、開口部径60×45cm、底部径50×30cmで、楕円形と推測される。

[埋土・堆積状況] 15cmほどの厚さの炭化物層が形成されていた。その上に黄褐色土が堆積する。

[壁・底面] 壁は外傾して立ち上がる。底面は緩く湾曲する。IV層を掘り込んでいる。部分的に被熱して赤変している箇所がある。

[その他の付属施設] なし。

#### 遺物

[出土状況] 炭化材138gが出土した。

[炭化材] 樹種はクリ・ケヤキとの鑑定結果を得ている。

時期 放射炭素年代測定を行った。<sup>14</sup>C年代1120±20yrBP、暦年較正年代895～969cal ADの結果が出ている(Ⅶ 分析・鑑定)。古代(平安時代)と推定される。床・壁面に焼土と炭化材、その上に堆積する黄褐色土層の状態から、木炭を製作した状態で置かれた炭窯跡の可能性はある。

### (6) 炉跡・焼土遺構

2基検出した。1区の北東側斜面での検出である。焼土遺構の周囲で柱穴や壁など住居跡の痕跡は確認できていないため、単独の炉跡・焼土遺構として報告する。いずれも現地性焼土と判断されるが、時期の詳細は不明である。平面形・計測値などは、第23表 炉跡・焼土遺構観察表を参照されたい。

以下、各遺構の特徴的な部分について調査所見を記す。

### S N06・07焼土遺構

遺構 (第76図、写真図版56)

S N06焼土遺構は、1区、I B 8 b グリッドで、IV層で確認した。規模は、径45×28cm、平面形は不整形、焼土は厚さ3cmの赤褐色である。S K 78土坑と重複する。

S N07焼土遺構は、1区、I B 8 b グリッドで、IV層で確認した。規模は、径20×18cm、平面形は不整形、焼土は厚さ2cmのにおい赤褐色で、焼成の弱い焼土である。

遺物 なし。

時期 検出状況などから古代と推定される。

第19表 型穴住居跡観察表

(数値): 保存係

遺跡名	区域	位置 (グリッド)	検出品	床面	平面形状	規模 (m)		深さ (m)	コンクリート 位置	用途	主軸方位	柱穴 (縦穴・配座)	埋土埋積状況		付属施設	垂直関係 (旧→新)	時期	備考	図面 No.	写真
						開口部	埋高						埋土	埋積						
SR03	4	Ⅱ A06・7f Ⅱ B06・7a	IV層	IV層	隅丸方形?	(47) × (23)	0.75	—	1 (北西)	無	不明	2	埋積色、上・中・白土・自然 埋積色、上・中・埋積色	無	SR09・41と重複	古代		44	32	
SR04	4・5	Ⅱ A06・7e	IV層	IV層	方形?	(60) × (15)	1.1	—	1 (西下)	不明	不明	6	埋積色、上・中・埋積色 埋積色	有	SR05・06と重複	古代	西側調査 北域外	45	33	
SR05	1	Ⅱ A10b・10k Ⅱ A13・11・ 2b・2c	IV層	IV層	隅丸方形?	(73) × (65)	0.3	—	1 (北)	無	不明	10	埋積色、埋積色 埋積色、上・中・埋積色、 自然	有	SR05 → SR07 SR09・39・64・ 65・66・82と重複	古代		47	34	
SR06	1	Ⅱ A04・3f	IV層	IV層	方形?	(58) × (30)	0.6	—	1 (北東)	無	不明	11	埋積色、上・中・埋積色、 自然	無	埋積土跡	古代	西側調査 北域外	49	35	
SR07	1	Ⅱ A03c・3b	IV層	IV層	隅丸方形?	(44) × (22)	0.45	—	1 (北)	無	不明	無	上・中・埋積色、灰埋積色、 上・中・埋積色	有	SR04 → SR07 → SR03	古代		50	36	
SR08	1	Ⅱ A31・3j 6c・6d	IV層	IV層	隅丸方形?	(70) × (37)	0.95	—	1 (西)	無	不明	19	上・中・埋積色、灰埋積色 埋積色	有	SR07・38・49・56 と重複	古代		51	37	
SR09	1	Ⅱ A06・6h	IV層	IV層	方形?	(44) × (28)	0.6	—	1 (南)	隅丸縁起 N・SR05	不明	3	埋積色、上・中・埋積色、 自然	有	出入り口 北側壁	古代		53	38	

第20表 工層跡観察表

(数値): 保存係

遺跡名	区域	位置 (グリッド)	検出品	床面	平面形状	規模 (m)		深さ (m)	埋土埋積状況 (上・中・下段) (人土・白土)	柱穴 (縦穴・配座)	柱穴 (縦穴・配座)	付属 施設	垂直関係 (旧→新)	時期	備考	図面 No.		
						開口部	埋高											
SR05	4	Ⅱ A06・7e	IV層	IV層	方形?	(32) × (1.5)	(47) × (0.4)	0.2	埋積色、上・中・埋積色 自然	14	不明	無	SR04と重複	古代?		54	39	
SR06	4	Ⅱ A07・7f	IV層	IV層	方形?	(30) × (4.0)	(30) × (4.0)	0.1	上・中・埋積色 自然	17	不明	無	SR06 → SR05 SR04・SR09と重複	古代?		54	39	
SR07	1	Ⅱ A07・4c・5e	IV層	IV層	長方形?	(7.3) × 1.4	(7.1) × (0.45)	0.3	上・中・埋積色 自然	不明	不明	無	無	古代?	西側調査 北域外	56	40	
SR08	1	Ⅱ A2b	IV層	IV層	長方形?	3.05 × 0.8	2.8 × 0.5	0.35	上・中・埋積色 自然	無	無	無	無	古代?		56	40	
SR09	1	Ⅱ A03・6	IV層	IV層	長方形?	(4.4) × (1.65)	(3.5) × (1.1)	0.55	埋積色、埋積色、埋積色 自然	2	不明	無	SR08 → SR09 → SR10	古代?		57	40	
SR10	1	Ⅱ A3j・4・4j	IV層	IV層	長方形?	4.35 × (2.0)	3.7 × (1.85)	0.65	埋積色、上・中・埋積色、埋積色 自然	不明	不明	無	SR09 → SR10	古代?		57	40	



第21表 土坑観察表(1)

(単位): 立方メートル

遺物名(区画)	位置	検出区	底面	平面形	縦横(cm)		断面形	埋土層位記 (上段→下段)(人込、自然)	重積関係 (由一層)	付属施設	時期	備考	H0306, 97036	
					開口部	底面								
SK34	Ⅰ B 56c	Ⅱ 層	円形	円形	255 × 110	124 × 114	40	フラスコ	無	無	古代		58	41
SK35	Ⅰ B 57a・58c	Ⅱ 層	円形	円形	240 × 216	240 × 220	72	フラスコ	にぶい黄褐色・褐色・紫褐色 自然	無	古代		58	41
SK36	Ⅰ B 57a	Ⅱ 層	円形	円形	170 × 150	145 × 140	45	フラスコ	黒褐色 自然	無	古代		58	41
SK37	Ⅰ B 56g・76c	Ⅱ 層	円形	円形	100 × 100	170 × 165	100	フラスコ	黒褐色・にぶい黄褐色・灰青褐色 自然	無	古代		58	41
SK38	Ⅰ B 56f	Ⅱ 層	円形	円形	206 × 95	95 × 90	55	フラスコ	にぶい黄褐色・黒褐色 自然	無	古代		59	42
SK39	Ⅰ B 57f	Ⅱ 層	円形	円形	110 × 110	117 × 115	90	フラスコ	黒褐色・にぶい黄褐色・紫褐色 自然	SK106と重積	古代		59	42
SK40	Ⅰ B 57g	Ⅱ 層	円形	円形	130 × 115	125 × 115	110	フラスコ	黒褐色・にぶい黄褐色・紫褐色 自然	SK106と重積	古代		59	42
SK41	Ⅰ B 56e・77a	Ⅱ 層	円形	円形	280 × 155	178 × 165	120	フラスコ	黄褐色・黒褐色・紫褐色 自然	SK106と重積	古代		59	42
SK42	Ⅰ B 56e・96c	Ⅱ 層	円形	円形	385 × 260	187 × 190	180	フラスコ	にぶい黄褐色 自然	無	古代		60	43
SK43	Ⅰ B 510g	Ⅱ 層	円形	円形	212 × 184	225 × 220	120	フラスコ	にぶい黄褐色 自然	無	古代		60	43
SK44	Ⅰ B 58b・96	Ⅱ 層	円形	円形	160 × 145	144 × 138	62	フラスコ	にぶい黄褐色 自然	無	古代		60	43
SK45	Ⅰ B 58b	Ⅱ 層	円形	円形	190 × 180	200 × 220	130	フラスコ	にぶい黄褐色・灰青褐色 自然	無	古代		61	43
SK46	Ⅰ B 58b	Ⅱ 層	円形	円形	140 × 110	170 × 120	100	フラスコ	にぶい黄褐色 自然	SK47→SK46	古代		61	44
SK47	Ⅰ B 58b・108	Ⅱ 層	円形	円形	200 × 185	225 × 220	140	フラスコ	にぶい黄褐色・にぶい黄褐色・褐色 自然	SK47→SK46	古代		61	44
SK48	Ⅰ B 52a	Ⅱ 層	円形	円形	170 × 130	130 × 125	60	フラスコ	にぶい黄褐色・紫褐色 自然	SK49→SK48	古代		62	44
SK49	Ⅰ B 52f・2g	Ⅱ 層	円形	円形	(185) × (172)	190 × (175)	85	フラスコ	にぶい黄褐色・にぶい黄褐色 自然	SK49→SK48	古代		62	44
SK50	Ⅰ B 52a・2g	Ⅱ 層	円形	円形	260 × 260	220 × 220	140	フラスコ	灰青褐色・にぶい黄褐色 自然	無	古代		62	44・45
SK51	Ⅰ B 51j・2	Ⅱ 層	円形	円形	224 × 196	193 × 188	120	フラスコ	紫褐色・灰青褐色・黒褐色 自然	無	古代		62	45
SK52	Ⅰ B 58b・20・4a・4b	Ⅱ 層	円形	円形	220 × 207	213 × 190	160	フラスコ	にぶい黄褐色・褐色 自然	無	古代		63	45
SK53	Ⅰ B 56a・4b	Ⅱ 層	円形	円形	155 × 155	165 × 155	55	フラスコ	黒褐色・灰青褐色・紫褐色 自然	無	古代		63	45
SK54	Ⅰ B 54g・4b・5a・5b	Ⅱ 層	円形	円形	130 × 120	140 × 135	55	フラスコ	にぶい黄褐色 自然	無	古代		63	46
SK55	Ⅰ B 53b	Ⅱ 層	円形	円形	112 × 125	170 × 154	120	フラスコ	紫褐色・にぶい黄褐色・灰青褐色 自然	SK56と重積	古代		64	46
SK56	Ⅰ B 53b・4b	Ⅱ 層	円形	円形	160 × 153	160 × 150	80	フラスコ	にぶい黄褐色・紫褐色・灰青褐色 自然	SK56と重積	古代		64	46

第21表 土坑観察表(2)

(単位): 立方メートル

遺構名	区画	位置 (マウス)	検出経	底面	平面形状	規模 (cm)		周壁形	埋土層位記 (上段→下段) (人込、自然)	重畳関係 (上段→下段)	付属 施設	時期	備考	1000h, 5000h	
						開口部	底面								
SK57	I	B A11+2b	IV層	円形	楕円形	155 × 140	120 × 87	95	黒褐色・褐色・L2.5A・黄褐色 自然	SK55 → SK57	無	古代		63	46
SK58	I	B A1b	IV層	円形	円形	140 × 125	130 × 114	40	黒褐色・L2.5A・黄褐色 自然	SK55 → SK58	無	古代		64	47
SK59	I	B A1	IV層	円形	円形	122 × 122	95 × 95	38	黒褐色・L2.5A・黄褐色 自然	SK66 → SK69	無	古代		64	47
SK60	I	B A2c	IV層	楕円形	楕円形	206 × 52	302 × 12	110	黒褐色・L2.5A・黄褐色・黄褐色 自然	SK60 → SK69 → SK68 SK69 → SK69 → SK66	無	縄文下	掘上穴?	65	47
SK61	I	B A6f	IV層	円形	円形	140 × 135	125 × 115	30	褐色・黄色 自然	無	無	古代		64	48
SK62	I	B A4+4	IV層	円形	円形	110 × 90	70 × 50	30	褐色・黄色 自然	SK63 → SK62	無	古代	掘削跡?	65	48
SK63	I	B A4+4+遺 坑	IV層	円形	円形	360 × 140	140 × 135	65	L2.5A・黄褐色・褐色 自然	SK63 → SK62	無	古代		65	48
SK64	I	B A11+2	IV層	円形	円形	120 × 120	123 × 123	60	L2.5A・黄褐色・褐色 自然	SK65 → SK62	無	古代		65	48
SK65	I	B A11	IV層	円形	円形	300 × 170	228 × 222	140	黒褐色・L2.5A・黄褐色・黄褐色 自然	SK65 → SK62	無	古代		65	48
SK66	I	B A1	IV層	円形	円形	(120) × 90	(115) × 90	45	不明	SK65 → SK66 → SK62	無	古代		66	49
SK67	I	I A7	IV層	円形	円形	135 × 125	160 × 145	165	黒褐色・褐色・黄褐色 自然	無	無	古代		66	49
SK68	I	I A7	IV層	円形	円形	210 × 180	230 × 220	200	黄褐色・L2.5A・黄褐色・褐色 自然	無	無	古代		67	49
SK69	I	I A7	IV層	円形	円形	95 × 85	80 × 75	52	L2.5A・黄褐色 自然	SK79 → SK69	無	古代		67	49
SK70	I	I A6	IV層	円形	円形	213 × 193	270 × 255	220	L2.5A・黄褐色・L2.5A・黄褐色 自然	SK79 → SK70	無	古代		68	50
SK71	I	I B7a	IV層	円形	円形	140 × 110	155 × 130	130	L2.5A・黄褐色・L2.5A・黄褐色 自然	無	無	古代		68	50
SK72	I	I B8a	IV層	円形	円形	105 × 105	117 × 114	110	L2.5A・黄褐色 自然	無	無	古代		69	50
SK73	I	I B7+7b +8a	IV層	円形	円形	200 × 180	200 × 200	175	L2.5A・黄褐色・L2.5A・黄褐色・L2.5A・黄褐色 自然	SK75 → SK73	無	古代		69	70
SK75	I	I B7+7b +8a	IV層	円形	円形	115 × 115	147 × 143	120	黒褐色・L2.5A・黄褐色 自然	SK75 → SK73	無	古代		69	70
SK76	I	I B7b	IV層	円形	円形	90 × 90	95 × 80	42	黒褐色・L2.5A・黄褐色 自然	無	無	古代		69	70
SK77	I	I B8b	IV層	円形	円形	250 × 230	180 × 180	260	黒褐色・L2.5A・黄褐色・黄褐色 自然	SK78 → SK77	無	古代		70	71
SK78	I	I B8b	IV層	円形	円形	200 × 150	185 × 145	75	L2.5A・黄褐色・黄褐色 自然	SK78 → SK77	無	古代		70	71
SK79	I	I A7+8	IV層	不明	不明	(80) × (50)	(70) × (50)	30	L2.5A・黄褐色・黄褐色 自然	SK79 → SK69 → 70	無	古代		72	52
SK81	I	B A6+6	IV層	楕円形	楕円形	360 × 140	145 × 115	78	L2.5A・黄褐色 自然	無	無	古代		72	52

第21表 土坑精細調査表(3)

(単位: 検出)

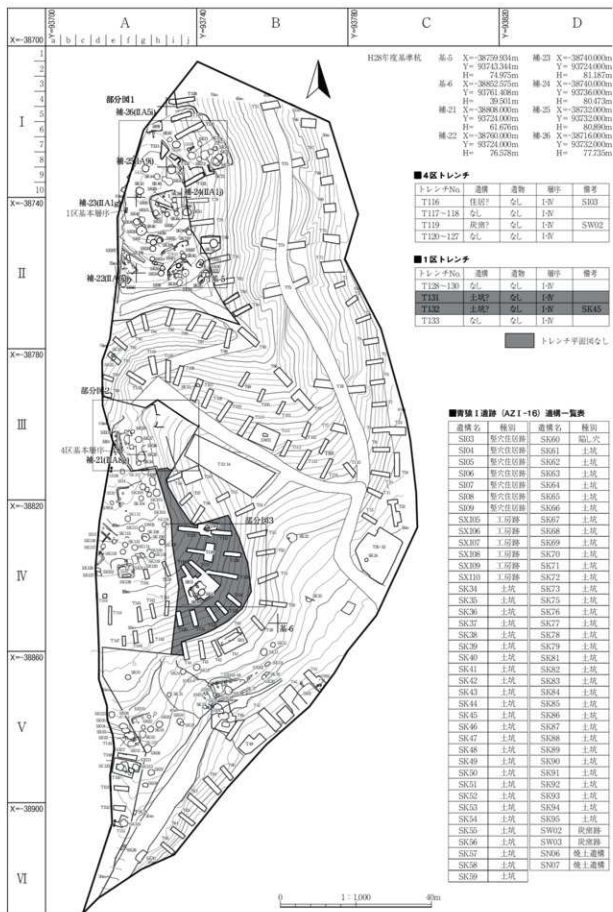
遺構名	区域	位置 (タリット)	検出法	断面	平面形	規模 (cm)		断面形	土質・土質年代 (上段→下段) (人込、自然)	重積関係 (前→後)	付属施設	時期	備考	100% 9/12% 5/26	
						開口部	深さ								
SK52	1	B A2b・2c	IV層	IV層	円形	135 × 125	138 × 134	80	IV層褐色、土に赤い黄褐色	SK05 土重積	無	古代		72	52
SK53	1	B A3c	IV層	IV層	円形	138 × 130	155 × 155	145	IV層褐色、黄褐色、土に赤い黄褐色 自然	SK07 → SK03	無	古代		72	53
SK54	1	B A3a・2b・ 4a・4b	IV層	IV層	円形	160 × 150	170 × 166	82	土に赤い黄褐色、黄褐色、黒褐色	SK54 → SK02	土坑1	古代		73	53
SK55	1	B A3j	IV層	IV層	円形	150 × 140	160 × 155	114	黒褐色、土に赤い黄褐色、土に赤い黄褐色 自然	SK04 → SK05	無	古代		73	53
SK56	1	B A2d	IV層	不明	不明	40 × 200	40 × 200	50	黒褐色、土に赤い黄褐色、赤褐色	SK60 → SK09 → SK86	無	古代?		74	53
SK57	1	B A3e	IV層	IV層	円形	130 × 115	130 × 130	85	IV層褐色、黄褐色、土に赤い黄褐色	SK08 土重積	無	古代		74	54
SK58	1	B A3j・6	IV層	IV層	円形	190 × 175	165 × 140	80	IV層褐色、土に赤い黄褐色、黒色 自然	SK08 土重積	土坑1	古代		74	54
SK59	1	B A6	IV層	IV層	円形	110 × 100	135 × 125	87	土に赤い黄褐色、褐色	SK05 → SK09	無	古代		74	54
SK60	1	B E5a	IV層	IV層	円形	170 × 160	160 × 155	93	IV層褐色、黄褐色、褐色	SK05 → SK09	無	古代	真風品・目録	75	54・55
SK61	1	B E5a	IV層	IV層	円形?	150 × 70	145 × 70	40	土に赤い黄褐色、黒褐色、黄褐色 自然	SK01 → SK09	無	古代		75	55
SK62	1	B E5a・6a	IV層	IV層	円形	190 × 190	200 × 220	130	土に赤い黄褐色、黒褐色、黄褐色	SK03 → SK02	土坑1	古代		75	55
SK63	1	B E6a	IV層	IV層	円形	210 × 180	200 × 185	160	土に赤い黄褐色、黄褐色、黒褐色 自然	SK03 → SK02	土坑1	古代		75	55
SK64	1	B A3j	IV層	IV層	円形	115 × 60	100 × 50	50	土に赤い黄褐色	SK04 → SK05	無	古代		73	55
SK65	1	B A6a	IV層	IV層	円形	90 × 80	95 × 80	40	黄褐色、土に赤い黄褐色 自然	SK05 → SK09 SK08 土重積	無	古代		74	54

第22表 炭層精細調査表

遺構名	区域	位置 (タリット)	検出法	断面	平面形	断面形	規模 (cm)	断面形 (cm)	土質・土質年代 (上段→下段) (人込、自然)	重積関係	時期	備考	100% 9/12% 5/26	
														開口部
SW02	4	B A32a	IV層	IV層	楕円形?	151 × 115	135 × 60	30	黄色、黄褐色 人込	無	古代		76	56
SW03	1	B A4b	IV層	IV層	楕円形	60 × 45	50 × 30	20	黄褐色、黒褐色 人込	SW03 → SK09	古代		76	56

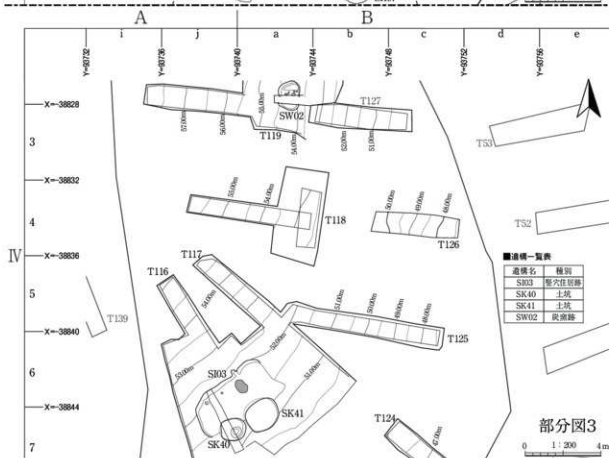
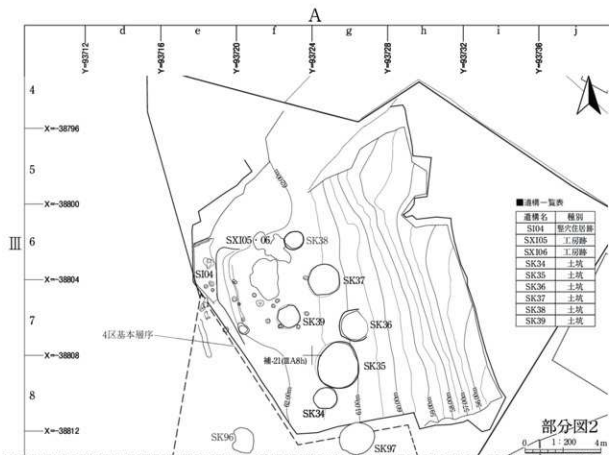
第23表 行障・粘土遺構精細調査表

遺構名	区域	位置 (タリット)	断面	平面形	規模 (cm)	土質・土質年代 (上段→下段) (人込、自然)	重積関係	時期	備考	100% 9/12% 5/26	
											開口部
SK06	1	1 B5b	IV層	IV層	45 × 28	3	現地性、現地性	古代		76	56
SK07	1	1 B5b	IV層	IV層	20 × 18	2	現地性	古代		76	56



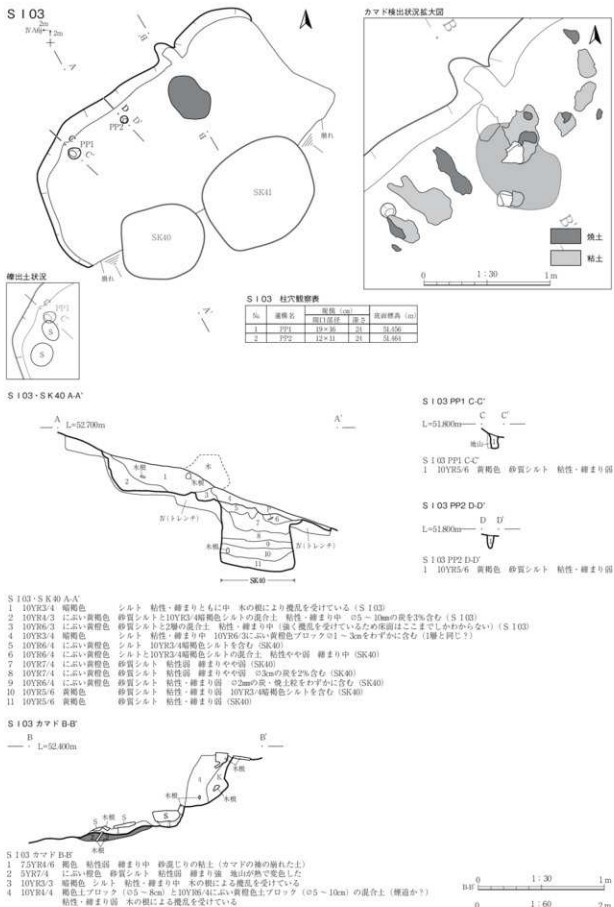
第41図 遺構配置図 平成28年度調査 全体図





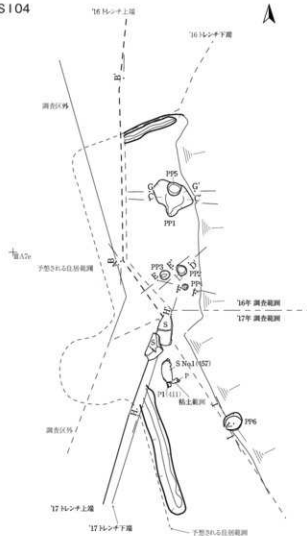
第43図 遺構配置図 平成28年度調査 部分図2・3

1 検出遺構



第44図 S 103竪穴住居跡

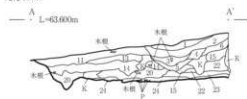
S104



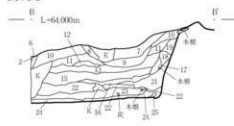
S104 柱穴観測表

No	遺構名	奥深 (cm)		奥深標高 (m)
		開口部	底	
1	PP1	66×52	27	62.639
2	PP2	10×15	10	62.562
3	PP3	16×11	16	62.504
4	PP4	9×9	9	61.512
5	PP5	32×31	31	61.104
6	PP6	32×26	65	61.506

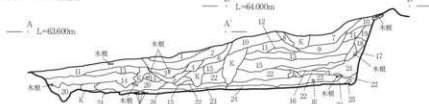
S104 A-A'



S104 B-B'



S104 A-A'-B'-B'合成図



S104 A-A'-B-B'

1	10YR2/3	黒褐色	砂質シルト	練まり中	
2	10YR4/4	褐色	砂質シルト	練まり中	炭化物3% 10YR4/3に、赤い黄褐色砂質シルトのブロック2%含む
3	10YR3/3	暗褐色	砂質シルト	練まり中	炭化物2%含む
4	10YR2/2	黒褐色	砂質シルト	練まり中	炭化物2%含む
5	10YR5/4	にぶい黄褐色	砂質シルト	練まり中	
6	10YR2/3	黒褐色	砂質シルト	練まり中	炭化物2% 10YR4/3に、赤い黄褐色砂質シルトのブロック2%含む
7	10YR3/3	暗褐色	砂質シルト	練まり中	炭化物3%含む
8	10YR5/4	にぶい黄褐色	砂質シルト	練まり中	
9	10YR2/2	黒褐色	砂質シルト	練まり中	炭化物3% 10YR4/2に、赤い黄褐色砂質シルトのブロック3%含む
10	10YR5/6	黄褐色	砂質シルト	練まり中	
11	10YR2/2	黒褐色	砂質シルト	練まり中	炭化物2%含む
12	10YR3/4	暗褐色	砂質シルト	練まり中	炭化物1%含む
13	10YR4/3	にぶい黄褐色	砂質シルト	練まり中	炭化物2%含む
14	10YR3/2	黒褐色	砂質シルト	練まり中	炭化物3%含む
15	10YR5/4	にぶい黄褐色	砂質シルト	練まり中	炭化物1%含む
16	10YR4/3	にぶい黄褐色	砂質シルト	練まり中	10YR6/4に、赤い黄褐色砂質シルトのブロック15%含む
17	10YR4/4	褐色	砂質シルト	練まり中	炭化物1%含む
18	10YR4/3	にぶい黄褐色	砂質シルト	練まり中	炭化物1%含む
19	10YR4/3	にぶい黄褐色	砂質シルト	練まり中	10YR4/4暗褐色砂質シルトのブロック5%含む
20	10YR4/3	にぶい黄褐色	砂質シルト	練まり中	10YR6/4に、赤い黄褐色砂質シルトのブロック15%含む
21	10YR5/4	にぶい黄褐色	砂質シルト	練まり中	
22	10YR6/3	にぶい黄褐色	砂	練まり中	10YR5/3に、赤い黄褐色砂質シルトのブロック30%含む
23	10YR4/3	にぶい黄褐色	砂質シルト	練まり中	炭化物7%含む
24	10YR2/3	暗褐色	砂質シルト	練まり中	炭化物1%含む
25	10YR5/4	にぶい黄褐色	砂質シルト	練まり中	炭化物1%含む

第45図 S104 (1/2) 竪穴住居跡



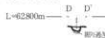
## S104 PP1 C-C'



## S 104 PP1 C-C'

- 1 10YR4/3 にぶい黄褐色 砂質シルト 締まり中 炭化物2% 焼土粒1%含む
- 2 10YR5/3 にぶい黄褐色 砂質シルト 締まり中 炭化物1%含む
- 3 10YR3/2 黒褐色 砂質シルト 締まり強 炭化物10%含む
- 4 10YR5/4 にぶい黄褐色 砂質シルト 締まり強

## S104 PP2 D-D'



## S 104 PP2 D-D'

- 1 10YR4/2 灰黄褐色 砂質シルト 締まり中 炭化物1%含む

## S104 PP3 E-E'



## S 104 PP3 E-E'

- 1 10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 締まり強 炭化物2%含む
- 2 10YR4/3 にぶい黄褐色 砂質シルト 締まり強
- 3 10YR5/3 にぶい黄褐色 砂質シルト 締まり中

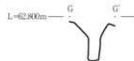
## S104 PP4 F-F'



## S 104 PP4 F-F'

- 1 10YR4/3 にぶい黄褐色 砂質シルト 締まり中 炭化物1%含む

## S104 PP5 G-G'



## S 104 PP5 G-G'

- ※ 10YR3/2 黒褐色 砂質シルト 締まり強 炭化物10%含む

## S104 H-H'



## S 104 H-H'

- 1 10YR2/3 黒褐色 砂質シルト 締まり強 炭様土層
- 1 10YR3/4 暗褐色 砂質シルト 締まり中 10YR9/4にぶい黄褐色粗砂 (IV層起源) 20%含む
- 2 10YR3/4 暗褐色 砂質シルト 締まり中 10YR9/4にぶい黄褐色粗砂 (IV層起源) 5%含む
- 3 10YR6/4 にぶい黄褐色 粗砂 締まり中 10YR8/25(白色風化花崗岩)ブロッケ径10cm30%含む
- 4 10YR5/3 にぶい黄褐色 砂質シルト 締まり中 炭化物1%含む
- 5 5YR4/4 にぶい赤褐色 焼土
- 6 10YR17/1 灰色 シルト 締まり中 気泡のある鉄屑3cmx5%含む
- 7 10YR5/4 にぶい黄褐色 粗砂 締まり中
- 8 10YR5/3 にぶい黄褐色 粗砂 締まり中 10YR4/1暗灰色土10%含む
- 9 10YR3/4 暗褐色 シルト 締まり中 炭化物1%含む
- 10 5YR4/6 赤褐色 焼土 締まり密 IV層が焼熟して変化したものや北隣の溝の上面、焼熟して変変している

## S104 PP06 I-I'

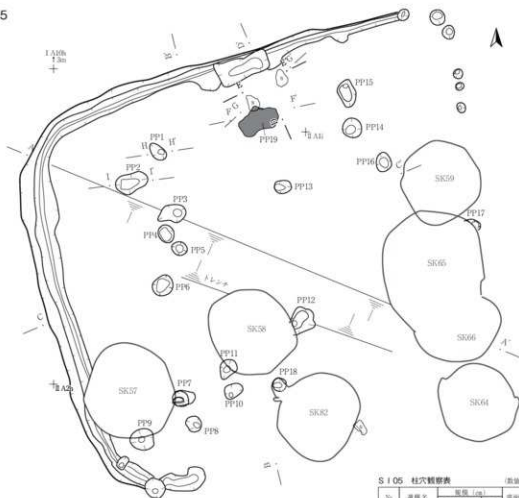


## S 104 PP6 I-I'

- 1 10YR5/4 にぶい黄褐色 粗砂 締まり中 炭化物1% 10YR3/4暗褐色土ブロッケ径5cmx3%含む
- 2 10YR5/3 にぶい黄褐色 粗砂 締まり中不密

0 1:60 2m

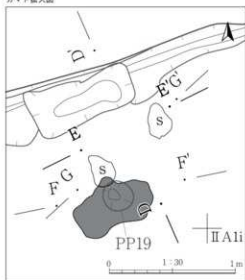
S 105



S 105 柱穴精査表 (単位)：柱穴径

No.	遺構名	直径 (径)		底面標高 (m)
		内径	外径	
1	PP1	22 × 19	29	80.214
2	PP2	22 × 27	37	80.128
3	PP3	16 × 20	29	80.102
4	PP4	29 × 23	18	80.213
5	PP5	26 × 21	35	80.022
6	PP6	35 × 30	26	80.183
7	PP7	26 × 25	32	80.065
8	PP8	26 × 24	24	80.170
9	PP9	37 × 30	30	80.018
10	PP10	31 × 21	10	79.971
11	PP11	35 × 25	19	79.821
12	PP12	37 × 30	28	79.943
13	PP13	26 × 21	38	80.041
14	PP14	31 × 30	37	79.966
15	PP15	15 × 28	28	80.172
16	PP16	31 × 20	19	80.096
17	PP17	27 × 11	32	79.857
18	PP18	21 × 15	20	80.009
19	PP19	35 × 23	29	80.157

カマド拡大図

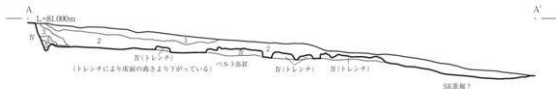


0 1:60 2m

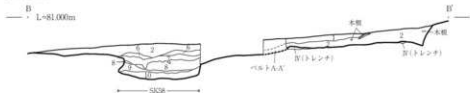
第47図 S 105 (1/2) 竪穴住居跡

# 1 検出遺構

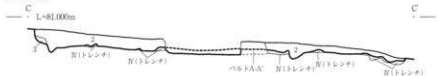
S 105 A A'



S 105 B B'



S 105 C C'



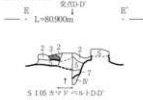
S 105 A-A'・B-B'・C-C'

1	10YR2/3	暗褐色	砂質シルト	締まり中 (S 105)	5	10YR4/3	にぶい黄褐色	細砂	締まり中 (S 105)
2	10YR3/3	暗褐色	砂質シルト	締まり中	6	10YR5/4	にぶい黄褐色	細砂	締まり中 (SK38)
			炭化物1%		7	10YR3/4	暗褐色	砂質シルト	締まり中 (SK38)
			10YR6.6明黄褐色土3%含む (S 105)		8	10YR6/4	にぶい黄褐色	砂質粘土	締まり中 (SK38)
3	10YR6/4	にぶい黄褐色	砂質粘土	締まり中 (S 105)	9	10YR3/4	暗褐色	砂質シルト	締まり中 (SK38)
4	10YR3/4	暗褐色	砂質シルト	締まり中や硬	10	10YR5/4	にぶい黄褐色	細砂	締まり中 (SK38)
			10YR2.3暗褐色土20%含む (S 105)						

S 105 カマド D-D'



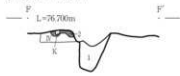
S 105 カマド E-E'



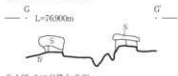
S 105 カマド D-D'・E-E'

1	10YR6/6	明黄褐色	砂質粘土	締まり中	10YR7/4にぶい黄褐色粘土ブロック10%含む
2	10YR5/3	にぶい黄褐色	細砂	締まり中	
3	5YR5/6	明赤褐色	焼土	締まり中	
4	10YR4/2	灰黄褐色	細砂	締まり中	
5	10YR5/4	にぶい黄褐色	細砂	締まり中	
6	10YR4/3	にぶい黄褐色	砂質シルト	締まり中	焼土粒1%含む
7	10YR5/3	にぶい黄褐色	細砂	締まり中	
8	5YR5/4	にぶい赤褐色	焼土	5層が焼成したもの	

S 105 カマド 焼土 F-F'



S 105 カマド 焼土 G-G'



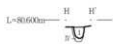
S 105 カマド 焼土 F-F'

1	10YR4/3	にぶい黄褐色	砂質シルト	締まり中
2	5YR5/6	明赤褐色	焼土	5層が焼成したもの

S 105 カマド 焼土 G-G'

1	10YR3/4	暗褐色	砂質シルト	締まり中
※	は花崗岩の準角礫。焼熱していない			

S 105 PP1 H-H'



S 105 PP2 H'



S 105 PP1 H-H'

1	10YR3/4	暗褐色	砂質シルト	締まり中
---	---------	-----	-------	------

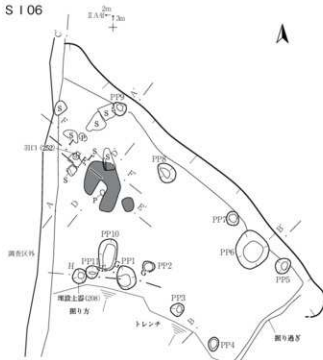
S 105 PP2 H'

1	10YR5/3	にぶい黄褐色	砂質シルト	締まり中	炭化物1%含む
2	10YR3/4	暗褐色	砂質シルト	締まり中	マサ土20%含む



第48図 S 105 (2/2) 竪穴住居跡

S 106



S 106 柱穴観察表

No.	遺構名	規模 (cm)	取土層 (m)	取土層高 (m)
1	PP1	27×26	18	25.95
2	PP2	19×18	18	26.02
3	PP3	21×19	21	26.10
4	PP4	21×17	26	26.09
5	PP5	27×22	20	26.19
6	PP6	40×39	26	26.22
7	PP7	21×19	21	26.18
8	PP8	31×21	19	26.11
9	PP9	21×19	19	26.28
10	PP10	20×20	18	26.28
11	PP11	21×19	20	26.11

S 106 埋設土器埋り方

No.	遺構名	規模 (cm)	取土層高 (m)
1	埋設土器埋り方	21×21	26.25

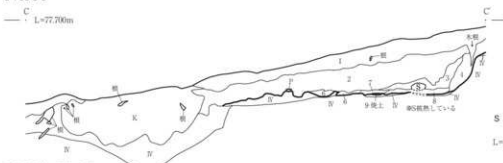
S 106 A-A'



S 106 B-B'



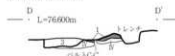
S 106 C-C'



S 106 A-A'・B-B'・C-C'

- 1 10YR3/4 暗褐色 灰粘土 継まり雑
- 2 10YR4/2 灰黄褐色 砂質シルト 継まり中
- 3 10YR4/3 にふい黄褐色 粗砂 継まり中 10YR3/3暗褐色砂質シルト含む
- 4 10YR5/4 にふい黄褐色 粗砂 継まり中 4/3・4層は類似する
- 5 10YR5/3 にふい黄褐色 粗砂 継まり中 \*+土10%含む
- 6 5YR4/4 にふい赤褐色 焼土 継まり中
- 7 10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 継まり中 炭化物1%含む
- 8 10YR2/1 黒色 砂質シルト 継まり中 炭化物5% 5YR3/6暗赤褐色焼土40%含む
- 9 5YR4/6 赤褐色 焼土 継まり中 灰層が焼土化したもの

S 106 カマド D-D'



S 106 カマド E-E'



S 106 カマド D-D'・E-E'

- 1 5YR4/6 赤褐色 焼土 継まり中 灰層が焼土化したもの
- 2 5YR4/4 にふい赤褐色 焼土 継まり中
- 3 10YR5/4 にふい黄褐色 砂質シルト 継まり中

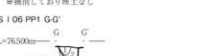
S 106 カマド F-F'



S 106 カマド F-F'

- 1 10YR3/2 暗褐色 砂質シルト 継まりやや雑
- ※掘削しており埋土なし

S 106 PP1 G-G'



S 106 PP1 G-G'

- 1 10YR4/3 にふい黄褐色 粗砂 継まり中
- 2 10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 継まり中
- 3 10YR3/3 暗褐色 粗砂 継まり中
- 4 10YR2/1 黒色 砂質シルト 継まりやや雑
- 5 10YR6/3 にふい黄褐色 粗砂 継まり中

S 106 土器埋設平面図



S 106 土器埋設断面図 H-H'



S 106 埋設土器埋り方

- 1 10YR6/4 にふい黄褐色 粗砂 継まり中
- 2 10YR5/4 にふい黄褐色 粗砂 継まり中

S 106 開口 H'



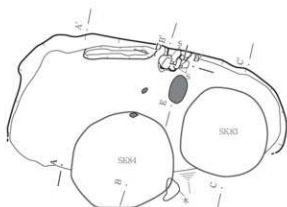
S 106 開口 H'

- 1 10YR6/4 にふい黄褐色 砂質粘土 継まり雑
- 2 開口 5YR5/6 明赤褐色 継まり中 開口の外周

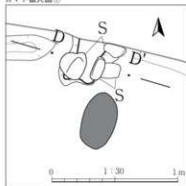
D-D'・E-E'・F-F'・H-H' 0 1:30 1m  
0 1:60 2m

第49図 S 106 竪穴住居跡

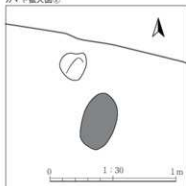
S 107



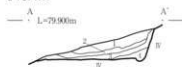
カマド拡大図①



カマド拡大図②



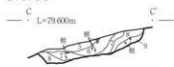
S 107 A-A'



S 107 B-B'



S 107 C-C'



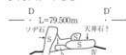
S 107 A-A'・B-B'・C-C'

- |                  |                                |
|------------------|--------------------------------|
| 1 10YR5/6 黄褐色    | 砂質粘土 締まり密                      |
| 2 10YR6/4 にふい黄褐色 | 砂質粘土 締まり密                      |
| 3 10YR4/2 灰黄褐色   | 砂質シルト 締まり密                     |
| 4 10YR5/4 にふい黄褐色 | 砂質粘土 締まり密                      |
| 5 10YR3/3 暗褐色    | 砂質シルト 締まり中 炭化物1%含む             |
| 6 10YR5/2 灰黄褐色   | 粘土質シルト 締まり中 10YR6/6明黄褐色粘土30%含む |
| 7 10YR6/3 にふい黄褐色 | 粗砂 締まり中                        |
| 8 10YR4/2 灰黄褐色   | 砂質シルト 締まり中                     |
| 9 10YR6/6 明黄褐色   | 粗砂 締まり密                        |
- ※5層以下は土坑が重なっている

S 107 C-C' と SK83 A-A' の対応関係

- |                     |
|---------------------|
| 5 SK83 1層           |
| 6 SK83 2層           |
| 7 SK83 3層・4層        |
| 8 SK83 5層・S 107 15層 |
| 9 SK83 17層          |

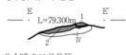
S 107 カマド D-D'



S 107 カマド D-D'

- |                  |                     |
|------------------|---------------------|
| 1 10YR5/4 にふい黄褐色 | 砂質粘土 締まり密 炭化物1%     |
| 2 10YR3/4 暗褐色    | 砂質シルト 締まり中 炭化物10%含む |

S 107 カマド E-E'

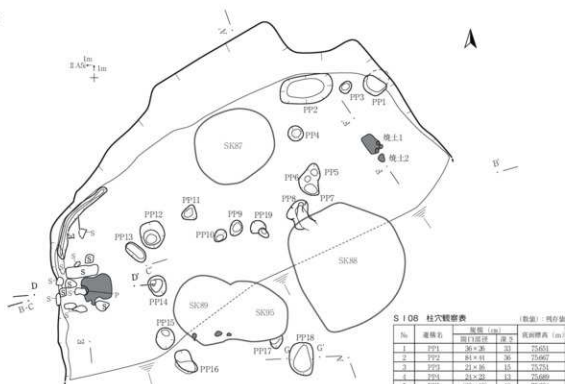


S 107 カマド E-E'

- |              |                   |
|--------------|-------------------|
| 1 5YR2/2 黒褐色 | 焼土 締まり密 B層が焼熟した焼土 |
| 2 5YR4/6 赤褐色 | 焼土 締まり密 B層が焼熟した焼土 |



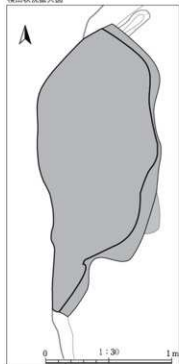
S 108



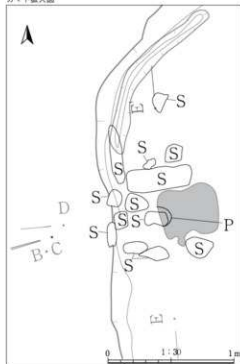
S 108 柱穴観覧表 (数量・残存量)

No.	遺構名	幅 (cm)	長さ (cm)	残存高さ (cm)
1	PP1	36 × 36	33	75,651
2	PP2	84 × 44	36	75,667
3	PP3	21 × 36	15	75,753
4	PP4	24 × 20	13	75,689
5	PP5	30 × 30	48	75,331
6	PP6	30 × 13	14	75,572
7	PP7	31 × 30	39	75,525
8	PP8	45 × 30	13	75,490
9	PP9	24 × 33	28	75,524
10	PP10	22 × 30	23	75,511
11	PP11	22 × 29	17	75,595
12	PP12	44 × 30	66	75,157
13	PP13	38 × 39	19	75,635
14	PP14	32 × 26	12	75,501
15	PP15	33 × 29	26	75,513
16	PP16	43 × 20	31	75,390
17	PP17	22 × 13	130	75,305
18	PP18	50 × 38	34	75,528
19	PP19	24 × 14	17	75,717

種田状況拡大図



カマド拡大図



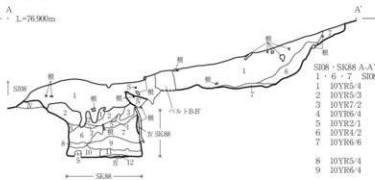
0 1:60 2m

第51図 S 108 (1/2) 竪穴住居跡

# 1 検出遺構

SI08・SK88 A-A'

— A — L=76,900m



SI08・SK88 A-A'

1・6・7 SI08 A-A'・B-B'と共通

- |    |          |        |       |      |                                    |
|----|----------|--------|-------|------|------------------------------------|
| 1  | 10YR5/4  | にぶい黄褐色 | 粗砂    | 締まり密 | マサ土 (SK88)                         |
| 2  | 10YR5/3  | にぶい黄褐色 | 粗砂    | 締まり密 | (SK88)                             |
| 3  | 10YR7/2  | にぶい黄褐色 | 粗砂    | 締まり密 | (SK88)                             |
| 4  | 10YR6/4  | にぶい黄褐色 | 粗砂    | 締まり密 | マサ土 (SK88)                         |
| 5  | 10YR2/1  | 黒色     | 砂質シルト | 締まり密 | 炭化物5%含む (SK88)                     |
| 6  | 10YR4/2  | 灰黄褐色   | 砂質シルト | 締まり中 | 炭化物3%含む (SK88)                     |
| 7  | 10YR6/6  | 明黄褐色   | 粗砂    | 締まり密 | 炭化物3%含む<br>マサ土20%含む (SK88)         |
| 8  | 10YR5/4  | にぶい黄褐色 | 粗砂    | 締まり密 | 炭化物1%含む (SK88)                     |
| 9  | 10YR6/4  | にぶい黄褐色 | 粗砂    | 締まり密 | 層上段に灰黄褐色土層が薄く入る<br>マサ土80%含む (SK88) |
| 10 | 10YR4/2  | 灰黄褐色   | 砂質シルト | 締まり中 | 炭化物3%含む (SK88)                     |
| 11 | 10YR17/1 | 黒色     | 砂質シルト | 締まり中 | 炭化物1%含む (SK88)                     |
| 12 | 5YR3/4   | 暗赤褐色   | 焼土    | 締まり中 | 炭化物10%含む (SK88)                    |

SI08 B-B'

— B — L=76,500m

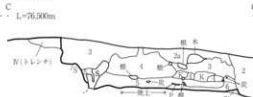


SI08 A-A'・B-B'

- |   |         |        |        |      |             |
|---|---------|--------|--------|------|-------------|
| 1 | 10YR3/2 | 黒褐色    | 砂質シルト  | 締まり中 |             |
| 2 | 10YR3/3 | 暗褐色    | 砂質シルト  | 締まり中 | 炭色プロッタ30%含む |
| 3 | 10YR5/3 | にぶい黄褐色 | 粘土質シルト | 締まり中 |             |
| 4 | 10YR5/6 | 黄褐色    | 粘土     | 締まり密 |             |
| 5 | 10YR2/3 | 黒褐色    | 砂質シルト  | 締まり中 |             |
| 6 | 10YR5/2 | 灰黄褐色   | 砂質シルト  | 締まり中 |             |
| 7 | 10YR3/3 | 暗褐色    | 砂質シルト  | 締まり中 |             |

SI08 カマド C-C'

— C — L=76,500m



SI08 カマド C-C'

- |    |          |        |       |      |         |
|----|----------|--------|-------|------|---------|
| 2a | 10YR4/4  | 褐色     | 砂質シルト | 締まり中 |         |
| 2  | 10YR5/4  | にぶい黄褐色 | 砂質シルト | 締まり中 |         |
| 3  | 10YR7/3  | にぶい黄褐色 | 粗砂    | 締まり中 |         |
| 4  | 10YR5/6  | 黄褐色    | 砂質シルト | 締まり密 |         |
| 5  | 10YR2/2  | 黒褐色    | 砂質シルト | 締まり中 | 炭化物1%含む |
| 6  | 10YR17/1 | 黒色     | 砂質シルト | 締まり中 | 炭化物1%含む |

SI08 カマド D-D'

— D — L=76,400m



SI08 カマド D-D'・E-E'

- |   |         |     |       |      |                   |
|---|---------|-----|-------|------|-------------------|
| 1 | 10YR3/4 | 暗褐色 | 砂質シルト | 締まり中 | 礎の掘り方             |
| 2 | 10YR4/6 | 褐色  | 焼土    | 締まり密 |                   |
| 3 | 10YR3/2 | 黒褐色 | 砂質シルト | 締まり中 | 10YR5/6黄褐色土プロッタ含む |
| 4 | 10YR3/2 | 暗褐色 | 砂質シルト | 締まり中 |                   |
| 5 | 10YR3/4 | 暗褐色 | 砂質シルト | 締まり中 | 奉土部内部の土           |
| 6 | 5YR4/6  | 赤褐色 | 焼土    | 締まり密 | 五層が焼土化したもの        |

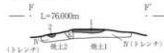
SI08 カマド E-E'

— E — L=76,400m



SI08 焼土1・2 F-F'

— F — L=76,600m



SI08 焼土1・2 F-F'

- |   |        |        |    |      |        |
|---|--------|--------|----|------|--------|
| 1 | 5YR5/6 | 暗赤褐色   | 焼土 | 締まり密 | (焼成弱い) |
| 2 | 5YR6/4 | にぶい暗褐色 | 焼土 | 締まり密 | (焼成弱い) |
- ※五層が焼土化したもの

SI08 PP18 G-G'

L=75,600m



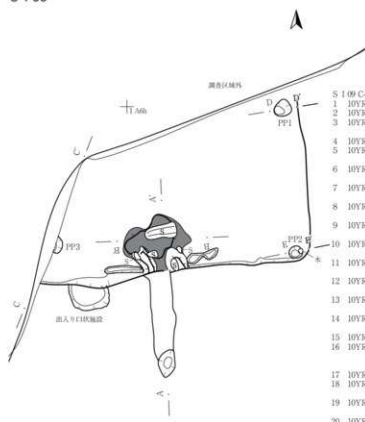
SI08 PP1 G-G'

- |   |          |    |       |      |         |
|---|----------|----|-------|------|---------|
| 1 | 10YR17/1 | 黒色 | 砂質シルト | 締まり中 | 炭化物1%含む |
| 2 | 10YR4/4  | 褐色 | 粗砂    | 締まり中 |         |

C-C' D-D' E-E' F-F' 0 1:20 1m

0 1:40 2m

S109



S109 柱状観察表 (断面) 検方表

No.	通称名	層厚 (cm)	底面深 (cm)	底面標高 (cm)
1	PP1	28+22	48	77.041
2	PP2	21+18	51	77.228
3	PP3	25+10	121	77.502

S109 カマド線道 A-A'



S109 カマド B-B'



S109 カマド線道・カマド A-A'・B-B'

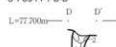
- 1 5YR4/3 にふい赤褐色 砂質シルト 締まり疎 焼土粒10%含む
- 2 5YR5/3 にふい赤褐色 砂質シルト 締まりやや密 焼土粒3%
- 3 5YR4/8 赤褐色 砂質シルト 締まり中 焼土塊(ワザチ崩落土) 25%含む
- 4 5YR2/3 極暗赤褐色 砂質シルト 締まり中 焼土塊5%含む
- 5 10YR4/3 にふい黄褐色 砂質シルト 締まり中 炭化物3%含む
- 6 10YR4/4 褐色 砂質シルト 締まりやや密 10YR7/6明黄褐色砂質シルト3%含む
- 7 10YR3/4 暗褐色 砂質シルト 締まり中 炭化物3% 焼土粒3% 雜含む
- 8 10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 締まり中 炭化物2% 焼土粒7% 10YR4/3にふい黄褐色砂質シルトのプロック1%含む
- 9 10YR4/2 灰黄褐色 砂質シルト 締まり中 炭化物2% 焼土粒5%含む
- 10 10YR4/3 にふい黄褐色 砂質シルト 締まり中 炭化物2% 10YR3/6黄褐色砂質シルトのプロック5% 焼土粒1%含む
- 11 10YR4/2 灰黄褐色 砂質シルト 締まりやや密 炭化物2% 10YR4/4褐色砂質シルトのプロック2%含む
- 12 10YR5/4 にふい赤褐色 砂質シルト 締まり疎 炭化物1%含む
- 13 5YR5/4 にふい赤褐色 砂質シルト 締まりやや密 焼土塊厚5mm

S109 C-C'



- 1 砂質シルト 締まりやや密 炭化物2%含む
- 2 砂質シルト 締まり疎 炭化物1% 焼土粒1%含む
- 3 10YR4/3にふい黄褐色砂質シルトのプロック5%含む
- 4 砂質シルト 締まり中 炭化物1%
- 5 10YR4/3にふい黄褐色砂質シルトのプロック5%含む
- 6 砂質シルト 締まり中 炭化物1%
- 7 10YR4/4褐色砂質シルトのプロック2%含む
- 8 砂質シルト 締まり中 10YR7/6明黄褐色砂質シルトのプロック25%含む
- 9 砂質シルト 締まり中 炭化物1%
- 10 砂質シルトのプロック5%含む
- 11 10YR4/4褐色砂質シルトのプロック3%含む
- 12 砂質シルト 締まり中 炭化物1%
- 13 10YR6/4にふい黄褐色砂質シルトのプロック5%含む
- 14 砂質シルト 締まりやや密 10YR6/4にふい黄褐色砂質シルトのプロック7%含む
- 15 砂質シルト 締まり中 炭化物1%
- 16 10YR6/4にふい黄褐色砂質シルトのプロック5%含む
- 17 砂質シルト 締まり中 炭化物1%
- 18 10YR6/3にふい黄褐色砂質シルトのプロック3%
- 19 10YR2/2黒褐色砂質シルトのプロック2%含む
- 20 砂質シルト 締まり中 炭化物3% 焼土粒2%含む
- 21 10YR6/4にふい黄褐色砂質シルト2%含む
- 22 砂質シルト 締まり疎
- 23 10YR6/4にふい黄褐色砂質シルトのプロック7%含む
- 24 砂質シルト 締まり中
- 25 10YR6/4にふい黄褐色砂質シルトのプロック5%含む
- 26 砂質シルト 締まり中 マサシの両端積土

S109 PP1 D-D'



S109 PP1 D-D'

- 1 10YR3/4 暗褐色 砂質シルト 締まり中 炭化物1%
- 2 10YR5/4 にふい赤褐色 砂質シルト 締まり中
- 3 10YR5/3 にふい赤褐色 砂質シルト 締まり中
- 4 10YR5/8 黄褐色 砂質シルト 締まり中

S109 PP2 E-E'



S109 PP2 E-E'

- 1 10YR4/3 暗褐色 砂質シルト 締まり中
- 2 10YR6/4 にふい黄褐色 砂質シルト 締まり中

10YR4/6褐色砂質シルトのプロック5%含む

10YR4/6褐色砂質シルトのプロック5%含む

10YR4/6褐色砂質シルトのプロック5%含む

10YR4/6褐色砂質シルトのプロック5%含む

10YR4/6褐色砂質シルトのプロック5%含む

10YR4/6褐色砂質シルトのプロック5%含む

10YR4/6褐色砂質シルトのプロック5%含む

10YR4/6褐色砂質シルトのプロック5%含む

10YR4/6褐色砂質シルトのプロック5%含む

10YR4/6褐色砂質シルトのプロック5%含む

10YR4/6褐色砂質シルトのプロック5%含む

10YR4/6褐色砂質シルトのプロック5%含む

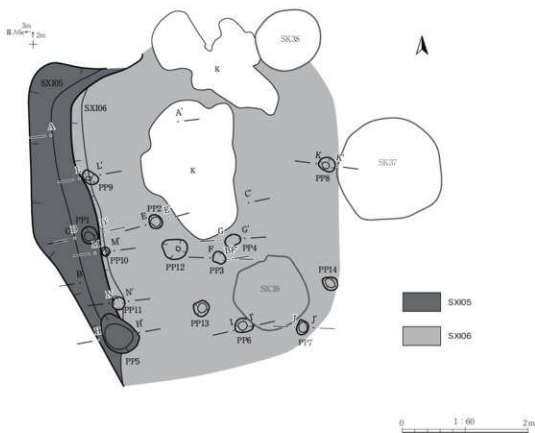
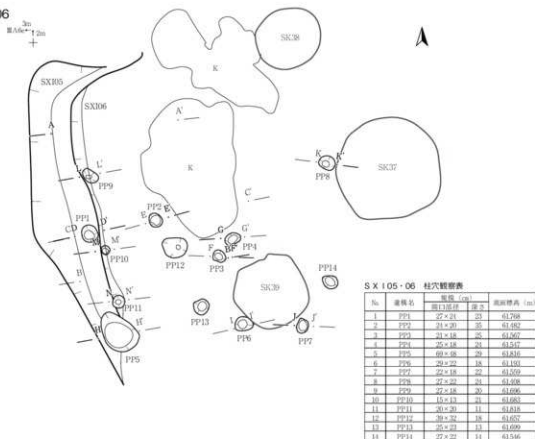
10YR4/6褐色砂質シルトのプロック5%含む

10YR4/6褐色砂質シルトのプロック5%含む

第53図 S109 竪穴住居跡

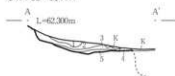


SX 105・06



第54図 SX 105・06 (1/2) 工房跡

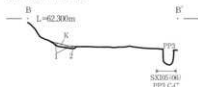
## S X 1 0 5 - 0 6 A-A'



## S X 1 0 5 - 0 6 A-A'

- 1 10YR5/3 にぶい・黄褐色 砂質シルト 締まり硬 炭化物 (1%)  
マサ土粒 (3%) (S X 1 0 5)
- 2 10YR3/2 黒褐色 砂質シルト 締まり中 炭化物 (2%)  
黄褐色 (10YR6/5) 砂質シルトアブロック (3%)  
マサ土粒 (2%) (S X 1 0 5)
- 3 10YR5/3 にぶい・黄褐色 砂質シルト 締まり中 マサ土粒 (3%) (S X 1 0 5)
- 4 10YR6/4 にぶい・黄褐色 砂質シルト 締まり硬 マサ土粒 (5%) (S X 1 0 5)
- 5 10YR7/3 にぶい・黄褐色 砂質シルト 締まり中 マサ土粒 (7%) (S X 1 0 5)

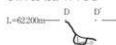
## S X 1 0 6 (追加) B-B'



## S X 1 0 6 B-B' (追加)

- 1 10YR5/3 にぶい・黄褐色 砂質シルト 締まり硬 炭化物 (1%)  
マサ土粒 (5%)
- 2 10YR5/4 にぶい・黄褐色 砂質シルト 締まり硬 マサ土粒 (2%)

## S X 1 0 5 (06) PP1 D-D'



## S X 1 0 5 (06) PP1 D-D'

- 1 10YR4/3 にぶい・黄褐色 砂質シルト 締まり中 黒褐色 (10YR2/2)  
砂質シルトのアブロック (3%) マサ土粒 (2%)  
(上段から凝石出土)
- 2 10YR5/3 にぶい・黄褐色 砂質シルト 締まり中 マサ土粒 (30%)

## S X 1 0 5 (06) PP3 F-F'



## S X 1 0 5 (06) PP3 F-F'

- 1 10YR3/3 黒褐色 砂質シルト 締まり中  
にぶい・黄褐色 (10YR4/3) 砂質シルトの小アブロック (5%)
- 2 10YR5/4 にぶい・黄褐色 砂質シルト 締まり硬 マサ土粒 (2%)

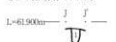
## S X 1 0 5 (06) PP5 H-H'



## S X 1 0 5 (06) PP5 H-H'

- 1 10YR4/3 にぶい・黄褐色 砂質シルト 締まり硬 炭化物 (2%)  
マサ土粒 (2%)
- 2 10YR4/2 灰黄褐色 砂質シルト 締まり硬 マサ土粒 (3%)
- 3 10YR5/4 にぶい・黄褐色 砂質シルト 締まり中 マサ土粒 (5%)
- 4 10YR5/3 にぶい・黄褐色 砂質シルト 締まり硬 マサ土粒 (5%)

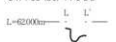
## S X 1 0 5 (06) PP7 J-J'



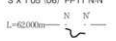
## S X 1 0 5 (06) PP7 J-J'

- 1 10YR5/4 にぶい・黄褐色 砂質シルト 締まり中 炭化物 (1%)  
マサ土粒 (3%)

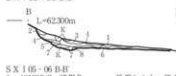
## S X 1 0 5 (06) PP9 L-L'



## S X 1 0 5 (06) PP11 N-N'



## S X 1 0 5 - 0 6 B-B'



## S X 1 0 5 - 0 6 B-B'

- 1 10YR3/3 黒褐色 砂質シルト 締まり硬 炭化物 (1%)  
にぶい・黄褐色 (10YR5/4)  
砂質シルトの小アブロック (1%)  
マサ土粒 (7%) (S X 1 0 5)
- 2 10YR5/3 にぶい・黄褐色 砂質シルト 締まり硬 マサ土粒 (3%)  
(S X 1 0 5)
- 3 10YR5/3 にぶい・黄褐色 砂質シルト 締まり中 マサ土粒 (7%)  
(S X 1 0 5)
- 4 10YR4/3 にぶい・黄褐色 砂質シルト 締まり中 炭化物 (1%)  
マサ土粒 (3%) (S X 1 0 5)
- 5 10YR5/3 にぶい・黄褐色 砂質シルト 締まり中 炭化物 (1%)  
マサ土粒のアブロック (凝縮) (10%)  
(S X 1 0 5)
- 6 10YR7/3 にぶい・黄褐色 砂質シルト 締まり中 マサ土粒 (40%)  
(S X 1 0 5)
- 7 10YR5/3 にぶい・黄褐色 砂質シルト 締まり硬 炭化物 (1%)  
マサ土粒 (5%) (S X 1 0 5)
- 8 10YR5/4 にぶい・黄褐色 砂質シルト 締まり硬 マサ土粒 (2%) (S X 1 0 5)

## S X 1 0 5 (06) C-C'



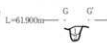
## S X 1 0 5 (06) PP2 E-E'



## S X 1 0 5 (06) PP2 E-E'

- 1 10YR5/4 にぶい・黄褐色 砂質シルト 締まり中 炭化物 (2%)  
マサ土粒 (3%)
- 2 10YR5/3 にぶい・黄褐色 砂質シルト 締まり中 マサ土粒 (30%)
- 3 10YR3/3 黒褐色 砂質シルト 締まり硬 マサ土粒 (3%)

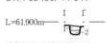
## S X 1 0 5 (06) PP4 G-G'



## S X 1 0 5 (06) PP4 G-G'

- 1 10YR2/2 黒褐色 砂質シルト 締まり中 炭化物 (2%)  
マサ土粒 (3%)
- 2 10YR5/4 にぶい・黄褐色 砂質シルト 締まり中 マサ土粒 (2%)

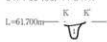
## S X 1 0 5 (06) PP6 I-I'



## S X 1 0 5 (06) PP6 I-I'

- 1 10YR3/2 黒褐色 砂質シルト 締まり中 炭化物 (2%)  
マサ土粒 (2%)
- 2 10YR4/3 にぶい・黄褐色 砂質シルト 締まり中 マサ土粒 (1%)

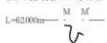
## S X 1 0 5 (06) PP8 K-K'



## S X 1 0 5 (06) PP8 K-K'

- 1 10YR4/4 灰色 砂質シルト 締まり硬 マサ土粒 (2%)

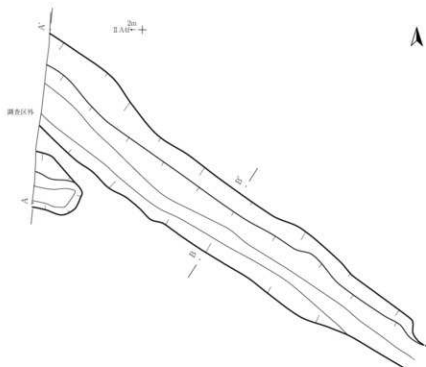
## S X 1 0 5 (06) PP10 M-M'



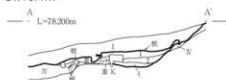
## S X 1 0 5 (06) PP10 M-M'

0 1:60 2m

SX 107



SX 107 A-A'



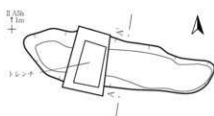
SX 107 B-B'



SX 107 A-A'・B-B'

- |   |         |         |    |      |                        |
|---|---------|---------|----|------|------------------------|
| 1 | 10YR5/3 | にぶい・黄褐色 | 粗砂 | 練まり中 |                        |
| 2 | 10YR4/3 | にぶい・黄褐色 | 粗砂 | 練まり中 | 炭化物1%含む                |
| 3 | 10YR5/4 | にぶい・黄褐色 | 細砂 | 練まり中 | 10YR5・6黄褐色土・ブロック1%含む   |
| 4 | 10YR5/2 | 灰黄褐色    | 粗砂 | 練まり中 |                        |
| 5 | 10YR6/3 | にぶい・黄褐色 | 粗砂 | 練まり中 | 7.5YR7・6棕色粘土・ブロック40%含む |

SX 108

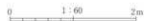


SX 108 A-A'



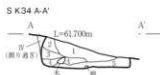
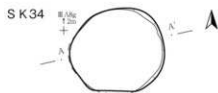
SX 108 A-A'

- |   |         |         |    |      |                          |
|---|---------|---------|----|------|--------------------------|
| 1 | 10YR6/3 | にぶい・黄褐色 | 細砂 | 練まり中 | 10YR5・6黄褐色粘土10%含む        |
| 2 | 10YR6/4 | にぶい・黄褐色 | 粗砂 | 練まり中 | 10YR5・6黄褐色粘土30%含む        |
| 3 | 10YR6/3 | にぶい・黄褐色 | 粗砂 | 練まり中 | 10YR5・6黄褐色粘土20%・マナ土20%含む |



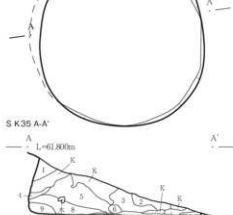


1 検出遺構



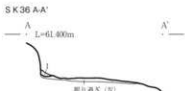
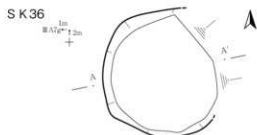
SK34 A-A'

- |   |                |                  |           |               |       |      |               |
|---|----------------|------------------|-----------|---------------|-------|------|---------------|
| 1 | 10YR4/6 褐色     | 砂質シルト            | 締まり中      | 黄褐色 (10YR5/6) | 砂質シルト | 締まり中 | 黄褐色 (10YR5/6) |
|   |                | 砂質ブロック (2%)      | マサ土粒 (3%) |               |       |      |               |
| 2 | 10YR5/6 黄褐色    | 砂質シルト            | 締まり中      | マサ土粒 (3%)     |       |      |               |
| 3 | 10YR5/4 にぶい黄褐色 | 砂質シルト            | 締まり中      | 黄褐色 (10YR5/6) |       |      |               |
|   |                | 粘土質シルトのプロック (5%) | マサ土粒 (3%) |               |       |      |               |
| 4 | 10YR4/6 褐色     | 砂質シルト            | 締まり中      | マサ土粒 (3%)     |       |      |               |
| 5 | 10YR4/4 褐色     | 砂質シルト            | 締まり中      | 黄褐色 (10YR5/6) |       |      |               |
|   |                | 粘土質シルトのプロック (5%) | マサ土粒 (3%) |               |       |      |               |



SK35 A-A'

- |    |                |       |      |                    |                   |            |
|----|----------------|-------|------|--------------------|-------------------|------------|
| 1  | 10YR5/3 にぶい黄褐色 | 砂質シルト | 締まり中 | 黄褐色 (10YR5/6)      | 砂質シルトのプロック (7%)   | マサ土粒 (15%) |
| 2  | 10YR5/3 にぶい黄褐色 | 砂質シルト | 締まり中 | 炭化物 (1%)           |                   |            |
|    |                |       |      | にぶい黄褐色 (10YR7/3)   | 砂質シルトのプロック (10%)  | マサ土粒 (5%)  |
| 3  | 10YR6/4 にぶい黄褐色 | 砂質シルト | 締まり中 | にぶい黄褐色 (10YR5/4)   | の小ブロック (3%)       | マサ土粒 (7%)  |
| 4  | 10YR4/4 褐色     | 砂質シルト | 締まり中 | マサ土粒 (5%)          |                   |            |
| 5  | 10YR4/6 褐色     | 砂質シルト | 締まり中 | 上位に明褐色 (10YR6/6)   | 砂質シルトの小ブロック (10%) |            |
|    |                |       |      | 下ににぶい黄褐色 (10YR5/4) | 砂質シルトの小ブロック (7%)  | マサ土粒 (15%) |
| 6  | 7.5YR5/6 明褐色   | 砂質シルト | 締まり中 | マサ土粒 (5%)          |                   |            |
| 7  | 10YR4/4 褐色     | 砂質シルト | 締まり中 | 明褐色 (10YR6/6)      | 砂質シルトのプロック (7%)   | マサ土粒 (15%) |
| 8  | 10YR5/4 にぶい黄褐色 | 砂質シルト | 締まり中 | マサ土粒 (20%)         |                   |            |
| 9  | 10YR5/4 にぶい黄褐色 | 砂質シルト | 締まり中 | マサ土粒 (2%)          |                   |            |
| 10 | 10YR3/3 暗褐色    | 砂質シルト | 締まり中 | マサ土粒 (2%)          |                   |            |
| 11 | 10YR4/3 にぶい黄褐色 | 砂質シルト | 締まり中 | マサ土粒 (5%)          |                   |            |

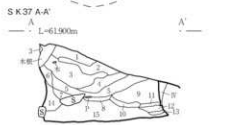


SK36 A-A'

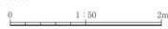
- |   |             |       |      |           |
|---|-------------|-------|------|-----------|
| 1 | 10YR3/2 暗褐色 | 砂質シルト | 締まり中 | マサ土粒 (3%) |
|---|-------------|-------|------|-----------|

SK37 A-A'

- |    |                |       |      |                     |                  |                              |                   |                  |
|----|----------------|-------|------|---------------------|------------------|------------------------------|-------------------|------------------|
| 1  | 10YR3/3 暗褐色    | 砂質シルト | 締まり中 | 10YR3/2 暗褐色砂質シルト    | 締まり中             | 暗褐色 (10YR3/2)                | 砂質シルト (20%) との混合土 | マサ土粒 (3%)        |
| 2  | 10YR3/2 暗褐色    | 砂質シルト | 締まり中 | 黒色 (10YR2/1)        | 砂質シルト (20%) の混合土 | 暗褐色 (10YR3/3)                | 砂質シルトのプロック (3%)   | マサ土粒 (3%) (土器出土) |
| 3  | 10YR5/3 にぶい黄褐色 | 砂質シルト | 締まり中 | 上位ににぶい黄褐色 (10YR6/3) | 砂質シルトのプロック (5%)  | 中位に暗褐色10YR3/3砂質シルトのプロック (3%) |                   |                  |
| 4  | 10YR5/3 にぶい黄褐色 | 砂質シルト | 締まり中 | 上位に黄褐色 (10YR5/6)    | 砂質シルトのプロック (5%)  | マサ土粒 (15%)                   |                   |                  |
| 5  | 10YR5/4 にぶい黄褐色 | 砂質シルト | 締まり中 | 暗褐色 (10YR3/3)       | 砂質シルトのプロック (3%)  | マサ土粒 (5%)                    | 土器片               |                  |
| 6  | 10YR6/4 にぶい黄褐色 | 砂質シルト | 締まり中 | マサ土粒 (10%)          |                  |                              |                   |                  |
| 7  | 10YR6/3 にぶい黄褐色 | 砂質シルト | 締まり中 | マサ土粒 (15%)          |                  |                              |                   |                  |
| 8  | 10YR2/2 暗褐色    | 砂質シルト | 締まり中 | 暗褐色 (10YR3/3)       | 砂質シルトのプロック (2%)  | マサ土粒 (3%)                    |                   |                  |
| 9  | 10YR5/4 にぶい黄褐色 | 砂質シルト | 締まり中 | マサ土粒 (10%)          |                  |                              |                   |                  |
| 10 | 10YR3/1 褐色     | 砂質シルト | 締まり中 | マサ土粒 (3%)           |                  |                              |                   |                  |
| 11 | 10YR4/4 褐色     | 砂質シルト | 締まり中 | マサ土粒 (10%)          |                  |                              |                   |                  |
| 12 | 10YR4/6 褐色     | 砂質シルト | 締まり中 | にぶい黄褐色 (10YR5/3)    | 砂質シルトのプロック (7%)  | マサ土粒 (25%)                   |                   |                  |
| 13 | 10YR2/2 暗褐色    | 砂質シルト | 締まり中 | マサ土粒 (3%)           |                  |                              |                   |                  |
| 14 | 10YR4/4 褐色     | 砂質シルト | 締まり中 | にぶい黄褐色 (10YR6/3)    | のプロック (7%)       |                              |                   |                  |
| 15 | 10YR4/2 灰黄褐色   | 砂質シルト | 締まり中 | 炭化物 (1%)            | にぶい黄褐色 (10YR5/3) | のプロック (5%)                   |                   |                  |

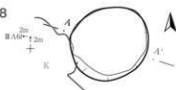


SK37 A-A'

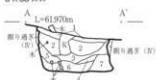


第58図 SK34・35・36・37土坑

## SK38



## SK38 A-A'



## SK38 A-A'

- 1 10YR4/3 にふい黄褐色 砂質シルト 締まり中 炭化物 (1%) 小礫 (径2cm)  
マサ土粒 (1%)
- 2 10YR5/3 にふい黄褐色 砂質シルト 締まり中 炭化物 (2%)  
にふい黄褐色 (10YR7/3) 砂質シルトブロック (3%)  
マサ土粒 (3%)
- 3 10YR5/3 にふい黄褐色 砂質シルト 締まり中 マサ土粒 (2%)  
砂質シルト 締まり中
- 4 10YR5/3 にふい黄褐色 砂質シルト 締まり中  
にふい黄褐色 (10YR6/4) 砂質シルトの  
小ブロック (3%) マサ土粒 (2%)
- 5 10YR6/4 にふい黄褐色 砂質シルト 締まり中  
にふい黄褐色 (10YR7/3) 砂質シルトの  
小ブロック (15%) マサ土粒 (2%)
- 6 10YR2/2 黒褐色 砂質シルト 締まり中  
砂質シルト 締まり中
- 7 10YR5/2 灰黄褐色 砂質シルト 締まり中  
砂質シルト 締まり中  
にふい黄褐色 (10YR7/3) 砂質シルトの  
小・中ブロック (7%) マサ土粒 (1%)

## SK39



## SK39 A-A'



## SK39 A-A'

- 1 10YR5/3 にふい黄褐色 砂質シルト 締まり中 炭化物 (1%)  
上位にふい黄褐色 (10YR5/4)  
砂質シルトのブロック (5%) マサ土粒 (10%)
- 2 10YR4/3 にふい黄褐色 砂質シルト 締まり中 炭化物 (2%)  
黒褐色 (10YR3/2) 砂質シルトのブロック (5%)  
マサ土粒 (1%)
- 3 10YR5/2 にふい黄褐色 砂質シルト 締まり中 炭化物 (1%)  
灰黄褐色 (10YR6/2) 砂質シルトのブロック  
(7%) 黒褐色 マサ土粒 (5%)
- 4 10YR6/4 にふい黄褐色 砂質 締まり中 炭化物 (1%)  
マサ土粒 (25%)

## SK40

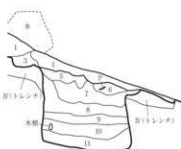


## SK40 副次観察表

層	遺構名	層色 (JIS)	開口径 (cm)	深さ (cm)	底面径 (m)
1	SK39 埋め	6Y5/1	60	51	12
					50.20m

## S103・SK40 A-A'

L=62700mm



## S103・SK40 A-A'

- 1 10YR3/4 暗褐色 シルト 粘性・締まりともに中 木の根により擾乱を受けている (S103)
- 2 10YR6/3 にふい黄褐色 砂質シルトと2層の混合土 粘性・締まり中  
(強く擾乱を受けているため断面はここまでしかわからない) (S103)
- 3 10YR3/4 暗褐色 シルト 粘性・締まり中
- 4 10YR6/3 暗褐色 10YR6/3にふい黄褐色ブロック 0.1~3cmをわずかに含む (1層と同じ?)
- 5 10YR6/4 にふい黄褐色 シルト 10YR3/4暗褐色シルトを含む (SK40)
- 6 10YR6/4 にふい黄褐色 シルトと10YR3/4暗褐色シルトの混合土 粘性やや固 締まり中 (SK40)
- 7 10YR7/4 にふい黄褐色 砂質シルト 粘性固 締まりやや固 (SK40)
- 8 10YR7/4 にふい黄褐色 砂質シルト 粘性固 締まりやや固 0.3cmの炭を2%含む (SK40)
- 9 10YR6/4 にふい黄褐色 砂質シルト 粘性・締まり固 0.2mmの炭・機土粒をわずかに含む (SK40)
- 10 10YR5/6 黄褐色 砂質シルト 粘性・締まり固 10YR3/4暗褐色シルトを含む (SK40)
- 11 10YR5/6 黄褐色 砂質シルト 粘性・締まり固 (SK40)

## SK41



## SK41 A-A'



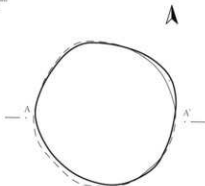
## SK41 A-A'

- 1 10YR5/6 黄褐色 砂質シルト 粘性固 締まりやや固  
10YR5/3にふい黄褐色シルトを30%含む
- 2 10YR5/6 黄褐色 砂質シルト 粘性・締まり中
- 3 10YR4/3 にふい黄褐色 砂質シルト 0.1cm前後の炭を2%含む
- 4 10YR3/2 黒褐色 砂質シルト 粘性・締まり固  
0.1~3cm前後の炭を5%含む
- 5 10YR7/6 明黄褐色 砂質シルト 粘性・締まり中

0 1:50 2m

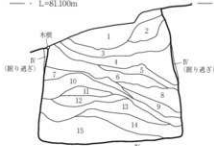
SK 42

1.0m  
1.5m



SK 42 A-A'

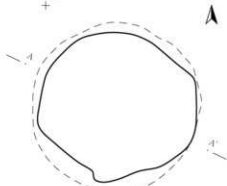
L=81.300m



- SK 42 A-A'
- 1 10YR5/4 にぶい黄褐色 粗砂 練まり密 マサ土1%含む
  - 2 10YR5/6 明黄褐色 砂質粘土 練まり密 炭化物1%含む
  - 3 10YR5/4 にぶい黄褐色 砂質粘土 練まり密 10YR6/8明黄褐色土プロック径3cm1% マサ土3%含む
  - 4 10YR5/3 にぶい黄褐色 砂質粘土 練まり密 10YR6/8明黄褐色土プロック径3cm5%含む
  - 5 10YR3/4 暗褐色 砂質シルト 練まり中 炭化物1%含む
  - 6 10YR5/4 にぶい黄褐色 砂質粘土 練まり密 10YR6/6明黄褐色土5%含む
  - 7 10YR6/4 にぶい黄褐色 粗砂 練まりやや密 マサ土10%含む
  - 8 10YR5/6 黄褐色 砂質粘土 練まり密
  - 9 10YR5/4 にぶい黄褐色 砂質粘土 練まり密
  - 10 10YR5/8 明黄褐色 粗砂 練まりやや密 10YR4/4褐色土5% マサ土30%含む
  - 11 10YR5/4 にぶい黄褐色 粗砂 練まり密 炭化物1%含む
  - 12 10YR3/4 暗褐色 砂質シルト 練まり中 10YR6/8明黄褐色土3%含む
  - 13 10YR3/3 にぶい黄褐色 砂質粘土 練まり密 10YR6/8明黄褐色土5%含む
  - 14 10YR4/4 褐色 粗砂 練まり密 10YR3/4暗褐色土1%含む
  - 15 10YR5/3 にぶい黄褐色 粗砂 練まりやや密
- ※1～9層 にぶい黄褐色土層 (5～7層除く)  
 ※7～10層 にぶい黄褐色土層  
 ※11～14層 にぶい黄褐色土層  
 ※15層は混じりのない粗砂層

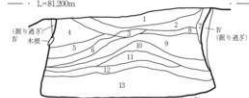
SK 43

1.0m  
1.5m



SK 43 A-A'

L=81.200m



- SK 43 A-A'
- 1 10YR4/3 にぶい黄褐色 粗砂 練まり密 炭化物1%含む
  - 2 10YR6/4 にぶい黄褐色 粗砂 練まり密 10YR3/4暗褐色土10% 炭化物1%含む
  - 3 10YR4/6 褐色 砂質粘土 練まり密
  - 4 10YR5/4 にぶい黄褐色 粗砂 練まり密
  - 5 10YR5/3 にぶい黄褐色 粗砂 練まり密
  - 6 10YR4/3 にぶい黄褐色 粗砂 練まり密
  - 7 10YR6/3 にぶい黄褐色 粗砂 練まり密 マサ土20%含む
  - 8 10YR6/4 にぶい黄褐色 粗砂 練まり密 10YR3/4暗褐色土30%含む
  - 9 10YR6/4 にぶい黄褐色 粗砂 練まり密 炭化物3%含む
  - 10 10YR5/4 にぶい黄褐色 粗砂 練まり密 10YR6/4にぶい黄褐色土10% 炭化物1%含む
  - 11 10YR6/3 にぶい黄褐色 粗砂 練まり密
  - 12 10YR6/4 にぶい黄褐色 粗砂 練まり密 マサ土5% 炭化物1%含む
  - 13 10YR5/4 にぶい黄褐色 粗砂 練まり密 マサ土5% 炭化物1%含む
- ※にぶい黄褐色土とにぶい黄褐色土の互層、練まり密

SK 44

1.0m  
1.5m



SK 44 A-A'

L=81.300m

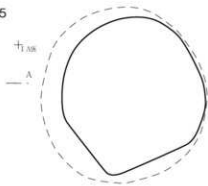


- SK 44 A-A'
- 1 10YR5/2 灰黄褐色 砂質シルト 練まりやや密
  - 2 10YR6/4 にぶい黄褐色 粗砂 練まりやや密 マサ土5% 10YR6/6明黄褐色土プロック径1cm6%含む
  - 3 10YR5/3 にぶい黄褐色 粗砂 練まりやや密 マサ土5% 炭化物1% 木組含む
  - 4 10YR6/6 明黄褐色 砂質粘土 練まり密

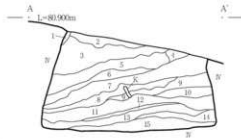
0 1:50 2m

第60図 SK 42・43・44土坑

SK 45



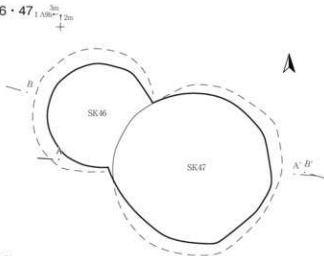
SK 45 A-A'



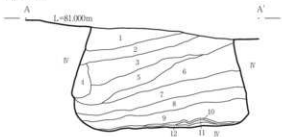
SK 45 A-A'	土質	備考
1	10YR5/2 灰黄褐色	粘土 締まり密
2	10YR6/4 にぶい黄褐色	粘土 締まり密
3	10YR6/4 にぶい黄褐色	粘土 締まり密
4	10YR6/4 にぶい黄褐色	粘土 締まり密
5	10YR6/6 明黄褐色	粘土 締まり密
6	10YR6/2 灰黄褐色	細砂 締まりやや密 炭化物1%含む
7	10YR5/2 灰黄褐色	細砂 締まりやや密 炭化物1%含む
8	10YR6/4 にぶい黄褐色	砂質粘土 締まり密 10YR6/6明黄褐色土ブロック径2-3cm大30%含む
9	10YR5/2 灰黄褐色	細砂 締まりやや密 10YR6/6明黄褐色土ブロック径1cm大1%含む
10	10YR4/2 暗褐色	細砂 締まりやや密
11	10YR2/3 暗褐色	砂質シルト 締まり中 10YR6/6明黄褐色土ブロック径1cm大5%含む
12	10YR2/3 暗褐色	シルト 締まり密
13	10YR4/2 灰黄褐色	砂質粘土 締まり中 砂40% 粘土60% 10YR2/3暗褐色土ブロック径1cm大5%含む
14	10YR5/3 にぶい黄褐色	砂質粘土 締まり中
15	10YR4/2 灰黄褐色	細砂 締まり密 10YR2/3暗褐色土ブロック径1cm大1%含む

※2-5層：遺跡跡の上

SK 46・47



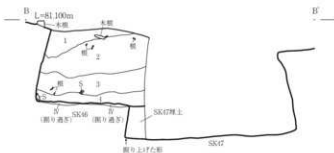
SK 47 A-A'



SK 47 A-A'	土質	備考
1	10YR6/4 にぶい黄褐色	細砂 締まり密 マサ土5%含む
2	10YR6/3 にぶい黄褐色	細砂 締まり密
3	10YR5/4 にぶい黄褐色	細砂 締まり密 10YR5/6黄褐色土10%含む
4	10YR5/4 にぶい黄褐色	細砂 締まり密 10YR7/2にぶい黄褐色土ブロック10%含む
5	10YR6/6 明黄褐色	砂質粘土 締まり密 10YR5/2灰黄褐色土20%含む
6	10YR5/4 にぶい黄褐色	細砂 締まり密 マサ土5% 炭化物1%含む
7	10YR5/3 にぶい黄褐色	粗砂 締まり密 マサ土7%含む
8	10YR5/3 にぶい黄褐色	粗砂 締まり密 10YR5/6黄褐色土20%含む
9	10YR5/4 にぶい黄褐色	粗砂 締まり密 10YR5/6黄褐色土5%含む
10	SK2/1 青灰色	灰化物層 締まり中
11	10YR5/4 にぶい黄褐色	細砂 締まり密
12	10YR4/6 褐色	砂質粘土 締まり密

※1-5層：黄褐色系、遺跡・IV層跡の上  
※6-12層：にぶい黄褐色系、IV層の風化した層

SK 46 B-B'



SK 46 B-B'	土質	備考
1	10YR4/2 灰黄褐色	粗砂 締まり密
2	10YR5/4 にぶい黄褐色	粗砂 締まり密 炭化物1%含む
3	10YR5/3 にぶい黄褐色	粗砂 締まり密 マサ土ブロック5% 黄色土ブロック5% 炭化物1%含む
4	10YR5/4 にぶい黄褐色	粗砂 締まり密 マサ土ブロック5%含む

0 1:50 2m

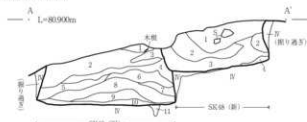
第61図 SK 45・46・47土坑



SK48・49

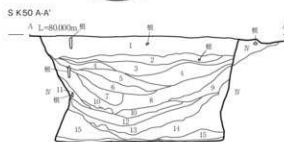
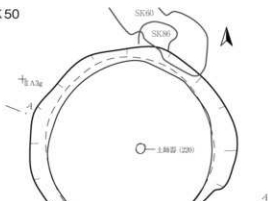


SK49・48 A-A'



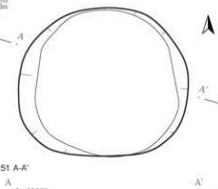
- SK48 A-A'
- |   |         |        |       |        |             |                          |
|---|---------|--------|-------|--------|-------------|--------------------------|
| 1 | 10YR4/3 | にふい黄褐色 | 粗砂    | 締まり密   | 径20cm以上の葉角礫 | 炭化物3%含む                  |
| 2 | 10YR5/4 | にふい黄褐色 | 粗砂    | 締まり密   | 炭化物5%       | 10YR5-6黄褐色土ブロック径1cm×3%含む |
| 3 | 10YR3/4 | 暗褐色    | 砂質シルト | 締まり密   | 炭化物3%含む     |                          |
| 4 | 10YR5/3 | にふい黄褐色 | 粗砂    | 締まりやや密 |             |                          |
- SK49 A-A'
- |    |         |        |       |      |                    |                    |
|----|---------|--------|-------|------|--------------------|--------------------|
| 1  | 10YR4/3 | にふい黄褐色 | 砂質シルト | 締まり密 | 本欄含む               |                    |
| 2  | 10YR6/3 | にふい黄褐色 | 粗砂    | 締まり密 |                    |                    |
| 3  | 10YR5-6 | 黄褐色    | 砂質粘土  | 締まり密 |                    |                    |
| 4  | 10YR5-6 | 黄褐色    | 砂質粘土  | 締まり密 | 10YR4-3にふい黄褐色土5%含む |                    |
| 5  | 10YR4/4 | 褐色     | 砂質粘土  | 締まり密 |                    |                    |
| 6  | 10YR5/4 | にふい黄褐色 | 砂質粘土  | 締まり密 | 10YR4-25区黄褐色土30%含む |                    |
| 7  | 10YR6/4 | にふい黄褐色 | 粗砂    | 締まり密 |                    |                    |
| 8  | 10YR4/3 | にふい黄褐色 | 砂質シルト | 締まり中 | 10YR6-3にふい黄褐色土5%含む |                    |
| 9  | 10YR3/4 | 暗褐色    | 砂質シルト | 締まり中 | 炭化物1%              | 10YR6-3にふい黄褐色土5%含む |
| 10 | 10YR3/3 | 暗褐色    | 砂質シルト | 締まり中 | 炭化物1%含む            |                    |
| 11 | 10YR6/3 | にふい黄褐色 | 粗砂    | 締まり中 | マサ土 (SK60埋土)       |                    |
- ※1-7層にふい黄褐色土主体  
 ※8-10層暗褐色土主体、炭化物も多く含まれる

SK50

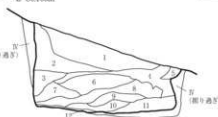


- SK50 A-A'
- |    |         |        |       |      |                              |                     |
|----|---------|--------|-------|------|------------------------------|---------------------|
| 1  | 10YR4-2 | 灰黄褐色   | 粗砂    | 締まり密 | 10YR6-6明黄褐色土ブロック10%          | 炭化物1%含む             |
| 2  | 10YR6-3 | にふい黄褐色 | 粗砂    | 締まり密 | マサ土5%含む                      |                     |
| 3  | 10YR5-3 | にふい黄褐色 | 砂質粘土  | 締まり密 | 10YR6-6明黄褐色土ブロック3%           | 炭化物1%含む             |
| 4  | 10YR5-4 | にふい黄褐色 | 砂質粘土  | 締まり密 | マサ土3%                        | 炭化物1%含む             |
| 5  | 10YR5-3 | にふい黄褐色 | 砂質粘土  | 締まり密 | 10YR2-3暗褐色土5%含む              |                     |
| 6  | 10YR5-4 | にふい黄褐色 | 砂質粘土  | 締まり密 | 10YR6-6明黄褐色土ブロック径2cm×10%     | 炭化物1%               |
| 7  | 10YR5-6 | 黄褐色    | 粗砂    | 締まり密 | 10YR5-4にふい黄褐色土               |                     |
| 8  | 10YR5-2 | 灰黄褐色   | 砂質粘土  | 締まり密 | 10YR2-3暗褐色土5%                | 10YR6-6明黄褐色土10%含む   |
| 9  | 10YR6-2 | 灰黄褐色   | 粗砂    | 締まり密 | マサ土10%含む                     |                     |
| 10 | 10YR7-2 | にふい黄褐色 | 粗砂    | 締まり密 | マサ土50%含む                     |                     |
| 11 | 10YR6/4 | にふい黄褐色 | 粗砂    | 締まり密 |                              |                     |
| 12 | 10YR6-2 | 灰黄褐色   | 砂質粘土  | 締まり密 |                              |                     |
| 13 | 10YR3-4 | 暗褐色    | 砂質シルト | 締まり密 | 10YR5-4にふい黄褐色土ブロック径1cm×10%含む |                     |
| 14 | 10YR6/3 | にふい黄褐色 | 粗砂    | 締まり密 | マサ土50%                       | 10YR5-4にふい黄褐色土50%含む |
| 15 | 10YR4-6 | 褐色     | 砂質粘土  | 締まり密 |                              |                     |
| 16 | 10YR4-2 | 灰黄褐色   | 砂質シルト | 締まり密 | マサ土10%含む                     |                     |
- ※黄褐色土ブロックが多くこの層に進入する  
 ※2層-10層-14層が互層起源のマサ土

SK51



SK51 A-A'

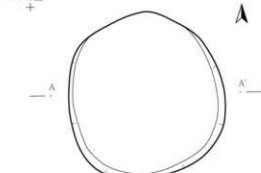


- SK51 A-A'
- |    |         |        |       |        |                  |                  |
|----|---------|--------|-------|--------|------------------|------------------|
| 1  | 10YR3/3 | 暗褐色    | 砂質シルト | 締まり中   | 炭化物1%            | 径5mmの小礫含む        |
| 2  | 10YR3/4 | 暗褐色    | 粗砂    | 締まりやや密 | 炭化物1%            | 径5mmの小礫、マサ土30%含む |
| 3  | 10YR4-3 | にふい黄褐色 | 粗砂    | 締まりやや密 |                  |                  |
| 4  | 10YR2/3 | 黒褐色    | 砂質シルト | 締まり中   |                  |                  |
| 5  | 10YR2-2 | 黒褐色    | 粗砂    | 締まり密   | 10YR4-4褐色土3%含む   |                  |
| 6  | 10YR5-3 | にふい黄褐色 | 粗砂    | 締まり密   | 10YR5-6黄褐色土30%含む |                  |
| 7  | 10YR5-2 | 灰黄褐色   | 粗砂    | 締まり密   |                  |                  |
| 8  | 10YR4-2 | 灰黄褐色   | 粗砂    | 締まり密   | 炭化物1%含む          |                  |
| 9  | 10YR5-2 | 灰黄褐色   | 粗砂    | 締まり密   | 10YR5-6黄褐色土20%   | マサ土10%含む         |
| 10 | 10YR4-2 | 灰黄褐色   | 粗砂    | 締まり密   |                  |                  |
| 11 | 10YR2/3 | 黒褐色    | 砂質シルト | 締まり中   |                  |                  |
| 12 | 10YR4/3 | にふい黄褐色 | 砂質シルト | 締まり中   |                  |                  |

0 1:50 2m

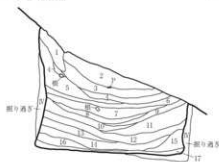
第62図 SK48・49・50・51土坑

S K 52



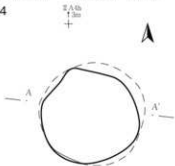
S K 52 A-A'

L=75.400m



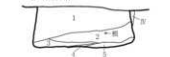
- S K 52 A-A'
- 1 10YR6/4 にぶい黄褐色 粗砂 締まり中
  - 2 10YR2/1 黒色 砂質シルト 締まり中 10YR6/4にぶい黄褐色土ブロック10%含む
  - 3 10YR5/4 にぶい黄褐色 粗砂 締まり中 水成岩層
  - 4 10YR3/2 黒褐色 砂質シルト 締まり中 炭化物1%含む
  - 5 10YR6/4 にぶい黄褐色 粗砂-粗砂 締まり中 マサ土30% 本根含む
  - 6 10YR2/1 黒色 砂質シルト 締まり中 10YR3/4暗褐色土20%含む
  - 7 10YR6/3 にぶい黄褐色 粗砂 締まり中 本根含む
  - 8 10YR7/4 にぶい黄褐色 粗砂 マサ土50%含む
  - 9 10YR2/2 黒褐色 砂質シルト 締まり中
  - 10 10YR6/3 にぶい黄褐色 粗砂 締まり中 炭化物1%含む
  - 11 10YR2/1 黒色 砂質シルト 締まり中 炭化物1% 10YR3/4暗褐色土5%含む
  - 12 10YR5/3 にぶい黄褐色 粗砂 締まり中 炭化物3% 10YR2/2黒褐色土10%含む
  - 13 10YR4/3 にぶい黄褐色 粗砂 締まり中 10YR5/6黄褐色土ブロック5%含む
  - 14 10YR4/2 黄褐色 粗砂 締まり中 10YR3/2黒褐色土30%含む
  - 15 10YR5/6 黄褐色 粗砂 締まり中
  - 16 10YR5/2 黄褐色 粗砂 締まり中
  - 17 10YR2/3 黒褐色 砂質シルト 締まり中

S K 54



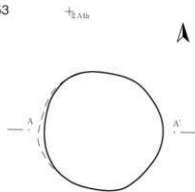
S K 54 A-A'

L=77.800m



- S K 54 A-A'
- 1 10YR5/3 にぶい黄褐色 砂質粘土 締まり中
  - 2 10YR5/6 黄褐色 砂質粘土 締まり中
  - 3 10YR5/3 にぶい黄褐色 砂質粘土 締まり中
  - 4 10YR5/3 にぶい黄褐色 砂質粘土 締まり中
  - 5 10YR4/2 灰黄褐色 砂質シルト 締まり中
- ※黄褐色土の粘土系の埋土

S K 53



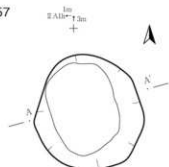
S K 53 A-A'

L=78.700m



- S K 53 A-A'
- 1 10YR3/2 黒褐色 砂質シルト 締まり中 10YR5/6黄褐色土10% 炭化物1%含む
  - 2 10YR6/6 明灰褐色 砂質粘土 締まり中 10YR3/4暗褐色土5%含む
  - 3 10YR5/2 灰黄褐色 粗砂 締まり中
  - 4 10YR3/4 暗褐色 砂質シルト 締まり中
  - 5 10YR5/6 黄褐色 砂質粘土 締まり中
  - 6 10YR2/3 黒褐色 砂質シルト 締まり中 炭化物1%含む
  - 7 10YR4/2 灰黄褐色 粗砂 締まり中
  - 8 10YR2/3 黒褐色 砂質シルト 締まり中 10YR5/6黄褐色土ブロック73%含む

S K 57



S K 57 A-A'

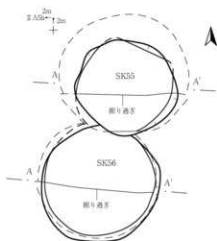
L=80.600m



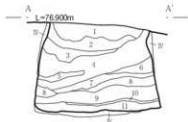
- S K 57 A-A'
- 1 10YR2/3 黒褐色 砂質シルト 締まり中 炭化物1%含む
  - 2 10YR4/3 にぶい黄褐色 砂質粘土 締まり中 炭化物1%含む
  - 3 10YR3/4 暗褐色 砂質シルト 締まり中
  - 4 10YR4/3 にぶい黄褐色 粗砂 締まり中
  - 5 10YR4/4 褐色 粗砂 締まり中 10YR3/4暗褐色土ブロック3% マサ土10%含む
  - 6 10YR5/4 にぶい黄褐色 粗砂 締まり中 マサ土5%含む
  - 7 10YR3/4 暗褐色 砂質シルト 締まり中
  - 8 10YR4/4 褐色 粗砂 締まり中
  - 9 10YR5/4 にぶい黄褐色 粗砂 締まり中
  - 10 10YR6/3 にぶい黄褐色 粗砂 締まり中 マサ土60% 粘土40%含む
  - 11 10YR4/2 灰黄褐色 粗砂 締まり中 炭化物1%含む
- ※10層はマサ土主体

0 1:50 2m

S K 55・56



S K 55 A-A'

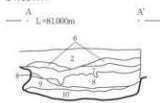


- S K 55 A-A'
- |    |                |                 |                  |
|----|----------------|-----------------|------------------|
| 1  | 10YR3/4 暗褐色    | 砂質シルト 締まり中      | 炭化物3%含む          |
| 2  | 10YR5/8 黄褐色    | 砂質粘土 締まり中       |                  |
| 3  | 10YR3/4 暗褐色    | 砂質シルト 締まり中      | 炭化物1%含む          |
| 4  | 10YR5/3 にぶい黄褐色 | 粗砂 10YR5/8黄褐色粘土 | 炭化物1%含む          |
| 5  | 10YR5/8 黄褐色    | 粘土 締まり中         |                  |
| 6  | 10YR5/4 にぶい黄褐色 | 粗砂 締まり中         |                  |
| 7  | 10YR4/3 にぶい黄褐色 | 粗砂 締まり中         |                  |
| 8  | 10YR5/2 灰黄褐色   | 粗砂 締まり中         |                  |
| 9  | 10YR5/2 灰黄褐色   | 粗砂 締まり中         | 10YR5/6黄褐色土10%含む |
| 10 | 10YR5/6 黄褐色    | 粘土 締まり中         |                  |
| 11 | 10YR5/2 灰黄褐色   | 粗砂 締まり中         |                  |
- ※8～10層：灰黄褐色粗砂層と黄褐色粘土層の互層

S K 58

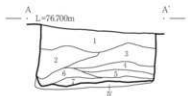


S K 58 A-A'



- S K 58 A-A'
- |    |                |            |                  |
|----|----------------|------------|------------------|
| 2  | 10YR3/3 暗褐色    | 砂質シルト 締まり中 | 炭化物1%            |
| 6  | 10YR5/4 にぶい黄褐色 | 粗砂 締まり中    | 10YR6/6明黄褐色土3%含む |
| 7  | 10YR3/4 暗褐色    | 砂質シルト 締まり中 |                  |
| 8  | 10YR6/4 にぶい黄褐色 | 砂質粘土 締まり中  |                  |
| 9  | 10YR3/4 暗褐色    | 砂質シルト 締まり中 |                  |
| 10 | 10YR5/4 にぶい黄褐色 | 粗砂 締まり中    |                  |

S K 56 A-A'

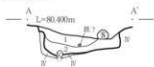


- S K 56 A-A'
- |   |                |            |                  |
|---|----------------|------------|------------------|
| 1 | 10YR4/3 にぶい黄褐色 | 砂質粘土 締まり中  | 10YR5/6黄褐色土3%含む  |
| 2 | 10YR5/2 灰黄褐色   | 砂質粘土 締まり中  |                  |
| 3 | 10YR5/4 にぶい黄褐色 | 砂質粘土 締まり中  | 10YR3/3暗褐色土5%含む  |
| 4 | 10YR5/4 にぶい黄褐色 | 砂質粘土 締まり中  |                  |
| 5 | 10YR4/3 にぶい黄褐色 | 砂質粘土 締まり中  | 10YR3/3暗褐色土10%含む |
| 6 | 10YR3/2 暗褐色    | 砂質シルト 締まり中 |                  |
| 7 | 10YR5/2 灰黄褐色   | 粗砂 締まり中    |                  |

S K 59

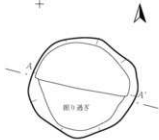


S K 59 A-A'



- S K 59 A-A'
- |   |                |                     |       |
|---|----------------|---------------------|-------|
| 1 | 10YR2/3 暗褐色    | 砂質シルト 締まり中          | 炭化物1% |
| 2 | 10YR6/3 にぶい黄褐色 | 10YR6/3にぶい黄褐色土20%含む |       |
|   |                | 粗砂 締まり中             |       |

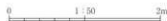
S K 61



S K 61 A-A'

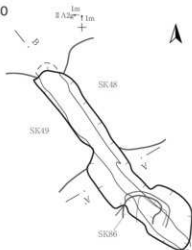


- S K 61 A-A'
- |   |                |                    |                                 |
|---|----------------|--------------------|---------------------------------|
| 1 | 10YR4/4 褐色     | 砂質シルト 締まり中         | 10YR6/6明黄褐色土+ブロッカ (径1cm大) 75%含む |
| 2 | 10YR5/3 にぶい黄褐色 | 粗砂 10YR3/3暗褐色土5%含む |                                 |
| 3 | 10YR5/4 にぶい黄褐色 | 粗砂 締まり中            | 10YR4/3にぶい黄褐色                   |

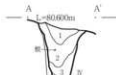


第64図 S K 55・56・58・59・61土坑

S K 60



S K 60 A-A'



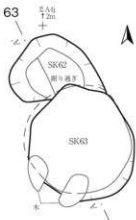
S K 60 A-A'

- |   |                |      |          |
|---|----------------|------|----------|
| 1 | 10YR4/4 褐色     | 砂質粘土 | 締まりやや密   |
| 2 | 10YR5/6 黄褐色    | 粘土   | 締まりやや密   |
| 3 | 10YR6/3 にぶい黄褐色 | 粗砂   | マサ土30%含む |
| 4 | 10YR6/4 にぶい黄褐色 | 粗砂   | マサ土10%含む |
| 5 | 10YR5/4 黄褐色    | 粘土   | 締まり中     |
| 6 | 10YR6/6 明黄褐色   | 粗砂   | 締まり中     |

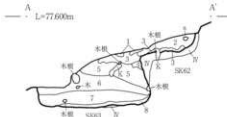
S K 60 B-B'



S K 62・63



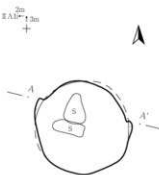
S K 62・63 A-A'



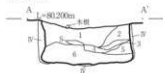
S K 62・63 A-A'

- |   |                |      |   |
|---|----------------|------|---|
| 1 | 10YR5/6 黄褐色    | 砂質粘土 | 締まり密 (SK62)                               |
| 2 | 10YR4/4 褐色     | 粘土   | 締まり密 10YR5/6黄褐色土ブロック1%含む (SK62)           |
| 3 | 10YR2/1 黒色     | 炭化物層 | 10YR4/4褐色土ブロック1%含む 下層1cmほどの厚さで炭化物層 (SK62) |
| 4 | 10YR4/2 灰黄褐色   | 粗砂   | 締まり密                                      |
| 5 | 10YR5/4 にぶい黄褐色 | 粗砂   | 締まり密 マサ土30%含む                             |
| 6 | 10YR4/3 にぶい黄褐色 | 粗砂   | 締まり密 10YR5/6黄褐色土ブロック3% 炭化物1%含む            |
| 7 | 10YR4/4 褐色     | 粗砂   | 締まり密 10YR5/6黄褐色土ブロック1% 炭化物1%含む            |
| 8 | 10YR4/3 にぶい黄褐色 | 粗砂   | 締まり密                                      |

S K 64

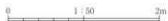


S K 64 A-A'



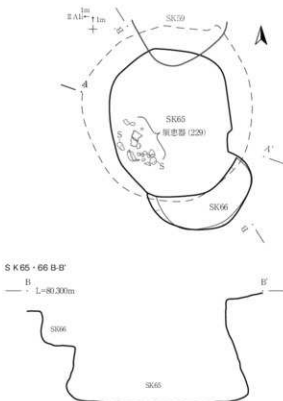
S K 64 A-A'

- |   |                |       |                            |
|---|----------------|-------|----------------------------|
| 1 | 10YR4/3 にぶい黄褐色 | 砂質シルト | 締まり中 炭化物1% 10YR4/4褐色土30%含む |
| 2 | 10YR5/4 にぶい黄褐色 | 粗砂    | 締まり中 マサ土10%含む              |
| 3 | 10YR5/6 黄褐色    | 粗砂    | 締まり中                       |
| 4 | 10YR3/3 暗褐色    | 砂質シルト | 締まり中 炭化物1%含む               |
| 5 | 10YR5/4 にぶい黄褐色 | 粗砂    | 締まり中 マサ土20%含む              |
| 6 | 10YR4/6 褐色     | 粗砂    | 締まり中 10YR5/6黄褐色粘土ブロック1%含む  |

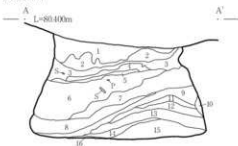


第65図 S K 60陥し穴状遺構・62・63・64土坑

S K 65・66

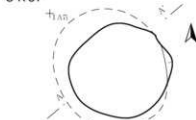


S K 65 A-A'

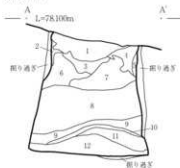


- S K 65・66 A-A'・B-B'
- |                  |                         |                         |
|------------------|-------------------------|-------------------------|
| 1 10YR3/2 黒褐色    | 砂質シルト 締まり中 炭化物1%        | 10YR6/4Lにふい黄褐色土ブロック3%含む |
| 2 10YR6/4 にふい黄褐色 | 細砂 締まり密 マサ土60%含む        | 砂質シルト 締まり密 炭化物3%含む      |
| 3 10YR2/3 黒褐色    | 細砂 締まり密                 |                         |
| 4 10YR6/2 灰黄褐色   | 細砂 締まり密                 |                         |
| 5 10YR7/3 にふい黄褐色 | 細砂 締まり密                 | マサ土70%含む                |
| 6 10YR2/3 黒褐色    | 砂質シルト 締まり中 炭化物5%        | 土器・鉄製品含む                |
| 7 10YR6/2 灰黄褐色   | 細砂 締まり密 炭化物3%           | 10YR5-6黄褐色土10%含む        |
| 8 10YR6/1 褐色     | 細砂 締まり密 10YR5-6黄褐色土3%含む |                         |
| 9 10YR5/2 灰黄褐色   | 細砂 締まり密 炭化物1%           | マサ土10%                  |
|                  |                         | 10YR5-6黄褐色土10%含む        |
| 10 10YR4/2 灰黄褐色  | 細砂 締まり密 炭化物1%           | マサ土3%含む                 |
| 11 10YR5/2 灰黄褐色  | 細砂 締まり密 炭化物1%含む         |                         |
| 12 10YR5/2 灰黄褐色  | 細砂 締まり密 炭化物1%           | 10YR5-6黄褐色土5%含む         |
| 13 10YR5/2 灰黄褐色  | 細砂 締まり密 炭化物3%含む         |                         |
| 14 10YR5/2 灰黄褐色  | 細砂 締まり密 炭化物1%           | 10YR5-6黄褐色土5%含む         |
| 15 10YR5/1 褐色    | 細砂 締まり密 炭化物1%含む         |                         |
| 16 10YR5/1 褐色    | 砂質シルト 締まり密              |                         |

S K 67



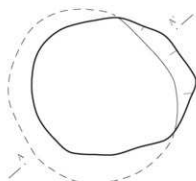
S K 67 A-A'



- S K 67 A-A'
- |                  |                              |                         |
|------------------|------------------------------|-------------------------|
| 1 10YR3/2 黒褐色    | 砂質シルト 締まりやや密 炭化物5%           | 焼土1% 10YR4/3Lにふい黄褐色     |
|                  | 砂質シルトのブロック3%含む               |                         |
| 2 10YR6/4 にふい黄褐色 | 砂質シルト 締まり中                   |                         |
| 3 10YR4/3 にふい黄褐色 | 砂質シルト 締まり中 炭化物1%             |                         |
|                  | 10YR6/4Lにふい黄褐色砂質シルトのブロック7%含む |                         |
| 4 10YR2/2 黒褐色    | 砂質シルト 締まりやや密 炭化物2%           |                         |
|                  | 10YR6/4Lにふい黄褐色砂質シルトのブロック3%   |                         |
|                  | 10YR4/6褐色砂質シルトのブロック2%含む      |                         |
| 5 10YR5/4 にふい黄褐色 | 砂質シルト 締まり中                   |                         |
| 6 10YR4/4 褐色     | 砂質シルト 締まり中 炭化物1%             | 10YR4/6褐色砂質シルトのブロック2%含む |
| 7 10YR6/4 にふい黄褐色 | 砂質シルト 締まり中                   | マサ土の再埋土                 |
| 8 10YR7/6 明黄褐色   | 砂質シルト 締まり中                   |                         |
| 9-12 記録なし        |                              |                         |

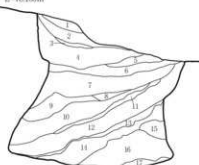
0 1:50 2m

S K 68

1A7<sup>+</sup>

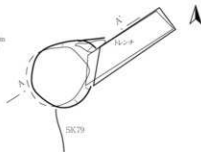
S K 68 A-A'

A A' L=28.100m



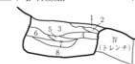
S K 68 A-A'	
1 10YR4/6 褐色	砂質シルト 締まりやや密 炭化物1%
2 10YR3/4 暗褐色	10YR4/2にふい黄褐色砂質シルトのブロック3%含む 砂質シルト 締まり中 炭化物3%
3 10YR4/6 褐色	10YR4/6暗褐色砂質シルトのブロック7%含む 砂質シルト 締まりやや密
4 10YR5/6 黄褐色	10YR3/4暗褐色砂質シルトのラミナ1層 砂質シルト 締まりやや密 炭化物1%
5 10YR4/3 にふい黄褐色	10YR3/4暗褐色砂質シルトのブロック2%含む 砂質シルト 締まり中 炭化物5%
6 10YR3/4 暗褐色	10YR3/4暗褐色砂質シルトのブロック7%との混泥土 砂質シルト 締まり中 炭化物2%
7 10YR4/6 褐色	10YR4/6暗褐色砂質シルトのブロック5%含む 砂質シルト 締まりやや密
8 10YR5/4 にふい黄褐色	10YR5/6黄褐色砂質シルトのブロック5%含む 砂質シルト 締まり疎
9 10YR6/4 にふい黄褐色	砂質シルト 締まり密
10 10YR5/6 黄褐色	10YR5/6黄褐色砂質シルトのブロック20%含む 砂質シルト 締まりやや密
11 10YR4/2 灰黄褐色	10YR3/1黒褐色砂質シルトのブロック7%含む 砂質シルト 締まり中 炭化物1%
12 10YR6/4 にふい黄褐色	10YR5/4にふい黄褐色砂質シルトのブロック3%含む 砂 締まりやや密 マサ土の再浮上土
13 10YR4/4 褐色	砂質シルト 締まりやや密
14 10YR6/4 にふい黄褐色	10YR3/1黒褐色砂質シルトのブロック5%含む 砂質シルト 締まりやや密
15 10YR6/4 にふい黄褐色	10YR3/1黒褐色砂質シルトのブロック2%含む 砂質シルト 締まりやや密
16 10YR4/4 褐色	10YR3/1黒褐色砂質シルトのブロック3%含む 砂質シルト 締まり中
17 10YR6/4 にふい黄褐色	砂質シルト 締まり中

S K 69

1m  
1A7<sup>+</sup> 1.3m

S K 69 A-A'

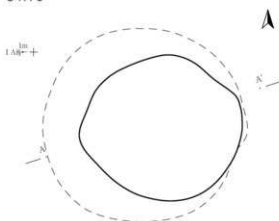
A A' L=77000m



S K 69 A-A'	
1 10YR4/6 褐色	砂質シルト 締まり中 炭化物1%含む
2 10YR3/4 暗褐色	砂質シルト 締まり疎 炭化物1%含む
3 10YR5/4 にふい黄褐色	砂質シルト 締まり中 炭化物1%
4 10YR4/4 褐色	10YR6/4にふい黄褐色砂質シルトのブロック5%含む 砂質シルト 締まり中 炭化物1%含む
5 10YR3/1 黒褐色	砂質シルト 締まり中 10YR5/4にふい黄褐色砂質シルトのブロック5%含む
6 10YR4/3 にふい黄褐色	砂質シルト 締まり疎
7 10YR5/4 にふい黄褐色	砂質シルト 締まり中
8 10YR5/3 にふい黄褐色	砂質シルト 締まり疎 炭化物2% 10YR6/4にふい黄褐色砂質シルトのブロック7%含む

0 1:50 2m

SK70



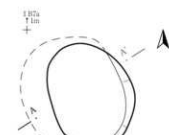
SK70 A-A'



SK70 A-A'



SK71



SK71 A-A'

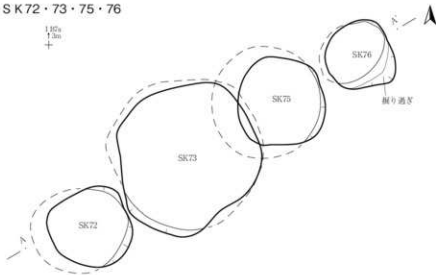


SK71 A-A'

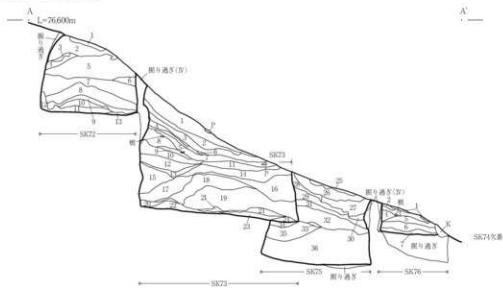
1	10YR8/4	にぶい黄褐色	砂質シルト	締まり硬	炭化物1%	10YR7/4にぶい黄褐色砂質シルトのブロック2%含む
2	10YR5/4	にぶい黄褐色	砂質シルト	締まり硬	炭化物1%	10YR3/3黒褐色砂質シルトのブロック2%含む
3	10YR3/3	暗褐色	砂質シルト	締まり中	炭化物1%	10YR4/4褐色砂質シルトのブロック2%含む
4	10YR4/4	褐色	砂質シルト	締まり中	炭化物1%	10YR4/4褐色砂質シルトのブロック10%含む
5	10YR3/4	暗褐色	砂質シルト	締まり硬	炭化物1%	10YR4/4褐色砂質シルトのブロック3%含む
6	10YR4/3	にぶい黄褐色	砂質シルト	締まり中	炭化物1%	10YR3/3暗褐色のブロック1%含む
7	10YR3/2	黒褐色	砂質シルト	締まり中	炭化物1%	10YR3/4にぶい黄褐色砂質シルトのブロック5%含む
8	10YR3/4	暗褐色	砂質シルト	締まり硬	炭化物1%	10YR4/4褐色砂質シルトのブロック7%含む
9	10YR2/3	黒褐色	砂質シルト	締まり中	炭化物1%	10YR4/4褐色砂質シルトのブロック3%含む
10	10YR4/4	褐色	砂質シルト	締まり中	炭化物1%	10YR4/4褐色砂質シルトのブロック2%含む
11	10YR2/3	黒褐色	砂質シルト	締まり中	炭化物1%	10YR4/4褐色砂質シルトのブロック2%含む
12	10YR2/1	黒色	砂質シルト	締まり中	炭化物1%	10YR5/4にぶい黄褐色砂質シルトのブロック1%含む
13	10YR3/3	暗褐色	砂質シルト	締まり中	炭化物1%	砂質シルト
14	10YR4/3	にぶい黄褐色	砂質シルト	締まり中	炭化物1%	10YR4/4褐色砂質シルトのブロック5%含む
15	10YR6/4	にぶい黄褐色	砂質シルト	締まりやや密	炭化物1%	10YR2/1黒色砂質シルトのブロック2%含む

第68図 SK70・71土坑

## S K72・73・75・76



## S K72・73・75・76 A-A'



## S K72 A-A'

1	10YR4/3	にぶい黄褐色	砂質シルト	締まり中	炭化物2%	10YR7/4にぶい黄褐色砂質シルトのプロック3%含む
2	10YR4/2	灰黄褐色	砂質シルト	締まり中	炭化物2%	10YR3/3暗褐色砂質シルトのプロック2%含む
3	10YR5/4	にぶい黄褐色	砂質シルト	締まり中	炭化物1%含む	
4	10YR4/2	灰黄褐色	砂質シルト	締まり疎	炭化物1%含む	
5	10YR6/4	にぶい黄褐色	砂質シルト	締まりやや密	炭化物1%	10YR6/3にぶい黄褐色砂質シルトのプロック3%含む
6	10YR5/3	にぶい黄褐色	砂質シルト	締まり疎	炭化物1%含む	
7	10YR7/4	にぶい黄褐色	砂質シルト	締まり中	炭化物1%	10YR6/3にぶい黄褐色砂質シルトのプロック3%含む
8	10YR5/3	にぶい黄褐色	砂質シルト	締まり中	炭化物1%	10YR6/3にぶい黄褐色砂質シルトのプロック3%含む
9	10YR5/4	にぶい黄褐色	砂質シルト	締まり中	炭化物1%	10YR5/6黄褐色砂質シルトのプロック3%含む
10	10YR4/4	褐色	砂質シルト	締まり中	炭化物1%	10YR5/4にぶい黄褐色砂質シルトのプロック5%含む
11	10YR5/4	にぶい黄褐色	砂質シルト	締まり中	炭化物3%	10YR4/4褐色砂質シルトのプロック3%
12	10YR5/6	黄褐色	砂質シルト	締まり中	炭化物1%含む	10YR6/4にぶい黄褐色砂質シルトのプロック2%含む
13	10YR5/2	灰黄褐色	締まり疎			

0 1:50 2m



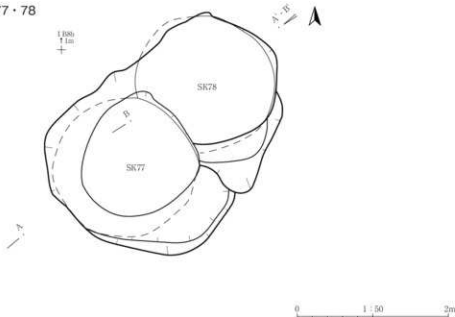
1 検出遺構

SK75 A-A'			
1	10YR5/4	にぶい黄褐色	砂質シルト 継まり中 炭化物3% 10YR5/4にぶい黄褐色砂質シルトのブロック1%含む
2	10YR5/4	にぶい黄褐色	砂質シルト 継まりやや密 炭化物1% 10YR2/3黒褐色砂質シルト5%・10YR4/4褐色と砂質シルトのブロック3%の混合土
3	10YR4/2	灰黄褐色	砂質シルト 継まり中 炭化物2% 10YR5/4にぶい黄褐色砂質シルトのブロック5%含む
4	10YR7/3	にぶい黄褐色	砂質シルト 継まり中 マサ土再堆積土
5	10YR7/3	にぶい黄褐色	砂質シルト 継まり中 マサ土再堆積土
6	10YR5/2	灰黄褐色	砂質シルト 継まり中 炭化物1% 10YR5/4にぶい黄褐色砂質シルトのブロック2%含む
7	10YR4/2	灰黄褐色	砂質シルト 継まりやや密 炭化物3% 10YR4/4褐色砂質シルトのブロック3%含む
8	10YR7/3	にぶい黄褐色	砂質シルト 継まり中 マサ土再堆積土
9	10YR7/3	にぶい黄褐色	砂質シルト 継まり中
10	10YR7/3	にぶい黄褐色	砂質シルト 継まり中 マサ土再堆積土
11	10YR4/3	にぶい黄褐色	砂質シルト 継まりやや密 10YR7/3にぶい黄褐色砂質シルトのブロック3%含む
12	10YR7/3	にぶい黄褐色	砂 継まり密 マサ土再堆積土
13	10YR5/3	にぶい黄褐色	砂 継まりやや密 10YR7/3にぶい黄褐色砂質シルトのブロック5%含む
14	10YR4/2	にぶい黄褐色	砂質シルト 継まりやや密 炭化物1%含む
15	10YR5/4	にぶい黄褐色	砂質シルト 継まり中 炭化物2%含む
16	10YR7/3	にぶい黄褐色	砂質シルト 継まり中 マサ土再堆積土
17	10YR3/2	黒褐色	砂質シルト 継まり中 炭化物7% 焼土粒3% 10YR5/4にぶい黄褐色砂質シルトのブロック3%含む
18	10YR5/4	にぶい黄褐色	砂質シルト 継まり中 炭化物3% 10YR3/2黒褐色砂質シルトのブロック3%含む
19	10YR5/4	にぶい黄褐色	砂質シルト 継まりやや密 炭化物2% 10YR5/6黄褐色砂質シルトのブロック2%含む
20	10YR5/3	にぶい黄褐色	砂質シルト 継まりやや密 炭化物2% 10YR7/3にぶい黄褐色のブロック1%含む
21	10YR4/3	にぶい黄褐色	粘土質シルト 継まり中
22	10YR3/2	黒褐色	粘土質シルト 継まり中 炭化物1%含む
23	10YR4/6	褐色	砂質シルト 継まり中 炭化物1%含む
24	10YR7/3	にぶい黄褐色	砂質シルト 継まり中

SK75 A-A'			
25	10YR7/4	にぶい黄褐色	砂質シルト 継まり中 10YR3/2黒褐色砂質シルトのブロック2%且組合
26	10YR3/2	黒褐色	砂質シルト 継まりやや密 炭化物2% 10YR6/4にぶい黄褐色砂のブロック10%含む
27	10YR3/2	黒褐色	砂質シルト 継まり中 炭化物2% 10YR5/3にぶい黄褐色砂質シルトのブロック5% 焼土粒1%含む
28	10YR6/6	明黄褐色	砂質シルト 継まり疎 炭化物1% 10YR4/3にぶい黄褐色砂質シルトのブロック3%含む
29	10YR3/2	黒褐色	シルト 継まりやや密 炭化物2% 10YR2/1黒色砂質シルト・10YR2/2黒褐色砂質シルトの混合土
30	10YR2/2	黒褐色	砂質シルト 継まり中 10YR4/3にぶい黄褐色砂質シルトのブロック3%含む
31	10YR3/2	黒褐色	砂質シルト 継まりやや密 炭化物1% 10YR5/4にぶい黄褐色砂質シルト2%含む
32	10YR7/4	にぶい黄褐色	砂質シルト マサ土再堆積土
33	10YR3/2	黒褐色	砂質シルト 継まり中
34	10YR5/4	にぶい黄褐色	砂質シルト 継まりやや密 10YR6/4にぶい黄褐色砂質シルトのラミナ1層
35	10YR6/4	褐色	砂質シルト 継まり中 10YR3/2黒褐色砂質シルトのラミナ3層
36	10YR3/2	黒褐色	砂質シルト 継まりやや密 炭化物1% 10YR5/4にぶい黄褐色砂質シルト大・小のブロック15%含む

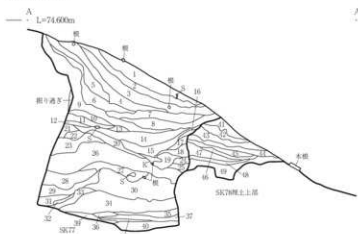
SK76 A-A'			
1	10YR2/2	黒褐色	シルト 継まり中 炭化物1% 10YR3/2黒褐色砂質シルトのブロック3%含む
2	10YR3/2	黒褐色	砂質シルト 継まり疎 炭化物1% にぶい黄褐色砂質シルトのブロック2%含む
3	10YR3/2	黒褐色	砂質シルト 継まり疎
4	10YR4/3	にぶい黄褐色	砂質シルト 継まり中 10YR4/4褐色砂質シルトのブロック5%含む
5	10YR4/4	褐色	砂質シルト 継まり中 10YR2/3黒褐色砂質シルトのブロック10%の混合土
6	10YR4/3	にぶい黄褐色	砂質シルト 継まり中 10YR2/3黒褐色砂質シルトのブロック10%・10YR6/4にぶい黄褐色のブロック2%含む
7	灰緑なし		

SK77・78



第70図 SK73 (2/2)・75 (2/2)・76 (2/2)・77 (1/2)・78 (1/2) 土坑

SK77・78 A-A'



- SK77 A-A'
- 1 10YR2/3 黒褐色 砂質シルト 締まり硬 炭化物3% 10YR4/3に多い黄褐色砂質シルトのプロック3%含む
  - 2 10YR4/3 に多い黄褐色 砂質シルト 締まり硬 炭化物2%含む
  - 3 10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 締まり硬 焼土粒2%含む
  - 4 10YR4/3 に多い黄褐色 砂質シルト 締まり硬 炭化物1% 10YR4/4褐色砂質シルトのプロック3%含む
  - 5 10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 締まり硬 炭化物1%含む
  - 6 10YR3/2 黒褐色 砂質シルト 締まり硬 炭化物2% 焼土粒2% 10YR5/3に多い黄褐色砂質シルトのプロック3% 10YR3/3暗褐色砂質シルトのプロック2%含む
  - 7 10YR5/4 に多い黄褐色 砂 締まり硬
  - 8 10YR3/2 黒褐色 シルト 締まり中 炭化物1%含む
  - 9 10YR4/3 に多い黄褐色 砂質シルト 締まり硬 炭化物2% 焼土粒2% 10YR3/3暗褐色砂質シルトのプロック3%含む
  - 10 10YR6/4 に多い黄褐色 砂質シルト 締まり中 10YR4/6褐色砂質シルト15%含む
  - 11 10YR5/4 に多い黄褐色 砂質シルト 締まり硬
  - 12 10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 締まり硬 10YR5/4に多い黄褐色砂質シルトのプロック3%含む
  - 13 10YR3/2 黒褐色 砂質シルト 締まり中 炭化物1% 10YR4/6褐色砂質シルトのプロック2%含む
  - 14 10YR2/3 黒褐色 砂質シルト 締まり中 10YR5/4に多い黄褐色砂質シルトのプロック15%との混合土
  - 15 10YR5/3 に多い黄褐色 砂 締まり硬 10YR6/3に多い黄褐色砂質シルトのプロック5%含む
  - 16 10YR4/3 に多い黄褐色 砂 締まり硬
  - 17 10YR3/2 黒褐色 砂質シルト 締まり硬 10YR6/3に多い黄褐色砂質シルトのプロック2%含む
  - 18 10YR5/3 に多い黄褐色 砂質シルト 締まり硬
  - 19 10YR4/3 に多い黄褐色 砂質シルト 締まり硬 炭化物2% 10YR2/3暗褐色砂質シルトのプロック1%含む
  - 20 10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 締まり硬 10YR6/3に多い黄褐色砂質シルト3%と10YR2/3暗褐色砂質シルトとの混合土
  - 21 10YR3/2 暗褐色 砂質シルト 締まり中
  - 22 10YR6/2 灰黄褐色 砂 締まり硬 10YR3/3暗褐色砂質シルトのプロック3%含む
  - 23 10YR4/3 に多い黄褐色 砂質シルト 締まり硬 炭化物1% 10YR4/4褐色砂質シルトのプロック2%含む
  - 24 10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 締まり中 10YR4/3に多い黄褐色砂質シルトのプロック3%含む
  - 25 10YR4/3 に多い黄褐色 砂質シルト 締まり硬 10YR2/3暗褐色砂質シルトのプロック2%含む
  - 26 10YR3/4 暗褐色 砂質シルト 締まり硬 10YR2/3暗褐色と10YR2/3暗褐色砂質シルトのクミナ4種
  - 27 10YR4/2 灰黄褐色 砂質シルト 締まり硬 10YR4/3に多い黄褐色砂質シルトのクミナ3種
  - 28 10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 締まり硬 10YR4/3に多い黄褐色砂質シルトのクミナ3種
  - 29 10YR4/3 に多い黄褐色 砂質シルト 締まり硬 10YR6/3に多い黄褐色砂質シルトのプロック2%含む
  - 30 10YR2/2 黒褐色 シルト 締まり中 10YR2/3暗褐色砂質シルトのプロック5% 10YR4/3に多い黄褐色砂質シルトのプロック5%含む
  - 31 10YR3/3 暗褐色 シルト 締まり中 炭化物1%含む
  - 32 10YR5/6 黄褐色 砂質シルト 締まり硬
  - 33 10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 締まり硬 10YR2/2暗褐色砂質シルトのプロック3% 10YR6/4に多い黄褐色のプロック5%含む
  - 34 10YR4/3 に多い黄褐色 砂質シルト 締まり硬 10YR2/2暗褐色 砂質シルトのクミナ3種 10YR4/4褐色砂質シルトのクミナ3種
  - 35 10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 締まり硬 10YR2/2暗褐色 砂質シルトのプロック10%含む
  - 36 10YR7/4 に多い黄褐色 砂質シルト 締まり硬 10YR2/2暗褐色 砂質シルトのプロック10%含む
  - 37 10YR7/3 に多い黄褐色 砂質シルト 締まり硬
  - 38 10YR2/2 黒褐色 砂質シルト 締まり中
  - 39 10YR6/2 灰黄褐色 砂
  - 40 10YR6/3 に多い黄褐色 砂 締まり硬

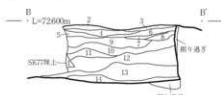
SK78 A-A'

- 41 10YR6/4 に多い黄褐色 砂質シルト 締まり硬
- 42 10YR2/2 黒褐色 砂質シルト 締まり硬 炭化物3%含む
- 43 10YR4/3 に多い黄褐色 砂質シルト 締まり中 10YR3/2暗褐色砂質シルトのプロック2%含む
- 44 10YR2/3 暗褐色 砂質シルト 締まり硬 炭化物2% 焼土粒2%含む
- 45 10YR5/3 に多い黄褐色 砂質シルト 締まり硬
- 46 10YR4/3 に多い黄褐色 砂質シルト 締まり硬 10YR3/3暗褐色のプロック5%含む
- 47 10YR6/4 に多い黄褐色 砂質シルト 締まり硬
- 48 10YR7/4 に多い黄褐色 砂質シルト 締まり硬
- 49 10YR4/3 に多い黄褐色 砂質シルト 締まり硬 炭化物3% 10YR5/3 に多い黄褐色砂質シルトのプロック3%含む

SK78 B-B'

- 1 10YR2/2 黒褐色 砂質シルト 締まり硬 炭化物1% 10YR7/4に多い黄褐色砂質シルトのプロック5%含む (SK77埋上)
- 2 10YR5/3 に多い黄褐色 砂質シルト 締まり中 炭化物5% 10YR2/1黒色砂質シルトのプロック10%含む
- 3 10YR2/2 黒褐色 砂質シルト 締まり中 炭化物5% 焼土粒 2%含む
- 4 10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 締まり硬 10YR5/3に多い黄褐色砂質シルトのプロック3%含む
- 5 10YR5/3 に多い黄褐色 砂質シルト 締まり中 炭化物1%
- 6 10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 締まり中 炭化物1% 10YR2/3暗褐色砂質シルトのプロック10%含む
- 8 10YR2/3 黒褐色 砂質シルト 締まり中 10YR5/4に多い黄褐色砂質シルトのプロック2%含む
- 9 10YR2/3 暗褐色 砂質シルト 締まり中 炭化物1% 10YR3/3暗褐色砂質シルトのプロック3%含む
- 10 10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 締まり中 10YR4/4褐色砂質シルトのプロック2% 10YR6/3に多い黄褐色砂質シルトのプロック7%含む
- 11 10YR5/4 に多い黄褐色 砂質シルト 締まり硬 10YR6/3に多い黄褐色砂質シルトのプロック5%含む
- 12 10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 締まり中 10YR2/3暗褐色砂質シルトのプロック3% 10YR2/1黒色砂質シルトのプロック2% 10YR5/4に多い黄褐色のプロック3%との混合土
- 13 10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 締まり中 10YR4/4褐色砂質シルトのプロック10% 10YR6/3に多い黄褐色砂質シルトのプロック7% 10YR2/3暗褐色砂質シルトのプロック3%含む
- 14 10YR2/2 黒褐色 砂質シルト 締まり中 10YR3/3暗褐色砂質シルトのプロック2%含む

SK78 埋上下部 B-B'

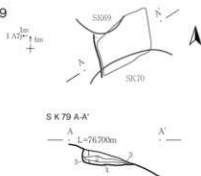


0 1:50 2m

第71図 SK77 (2/2)・78 (2/2) 土坑

1 検出遺構

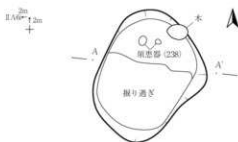
SK79



SK79 A-A'

- SK79 A-A'
- 1 10YR7/4 にふい黄褐色 砂質シルト 締まり中
  - 2 10YR6/4 にふい黄褐色 砂質シルト 締まり中
  - 3 10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 締まり中
  - 4 10YR2/2 黒褐色 砂質シルト 締まり中
  - 5 10YR4/3 にふい黄褐色 砂質シルト 締まり中

SK81



SK81 A-A'

- SK81 A-A'
- 1 10YR5/4 にふい黄褐色 粗砂 締まり密
  - 2 10YR5/4 にふい黄褐色 粗砂 締まり密
- 根忠器 (230)  
 5YR4 にふい赤褐色焼土・10YR2/3暗褐色土の団5cm  
 ほどのブロック5%含む  
 砂質粘土 締まり密 10YR3/1黒褐色土3%  
 10YR5/6黄褐色ブロック1% 10YR3/4暗褐色土30%含む

SK82

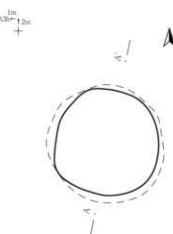


SK82 A-A'

SK82 A-A'

- SK82 A-A'
- 1 10YR4/2 灰黄褐色 砂質シルト 締まり中
  - 2 10YR5/6 黄褐色 粘土 締まり密
  - 3 10YR6/3 にふい黄褐色 粗砂 締まり密
  - 4 10YR6/4 にふい黄褐色 粗砂 締まり密
  - 5 10YR6/3 にふい黄褐色 粗砂 締まり密
  - 6 10YR6/4 にふい黄褐色 粗砂 締まり密
  - 7 10YR5/6 黄褐色 砂質粘土 締まり密
  - 8 10YR4/2 灰黄褐色 砂質シルト 締まり中
- ※3層～6層：黄褐色土粘土層 (90%) とにふい黄褐色粗砂層 (10%) の互層

SK83



SK83 A-A'

SK83 A-A'

- SK83 A-A'
- 1 10YR3/2 黒褐色 砂質シルト 締まり中
  - 2 10YR4/2 灰黄褐色 粘土質シルト 締まり中
  - 3 10YR6/2 灰黄褐色 細砂 締まり密
  - 4 10YR6/6 明黄褐色 砂質粘土 締まり密
  - 5 10YR3/4 暗褐色 砂質シルト 締まり中
  - 6 10YR3/1 黒褐色 砂質シルト 締まり中
  - 7 10YR5/2 灰黄褐色 粗砂 締まり中
  - 8 10YR5/4 にふい黄褐色 砂質粘土 締まり密
  - 9 10YR3/4 暗褐色 砂質シルト 締まり中
  - 10 10YR5/6 黄褐色 砂質粘土 締まり密
  - 11 10YR5/3 にふい黄褐色 砂質粘土 締まり密
  - 12 10YR5/4 にふい黄褐色 砂質粘土 締まり密
  - 13 10YR3/4 暗褐色 砂質シルト 締まり中
  - 14 10YR5/4 にふい黄褐色 砂質粘土 締まり密
  - 15 10YR5/4 にふい黄褐色 砂質粘土 締まり中
  - 16 10YR3/2 黒褐色 砂質シルト 締まり中
  - 17 10YR3/3 暗褐色 砂質粘土 締まり中
- ※1～14 = SK83順上、15～17 = S102順上、S107 (III) = SK83 (新)、暗褐色土砂質シルト層と黄褐色粘土層の互層

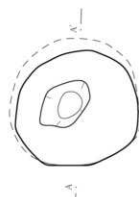
第72図 SK79・81・82・83土坑

SK84

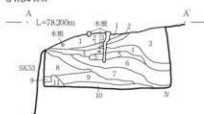


SK84 掘穴観察表

No.	遺構名	長さ (m)	掘削深 (m)
1	SK84 掘穴	40×53	18
			78.125



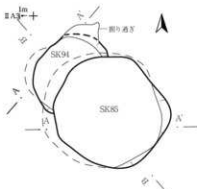
SK84 A-A'



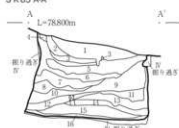
SK84 A-A'

- 1 10YR5/4 にふい黄褐色 粘土質砂土 締まり密 10YR4/4褐色土30%含む
- 2 10YR6/4 にふい黄褐色 細砂 締まり密
- 3 10YR5/4 にふい黄褐色 粘土質砂土 締まり密 10YR4/4褐色土30%含む
- 4 10YR5/3 にふい黄褐色 粘土質砂土 締まりやや密
- 5 10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 締まり中 10YR2/3黒褐色土10%  
10YR5/6黄褐色土5% 炭化物1%含む
- 6 10YR4/6 褐色 砂質粘土 締まり密
- 7 10YR3/4 暗褐色 砂質粘土 締まり密
- 8 10YR2/3 黒褐色 砂質シルト 締まり中 炭化物3%含む
- 9 10YR6/6 明黄褐色 粘土質シルト 締まり中 10YR3/4暗褐色土砂質シルト30%含む
- 10 10YR2/3 黒褐色 砂質シルト 締まりやや密
- 11 10YR7/3 にふい黄褐色 粘土質シルト 締まりやや密

SK85・94



SK85 A-A'

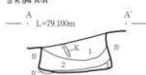


SK85 A-A'

- 1 10YR3/1 黒褐色 砂質シルト 締まり中 炭化物3%含む
- 2 10YR5/2 灰黄褐色 砂質シルト 締まり中 炭化物1%  
10YR6/4にふい黄褐色土30%含む
- 3 10YR5/4 にふい黄褐色 砂質粘土 締まり中 炭化物1%含む
- 4 10YR5/2 灰黄褐色 砂質シルト 締まり中
- 5 10YR5/4 にふい黄褐色 粗砂 締まり中 10YR5/6黄褐色土ブロック10%含む
- 6 10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 締まり中 炭化物1%  
10YR3/1黒褐色砂質シルト10%含む
- 7 10YR6/3 にふい黄褐色 粗砂 締まり密 10YR3/1黒褐色土5%含む
- 8 10YR5/6 黄褐色 砂質シルト 締まり密 10YR3/3暗褐色土10%含む
- 9 10YR6/3 にふい黄褐色 粗砂 締まり密 10YR3/1黒褐色土30% 炭化物3%含む
- 10 10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 締まり中 炭化物1%  
10YR5/6黄褐色土ブロック5%含む
- 11 10YR6/4 にふい黄褐色 粗砂 締まり密
- 12 10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 締まり中 炭化物1%  
10YR5/6黄褐色粘土ブロック5%含む
- 13 10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 締まり中 10YR3/1黒褐色土20%含む
- 14 10YR5/3 にふい黄褐色 粗砂 締まり密
- 15 10YR5/4 にふい黄褐色 粗砂 締まり密 10YR5/2灰黄褐色土が帯状に入る  
炭化物1%含む
- 16 10YR4/3 にふい黄褐色 粗砂 締まり密

※黄褐色土粘土層とにふい黄褐色粗砂層の互層、黒褐色土層が一定間隔で入る

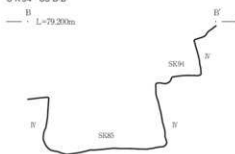
SK94 A-A'



SK94 A-A'

- 1 10YR5/3 にふい黄褐色 粘土質粗砂 締まり密 マサ土15%含む
- 2 10YR5/4 にふい黄褐色 砂質粘土 締まり密
- 3 10YR5/6 黄褐色 粗砂 締まり密

SK94・85 B-B'

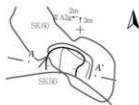


0 1:50 2m

第73図 SK84・85・94土坑

1 検出遺構

SK86



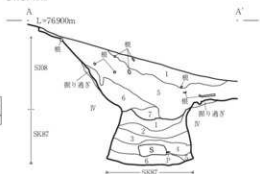
SK86 A-A'

- 1 10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 締まり中 10YR4/4褐色土10% 細礫10% 炭化物1%含む
  - 2 10YR5/3 にぶい黄褐色 粗砂 締まり密 マサ土5%含む
  - 3 10YR6/4 にぶい黄褐色 粗砂 締まり密 細礫10% マサ土5%含む
  - 4 10YR7/4 にぶい黄褐色 砂質粘土 締まり密 マサ土40%含む
  - 5 10YR4/6 褐色 砂質粘土 締まり密 楕圓含む
  - 6 10YR7/3 にぶい黄褐色 粗砂 締まり密 マサ土20%含む
  - 7 10YR4/4 褐色 砂質粘土 締まり中 炭化物10%含む 褐色土の上位に炭化物層が堆積する
  - 8 10BG2/1 青灰色 炭化物層 締まり中
- ※K=木炭等による炭化物層で締まり減

SK87



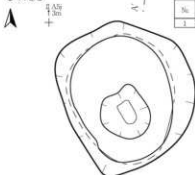
SK87 A-A'



SK87 A-A'

- 1 10YR6/2 灰黄褐色 粗砂 締まり密
  - 2 10YR5/2 灰黄褐色 粗砂 締まり密
  - 3 10YR5/3 にぶい黄褐色 粗砂 締まり密
  - 4 10YR2/3 黒褐色 砂質シルト 締まり中 炭化物1% 黄褐色土プロック3% 10YR5/3にぶい黄褐色土粗砂20%含む
  - 5 10YR5/2 灰黄褐色 粗砂 締まり密
  - 6 10YR5/3 にぶい黄褐色 粗砂 締まり密
- 1・5・6・7:SK86A-A'・B-B'と共通

SK88



SK88 掘穴観察表

%	遺構名	掘削径 (cm)	掘削深 (cm)	掘削深 (m)
1	SK88 掘穴	61×61	24.3	24.301



遺構出土状況

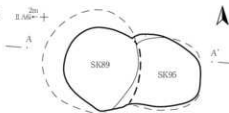
SK88 A-A'



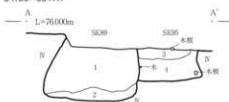
SK88 A-A'

- 1 10YR2/3 暗褐色 砂質シルト 締まり中 10YR2/3暗褐色土30% 炭化物1%含む
- 2 10YR4/4 褐色 砂質粘土 締まり中 10YR5/6黄褐色土プロック3%含む

SK89・95



SK89・95 A-A'



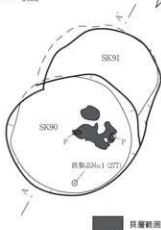
SK89・95 A-A'

- 1 10YR7/2 にぶい黄褐色 粗砂 締まり密 マサ土30% 炭化物1%含む
  - 2 10YR4/4 褐色 砂質粘土 締まり密 10YR5/6黄褐色土プロック5% 炭化物1%含む
  - 3 10YR3/4 暗褐色 砂質シルト 締まり中 10YR5/6黄褐色土プロック3% 10YR7/2にぶい黄褐色土10%含む
  - 4 10YR6/4 にぶい黄褐色 粗砂 締まり密
- ※SK89の境上は、SK88と似る

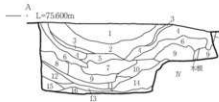
0 1:50 2m

第74図 SK86・87・88・89・95土坑

S K 90・91



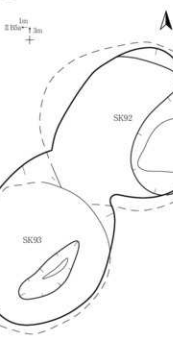
S K 90・91 A-A'



S K 90・91 A-A'

- |    |         |        |       |       |                     |
|----|---------|--------|-------|-------|---------------------|
| 1  | 10YR4/2 | 灰黄褐色   | 粗砂    | 締まり密  | 炭化物3%含む             |
| 2  | 10YR4/3 | にぶい黄褐色 | 粗砂    | 締まり密  | 10YR5-6黄褐色土ブロック3%含む |
| 3  | 10YR3/3 | 暗褐色    | 砂質シルト | 締まり中  | 炭化物5%含む             |
| 4  | 10YR5/3 | にぶい黄褐色 | 粗砂    | 締まり中  |                     |
| 5  | 10YR4/3 | にぶい黄褐色 | 砂質シルト | 締まり中  |                     |
| 6  | 10YR2/3 | 黒褐色    | 砂質シルト | 締まり中  | 10YR3-4暗褐色土20%含む    |
| 7  | 10YR3/3 | 暗褐色    | 砂質シルト | 締まり中  |                     |
| 8  | 10YR4/6 | 褐色     | 粘土    | 締まり中  |                     |
| 9  | 10YR3/3 | 暗褐色    | 砂質シルト | 締まり中  | 10YR3-1黒褐色土20%含む    |
| 10 | 10YR4/4 | 褐色     | 粗砂    | 炭化物1% | 10YR5-6黄褐色土ブロック5%含む |
| 11 | 10YR3/2 | 黒褐色    | 砂質シルト | 締まり中  | 炭化物3%含む             |
| 12 | 10YR4/4 | 褐色     | 粘土    | 締まり密  |                     |
| 13 | 10YR4/3 | にぶい黄褐色 | 砂質シルト | 締まり中  | 炭化物5%含む             |
| 14 | 10YR4/4 | 褐色     | 粗砂    | 締まり中  | 炭化物5%含む             |
| 15 | 10YR4/3 | にぶい黄褐色 | 砂質粘土  | 締まり密  |                     |
| 16 | 10YR3/4 | 暗褐色    | 砂質シルト | 締まり中  |                     |

S K 92・93



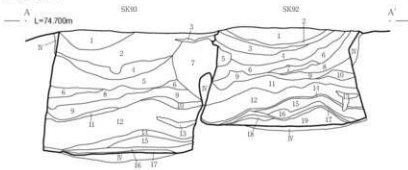
S K 92 A-A'

- |    |         |         |                  |       |                                   |
|----|---------|---------|------------------|-------|-----------------------------------|
| 1  | 10YR4/3 | にぶい黄褐色  | 粗砂               | 締まり密  | 10YR5-4にぶい黄褐色ブロック径10m10%<br>炭化物1% |
| 2  | 10YR4/2 | 灰黄褐色    | 粗砂               | 締まり密  | 炭化物3%                             |
| 3  | 10YR5/3 | にぶい黄褐色  | 粗砂               | 締まり密  | 炭化物3%                             |
| 4  | 10YR3/4 | 暗褐色     | 砂質シルト            | 締まり中  | 炭化物1%含む                           |
| 5  | 10YR4/2 | 灰黄褐色    | 粗砂               | 締まり密  |                                   |
| 6  | 10YR3/3 | 暗褐色     | 砂質シルト            | 締まり中  | 炭化物1%含む                           |
| 7  | 10YR4/4 | 褐色      | 砂質粘土             | 締まり中  | 10YR3-3暗褐色土20%含む                  |
| 8  | 10YR3/2 | 黒褐色     | 砂質シルト            | 締まり中  | 炭化物1%                             |
| 9  | 10YR5/4 | にぶい黄褐色  | 砂質粘土             | 締まり中  | 10YR3-2暗褐色土15%含む                  |
| 10 | 10YR5/4 | にぶい黄褐色土 | 土10YR3-2暗褐色土の混合土 | 砂質シルト | 締まり中                              |
| 11 | 10YR4/4 | 褐色      | 砂質粘土             | 締まり密  | 10YR5-4にぶい黄褐色土10%含む               |
| 12 | 10YR3/4 | 暗褐色     | 砂質シルト            | 締まり中  | 10YR4-6褐色土ブロック10%含む               |
| 13 | 10YR5/6 | 黄褐色     | 粘土               | 締まり密  |                                   |
| 14 | 10YR2/3 | 黒褐色     | 砂質シルト            | 締まり中  |                                   |
| 15 | 10YR3/2 | 黒褐色     | 砂質シルト            | 締まり中  | 炭化物1%含む                           |
| 16 | 10YR2/3 | 黒褐色     | 砂質シルト            | 締まり中  | 10YR5-6黄褐色土ブロック1%含む               |
| 17 | 10YR5/4 | にぶい黄褐色  | 砂質粘土             | 締まり密  |                                   |
| 18 | 10YR2/3 | 黒褐色     | 砂質シルト            | 締まり中  |                                   |
| 19 | 10YR2/3 | 黒褐色     | 砂質シルト            | 締まり中  | 10YR4-6褐色土10%含む                   |

S K 93 A-A'

- |    |         |        |       |        |                                    |
|----|---------|--------|-------|--------|------------------------------------|
| 1  | 10YR5/4 | にぶい黄褐色 | 粗砂    | 締まり密   |                                    |
| 2  | 10YR4/4 | 褐色     | 砂質シルト | 締まり中   | 炭化物3%含む                            |
| 3  | 10YR2/1 | 黒色     | 砂質シルト | 締まり中   | 炭化物1%含む                            |
| 4  | 10YR5/4 | にぶい黄褐色 | 砂質シルト | 締まり中   | 10YR5-6明黄褐色土20% 炭化物1%含む            |
| 5  | 10YR4/6 | 褐色     | 砂質粘土  | 締まり密   | 10YR5-6暗褐色土15%<br>10YR3-3暗褐色土10%含む |
| 6  | 10YR4/6 | 褐色     | 砂質粘土  | 締まり密   | 10YR3-4暗褐色土20%含む                   |
| 7  | 10YR7/4 | にぶい黄褐色 | 締まり密  | 5層の積層土 |                                    |
| 8  | 10YR2/3 | 黒褐色    | 砂質シルト | 締まり中   | 10YR5-6黄褐色土10%含む                   |
| 9  | 10YR4/3 | にぶい黄褐色 | 砂質シルト | 締まり中   | 10YR5-6黄褐色土20%<br>10YR3-3暗褐色土20%含む |
| 10 | 10YR6/6 | 明黄褐色   | 砂質粘土  | 締まり密   |                                    |
| 11 | 10YR5/4 | にぶい黄褐色 | 粗砂    | 締まり密   |                                    |
| 12 | 10YR5/3 | にぶい黄褐色 | 粗砂    | 締まり密   | 10YR5-6黄褐色土3% 10YR3-2黒褐色土15%含む     |
| 13 | 10YR4/6 | 褐色     | 粘土    | 締まり密   |                                    |
| 14 | 10YR2/3 | 黒褐色    | 砂質シルト | 締まり中   | 10YR5-3にぶい黄褐色土粗砂10%含む              |
| 15 | 10YR4/3 | にぶい黄褐色 | 砂質シルト | 締まり中   | 10YR5-6黄褐色土15%含む                   |
| 16 | 10YR6/6 | 明黄褐色   | 粗砂    | 締まり密   | マサ土                                |
| 17 | 10YR3/2 | 黒褐色    | 砂質シルト | 締まり密   |                                    |

S K 92・93 A-A'

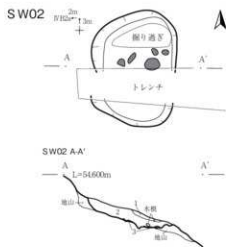


S K 92・93 副穴観察表

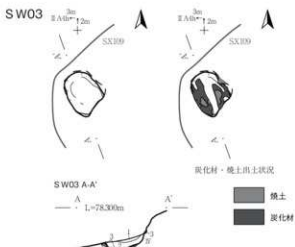
No.	副穴名	埋深 (cm)		底面標高 (cm)
		開口部	底	
1	SK92 副穴	100×37	30	7303
2	SK93 副穴	137×98	28	7259

0 1 50 100 200m

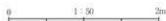
1 検出遺構



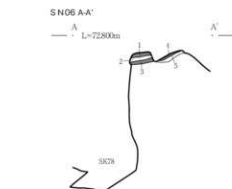
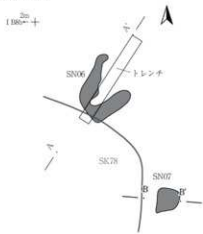
- SW02 A-A'
- 10YR2/1 灰色 シルト 粘性なし 締まり弱  
明による焼孔と灰の混入土
  - 10YR3/4 暗褐色 粘性中 締まり弱  $\phi 5 \sim 10\text{mm}$ の炭を10%  
焼土粒を5% ( $\phi 2 \sim 3\text{mm}$ ) 含む
  - 5YR4/8 赤褐色 焼土 粘性なし 締まり強



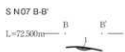
- SW03 A-A'
- 10YR5/6 黄褐色 砂質粘土 締まり強
  - N3 暗灰色 炭化物層 (群青色、青味がかる灰色)
  - 2.5Y4/4 オリーブ褐色 焼土 締まり強



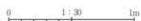
S N06・07



- S N06 A-A'
- 5YR5/3 にぶい赤褐色 砂質シルト 締まり中 焼土 (5YR4/6赤褐色) のブロック10%  
炭化物5%含む
  - 10YR4/3 にぶい黄褐色 砂質シルト 締まり中  
焼土 (5YR4/3にぶい赤褐色) のブロック2%含む
  - 5YR2/3 暗暗赤褐色 砂質シルト 締まりやや弱
  - 5YR4/6 赤褐色 焼土 (5YR4/3にぶい赤褐色) のブロック7% 炭化物10%含む
  - 5YR2/3 暗暗赤褐色 焼土 締まりやや弱 (局地的) 層厚2m  
砂質シルト 締まり中



- S N07 B-B'
- 5YR5/2 にぶい赤褐色 砂質シルト 締まり中 焼土



第76図 SW02・03炭窯跡、S N06・07焼土遺構

## 2 出土遺物

### (1) 出土遺物の概要

平成28年度調査では、土器（土師器・須恵器・陶磁器類）大コンテナ2箱、土製品（羽口）2点、石器・石製品10点、金属製品29点、鉄葬類、動物遺存体、植物遺存体、炭化材などが出土している。古代に属するものが主体である。以下に種別ごとに記載する。

### (2) 土 器（第77～81図、写真図版57～59）

土師器・須恵器・陶磁器などがある。重量は、土師器18254.6g・須恵器3078.8g・陶磁器12.0gである。土師器・須恵器の出土量の多い傾向は、確認された遺構の時期を反映していると考えられる。

土師器は、39点を掲載した。全体的な特徴をみると、土師器は、器種は甕が多い。器形は最大径が胴部上半部にあり、胴部の形状が湾曲するものが多い。口径は胴部よりすばまり、口縁部は短く、外側にわずかに傾く程度である。底部の縁は外側に張り出し、底面には木葉痕が確認できるものが多い。調整は口縁部がヨコナダ、胴部はヘラナダが主体である。色調はにぶい褐色・黄褐色である。225はミニチュアである。胎土に細礫を多量に含むものがあり、器壁に凹凸があり、粗い。

須恵器は、器種は壺・甕で、破片が多い。色調は灰色である。216・229は壺類と判断した。216は頸部径が胴部最大径の2分の1以下であることから長頸瓶の可能性もある。228の口縁部破片と229の胴部は、同一個体だった可能性もある。

出土状況を見ると、S I 08竪穴住居跡、S K 65土坑からまとも出土している。

陶磁器類は、すべて破片資料で、近現代のものである。I層から出土である。掲載した246は、鉄軸が施された陶器だが、S I 03竪穴住居のカマド周辺から出土した。同地点は、木根による攪乱があった場所であり、後世に混入した可能性がある。

### (3) 土 製 品（第81図、写真図版59）

羽口の破片が2点・総重量629.2g出土している。すべて破片で規模を類推できるものはない。掲載した2点は、S I 06竪穴住居跡のカマド周辺から出土している。251は、S I 06竪穴住居跡の床面から正立状態で出土したものである。カマドの位置が不明瞭であるが、支脚として使用された可能性があるものである。溶着滓が付着する先端部ではなく、基部である。

### (4) 石 器（第82・83図、写真図版60・61）

10点出土したものを図化した。総重量6423.8g出土している。内訳は、石錘1点、磨石1点、擦石1点、敲打石1点、凹石2点、台石1点、砥石2点、支脚に使われた礫？1点である。おおむね古代に製作・使用された石器と推測される。262は全面が磨面、263は、一側縁に磨面が形成され、片面に被熱痕がある。石質は、砥石は流紋岩と砂岩が使用されている。270は支脚に使用された可能性のある礫で、花崗岩使用の棒状の角柱礫で使用痕を有する。

### (5) 金 属 製 品（第84・85・86図、写真図版62）

29点出土した。総重量200.3gである。素材はすべて鉄製である。器種別の内訳は、鉄鏃6点、紡錘車1点、刀子2点、鉄釘10点、槍筈1点、釣針1点、その他に棒状や円筒状で用途不明のものが数



点ある。出土状況では、鉄鍬6点のうち274は雁又鍬である。275は全体の形状がわかる略完形である。227の紡錘車は、出土した時点で欠損して軸が折れた状態であったが、接合した結果、ほぼ完形となり、全体の形状を類推できる。先端部分の鉤状に折れ曲がった部分が確認できる。円盤部分の径は5.6cmである。278・279の2点は刀子で、刃部先端や柄の部分が欠損しており、278は柄の木質部分が一部遺っている。280～290は、釘類と推定した。断面形が方形や長方形で頭部や先端が折れているものがある。291は、一方の先端が確認できたことから釣り針と推定したが、全体が湾曲しており、違う用途かもしれない。292は楯鉋の先端部分と推定した。

出土状況は、S I 05堅穴住居跡と重複関係にあるS K 58・59・65土坑から多く出土している。特にS K 65土坑からは、鉄鍬5点、楯鉋1点、棒状鉄製品1点が、土師器・須恵器とともに出土している。S K 65土坑と位置が近接するS K 58・59土坑からも刀子・鉄鍬などが出土している。S K 90土坑からは紡錘車が出土している。

#### (6) 鉄 滓 類 (写真図版63)

総重量2658.74g出土している。S I 08堅穴住居跡、S K 48・65土坑から比較的多く出土しているが、全体として各遺構から少量ずつ出土している。内容を見ると、磁着し、外観が茶褐色で、形状がごつごつして錆化しているものが多い。

#### (7) 動物遺存体 (写真図版63)

総重量1769.64g出土している。動物遺存体が出土した遺構は、S K 75土坑、S K 77土坑、S K 90土坑で、いずれも埋土から出土した。出土状況から食物残渣と推定される貝殻である。時期は古代である。種別はいガイ・ムラサキインコの二枚貝の殻が主体で、他にクボガイ類・キサゴ類・チヂミボラなどの巻貝の殻などが少量含まれる。S K 75土坑では、二枚貝のムラサキインコを主体とし、巻貝のクボガイ・キサゴ類、チシマフジツボを伴う。また、貝殻とともに魚類のタイ科の可能性のある歯牙?も出土している。S K 77土坑は二枚貝のいガイが主体である。S K 90土坑は、二枚貝のムラサキインコを主とし、ヨウラクガイ?・チヂミボラ・パツラマイマイの巻貝類、二枚貝のマルスダレガイ科、チシマフジツボを伴う。岩礁性の貝類が主体であり、宮古湾に流入する近内川沿いの内陸部に位置する遺跡の地域性が反映されているものと推測される。詳細は、Ⅶ 分析・鑑定を参照されたい。

#### (8) 植物遺存体 (写真図版64)

炭化した種実が5点出土した。S I 07堅穴住居跡埋土からミズナラ・コナラ堅果類、S I 08堅穴住居跡カマドからはオニグルミの堅果類、S I 09堅穴住居跡カマドからキビ・アワの栽培種、S K 75土坑埋土からオニグルミの堅果類が出土した。栽培種と堅果類が確認できたことは、動物遺存体の食物残渣と併せて、当時の食料事情を知ることのできる貴重な資料である。詳細は、Ⅶ 分析・鑑定を参照されたい。

#### (9) 炭 化 材

117点、総重量947.5g出土した。もっとも量が多く出土したのはS W 03炭窯跡の埋土から出土した炭化材2点(138g)である。うち16点について、肉眼による樹種同定を行った。S W 03炭窯跡の炭化材はクリ・ケヤキとの鑑定結果を得ている。他の遺構出土の炭化材は、ケヤキと鑑定された事例が多い。炭化材4点(S I 08堅穴住居跡・S K 65土坑・S K 88土坑・S W 03炭窯跡)について、放射性炭素年代測定を行っている。詳細は、Ⅶ 分析・鑑定を参照されたい。

第24表 出土地点別遺物重量表

出土地点	総重量 (g)							
	縄文土器	弥生土器	土師器	須恵器	陶器	磁器	石口	鉄滓
SH3			828.70	460	26.10			55.50
SH3・SK40			209.40					67.10
SH4			844.20					8.10
SH5			882.10	19.50				159.50
SH6			1056.50				486.80	
SH7			250.70					186.60
SH8			2587.80					497.40
SH9			307.70					
SX105			51.00	480.80				
SX108			30.30					
SX109			402.90					44.40
SX109・10			35.30					
SK34			14.30					
SK37			10.50	876.90				
SK38			10.20	26.80				
SK39			306.90	151.30				
SK41			147.00					59.74
SK42			26.30					
SK43			63.50					
SK46								16.20
SK47			7.30					6.00
SK48								31.400
SK30			180.40					
SK52			67.30					29.90
SK53								41.00
SK55			400.40					
SK57			17.70					
SK58			157.70					
SK59			408.00					
SK61			103.60					
SK63			31.70					
SK65			287.60	932.00				559.30
SK67			498.10					
SK68			17.50					
SK70			159.40					
SK71			92.50					
SK72			87.80					16.60
SK73			310.20	94.20				153.70
SK74			35.50					
SK75			28.30					57.70
SK76			19.10					
SK77			296.70					147.40
SK78			167.40					76.50
SK81			171.50	133.40				31.10
SK82			99.20					
SK83			312.20					
SK85			92.20	78.40				
SK87			939.10	14.20				
SK88			761.10					
SK89			44.00				142.40	
SK90			758.10					1.10
SK92			125.40					38.70
SK93			122.10					
SK95			204.80					
SK92・93の土粒			8.70					
1区			388.60					
4区			170.70	172.50		12.20		
不明			38.40	68.10				88.40
総重量			18254.60	2052.70	26.10	12.20	629.20	2654.74

## 2 出土遺物

第25表 出土遺物掲載一覧表

出土地点	土師器	須恵器	陶器	土製品	石器・石製品	金属製品	鉄滓	動物遺存体	植物遺存体
S03	201 ~ 203	204	246				301		
S04	205 ~ 206				262 (礫石)・ 265 (円石)	290 (釣針)、295 (棒状)	303		
S05	207								
S06	208 ~ 210			251・252 (須石)					
S07	211								335・336 (ニスナラ・コナラ)
S08 (SK09)	212・213・ 214				266 (円石)・ 270 (支脚礎)	278 (刀子)・ 296 (棒状)、297 (棒状)・ 299 (不明)	304・305		331 (オニグルミ)
S09	215					280 (鉄釘)			335 (イネ)・ 336 (アワ)・ 337 ~ 346 (キビ)・ 347 (不明)
SX05		216							
SX08・09	217								
SX09	218						309		
SK39	219								
SK41					267 (介石?)				
SK48							306		
SK50	220								
SK55	221								
SK58						279 (刀子)、281 (鉄釘)			
SK59	222					271 (鉄鏝)			
SK61	223				264 (磨打石)				
SK63	224								
SK65	225 ~ 227	228				272・273 (鉄鏝)、274 (鎌又鏝・ 鉄鏝)、275・276 (鉄鏝)、282 ~ 285 (鉄釘)、292 (銚筒)、298 (棒状)	307・308		
SK66 (SK66-PP4・ SK85)		229							
SK67	230				268 (礫石)				
SK71	231				263 (磨石)	286 (鉄釘)・287 (鉄釘)			
SK72	232								
SK73	233	234				288 (鉄釘)・293 (円筒状)			
SK75	235							312 (キサゴ鰐股)・ 318・319 (クイ類?歯牙?)	332 (オニグルミ)
SK77	236					294 (円筒状)			
SK78	237				261 (石鏝?)				
SK81		238							
SK82						291 (釣針?)			
SK83									
(SX09・10)	239								
SK85	240								
SK87	241・242								
SK88	243								
SK90	244					277 (粘着棒)		311・312 (クボガイ鰐股)・ 314 (ヨウラクガイ?)股)・ 315 (ナギミボウ鰐)・ 316 (ハククマイマイ股)・ 317 (ナシマフジボ股)・ 330・331 (ムラサキインコ左股・ 右股)・ 322・323 (イガイ左股・右股)・ 334 (マルスダレガイ科左股)	
SK92	245								
SK92・93の北側 4区南側						289 (鉄釘)			
					309 (礫石)				

第26表 土師器・須恵器観察表(1)

(単位): 保存箱 (数値): 個数

採集 No.	出土地点	部位	分類	形状	部位	文の 付着	特殊装飾	内面装飾	底面	胎土	色調	計測値 (cm)	口径	器高	底径	厚さ	図	写真
201	S003	南平塚土下位・6層(イコマ下段) 北平塚土下位・6層	土師器 甕	土師器 甕	胴部-尻部	—	ヘウナナ	ヘウナナ	本舞伎 全	組群・中層 全	M0364 二色・黄褐色	—	(42)	80	—	—	77	57
202	S003	南平塚土下位・6層(イコマ下段)・イコマ下段 北平塚土上・北平塚土下位	土師器 甕	土師器 甕	口縁-胴部	—	ヘウナナ・コナナ	ヘウナナ・コナナ	—	組群 全	M0363 二色・褐色	1100	1127	—	—	—	77	57
203	S003	南平塚土下位・6層	土師器 甕	土師器 甕	口縁-胴部	—	コナナ・ヘウナナ	コナナ・ヘウナナ	—	組群・中層 全	M0363 二色・褐色	94	92	—	—	—	77	57
204	S003	腰土	須恵器 甕	須恵器 甕	胴部	—	フナキ	ヘウナナ	—	組群 全	N3 黒褐色	—	—	—	—	—	77	57
205	S004・4区西 腰表土	(南河内) 南河内土上・南河内土上(南河内) 南河内 4区(N)の西側腰土	土師器 甕	土師器 甕	胴部-尻部	—	ヘウナナ	ヘウナナ	—	組群・中層 多量	M0363 二色・黄褐色	—	(43)	114	—	—	77	57
206	S004	(南河内) 南河内土上・南河内土上	土師器 甕	土師器 甕	口縁-胴部	—	コナナ・ヘウナナ	コナナ・ヘウナナ	—	組群・中層 全	M0364 二色・褐色	76	(48)	—	—	—	77	57
207	S005	北平塚土下位	土師器 甕	土師器 甕	口縁-胴部	—	コナナ・ヘウナナ	コナナ・ヘウナナ	—	組群 全	M0362 二色・黄褐色	—	79	—	—	—	77	57
208	S006・S009	南河内土下位・南河内土上(8層)	土師器 甕	土師器 甕	口縁-尻部	—	ヘウナナ・コナナ	コナナ・ヘウナナ	—	組群・中層 全	M0364 二色・褐色	93	88	72	—	—	77	57
209	S006	ベタト B42層	土師器 甕	土師器 甕	口縁-胴部	—	コナナ・ヘウナナ	コナナ・ヘウナナ	—	組群 全	M0363 二色・黄褐色	200	60	—	—	—	77	57
210	S006	A45層	土師器 甕	土師器 甕	口縁-胴部	—	コナナ・ヘウナナ	コナナ・ヘウナナ	—	組群・中層 全	M0363 二色・黄褐色	160	(111)	—	—	—	77	57
211	S007	ベタト B42層	土師器 甕	土師器 甕	口縁部	—	コナナ・ヘウナナ	コナナ・ヘウナナ	—	組群・中層 全	M0363 二色・黄褐色	—	(24)	—	—	—	77	57
212	S008・SK09	南河内土下位・南平塚土上	土師器 甕	土師器 甕	胴部-尻部	—	ヘウナナ	ヘウナナ	伊成	組群・中層 全	M0363 二色・黄褐色	(56)	(62)	—	—	—	77	57
213	S008・SK08	南河内土下位・腰土段上層	土師器 甕	土師器 甕	口縁-胴部	外周付着	コナナ・ヘウナナ	コナナ・ヘウナナ	—	組群 全	M0362 褐色	156	1120	—	—	—	78	57
214	S008・SK07	北平塚土上・南平塚土上層	土師器 甕	土師器 甕	口縁-胴部	—	コナナ・ヘウナナ	コナナ・ヘウナナ	伊成	組群・中層 多量	M0363 二色・黄褐色	146	(62)	—	—	—	78	57
215	S009	南河内土下位(8層)	土師器 甕	土師器 甕	胴部-尻部	外周付着	ヘウナナ	ヘウナナ	伊成	組群 全	M0364 二色・黄褐色	—	(76)	110	—	—	78	57
216	SK07・ SK05・SK09	腰土中位・(北河内) 南河内土上(北河内) 南河内 南河内土上・北河内土上1層	須恵器 甕	須恵器 甕	胴部-尻部	—	コナナ・ヘウナナ	コナナ・ヘウナナ	高付 全	組群・中層 多量	M0362 黒褐色	—	(284)	124	—	—	78	57
217	SK08・09	西平塚土上	土師器 甕	土師器 甕	口縁-胴部	—	コナナ・ヘウナナ	コナナ・ヘウナナ	—	組群・中層 多量	M0362 二色・黄褐色	116	(44)	—	—	—	78	57
218	SK09	東平塚土上層	土師器 甕	土師器 甕	胴部-尻部	—	ヘウナナ	ヘウナナ	本舞伎 全	組群・中層 全	M0363 褐色	—	(113)	114	—	—	78	57
219	SK09	(南河内) 南河内土下位・腰土中位・(北河内) 南河内 腰土下位	土師器 甕	土師器 甕	胴部-尻部	—	ヘウナナ	不明・黄褐色	—	組群 全	M0364 二色・褐色	—	(47)	142	—	—	79	57
220	SK09	北平塚土上層	土師器 甕	土師器 甕	胴部-尻部	—	ヘウナナ	ヘウナナ	—	組群・中層 多量	M0363 二色・褐色	—	(31)	80	—	—	79	57
221	SK05	北平塚土上層	土師器 甕	土師器 甕	口縁部	—	コナナ・ヘウナナ	コナナ・ヘウナナ	—	組群・中層 多量	M0364 褐色	—	(64)	—	—	—	79	57
222	SK09	南平塚土上	土師器 甕	土師器 甕	胴部-尻部	—	ヘウナナ	ヘウナナ	—	組群・中層 多量	M0363 二色・褐色	—	(82)	81	—	—	79	57
223	SK01	北平塚土上層	土師器 甕	土師器 甕	口縁-胴部	—	コナナ・ヘウナナ	コナナ・ヘウナナ	—	組群・中層 多量	M0363 褐色	102	(37)	—	—	—	79	57

第26表 土師器・須恵器観察表(2)

(数量)：保存数 (数量)：展示数

標本 No.	出土地点	部位	分類	器種	部位	スズの 付着	特殊装飾	内面装飾	底面	胎土	色調	計測値 (cm)	図説 No. No.
224	SK63	南平焼土	土師器 甕	口縁-胴部	内外面付着	口コナテ・ハナナテ	口コナテ・ハナナテ	口コナテ・ハナナテ	—	細漚・中漚 全	307062 灰黒褐色	— (47) —	79 56
225	SK65	北平焼土 8層	土師器 甕	口縁-底面	—	ハナナテ→ハナナテ	ハナナテ	ハナナテ	—	細漚全	257074 紅褐色	34 39 [44]	79 56
226	SK65	南平焼土上段・中段・北平焼土 6層・南平焼土 下段	土師器 甕	胴部-底面	—	ハナナテ	ハナナテ	ハナナテ	本漚肌 全	細漚・中漚 全	257074 紅褐色	— (172) [182]	79 56
227	SK65	南平焼土上段・中段・北平焼土 6層	土師器 甕	口縁-底面	—	口コナテ・ハナナテ	口コナテ・ハナナテ	口コナテ・ハナナテ	本漚肌 全	細漚全	307063 灰黒褐色	110 [212]	79 56
228	SK65	北平焼土 (6層)	須恵器 豆皿	口縁部	—	口コナテ	口コナテ	口コナテ	—	細漚	30732 赤褐色	— (136) —	79 56
229	SK81、S106、 P14、SK86	南平焼土上段・北平焼土 2層・南平焼土上段・中 段・北平焼土 2層・南平焼土上段	須恵器 豆皿	胴部-底面	胴部-底面	口コナテ→ハナナテ	口コナテ→ハナナテ	口コナテ→ハナナテ	ハナナテ	細漚全	307052 黒褐色	— (140) 116	80 56
230	SK67	焼土下段 (4層)	土師器 甕	口縁-胴部	—	口コナテ・ハナナテ	口コナテ・ハナナテ・ハナナテ	口コナテ・ハナナテ	—	細漚・中漚 全	307054 紅褐色	— (41) —	80 56
231	SK71	焼土 下部	土師器 甕	胴部-底面	—	ハナナテ	ハナナテ	ハナナテ	本漚肌	細漚・中漚 多量全	307066 褐色	— (44) 130	80 56
232	SK72	焼土	土師器 甕	口縁-胴部	—	ハナナテ→口コナテ・ハナナテ	口コナテ→ハナナテ	口コナテ→ハナナテ	—	細漚全	307073 紅褐色	— (60) —	80 56
233	SK73	焼土上段 (1層)・南平焼土下段	土師器 甕	口縁-胴部	—	ハナナテ→口コナテ・ハナナテ	口コナテ→ハナナテ	口コナテ→ハナナテ	—	細漚多量全	307073 紅褐色	140 [56] —	80 56
234	SK73	焼土下段 (7層)	須恵器 甕	胴部	—	口コナテ・ハナナテ	口コナテ・ハナナテ	口コナテ・ハナナテ	—	細漚・中漚 全	N5 灰色	— —	80 56
235	SK75	焼土	土師器 甕	口縁-胴部	—	口コナテ・ハナナテ	口コナテ・ハナナテ	口コナテ・ハナナテ	—	細漚全	307071 紅褐色	— (68) —	80 56
236	SK77	焼土 下部	土師器 甕	口縁-胴部	—	口コナテ・ハナナテ	口コナテ・ハナナテ	口コナテ・ハナナテ	—	細漚・中漚 全	257075 紅褐色	— (39) —	80 56
237	SK78	焼土上段 (4層)・南平焼土上段	土師器 甕	胴部-底面	—	ハナナテ→ハナナテ	ハナナテ	ハナナテ	本漚肌	細漚・中漚 多量全	257064 紅褐色	— (34) 88	80 56
238	SK81	北平焼土 (2層)	須恵器 豆皿	胴部	—	口コナテ	口コナテ	口コナテ	—	細漚	N5 灰色	— —	80 56
239	SK81、 SK109、10 6&10	南平焼土・北平焼土 9層・南平焼土 8層・北平 焼土	土師器 甕	胴部-底面	—	ハナナテ→ハナナテ	ハナナテ	ハナナテ	本漚肌	細漚・中漚 多量全	307072 紅褐色	— (56) 90	80 56
240	SK85	南平焼土上段	土師器 甕	口縁-胴部	—	口コナテ・ハナナテ	口コナテ・ハナナテ	口コナテ・ハナナテ	—	細漚・中漚 全	257066 褐色	— (56) —	81 56
241	SK85	南平焼土 4層	土師器 甕	口縁-胴部	—	口コナテ・ハナナテ	口コナテ・ハナナテ	口コナテ・ハナナテ	—	細漚・中漚 多量全	257073 紅褐色	— (44) —	81 56
242	SK87	南平焼土下段	土師器 甕	口縁部	内外面付着	ハナナテ	ハナナテ	ハナナテ	—	細漚全	307062 灰黒褐色	— (26) —	81 56
243	SK88	焼土 下部	土師器 甕	口縁-胴部	内外面付着	口コナテ・ハナナテ	口コナテ・ハナナテ	口コナテ・ハナナテ	—	細漚・中漚 全	307063 紅褐色	100 [63] —	81 56
244	SK90	南平焼土下段	土師器 甕	口縁-胴部	—	口コナテ・ハナナテ	口コナテ	口コナテ	—	細漚・中漚 全	257064 紅褐色	— (60) —	81 56
245	SK92	北平焼土	土師器 甕	口縁-胴部	内外面付着	口コナテ・ハナナテ	口コナテ・ハナナテ	口コナテ・ハナナテ	—	細漚全	257076 褐色	— (59) —	81 56

第27表 陶磁器観察表

(数値)：現存値

図録No.	出土地点	層位	分類	器種	部位	計測値 (cm)			釉薬・絵付	胎土	色調	備考	図録No.	写真No.
						口径	器高	底径						
216	SI03	北半環土下位 (カマド周辺)	陶器	壺	胴部	—	(26)	—	鉄釉?	砂粒含	10YR3/1 黒褐色		81	59

第28表 土製品観察表

(数値)：現存値

図録No.	出土地点	層位	種類	長さ (cm)	外径 (cm)	内径 (cm)	重量 (g)	装着角度 (°)	部位	備考	図録No.	写真No.
251	SI06	カマド	羽口	(8.2)	(8.4)	(3.1)	245.80	不明	中		81	59
252	SI06	断面1-1'	羽口	(6.7)	(8.5)	(1.8)	241.00	不明	基		81	59

第29表 石器・石製品観察表

(数値)：現存値

図録No.	出土地点	層位	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	石質	産地	時代	備考	図録No.	写真No.
261	SK78	埋土	石鏝?	1400	1150	160	44660	流紋岩	浄土ヶ浜・松山・立丸跡	新石器代古第三紀	短軸の両端に行ち欠き有	82	60
262	SI05-PP5	北半環土	磨石	1050	820	680	855.30	輝岩	北上山地	中生代白亜紀早地山層	全面磨面	82	60
263	SK71	埋土	磨石	1680	700	380	53800	細粒花崗閃緑岩	北上山地	中生代白亜紀	1個縁に磨面・磨幅11mm 片面に鉄熱痕有	82	60
264	SK61	北半環土2層	磨石	1180	430	750	49070	アブラ石	北上山地	中生代白亜紀	片面に浅いくぼみ、一端に磨行痕・鉄熱痕有	82	60
265	SI05	南西環土下位	閃石	(810)	(920)	170	196.80	流紋岩	浄土ヶ浜・松山・立丸跡	新石器代古第三紀	片面に浅いくぼみ、鉄熱痕有	82	60
266	SI08	カマドC/C層	閃石	(1000)	(540)	(230)	136.90	流紋岩	浄土ヶ浜・松山・立丸跡	新石器代古第三紀	片面に浅いくぼみ、片面に鉄熱痕有	83	61
267	SK41	埋土下位	台石?	(1100)	(850)	250	331.70	流紋岩	浄土ヶ浜・松山・立丸跡	新石器代古第三紀	片面に鉄熱痕有	83	61
268	SK67	南半環土	砥石	(880)	530	300	150.30	流紋岩	浄土ヶ浜・松山・立丸跡	新石器代古第三紀	鉄熱痕有	83	61
269	4区南側	不明	砥石	(1110)	(1020)	(760)	1211.60	砂岩	宮古藩跡	中生代白亜紀		83	61
270	SI08	カマド	支脚礎	(1450)	(950)	(950)	2055.90	花崗閃緑岩	北上山地	中生代白亜紀		83	61

第30表 金属製品観察表 (1)

(数値)：現存値

図録No.	出土地点	層位	種類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	材質	備考	図録No.	写真No.
271	SK59	南半環土中位	鉄鏝	(5.4)	1.1	0.3	460	鉄	鉄製品 No.1	84	62
272	SK05	北半環土9層	鉄鏝	(5.6)	0.8	0.2	300	鉄		84	62
273	SK05	北半環土6層	鉄鏝	(3.5)	1.1	0.2	150	鉄		84	62
274	SK05	南半環土中位 暗褐色土	鍔又類 鉄鏝	(13.6)	4.7	1.0	2490	鉄	鉄製品 No.4	84	62
275	SK05	南半環土中位 濃い黄褐色土	鉄鏝	(15.9)	1.0	0.2	1450	鉄	鉄製品 No.3	84	62
276	SK05	南半環土上-中位	鉄鏝	(6.0)	0.9	0.8	810	鉄		84	62
277	SK90	南半環土上位	柄挿草	(23.5)	0.5	0.4	2610	鉄	鉄製品 No.1 円筒径 56cm	84	62
278	SI08	南西環土下位	刀子	(190)	(1.8)	(0.5)	31.80	鉄	鉄製品 No.3	84	62
279	SK58	北半環土中位	刀子	(11.8)	1.8	0.3	1470	鉄	鉄製品 No.1	84	62
280	SI09	中位	鉄釘	(4.7)	0.8	0.3	200	鉄		85	62
281	SK58	南半環土下位	鉄釘	(2.3)	0.8	0.3	210	鉄	鉄製品 No.1	85	62
282	SK05	北半環土9層	鉄釘	(2.5)	0.7	0.3	110	鉄		85	62
283	SK05	北半環土9層	鉄釘	(4.3)	0.9	0.4	290	鉄		85	62
284	SK05	北半環土8層	鉄釘	(3.0)	0.3	0.2	090	鉄		85	62
285	SK05	南半環土中位 暗褐色土	鉄釘	5.8	0.9	0.5	380	鉄	鉄製品 No.2	85	62
286	SK71	南半環土上位	鉄釘	(1.8)	0.5	0.2	110	鉄		85	62
287	SK71	南半環土上位	鉄釘	(2.4)	0.6	0.3	140	鉄		85	62
288	SK73	埋土下位 (18層)	鉄釘	(3.0)	0.6	0.4	120	鉄		85	62
289	SK92-93の北側	1層	鉄釘	(2.4)	0.3	0.2	050	鉄		85	62
290	SI05	北東環土下位	釣針	(2.5)	(1.4)	0.2	160	鉄		85	62
291	SK82	北半環土2層	釣針?	(3.5)	2.5	0.3	140	鉄	鉄製品 No.1	85	62
292	SK05	南半環土上-中位	鉋歯	(3.2)	(1.1)	0.2	220	鉄		85	62
293	SK73	埋土下位 (11層)	円筒状	(2.2)	1.1	1.2	440	鉄		85	62
294	SK77	埋土中位 (15層)	円筒状	(3.2)	1.4	1.4	930	鉄		85	62
295	SI05	北東環土下位	棒状	(3.1)	(0.5)	0.5	220	鉄		85	62
296	SI08	北東環土中位	棒状	(10.6)	1.0	0.5	1920	鉄		85	62
297	SI08	北東環土中位	棒状	(4.2)	1.0	0.5	870	鉄		85	62

## 2 出土 土 遺 物

第30表 金属製品観察表(2)

(数値): 残存値

図録No	出土地点	層位	種別	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	材質	備考	図録No	写図No
298	SK65	北半埋土9層	棒状	5.6	0.4	0.3	3.60	鉄		85	62
299	SI08PPI	北半埋土	不明	12.3	0.5	0.4	1.30	鉄		85	62
							総重量	300.30			

第31表 鉄滓類観察表

整理No	図録No	出土地点	層位	重量 (g)	分類	磁気	メタル反応	種別	備考	写図No
42	301	SI03	カマド周辺床面上	55.50	II A	有	強	流動滓		63
41		SI03・SK40	4層	67.10	I A	無	—	流動滓		
				総重量	122.60					
43	302	SI04	床面直上	7.40	I B	無	—	流動滓		63
44		SI04	床面直上	0.70	I B	無	—	流動滓		
				総重量	8.10					
45	303	SI05-PP5	北半埋土	199.60	II B	有	弱	流動滓		63
46		SI07	東半埋土	153.90	II A	有	弱	流動滓		
89		SI07	南半埋土	32.70	II B	有	弱	流動滓		
				総重量	186.60					
47	304	SI08	南西埋土下位	19.10	II A	無	—	流動滓		63
48		SI08	北西埋土下位	80.30	I A	無	—	流動滓		
49		SI08	南東埋土下位	26.50	I B	無	—	流動滓		
50	305	SI08	南半埋土上位 黄褐色土	182.80	II B	有	弱	流動滓		63
51		SI08	カマド北半埋土下位 黒褐色土層	150.70	I A	無	—	流動滓		
52		SI08	カマド南半埋土下位 黒褐色土	38.00	I A	有	無	流動滓		
				総重量	497.40					
82		SX109	東側埋土	17.40	II A	無	—	流動滓		
83	309	SX109	東側埋土	24.60	I A	無	—	流動滓		63
84		SX109	東側埋土	2.40	II A	無	—	流動滓		
				総重量	44.40					
53		SR41	直上	13.30	I B	有	無	流動滓	①の鉄滓	
54		SR41	西端床面直上	35.00	I B	有	無	流動滓	①の炭 サンプル	
55		SR41	西端床面直上	1.30	I B	有	無	流動滓	②の炭 サンプル	
56		SR41	西端床面直上	5.00	I B	有	無	流動滓	②の炭 サンプル	
57		SR41	床面直上	0.40	I B	有	無	流動滓	②の炭 (炭化物)	
58		SR41	北側床面直上	1.80	I B	有	無	流動滓	② サンプル	
59		SR41	床面直上	2.50	I B	有	無	流動滓		
60		SR41	壁土1層辺サンプル	0.04	I B	無	—	流動滓	②の炭	
61		SR41	西端床面直上	0.40	I B	有	無	流動滓	③の炭 サンプル	
				総重量	59.74					
62		SR46	南半埋土下位	16.20	II A	無	—	流動滓		
63		SR47	南半埋土中位	6.60	I B	無	—	流動滓		
64		SR48	南半埋土上位	111.50	II A	有	弱	流動滓		
65	306	SR48	北半埋土2層	202.50	II A	有	弱	流動滓		63
				総重量	334.00					
66		SR52	北半埋土12層	29.90	II A	有	弱	流動滓		
67		SR53	北半埋土7層	41.00	II A	無	—	流動滓		
68	307	SR65	南半埋土下位	57.00	II A	有	弱	流動滓		63
69	308	SR65	北半埋土3層	456.80	I A	無	—	流動滓		63
70		SR65	北半埋土6層	46.70	II A	無	—	流動滓		
				総重量	598.50					
71		SR71の東	1区3m	17.20	II A	有	無	流動滓		
72		SR72	埋土	16.60	II A	無	—	流動滓		
73		SR73	埋土中位 (3層)	155.70	II A	有	無	流動滓		
74		SR75	埋土	57.70	I A	無	—	流動滓		
75		SR77	埋土中位	14.40	I A	有	無	流動滓		
77		SR78	埋土上位 (44層)	98.30	I A	無	—	流動滓		
78		SR78	埋土上位 (44層)	18.20	II A	無	—	流動滓		
				総重量	76.50					
79		SR81	北半埋土1層	31.10	I A	無	—	流動滓		
88		SR90	南半埋土下位	1.10	I B	有	無	流動滓	貝殻上	
81		SR92	南半埋土下位	38.70	II A	有	無	流動滓		
85		不明	1区北東区表土	29.40	II B	有	強	流動滓		
86		不明	西側埋土中位	17.00	I A	無	—	流動滓		
87		不明	出土地点不明	14.80	I A	有	弱	流動滓		
				総重量	71.20					
				重量合計	2658.74					

第32表 動物遺存体観察表

整理No	採掘No	出土地点	層位	重量 (g)	備考	種別	その他
6001		SK75	埋土上位 (26層)	5.47	①	二枚貝	殻面部有
6002		SK75	埋土上位 (26層)	1272	①	二枚貝	破片
6003		SK75	埋土上位 (26層)	8.94	②	二枚貝	破片
6004		SK75	埋土上位 (26層)	0.73	③	二枚貝	破片
6005		SK75	埋土上位 (27層)	0.06	①	二枚貝	殻面部有
6006		SK75	埋土上位 (27層)	37.84	①	二枚貝	破片
6034	318・319	SK75	埋土上位 (27層)	13.35	②貝	二枚貝	破片
6007		SK75	埋土上位 (27層)	1.81	③	二枚貝	破片
6008		SK75	埋土上位 (27層)	12.99	④	二枚貝	破片
6009		SK75	埋土上位 (27層)	2.95	④	二枚貝	殻面部有
6027	313	SK75	埋土上位 (26層)	0.54	①	巻貝	軸芯部有
6028		SK75	埋土上位 (27層)	0.32	①	巻貝	軸芯部有
6029		SK75	埋土上位 (27層)	0.89	①	巻貝	軸芯部有
		SK75	総重量	98.61			
6010		SK77	埋土 (8層)	24.40		二枚貝	殻面部有
6011		SK77	8層	22.36		二枚貝	破片
6012		SK77	埋土中位 (8層)	5.40		二枚貝	破片
6013		SK77	埋土中位 (8層)	2.20		二枚貝	破片
6014		SK77	埋土中位9層	6.00		二枚貝	破片
		SK77	総重量	60.36			
6015		SK90	南半埋土下位	98.51	貝殻 a	二枚貝	破片
6016	316・317	SK90	南半埋土下位	1216	貝殻 a	二枚貝	破片
6017		SK90	南半埋土下位	4.30	貝殻 a	二枚貝	殻面部有
6018		SK90	南半埋土下位	2063	貝殻 a	二枚貝	殻面部有
6019	324	SK90	南半埋土下位	64.12	貝殻 a	二枚貝	殻面部有
6020	320・321・322・323	SK90	南半埋土下位	99.12	貝殻 a	二枚貝	殻面部有
6021		SK90	南半埋土下位	696.07	貝殻 a	二枚貝	破片
6022	314	SK90	南半埋土下位	603.31	貝殻 a	二枚貝	破片
6023		SK90	南半埋土下位	1.38	貝殻 b	二枚貝	破片
6024		SK90	南半埋土下位	1.86	貝殻 b	二枚貝	破片
6025		SK90	南半埋土下位	0.09	貝殻 b	二枚貝	殻面部有
6026		SK90	南半埋土下位	0.00	貝殻 b	二枚貝	殻面部有
6033		SK90	南半埋土下位	2.52	貝殻 a (①)	二枚貝	破片
6030	311・312	SK90	南半埋土下位	5.28	貝殻 a	巻貝	軸芯部有
6031		SK90	南半埋土下位	0.00	貝殻 b	巻貝	軸芯部有
6032	315	SK90	南半埋土下位	1.32	貝殻 a	巻貝	軸芯部有
		SK90	総重量	1610.67			
			重量合計	1709.64			

第33表 植物遺存体観察表

整理No	採掘No	出土地点	層位	種実	重量 (g)	備考
5001	333・334	S807	西半埋土		0.28	ドンブリ豆粒
5002	331	S808	カマド北半埋土下位 黒褐色土		1.25	クルミ1粒
5003	347・335	S809	カマド焼結部		0.01	①の炭 種実1粒
	336・337・338・339・340・341・342・343・344・345・346	S809	カマド		0.04	①の炭 種実10粒
		S809	総重量		0.05	
5005	332	SK75	埋土上位 (27層)		1.57	クルミ1粒
			重量合計		3.05	



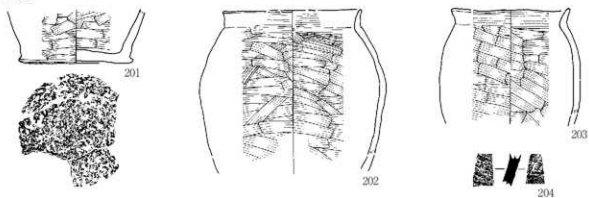
## 2 出土遺物

第34表 炭化材観察表

整理No.	出土地点	層位	重量 (g)	観察確定	備考
21	S03	カマド	0.40		
22	S03	カマド②	1.20		
23	S03		総重量 1.60		
24	S04	床面直上	16.40	オオノキ	
24	S04	西端 床面直上	1.50		
	S04		総重量 17.90		
26	S06	西平埋土下位	8.30	オオノキ	
27	S08	カマド 西平埋土下位 黒褐色土	4.30		
28	S08	東平埋土4層 黒褐色土	19.80		
30	S08	ベルトC-C5層	14.60	アカツツ	℃分析
33	S08	北東境土付近1・2埋土下位	0.80		
34	S08	カマド 石組 北側埋土下位	1.00	ケヤキ	
	S08		総重量 40.50		
29	S08-PP1	北平埋土1層	0.70		
31	S08-PP18	南平埋土	1.70		
32	S08-PP18	北平埋土1層	3.10		
	S08-PP		総重量 4.80		
35	S09	カマド	0.60	ケヤキ	
36	S09	カマド	0.20	①	
37	S09	カマド	0.80	①	
38	S09	カマド熱機部	1.10	②	
39	S09	カマド	1.00	③	
40	S09	カマド熱機部直上	0.60	③	
41	S09	カマド焼土上	0.20	②	
42	S09	カマド熱機部焼土	0.20		
	S09		総重量 4.70		
132	SX07	PP1埋土(3層)	2.60	①	
131	SX09	東側埋土	4.30		
43	SK07	カマドベルトD-D2層	0.70		
44	SK27	(北半分) 埋土下位(10層)	2.20	ケヤキ	
45	SK39	埋土下位(12層)(北側半分)	2.40		
46	SK41	直上	1.20		
47	SK41	直上	0.20	①	
48	SK41	直上	4.90	①	
49	SK41	直上	3.80	②	
50	SK41	不明	0.60	③	
51	SK41	西端北面直下	2.50	①	
52	SK41	北面直上	11.80	①	
53	SK41	南西端直上	0.40	①	
56	SK41	北側北面直上	0.70	②	
57	SK41	西端北面直上	3.10	②	
58	SK41	焼土1規直上	0.10	②	
61	SK41	埋土下位	2.20	ケヤキ	
62	SK41	北面直下	2.90	③	
	SK41		総重量 34.4		
63	SK43	北平埋土上位	17.80	ケヤキ	
64	SK44	北平埋土	5.60	ケヤキ	
65	SK46	南平埋土下位	8.80		
66	SK46	北平埋土2層	3.20		
67	SK46	北平埋土4層	5.20		
68	SK46	北平埋土3層	12.30		
	SK46		総重量 29.50		
70	SK47	南平埋土下位	0.30		
71	SK47	北平埋土10層	8.20		
72	SK47	北平埋土下位	4.30		
	SK47		総重量 12.80		
73	SK50	北平埋土12層	3.40		
74	SK50	北平埋土8層	3.50		
	SK50		総重量 6.90		
75	SK55	北平埋土1層	11.60	ケヤキ	
76	SK55	北平埋土3層	1.00		
77	SK55	北平埋土7層	2.30		
78	SK55	北平埋土9層	2.40		
	SK55		総重量 17.30		
79	SK59	北平埋土1層	5.90		
80	SK61	南平埋土	3.80		

整理No.	出土地点	層位	重量 (g)	観察確定	備考
81	SK65	南平埋土下位	1.20		
82	SK65	南平埋土上位～中位	33.50		
83	SK65	南平埋土下位	6.20		
84	SK65	北平埋土6層	148.50	オオノキ、ケヤキ	℃分析
	SK65		総重量 202.10		
85	SK77	埋土最下層(12層)	1.20		
86	SK70	埋土下位	1000		
87	SK70	埋土下位(33層)	3.70	ケヤキ	
	SK70		総重量 1370		
88	SK75	埋土上位(27層)	240	①	
89	SK75	埋土上位(27層)	110	②	
90	SK75	埋土上位(27層)	1.20	③	
	SK75		総重量 510		
92	SK78	埋土上位	6.30	ケヤキ	
93	SK78	埋土	1.70	③	
94	SK78	埋土上位(44層)	9.20		
95	SK78	埋土上位(49層)	0.50		
135	SK78	埋土	2.20	①	
136	SK78	埋土	2.50	②	
	SK78		総重量 22.40		
96	SK78-2	埋土	0.40	②	
97	SK78-2	埋土	1.50	②	
98	SK78-2	埋土	0.60	③	
99	SK78-2	埋土	1.30		
100	SK78-2	埋土上位	11.60		
101	SK78-2	埋土	1.20	①	
102	SK78-2	不明	1.80		
103	SK78-2	埋土	0.50		
137	SK78-2	焼土	1.90	①	
	SK78-2		総重量 20.80		
104	SK81	北平埋土1層	8.10		
105	SK83	東平埋土下位	1.50		
106	SK83	西平埋土3層	6.40		
107	SK83	北平埋土8層	3.20		
108	SK83	北平埋土9層	5.20		
	SK83		総重量 16.20		
109	SK87	西平埋土下位	1700		
110	SK87	東平埋土4層 黒褐色土層	0.20		
111	SK87	西平埋土6層	2.40		
	SK87		総重量 1960		
112	SK88	東平埋土下位	60.30		
113	SK88	西平埋土5層	1700		
114	SK88	西平埋土11層	3.20	ケリ	℃分析
115	SK88	南平埋土最下層	2.30		
116	SK88	埋土最下層(北平)	7.90		
117	SK88	洞穴西平埋土1層	440		
134	SK88 洞穴	東平埋土	1.70		
	SK88		総重量 9700		
118	SK89	南平埋土下位	4.30	ヤブヅラ	
120	SK89	北平埋土2層	1.80		
	SK89		総重量 6.10		
121	SK90	南平埋土下位 貝殻aの土層2段目	100		
122	SK90	北平埋土11層	1.50		
	SK90		総重量 2.50		
123	SK92	埋土上位(仮3層)	2.20		
124	SK93	北平埋土13層	2.50		
125	SW02	埋土	2.30		
126	SW03	東平埋土2層	13.50		
127	SW03	西平埋土2層	125.30		
	SW03		総重量 138.80		℃分析
133	出土地点不明	記入ナシ	16000		
			重量合計 947.50		

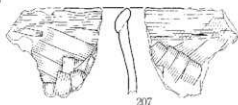
S 103



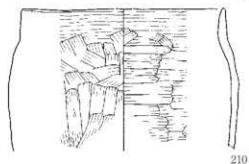
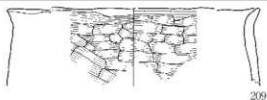
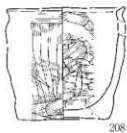
S 104



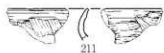
S 105



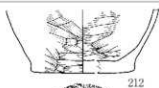
S 106



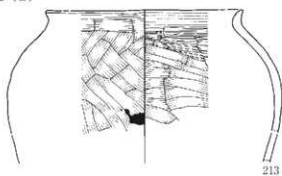
S 107



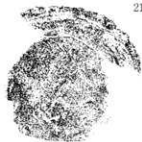
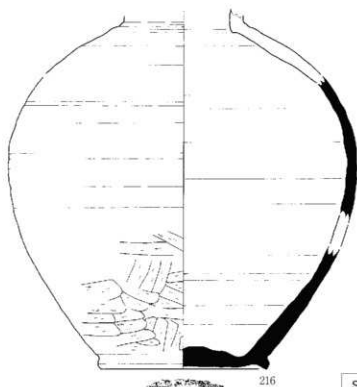
S 108 (1)



S 108 (2)



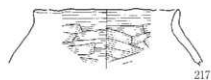
S X 105



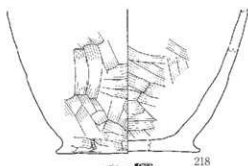
S 109



S X 108 · 09

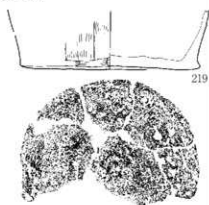


S X 109



第78圖 土器 (2)

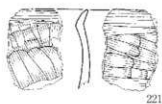
S K 39



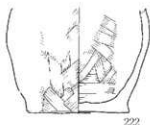
S K 50



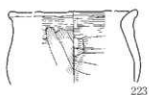
S K 55



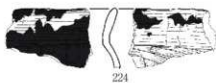
S K 59



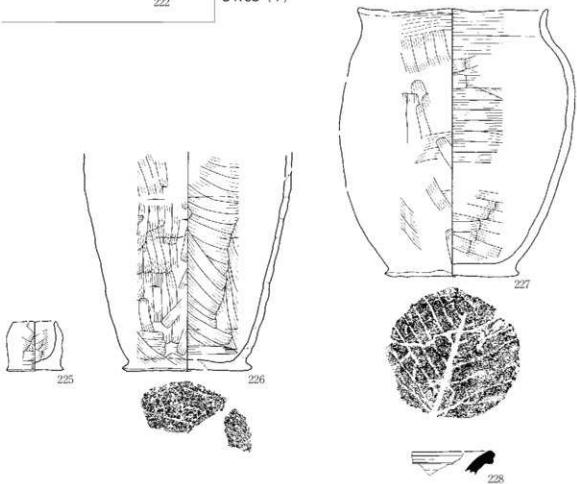
S K 61



S K 63

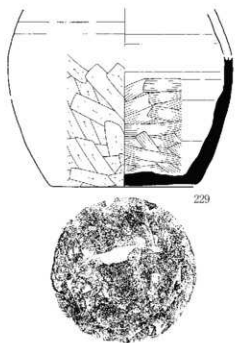


S K 65 (1)



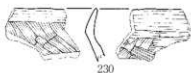
0 1:3 10 cm

SK65(2) S I 05-PP4 SK65 SK85



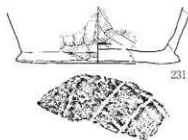
229

SK67



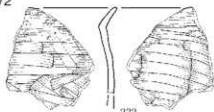
230

SK71



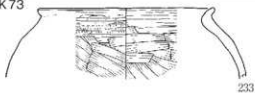
231

SK72

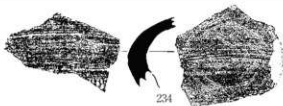


232

SK73

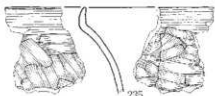


233



234

SK75



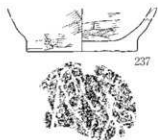
235

SK77



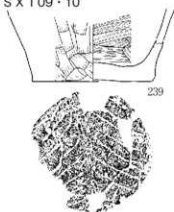
236

SK78



237

SK83 S X I 09・10



239

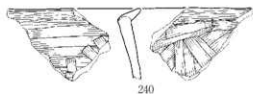
SK81



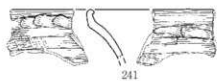
238

0 1:3 10cm

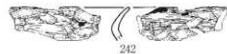
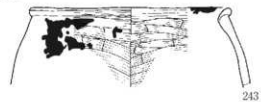
S K 85



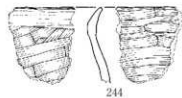
S K 87



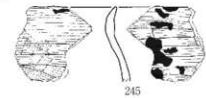
S K 88



S K 90



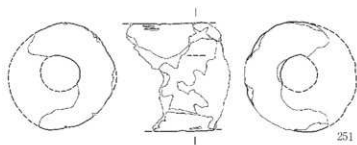
S K 92

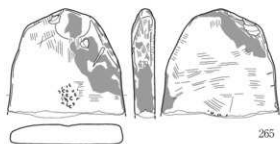
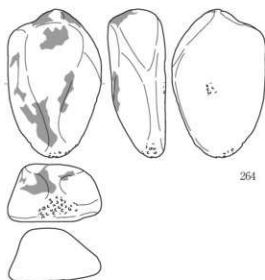
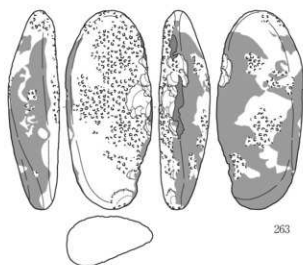
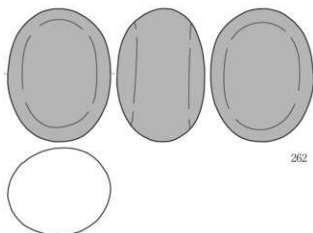
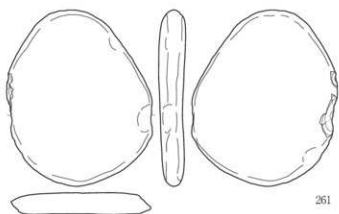


S I 03

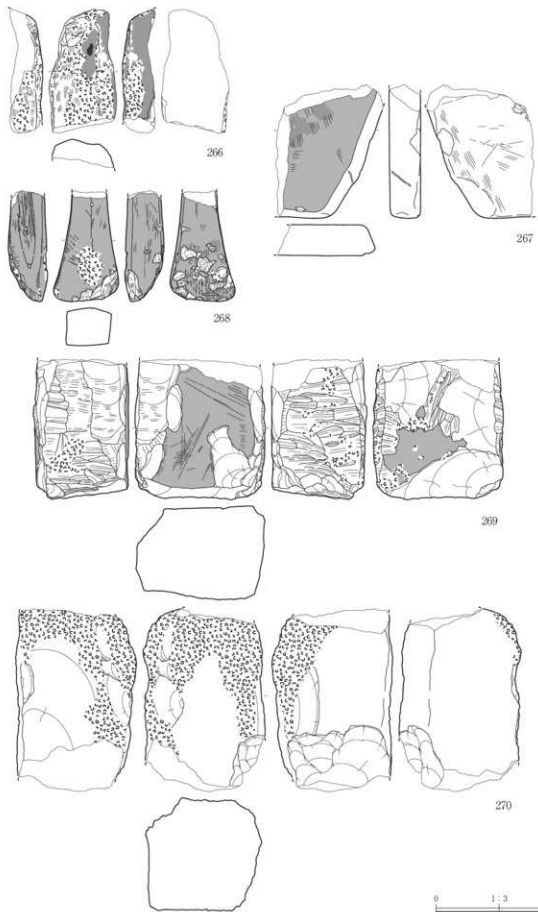


S I 06



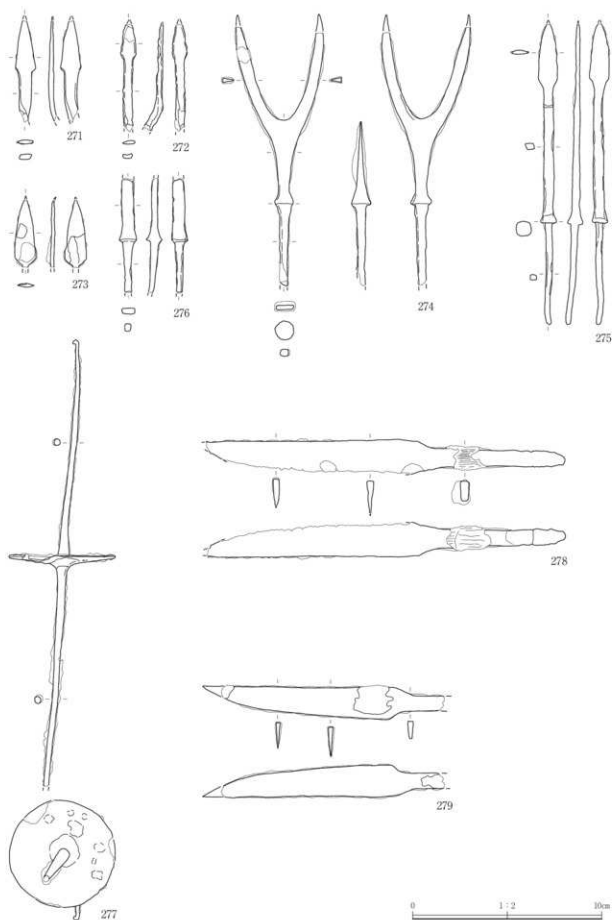


第82図 石器(1)

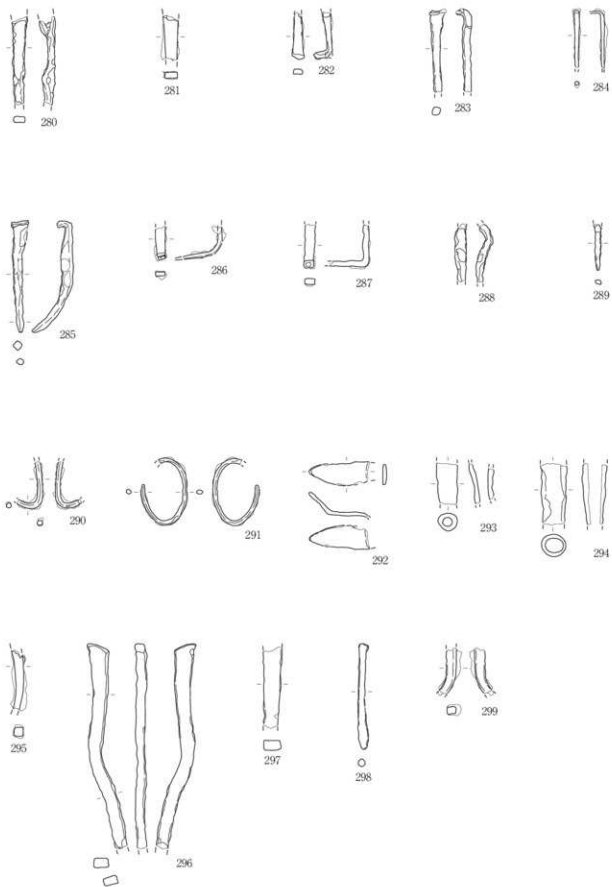


第83図 石器 (2)



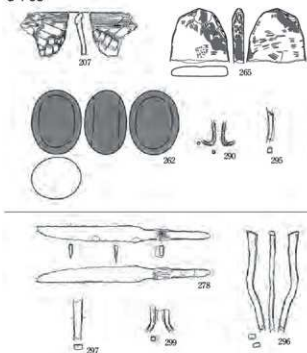


第84図 金属製品(1)

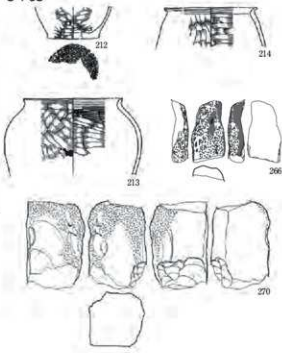


第85図 金属製品 (2)

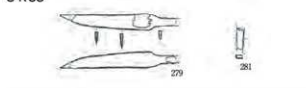
S I 05



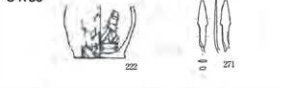
S I 08



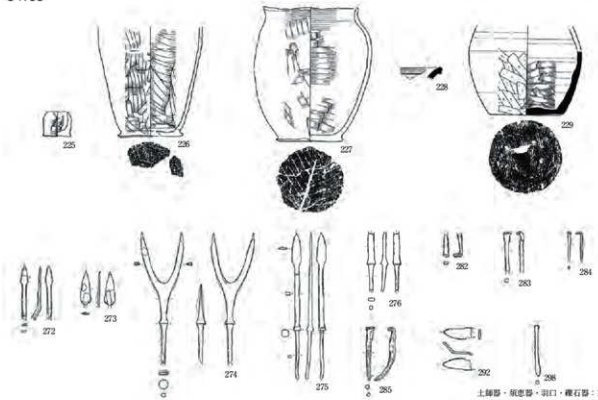
S K 58



S K 59



S K 65



土師器・須恵器・須口・磯石器：1/6  
銅片石器・金属製品：1/4

第86図 遺構内出土遺物集成図

## VI 平成29年度調査

### 1 検出遺構

#### (1) 調査の概要

竪穴住居跡5棟、竪穴状遺構2棟、工房跡1棟、土坑34基、炭窯跡2基、家畜埋葬墓壇7基を検出した。時期は古代が主体で、その他とした家畜埋葬墓壇は、近・現代のものである。遺構は、調査範囲となった5区の尾根頂部である平坦面から東側・南側の緩斜面で確認された(第87～89図)。以下、種別毎に報告する。

#### (2) 竪穴住居跡

竪穴住居跡は5棟確認した。5棟の竪穴は、5区の頂部の平坦面から南斜面の北西-南東方向の尾根筋に立地し、斜面上位側の北側・西側にカマドを設置している傾向がある。なお、S I 04竪穴住居跡は調査区の関係から平成28年度からの継続調査を行ったが、平成28年度の調査遺構として報告している。個々の計測値等は、第35表 竪穴住居跡観察表を参照されたい。

#### S I 10竪穴住居跡

遺構(第90・91図、写真図版67)

[位置・検出状況] 5区の北側、Ⅲ A10e・10f、Ⅳ A1e・1fグリッド。Ⅳ層上面で灰黄褐色土の不整形の広がりを検出した。試掘段階で壁の明瞭な立ち上がりを確認できたため、住居跡を想定し、壁の軸方向に合わせて十字ベルトを設定して精査を進めた。その結果、平坦な床面と壁の立ち上がり、カマドを確認し、竪穴住居跡と認定した。精査の途中段階では、単独の遺構として捉えていたが、北壁が想定したラインより北側へとふくらむこと、埋土の様相が東西で差異があることに気付いた。このことから、西側は、本遺構と別のS I 14竪穴住居跡に分かれることが判明した。

[重複関係] 東側がS I 14竪穴住居跡と重複する。埋土の堆積状況より本遺構がS I 14竪穴住居跡より古いと判断した。

[規模・平面形] 南～東側にかけて削平の影響を受けており、正確な規模・形状は不明である。規模は、残存部分で4.8×3.3mである。残存壁は直線的であるため平面形は隅丸方形基調と推測される。

[埋土・堆積状況] マサ土粒を含む明黄褐色土主体で構成される。自然堆積と考えられる。

[壁・床面] 壁・床はⅣ層を掘り込んで構築されている。壁は斜面上方の北～西壁が残存し、ほぼ垂直に立ち上がる。壁高は最大となる北西壁で0.82mである。床面はほぼ平坦である。

[柱穴・配置] PP 1～3を検出した。配置状況から主柱穴であると考えられる。

[カマド] 西壁にカマド1基を確認した。燃焼部と煙道部を確認している。燃焼部焼土は熱変色が弱い。焼土直土には炭化物が集中的に分布する範囲を確認している。煙道部は崩落のため構築方法は不明である。埋土は灰黄褐色シルト主体で構成される。

[その他の付属施設] 土坑1基、焼土1箇所、壁溝を確認した。土坑はカマドの北側に位置する。埋土は炭化物や焼土粒が混入する黒褐色シルト主体で構成される。配置から貯蔵施設の可能性が考えられる。埋土から鉄鏝(461)が出土している。焼土はPP 1の北側に位置する。熱変色し、固く締まっ

ている。

[出土状況] 埋土中から土師器片・金属製品が出土している。

**遺物** (第108・113・114 (集成) 図、写真図版85・89)

[出土状況] 埋土中から土師器片が出土している。縄文土器5.6g、土師器706.0g、須恵器69.5g、金属製品、鉄滓類35.8gが出土している。

[土器] 土師器 (412・413)、須恵器 (414・415・416)。

[金属製品] 鉄鏃 (461)、鉄鍋? (468)。

**時期** 本遺構の埋土下位より得られた炭化物について、放射性炭素年代測定を実施し、1033calAD-1159calAD (2 $\sigma$ ) の結果を得ている (Ⅶ 分析・鑑定)。出土遺物は10世紀代の傾向を示すため、年代測定によって得られた値はやや新しく、別遺構より流れ込んだ炭化物をサンプリングした可能性がある。従って、本遺構の時期は10世紀代と捉えたい。

(野中裕貴)

### S I 11 竪穴住居跡

**遺構** (第92図、写真図版68)

[位置・検出状況] 5区、IV A 2 d・2 e・3 d・3 e グリッド。表土除去後、IV層上面で暗褐色土の広がりとして検出した。直線的な輪郭から住居の壁を想定して軸上に十字ベルトを設定し、一次精査を開始した。多数の木根の影響で床面は不明瞭であったが、壁の立ち上がりを確認したため住居と認定した。

[重複関係] なし。元東側のS K 116土坑と重複関係にあったと思われるが、S I 11竪穴住居跡の床面削平部分にあたり、切り合い関係は不明である。

[規模・平面形] 西側の一部は調査区外となっており、南・東側は傾斜の下位にあたり削平を受け、壁部分が失われている。北壁で直線的な形状の遺構範囲を確認した。規模は、残存部で5.4×4.6mを測る。平面形は方形と推測される。

[埋土・堆積状況] 暗褐色土を主体とし、床面近くに薄く黒褐色土が堆積している。壁際には三角堆積とみられる褐色土が堆積している。自然堆積と考えられる。床面の下位にはいぶい黄褐色土を中心とした貼り床が5cm程の厚さで施されている。

[柱穴・配置] 4個確認した。北壁に並行した直線状に配置されている。焼土の東に2個、西に2個見られた。主柱の構成など不明である。

[壁・床面] 壁はIV層を掘り込み、ほぼ垂直に立ち上がる。壁高は0.35mである。床面はIV層を掘り込んで貼り床が施され、ほぼ平坦につくられている。北壁際の一部に幅10cm・深さ5cmの壁溝がある。

[カマド] 北壁側に1箇所確認された。天井・袖となる粘土の痕跡のほか煙道も確認できなかった。焼土の両側に袖石と思われる礫が検出され、壁際に黒褐色で炭化物粒を含む土層が部分的に見られたため、カマドの痕跡と推定できる。焼土の規模は55×35cm、厚さ5cmである。

[その他の付属施設] PP 1は北西部で確認された住居内土坑である。規模は径58×44cmで、深さ25cmを測る。壁・底面ともIV層を掘り込んで、壁はやや開き気味に、底面は丸みを帯びてつくられている。

**遺物** (第108・111・113・114 (集成) 図、写真図版85・87・89・90)

[出土状況] 土師器962.1g、石器7点、鉄製品2点が出土し、礫も含めて遺物№1~41を取り上げた (土師器・須恵器・石器・金属製品・鉄滓類)。床面及び直上の遺物の多くはカマド周辺から出土し、土師器417・418、石器455が含まれる。炭化材は壁際の埋土下位から1点取り上げた。

[土器] 土師器 (417・418)。

[石器] 敲磨器：磨石 (455)。

[金属製品] 鉄鏃 (462)・刀子 (464)。

[鉄滓類] 炉内滓 (483)・炉底滓 (484)。

時期 床面の出土遺物から古代の遺構と推定される。放射性炭素年代測定の結果 $1.140 \pm 20\text{yrBP}$  (補正あり)、 $884 \sim 903 \cdot 919 \sim 964\text{calAD}$  ( $1\sigma$ ) との結果を得た (Ⅶ 分析・鑑定)。遺構の年代は10世紀前半と考えられる。

(直江康雄)

### S I 12 竪穴住居跡

遺構 (第93・94図、写真図版69)

[位置・検出状況] 5区の中央付近、IV A 5 e・5 f・6 e・6 f グリッド。IV層上面で灰黄褐色土の方形の広がりを検出した。試掘段階で壁の明瞭な立ち上がりが確認できたため住居跡を想定し、壁の軸方向に合わせて十字ベルトを設定して精査を進めた。

[重複関係] 南側でS K 129土坑と重複する。埋土の堆積状況より本遺構がS K 129土坑より新しいと判断した。

[規模・平面形] 規模は、残存部分で $4.4 \times 3.5\text{m}$ である。南側が削平を受けてはいるものの、残存部分の形状より平面形は方形であると推定される。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土が主体である。堆積状況から住居内は自然堆積、カマド煙道部は人為堆積である可能性が考えられる。

[壁・床面] 壁はやや外傾して立ち上がる。壁高は、最大となる北壁で $0.67\text{m}$ である。床面はほぼ平坦である。北西側の壁際の一部に幅 $20\text{cm}$ ・深さ $5\text{cm}$ の壁溝がある。

[柱穴・配置] 東壁側にPP 1を確認した。

[カマド] 北壁にカマド1基を確認した。袖部及び燃烧部、煙道部を確認している。煙道部の構築方法は列り貫き式である。カマド本体部側と煙出し側の2方向からそれぞれに掘り込まれる。底面は本体部側から煙出しに向かって下降する。煙出し穴は円形にほぼ垂直に掘り込まれている。煙出し側の埋土2層から被熱痕のある礫を確認している。

[その他の付属施設] なし。

遺物 (第108・109・111・112・113・114 (集成) 図、写真図版85・86・87・88・89)

[出土状況] 東側の床面直上より大小の亜角礫10個と土師器、須恵器、羽口が集中して出土した。亜角礫には、すべて強い被熱痕が認められる。カマドの構築材として使用されていたものを廃棄した可能性が考えられる。土師器 $3361.4\text{g}$ 、須恵器 $190.4\text{g}$ 、羽口 $340.1\text{g}$ 、鉄滓 $195\text{g}$ が出土している。砥石(460)は、竪穴の周辺から出土したもののだが、本遺構に伴う可能性があり、参考資料として掲載する。

[土器] 土師器 (419~422)、須恵器 (423~425)。

[石器] 石匙 (451)、敲磨器類：磨石 (453・454)、砥石 (460)。

[金属製品] 刀子? (465)、鏃? (466・467)。

時期 本遺構の埋土下位より得られた炭化物について放射性炭素年代測定を実施し、 $862\text{calAD} \sim 975\text{calAD}$  ( $2\sigma$ ) の結果を得ている (Ⅶ 分析・鑑定)。出土遺物と合わせて考えると9世紀後半~10世紀代と推定される。

(野中裕貴)

## S I 13 竪穴住居跡

遺構 (第95図、写真図版70)

[位置・検出状況] 5区、IV A 4 d・5 d グリッド。遺構の西側2/3程は調査区外に及んでいる。表土除去後、IV層上面にぶい黄橙色土の広がりとして検出した。土層観察用のベルトを残して一次精査を行い、平坦な床面と明瞭な壁の立ち上がり、カマドを確認したため竪穴住居跡と認定した。

[重複関係] 煙出しとSK117土坑が底面近くで重複している。SK117土坑の2次精査時、壁面の下位で煙出しの埋土の露出に気が付いたため、切り合い関係は不明である。

[規模・平面形] 西側の半分以上が調査区外にかかる。規模は、残存部で3.0×2.0mを測る。平面形は隅丸方形と推測される。

[埋土・堆積状況] ぶい黄橙色土、暗褐色土、ぶい黄褐色土を主体とした堆積である。床面の直上には灰黄褐色土の薄層がみられ、壁際には三角堆積も認められた。自然堆積と考えられる。

[柱穴・配置] 2個確認した。東壁の隅に配置され、支柱と考えられる。

[壁・床面] 壁はIV層を掘り込み、外傾して立ち上がる。壁高は0.5mである。床面はカマドのつくり替えに伴い深く掘削されたと考えられる。古段階の床面は検出されていない。新段階の床面はIV層を掘り込んでほぼ平坦につくられている。

[カマド] 住居の北壁に2箇所確認した。カマド2→1の順に東から西側の位置に変遷している。カマド2は煙道部のみ確認した。煙道は長さ50cm、煙出し部の深さは40cmを測り、トンネル状に掘り抜かれている。煙道の入り口は床面より30cm程高い位置にある。埋土は煙出しの底面に炭化物粒を含む暗褐色土の薄層がみられ、その上位はぶい黄褐色土が厚く堆積している。後者はつくり替えに伴う人為的な埋め戻しと考えられる。カマド1の大半は調査区外だが、左袖、煙道部、燃焼部を確認した。袖の芯材として花崗岩の礫が利用されている。燃焼部として確認した焼土の痕跡は、径20×15cm、厚さ1cmである。主体部は調査区域外にあるものと推測する。煙道は長さ120cm、煙出し部の深さは110cmで、トンネル状に掘り抜かれている。煙道の埋土は炭化物粒を含み、煙出しの埋土は下位ほど締めまりが弱い。煙出し部の検出面から扁平な角礫と鉄滓が出土した。

[その他の付属施設] なし。

遺物 (第109・111・112図、写真図版86・87・88・90)

[出土状況] 土師器413.2g、焼成粘土塊21.1g、石器3点、鉄滓1572.1gが出土し、遺物№1～3を取り上げた(土師器・焼成粘土塊・石器)。床面の遺物は1点のみでPP1の上面から出土した石器458である。その他、焼成粘土塊がカマド1から出土したが、細片のため掲載していない。

[土器] 土師器 (426)。

[石器] 礫器 (452)、台石? (458)。

[鉄滓類] 流動滓 (485)、炉底滓 (486・487)。

時期 出土遺物から古代の遺構と推定される。

(直江康雄)

## S I 14 竪穴住居跡

遺構 (第90・91図、写真図版71)

[位置・検出状況] 5区の北側、Ⅲ A 9 f、9 g、10 f、10 g グリッド。IV層上面で灰黄褐色土の不整形の広がりを検出した。試掘段階で壁の明瞭な立ち上がりが確認できたため、住居跡を想定し、壁の軸方向に合わせて十字ベルトを設定して精査を進めた。S I 10竪穴住居跡の精査中に単独の遺構と

して捉えていた遺構の北壁が、北側へとふくらみ、埋土の様相に東西で差異があることに気付いた。このことにより、本遺構が S I 10 堅穴住居跡と別遺構であることが判明し、それぞれ分けて記録を作成した。

[重複関係] 西側が S I 10 堅穴住居跡と重複する。埋土の堆積状況より本遺構が S I 10 堅穴住居跡より新しいと判断した。

[規模・平面形] 南～東側にかけて削平の影響を受けており、正確な規模・形状は不明である。規模は、残存部分で 3.8×1.8m である。

[埋土・堆積状況] マサ土粒を含む灰黄褐色土主体で構成される。自然堆積と考えられる。

[壁・床面] 壁・床は IV 層を掘り込んで構築されている。壁は斜面上方の北壁が残存し、ほぼ垂直に立ち上がる。壁高は最大となる北壁で 0.36m である。床面はほぼ平坦である。

[柱穴・配置] 不明。

[カマド] 北壁に焼土及びカマドの煙道部と考えられる痕跡を確認した。焼土は燃焼部の痕跡の可能性があるが、熱変色が弱い。焼土直土には炭化物が集中的に分布する範囲を確認している。北壁にわずかに掘り込まれた箇所を煙道部と考えたが、詳細は不明である。埋土は灰黄褐色シルト主体で構成される。

[その他の付属施設] なし。

**遺物** なし。

**時期** 本遺構と重複する S I 10 堅穴住居跡の時期は 10 世紀代と推定される。周辺の遺構の時期から考えると、古代の遺構の可能性はある。

(野中裕貴)

### (3) 堅穴状遺構

堅穴状を呈する遺構であるが、炉跡・柱穴などが確認できなかった遺構である。2 棟確認した。計測値等は、第 36 表 堅穴状遺構観察表を参照されたい。

#### SK I 01 堅穴状遺構

遺構 (第 96 図、写真図版 72)

[位置・検出状況] 5 区、IV A 4 e・4 f・5 e・5 f グリッド。表土除去後、S I 12 堅穴住居跡の北側に不整形なぶい黄褐色土の広がりとして検出した。土層観察用のベルトを残して精査を行い、平坦な床面と壁の立ち上がりを確認し、精査を行った。

[重複関係] 南側の S I 12 堅穴住居跡と重複し、本遺構が新しい。S I 12 堅穴住居跡 (旧) → SK I 01 堅穴状遺構の関係がある。切り合い関係は SK I 01 堅穴状遺構に設定したトレンチで確認した。

[規模・平面形] 南側斜面に位置するため、斜面下位の南側を消失している。北壁から連続する東西壁の一部でやや湾曲した形状の遺構範囲を確認した。規模は残存部で 3.9×2.2m を測る。平面形は隅丸方形と推定される。

[埋土・堆積状況] ぶい黄褐色土、ぶい黄橙色土に分層した。自然堆積と考えられる。

[壁・床面] 壁は IV 層を掘り込み、やや外傾して立ち上がる。壁高は 0.25m である。床面は IV 層・S I 12 堅穴住居跡の埋土上部を掘り込んで、ほぼ平坦に作られている。

[その他の付属施設] なし。

**遺物** なし。



時期 周辺の遺構との関係から古代の遺構と推定される。

(直江康雄)

#### SK102竪穴状遺構

遺構 (第96図、写真図版72)

[位置・検出状況] 5区、VA4f・4gグリッド。IV層上面でマサ土粒の混入する灰黄褐色土の不整形の広がりを検出した。

[重複関係] SK119・120土坑と重複する。埋土の堆積状況より本遺構がSK119・120土坑より新しいと判断した。

[規模・平面形] 規模は、2.1×0.8mである。平面形は楕円形である。

[埋土・堆積状況] マサ土粒を含む灰黄褐色土主体で構成される。自然堆積と考えられる。

[壁・床面] 壁・底面はIV層を掘り込んで構築されている。壁は緩やかに外側に向かって立ち上がる。壁高は最大で0.21mである。底面はほぼ平坦である。

[その他の付属施設] なし。

遺物 なし。

時期 出土遺物が無く、詳細な時期は不明だが、周辺の遺構とほぼ同時期の古代(平安時代)と推定される。

(野中裕貴)

#### (4) 工房跡

1棟確認した。竪穴状の掘り込みに柱穴や壁溝、内部に炉跡を持つ構造である。鉄生産を示す明瞭な痕跡は確認できていないが、規模・形状などこれまでの調査事例から工房跡と判断して調査を行い、報告するものである。計測値などは第37表 工房跡観察表を参照されたい。

#### SX111工房跡

遺構 (第96図、写真図版72)

[位置・検出状況] 5区、VA8fグリッド。トレンチ150の中央部に細長い黒褐色土の広がりを検出した。トレンチ内をIV層まで掘り下げ、焼土と壁の立ち上がりを確認したため、工房跡と判断した。

[重複関係] 西側にあるSK122土坑と重複関係にあったと思われるが、SX111工房跡の床面の遺存する境界部分に位置することから、切り合い関係は不明である。

[規模・平面形] 西側斜面で、2/3以上が削平され、消失している。東壁から連続する北壁の一部で直線的な部分を確認した。規模は、残存部で3.5×1.5mを測る。平面形は長方形と推測される。

[埋土・堆積状況] 黒褐色土、暗褐色土、にぶい黄褐色土に分層した。自然堆積と考えられる。

[柱穴・配置] 1個確認した。配置は不明である。

[壁・床面] 壁はIV層を掘り込み、外傾して立ち上がる。壁高は0.3mである。床面はIV層を掘り込んでほぼ平坦につくられている。東壁の一部に壁溝のような窪みが確認できた。

[炉] 1箇所確認した。東壁際に位置する。燃焼部は規模18×10cm、焼土の厚さは3cmである。

[その他の付属施設] なし。

遺物

[出土状況] 埋土・PP1から土師器226.9g、陶器12.4g、焼成粘土塊12.5g、鉄滓20.8gが出土したが、

小片のため掲載していない。

**時期** 出土遺物から古代（平安時代）の遺構と推定される。

### （5）土 坑

34基の土坑を確認した。内訳は5区頂部ではS K 96～120・126～129土坑の29基、5区西斜面ではS K 121～125土坑の5基である。個々の土坑の計測値などは、第38表 土坑観視観察表を参照されたい。以下、各土坑の調査所見、特に重複関係や出土遺物を中心に記す。

#### S K 96～129土坑

**遺構**（第97～106図、写真図版73～82）

S K 96土坑では埋土最下位の主に9・10層から礫、土師器・須恵器・石器が出土した。S K 98・99土坑は、S K 99土坑（旧）→S K 98土坑（新）の関係を検出時及び断面観察で確認した。S K 99土坑が完全に埋没した後にS K 98土坑が掘り込まれている。S K 100・101土坑は重複し、S K 100土坑（旧）→S K 101土坑（新）の新旧関係を確認した。S K 101土坑は、S K 100土坑が完全に埋没した後に掘り込まれている。S K 101土坑の埋土下半には広い範囲で焼土が形成され、その上位からは炭化材（クマ材）を含む黒色土（11層）が、散在するやや大型の礫とともに見られた。その下位の12層では壁面にも焼土が形成されていることから、本遺構では埋没過程で炭窯として再利用された可能性が考えられた。S K 100土坑の埋土（14層）は一括性が高く、人為的な埋め戻しと考えられた。S K 104土坑の底面からは土師器片の他に礫がまとまって出土した。埋土7層からは棒状の鉄製品に混じって縄文土器片が出土した。S K 105土坑の埋土の堆積状況は、開口部が小さく、中央付近から山なりの堆積状況を示しており、本来の形状が断面フラスコ状であったことが推定できる。S K 108・109土坑は重複し、S K 109土坑が新しい。S K 109土坑は、S K 108土坑が完全に埋没してから掘り込まれている。S K 111土坑はS W 05炭窯跡と重複し、S W 05炭窯跡に切られていた。S K 116土坑は、大型のフラスコ状の土坑で、深さは1.5m程ある。埋土最下位の13層から土師器片がまとまって出土した。S K 117土坑は、S I 13竪穴住居跡の煙出し穴と重複する。土坑の4層面で土器片や礫がまとまって出土した。S K 119・120土坑は、S K I 02竪穴状遺構と重複し、本来の形状をよく把握することができなかった。残存する規模・形状から、他の大型の土坑とは異なる性格の土坑と推測される。

S K 121～125土坑は、5区の南側の緩斜面で確認された。平成27年度調査で、6区で確認された土坑群（S K 01～10・28など）と同様の性格の土坑群と推測される。S K 121土坑は、黒褐色土起源の埋土で、他の土坑と様相が異なり、縄文時代前期の土器片が出土している。縄文時代の土坑の可能性を考えておきたい。S K 122土坑はS X I 11工房跡と重複している。

**遺物**（第108・109・110・111・112・113図、写真図版85・86・87・88・89・90）

〔土器〕縄文土器（401/S K 121）、土師器（429/S K 101、430/S K 110、431/S K 117）、須恵器（427・428/S K 96）。

〔石器〕凹石？（456/S K 96）、砥石？（459/S K 111）。

〔金属製品〕棒状（469/S K 104）。

〔鉄滓類〕炉底滓（488/S K 102）、流動滓（489/S K 105）

〔動物遺存体〕チシマフジツボ殻（498/S K 110）、アカフジツボ殻（499/S K 110）、エゾアワビ殻（491/S K 111）、クボガイ殻（493/S K 111）、エゾアワビ殻（492/S K 126）、イガイ左殻・右殻（494・495/

S K126)、ムラサキインコ左殻・右殻(496・497/S K126)。詳細は、Ⅶ 分析・鑑定を参照されたい。  
時期 出土遺物や、重複する他の遺構の時期から、多くの土坑は、古代(平安時代)に属すると考えられる。

#### (6) 炭 窯 跡

5区の頂部で2基確認した。埋土の最下層に炭化物の堆積を確認し、底面に被熱して赤変した部分を確認して炭窯跡と判断した。個々の炭窯跡の計測値などは、第39表 炭窯跡観察表を参照されたい。

#### S W04炭窯跡

遺構(第106図、写真図版82)

[位置・検出状況] 5区の北側、ⅣA 1eグリッド。Ⅳ層上面で炭化物と焼土粒の混入する黒褐色土の楕円形の広がりとして検出した。

[重複関係] なし。

[規模・平面形] 規模は、104×91cmである。平面形は楕円形である。

[埋土・堆積状況] 炭化物と焼土粒を含む黒褐色土主体で構成される。自然堆積と考えられる。

[壁・底面] 壁・底面はⅣ層を掘り込んで構築されている。壁は緩やかに外側に向かって立ち上がる。壁高は最大で23cmである。底面はほぼ平坦であり、被熱による熱変色が見られる。

[その他の付属施設] なし。

遺物 炭化材0.36gが出土した。

時期 周辺の遺構との関係から古代の遺構と推定される。

(野中裕貴)

#### S W05炭窯跡

遺構(第106図、写真図版82)

[位置・検出状況] 5区、ⅣA 2gグリッド。表土除去後、焼土粒の混じる炭化物のまとまりを検出した。精査を行い、埋土下位に炭の集中した土層を確認し、底面に焼土を確認し、炭窯跡と認定した。

[重複関係] 南側でS K111土坑と重複する。本遺構で調査時に設定した土層観察用のベルトで、S K111土坑埋土を切って炭を含む黒色土層が堆積しており、S W05炭窯跡が新しいと判断した。

[規模・平面形] 規模は残存部で60×50cmを測る。平面形は楕円形を呈する。

[埋土・堆積状況] 炭化物粒・炭化材を多く含む黒褐色土、黒色土を主体として、にぶい黄褐色土、灰黄褐色土に分層した。底面にはⅣ層が焼成したとみられる暗赤褐色土・にぶい橙色土がみられた。

[壁・底面] 壁・底面ともにS K111土坑埋土上位を掘り込む。壁はやや外傾し、高さ10cmである。底面は、ほぼ平坦につくられているが、攪乱の影響により部分的に窪む。

[その他の付属施設] なし。

遺物 炭化材34.65gが出土した。

時期 周辺の遺構との関係から古代の遺構と推定される。炭化材の年代測定の結果は、860±20yrBP(補正あり)、1,166~1,210calAD(1σ)であり(Ⅶ 分析・鑑定)、周辺の遺構より、やや新しい傾向である。

(直江康雄)

## (7) 家畜埋葬墓墳

獣骨が出土した 7 基の土墳墓を確認した。個々の土坑の規模・形状は、第 40 表 家畜埋葬墓墳観察表に記した。以下、各土坑の特徴、遺構の重複関係や獣骨、副葬品の出土状況などについて記す。

なお、近代以降の遺構のため、時期判断の目安となった遺物を掲載したほか、獣骨は個々の同定作業を行い、作成した表を掲載した。個々の獣骨の写真撮影等は行わなかった。同定作業は、阿部が分類・同定を行った後、金井 慎司氏（バリノ・サーヴェイ株式会社）の指導を受けた。

## S X 01～07 家畜埋葬墓墳

遺構（第 107 図、写真図版 83・84）

5 区中段の V A 5 e～7 f グリッド付近、標高 40～41m 付近で、はじめ T 148 トレンチを入れて調査し、獣骨などが出土したことから、範囲を拡大して検出作業を行い、獣骨を伴う土坑 7 基（S X 01～07）を確認した。規模は、S X 01・03・04・05 家畜埋葬墓墳など径 200cm を超える大きなものと、S X 02・06・07 家畜埋葬墓墳など径 100cm 以下の小さいものに大別される。平面形は楕円形を基調とし、等高線と平行して長軸が設定されているようである。また、等高線に直交するように北西～南東方向に墓墳が連続して設けられていった状況と推測した。7 基とも径 6～7m の狭い範囲にまとまっている。一部の土坑から副葬品とみられる陶器・磁器や鉄製手鎌、ガラス片などが出土し、土坑を検出した範囲の周辺からもビール瓶が出土した。獣骨の残存状態や副葬品から近・現代の家畜を埋葬した土墳墓（以下、家畜埋葬墓墳または墓墳と記す）と推定し、調査を進めた。検出段階で 1 基と判断した墓墳が、調査とともに複数基の重複した墓墳と判明した事例や、1 基の墓墳に複数の動物遺体を埋葬したと判断できる事例もあった。

確認した獣骨は、ウマ・ウシ・カモシカなど四足胴長の動物の獣骨である。墓墳の埋土は、明黄褐色土ブロックを含む、にぶい黄褐色土を主体とし、穴を掘った際の廃土の埋め戻しと推測された。また、墓墳底面の中央付近に締まりの弱い暗褐色土を確認した箇所は、埋葬された獣骨の肋骨が出土した位置で、四足胴長の動物を横臥の状態で見つけた際、肋骨に覆われた内臓部分が腐食して土壌化したものと推測された。埋葬された動物の大きさを反映する土坑の規模から、大型動物のウシ・ウマを埋葬した S X 01・03・04・05 墓墳と、小型動物を埋葬した S X 02・06・07 墓墳に大別される。S X 04 墓墳には、カモシカ 1.5 歳以下が含まれていたが、隣接する S X 06 墓墳の獣骨の取り上げ時に混入したと判断した。埋葬した際の頭部の位置に統一性はない。出土した獣骨の内訳は次のとおりである。

- ・ S X 01: b.ウマ雌（下） → a.ウシ（上）／2 体
- ・ S X 02: 不明
- ・ S X 03: c.ウマ（下） → b.ウマ雌（中） → a.ウマ雌（上）／3 体
- ・ S X 04: ウシ
- ・ S X 05: b.ウマ雌（下） → a.ウシ（上）／2 体
- ・ S X 06: カモシカ 1.5 歳以下
- ・ S X 07: カモシカ

S X 01 墓墳の獣骨種は、ウシ・ウマで、埋葬の順は、ウマ（下）→ウシ（上）である。トレンチ 148 を掘り進めた際に上部を削平してしまっているが、トレンチ 148 の調査時に獣骨が出土したことから、墓墳の存在を認識した。S X 03 墓墳は、南側で S X 02・07 墓墳、北側で 06 墓墳と重複する。S X 02 墓墳の獣骨種は不明である。S X 03 墓墳には、3 体のウマが埋葬されており、土坑の形状も大小の

土坑が重なり合う形状で、2基の土坑(SX03-1・2)の重なった状態であると推測した。調査時には、獣骨はA～Eの5体と認識して取り上げたが、整理段階での接合や部位の確認から、A～Cの3体と判断した。副葬品として鉄製の手鎌、陶器碗の破片が出土している。SX04・05墓壇は重複し、SX05墓壇が新しい。SX04墓壇にはウシが埋葬され、副葬品として埋土から磁器の小碗が出土した。SX05墓壇の獣骨種は、ウマ(下)→ウシ(上)の2体で、埋葬順もSX01墓壇と同じである。SX06墓壇はSX03墓壇と重複するが、新旧関係の特定には至らなかった。獣骨種はカモシカである。SX07墓壇はSX02・03墓壇と重複し、両者より古い。小型で、獣骨種はカモシカであった。

**遺物** (第110・113図、写真図版86・89)

SX03墓壇から陶器碗(441)の破片と鉄製の手鎌(463)、SX04墓壇から磁器碗の完形品(442)、SX01・03・06墓壇からガラスの破片が出土した。トレンチ148周辺からはガラス瓶(大日本ビール)(471)も出土しており、墓壇出土のガラス片も類似する容器のガラス片と推測される。

**時期** 副葬された遺物から、近代の可能性が高いと推定する。破片の碗やガラス片は混入した可能性があるが、完形で出土した磁器碗と鉄製手鎌は、副葬品と考えられる。

**参考** 石碑と家畜埋葬墓壇について(第110図 写真図版84)

SX01～07家畜埋葬墓壇の調査地点から南南東約350mの位置、近内川に架かる坂本橋の北側に石碑群が位置する。同地点は、近内川流域から家畜埋葬墓が確認された地点へと通じる谷部への入り口にあたる場所である。現在、石碑群は南向きに一列に建てられ、13基が並ぶ。配列に年代順などの規則性は認められない。昭和59年、平成27年のいずれの石碑調査の報告でも、8基の石碑が記録・報告されている(註1)。このなかで動物の埋葬に係る石碑は2基で、「馬頭観世音 昭和六年旧四月廿日 木村二三郎」(H03-02)、「牛観世音 昭和十二年旧十月二十日※右側面 木村恵助」(H03-03)である(註2)。昭和六年(1931)・昭和十二年(1937)の年代は、戦前(近代)であり、墓壇から出土した遺物の年代観と大きな齟齬がない。これらの石碑は、家畜埋葬墓壇が設けられた時期に設置されたものと推測しておきたい。

#### 註

- (1) 宮古市教育委員会 1984「宮古市の石碑」、同2010「宮古市の石碑」。後者は、宮古市・田老町・新里村の合併に伴い、編集されたものである。解題(P2・3)に次の記載がある。「6. 生業に関するもの・馬頭観世音：牛馬とくに馬の供養として祀られたもの・牛馬：牛馬の安全や供養としての碑文・鳥獣：碑文に獣・狸などがあるもので、狩猟に関するもの。」
- (2) 他に報告書未掲載の石碑として「鳥獣供養塔 昭和五十九年十一月吉日 功德主木村金実 建之」がある。墓壇の状態から石碑調査後に新設した石碑と推測する。

#### 参考文献

- 財団法人 北海道埋蔵文化財センター 1988「函館市桔梗2遺跡—一般国道5号函館新道路改良工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書」(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告書 第46集
- 宮古市教育委員会 1992「早稲橋Ⅱ遺跡—第1次・第2次発掘調査報告書」宮古市埋蔵文化財調査報告書39
- 宮古市教育委員会 1984「宮古市の石碑」
- 財団法人 北海道埋蔵文化財センター 2000「八雲町シラリカ2—北海道縦貫自動車道(七坂～長万部)埋蔵文化財発掘調査報告書」(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告書 第142集
- 独立行政法人 文化財研究所・奈良文化財研究所 埋蔵文化財センター 遺物調査研究室 松井 章 編集 2006「動物考古学の手引き」
- 宮古市教育委員会 2010「宮古市の石碑」

第35表 型六住居跡観察表

遺構名	区域	位置 (オウツツ)	棟高 (m)	平面形	東西 (m)		サマツ	構造	主軸方位	柱穴 (楕円・方形)	埋土層状況		遺構	時期	備考	図面 No.	
					幅	高さ					状況	状況					
SI10	5	IV A10a・10f	IV層	隅方	隅方	(4.8) × (3.3)	(4.2) × (3.0)	0.82	—	1 (西)	くち抜き? W・E・S	3 不明	有 有	SK119 → SK14	古代	西側溝 区域外	90・97
SI11	5	IV A31・32a	IV層	隅方	隅方	0.54 × (4.6)	(3.0) × (3.8)	0.55	—	1 (北西)	無	不明	有	SK119 上遺層 SK120 → SK12 → SK201	古代	西側溝 区域外	92・98
SI12	5	IV A3b・3f	IV層	隅方	隅方	(4.4) × (3.5)	(3.8) × (2.7)	0.67	(10.66)	1 (北)	くち抜き	N・S・W	有	SK120 上遺層 SK121	古代	西側溝 区域外	93・94
SI13	5	IV A4d・5d	IV層	隅方	隅方	(3.0) × (2.0)	(2.6) × (1.5)	0.5	—	2 (北東)	くち抜き	N・E・W	無	SK117 上遺層	古代	西側溝 区域外	95・70
SI14	5	IV A3d・9a	IV層	隅方	隅方	(3.78) × (1.81)	(4.0) × (1.4)	0.36	—	1 (北)	無	不明	無	SK119 → SK14	古代?	西側溝 区域外	90・71

第36表 型六住居構跡観察表

遺構名	区域	位置 (オウツツ)	平面形	棟高 (m)	東西 (m)		柱穴 (楕円・方形)	埋土層状況 (上段・下段) (人形・自然)	構造	柱穴 (楕円・方形)	埋土層状況 (上段・下段) (人形・自然)	遺構	時期	備考	図面 No.	
					幅	高さ										
SK101	5	IV A4c・4f・5c・5f	IV層	隅方	隅方	(3.6) × (1.9)	0.25	—	0	不明	無	SK112 → SK201	古代?	96	72	
SK102	5	IV A4f・4g	IV層	隅方	隅方	(2.5) × (1.0)	(2.1) × (0.8)	0.2	—	0	不明	無	SK120 → SK119 → SK121	古代?	96	72

第37表 工房跡観察表

遺構名	区域	位置 (オウツツ)	平面形	東西 (m)		埋土層状況 (上段・下段) (人形・自然)	構造	柱穴 (楕円・方形)	埋土層状況 (上段・下段) (人形・自然)	遺構	時期	備考	図面 No.		
				幅	高さ										
SK111	5	V A8f	IV層	隅方	隅方	(3.5) × (1.5)	(3.2) × (1.0)	0.3	—	1 不明	有	SK122 上遺層	古代?	96	72

第38表 土塔跡観察表 (1)

遺構名	区域	位置 (オウツツ)	平面形	東西 (cm)		埋土層状況 (上段・下段) (人形・自然)	構造	柱穴 (楕円・方形)	埋土層状況 (上段・下段) (人形・自然)	遺構	時期	備考	図面 No.		
				幅	高さ										
SK106	5	IV A8f・9f	IV層	隅方	隅方	128 × 95	140 × 130	50	7.9 × 6.3	無	無	SK122 上遺層	古代	97	73
SK107	5	IV A8g・9g	IV層	隅方	隅方	192 × 165	175 × 155	90	6.7 × 9.7	無	無	SK122 上遺層	古代	97	73
SK108	5	IV A8g・9b	IV層	隅方	隅方	130 × 130	148 × 145	95	7.9 × 5.3	無	無	SK122 上遺層	古代	98	73

第38表 土坑部観察表(2)

(単位) : 立方メートル

遺物名	区域	位置 (マウス)	検出経	底面	平面形状	量 (g)			断面形状	土質・土壌状況 (上・中・下) (人・品・石底)	産出関係 (注→前)	付属施設	時期	備考	図説No. 写真No.
						開口部	底面	容積							
SK209	5	Ⅱ A4g・5b・ Ⅱg・10b	Ⅱ層	Ⅱ層	円形	460 × 100	210 × 210	100	フラスコ	黒褐色・褐色・にんげい黄褐色 白色	SK209 → SK208	無	古代	98	73
SK200	5	Ⅱ A10g	Ⅱ層	Ⅱ層	円形	425 × 108	114 × 110	50	フラスコ	にんげい黄褐色	SK100 → SK101	無	古代	98	74
SK201	5	Ⅱ A3g・30g	Ⅱ層	Ⅱ層	円形	170 × 170	165 × 165	115	フラスコ	にんげい黄褐色・黒褐色・にんげい黄褐色 白色	SK100 → SK101	無	古代	98	74
SK202	5	Ⅱ A10b	Ⅱ層	Ⅱ層	円形	190 × 185	235 × 220	110	フラスコ	灰青褐色	無	無	古代	99	74
SK203	5	Ⅱ A10g・10b	Ⅱ層	Ⅱ層	円形	130 × 124	115 × 110	50	フラスコ?	にんげい黄褐色・灰青褐色・にんげい黄褐色 白色	無	無	古代	99	74
SK204	5	Ⅱ A1g	Ⅱ層	Ⅱ層	円形	130 × 130	140 × 130	60	フラスコ	にんげい黄褐色・にんげい黄褐色	無	無	古代	99	75
SK205	5	Ⅱ A4g・1b	Ⅱ層	Ⅱ層	円形	175 × 165	165 × 175	80	フラスコ	にんげい黄褐色・にんげい黄褐色 白色	無	無	古代	99	75
SK206	5	Ⅱ A2b・2	Ⅱ層	Ⅱ層	円形	140 × 120	120 × 110	30	フラスコ?	灰青褐色・黒褐色	無	無	古代	100	75
SK207	5	Ⅱ A3b	Ⅱ層	Ⅱ層	円形	150 × 145	155 × 145	30	フラスコ	灰青褐色・黒褐色	無	無	古代	100	76
SK208	5	Ⅱ A3g	Ⅱ層	Ⅱ層	円形	230 × 200	230 × 215	70	フラスコ	にんげい黄褐色・黒褐色 白色	SK108 → SK109	無	古代	100	76
SK209	5	Ⅱ A3g	Ⅱ層	Ⅱ層	円形	140 × 125	150 × 130	80	フラスコ	灰白色・にんげい黄褐色	SK108 → SK109	無	古代	100	76
SK210	5	Ⅱ A4g・4b	Ⅱ層	Ⅱ層	円形	135 × 130	140 × 128	105	フラスコ	にんげい黄褐色・にんげい黄褐色 白色	無	無	古代	100	76
SK211	5	Ⅱ A2g・3g	Ⅱ層	Ⅱ層	円形	140 × 130	135 × 140	110	フラスコ	にんげい黄褐色・にんげい黄褐色・灰青褐色 白色	SK111 → SW05	無	古代	101	77
SK212	5	Ⅱ A2f	Ⅱ層	Ⅱ層	円形	155 × 140	174 × 160	60	フラスコ	にんげい黄褐色・褐色	無	無	古代	101	77
SK213	5	Ⅱ A5f	Ⅱ層	Ⅱ層	円形?	(100) × 40	(60) × 40	15	フラスコ?	にんげい黄褐色	無	無	古代	101	77
SK214	5	Ⅱ A3f・3g・ 4f・4g	Ⅱ層	Ⅱ層	円形	155 × 147	200 × 185	95	フラスコ	褐色・にんげい黄褐色・黒褐色 白色	無	無	古代	101	78
SK215	5	Ⅱ A3f・4f	Ⅱ層	Ⅱ層	円形	140 × 135	146 × 140	70	フラスコ	にんげい黄褐色・にんげい黄褐色 白色	無	無	古代	102	78
SK216	5	Ⅱ A3e	Ⅱ層	Ⅱ層	円形	130 × 110	300 × 180	155	フラスコ	黒褐色・灰青褐色・にんげい黄褐色 白色	SK11と産出	無	古代	102	78
SK217	5	Ⅱ A3f・4d	Ⅱ層	Ⅱ層	円形	130 × 120	150 × 125	70	フラスコ	黒褐色・にんげい黄褐色・黒褐色 白色	SK13と産出	無	古代	102	79
SK218	5	Ⅱ A4e・4f	Ⅱ層	Ⅱ層	円形	143 × 128	162 × 160	85	フラスコ	灰青褐色	無	無	古代	102	79
SK219	5	Ⅱ A4g	Ⅱ層	Ⅱ層	円形?	65 × 55	45 × 30	30	瓶形	にんげい黄褐色・灰青褐色 白色	SK120 → SK119 → SK102	無	古代?	103	79
SK220	5	Ⅱ A4g	Ⅱ層	Ⅱ層	円形	(110) × 100	95 × 80	22	瓶形	灰青褐色・褐色	SK120 → SK119 → SK102	無	古代?	103	79
SK221	5	Ⅱ A4e・5e	Ⅱ層	Ⅱ層	円形	136 × 148	180 × 180	110	フラスコ	黒褐色・褐色・黒褐色 白色	無	無	縄文	103	80

第38表 土坑観察表 (3)

遺構名	区域	位置 (マウスコード)	検出証	底面	平面形状	縦横 (cm)		断面形状	土質・土質状況 (上段→下段) (人・鳥・自然)	遺構関係 (旧→新)	時期	備考	図面番	写真番
						開口部	底面							
SK122	5	V A3a・6r	遺構	円形	円形	180 × 53	100 × 140	130	フラスコ 暗褐色・に・灰・黄褐色・に・灰・黄褐色	SK111 と 重複	古代		104	80
SK123	5	V A3b・6a	遺構	円形	円形	175 × 172	200 × 190	85	に・灰・黄褐色・暗褐色・に・灰・黄褐色 白色		古代		104	80
SK124	5	V A2a・2r	遺構	円形	円形	205 × 200	210 × 205	90	に・灰・黄褐色・暗褐色・に・灰・黄褐色 白色		古代		105	80
SK125	5	V A6f・6e 7r・2r	遺構	円形	円形	190 × 170	220 × 205	110	に・灰・黄褐色・灰褐色・に・灰・黄褐色 白色	SK125 → SK01	縄文1		105	81
SK126	5	V A4d	遺構	円形	円形?	(100) × (80)	90 × (50)	25	灰褐色 白色		古代	貝類	105	81
SK127	5	V A5a	遺構	楕円形?	楕円形?	(140) × (160)	(110) × (90)	55	に・灰・黄褐色・暗褐色・に・灰・黄褐色 白色	SK127 → SK128	古代	西側溝長尺域外	106	81
SK128	5	V A5a	遺構	円形?	円形?	(130) × (115)	(120) × (105)	20	に・灰・黄褐色 白色	SK127 → SK128	古代	西側溝長尺域外	106	81
SK129	5	V A3d・6r	遺構	円形	長方形?	200 × 75	185 × 40	15	灰褐色・に・灰・黄褐色 白色	SK129 → SK12	古代		106	82

(数値): 残存率

第39表 炭層観察表

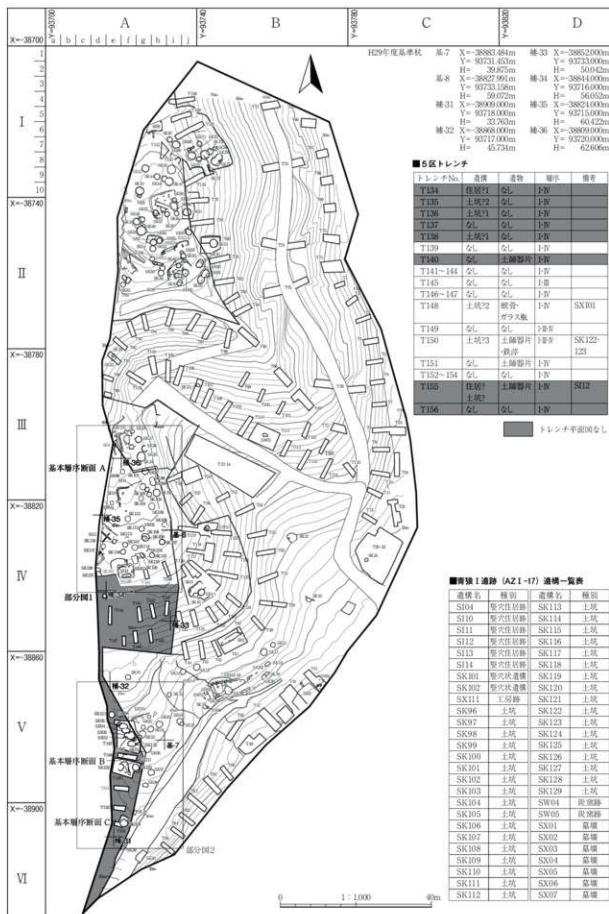
遺構名	区域	位置 (マウスコード)	検出証	底面	平面形状	縦横 (cm)		断面形状	土質・土質状況 (上段→下段) (人・鳥・自然)	遺構関係	時期	備考	図面番	写真番
						開口部	底面							
SW04	5	V A1e	遺構	遺構	楕円形	104 × 91	90 × 74	23	黒褐色 人・鳥		古代		106	82
SW05	5	V A2g	遺構	遺構	楕円形	60 × 50	55 × 30	10	黒色 人・鳥	SK111 → SW05	古代		106	82

第40表 家畜埋葬墓観察表

遺構名	区域	位置 (マウスコード)	検出証	底面	平面形状	縦横 (cm)		断面形状	土質・土質状況 (上段→下段) (人・鳥・自然)	付属施設	遺構関係 (旧→新)	遺物	時期	備考	図面番	写真番
						開口部	底面									
SK01	5	V A6f・7r	遺構	円形	楕円形	200 × 180	190 × 115	30	に・灰・黄褐色・に・灰・黄褐色 人・鳥		SK125 → SK01	無	近・現代	獣骨: a.ウシ・b.ウマ	107	83
SK02	5	V A6f	遺構	円形	楕円形?	(60) × (41)	(25) × (18)	13	不明 に・灰・黄褐色・暗褐色 人・鳥		SK07 と 重複	無	近・現代	獣骨: 不明	107	83
SK03	5	V A6f	遺構	円形	楕円形	245 × 200	160 × 140	80	に・灰・黄褐色・暗褐色 人・鳥		SK08・旧 と 重複	陶器・鎌	近・現代	獣骨: a.ウマ・b.ウマ・c.ウマ	107	83
SK04	5	V A6f	遺構	円形	楕円形	245 × (130)	140 × 85	43	に・灰・黄褐色・暗褐色 人・鳥		SK04 → SK05	磁器	近・現代	獣骨: ウシ・小動物?	107	83・84
SK05	5	V A6e・6f・6e・6f	遺構	円形	楕円形	200 × 180	190 × 70	60	に・灰・黄褐色・暗褐色 人・鳥		SK04 → SK05	無	近・現代	獣骨: a.ウシ・b.ウマ	107	83・84
SK06	5	V A6f	遺構	円形	楕円形?	(75) × (30)	(30) × (10)	30	に・灰・黄褐色 人・鳥		SK02 と 重複	ガラス片	近・現代	獣骨: カモシカ	107	83
SK07	5	V A6f	遺構	円形	楕円形?	(60) × (45)	(70) × (25)	25	暗褐色・暗褐色 人・鳥		SK02・旧 と 重複	無	近・現代	獣骨: カモシカ	107	83・84

(数値): 残存率





H29年度基準杖

基-7	X=38883.484m Y=93731.433m H=39.875m	基-33	X=38852.000m Y=93723.000m H=50.62m
基-8	X=38827.991m Y=93733.136m H=59.022m	基-34	X=38844.000m Y=93716.000m H=54.652m
基-31	X=38809.000m Y=93718.000m H=33.763m	基-35	X=38824.000m Y=93715.000m H=60.622m
基-32	X=38868.000m Y=93717.000m H=45.734m	基-36	X=38889.000m Y=93720.000m H=62.606m

■5区トレンチ

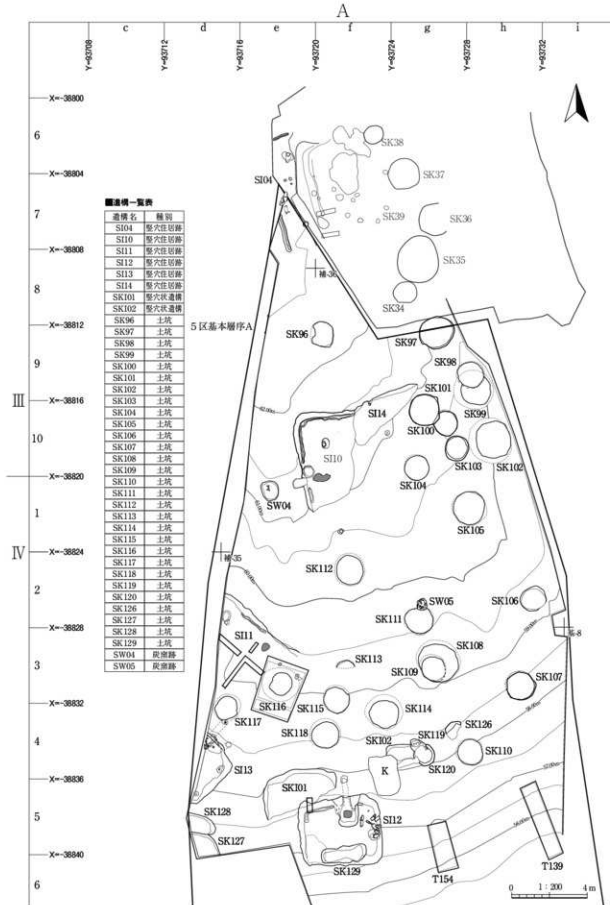
トレンチNo.	遺構	遺物	層号	備考
T134	住居?1	なし	F-W	
T135	土坑?2	なし	F-W	
T136	土坑?1	なし	F-W	
T137	なし	なし	F-W	
T138	土坑?1	なし	F-W	
T139	なし	なし	F-W	
T140	なし	土師器片	F-W	
T141~144	なし	なし	F-W	
T145	なし	なし	F-W	
T146~147	なし	なし	F-W	
T148	土坑?2	硬砂 ガラス片	F-W	SK101
T149	なし	なし	F-W	
T150	土坑?3	土師器片 骨片	F-W	SK122-123
T151	なし	土師器片	F-W	
T152~154	なし	なし	F-W	
T155	住居?1	土師器片	F-W	SK12
T156	土坑?1	なし	F-W	

トレンチ平面図なし

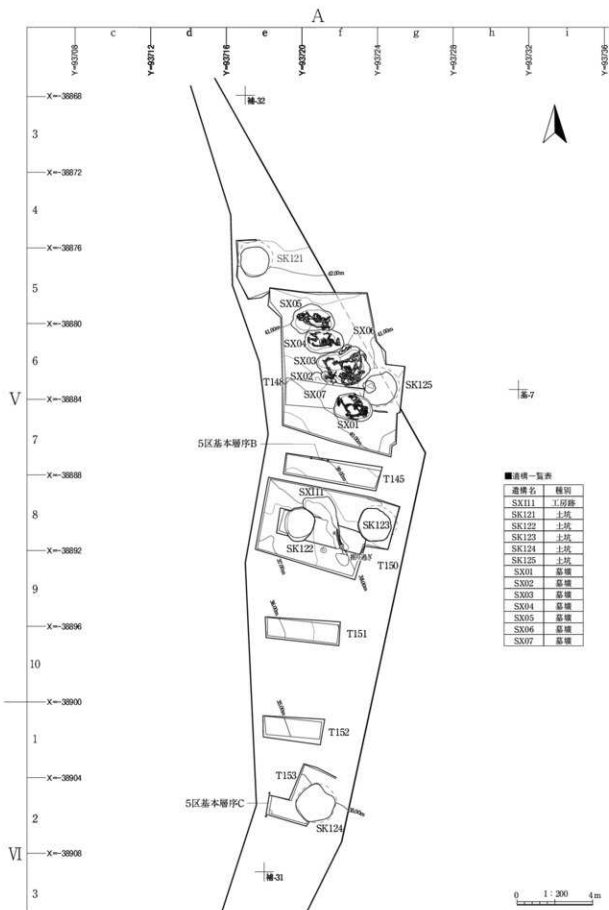
■遺構Ⅰ遺跡 (AZ1-17) 遺構一覧表

遺構名	種別	遺構名	種別
SI04	竪穴住居跡	SK113	土坑
SI10	竪穴住居跡	SK114	土坑
SI11	竪穴住居跡	SK115	土坑
SI12	竪穴住居跡	SK116	土坑
SI13	竪穴住居跡	SK117	土坑
SI14	竪穴住居跡	SK118	土坑
SK101	竪穴状遺構	SK119	土坑
SK102	竪穴状遺構	SK120	土坑
SK111	工房跡	SK121	土坑
SK96	土坑	SK122	土坑
SK97	土坑	SK123	土坑
SK98	土坑	SK124	土坑
SK99	土坑	SK125	土坑
SK100	土坑	SK126	土坑
SK101	土坑	SK127	土坑
SK102	土坑	SK128	土坑
SK103	土坑	SK129	土坑
SK104	土坑	SW04	灰産跡
SK105	土坑	SW05	灰産跡
SK106	土坑	SK01	竪坑
SK107	土坑	SK02	竪坑
SK108	土坑	SK03	竪坑
SK109	土坑	SK04	竪坑
SK110	土坑	SK05	竪坑
SK111	土坑	SK06	竪坑
SK112	土坑	SK07	竪坑

第87図 遺構配置図 平成29年度調査 全体図

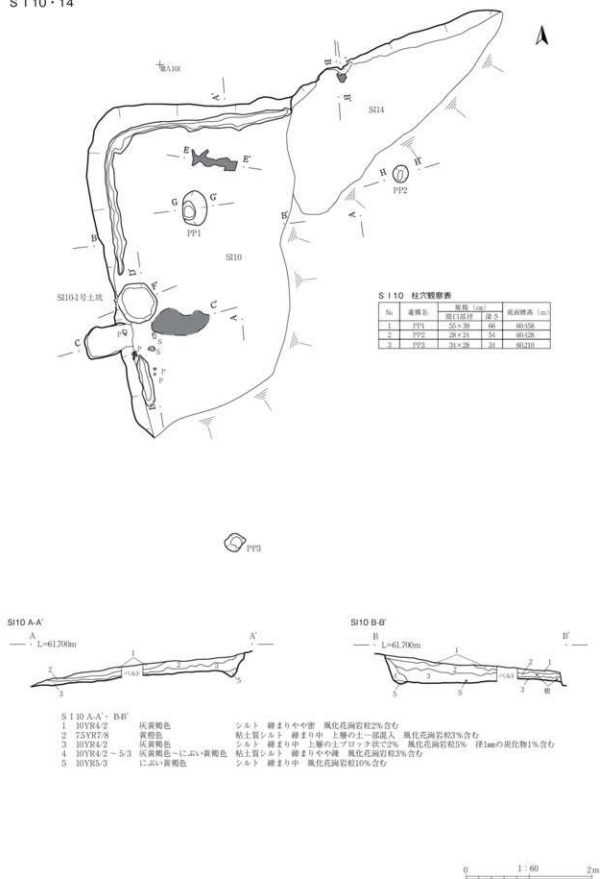


第88図 遺構配置図 平成29年度調査 部分図1



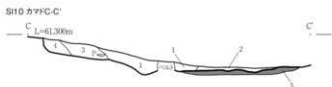
第89図 遺構配置図 平成29年度調査 部分図2

S110・14



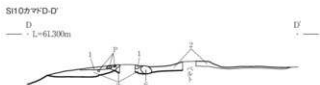
第90図 S110・14 (1/2) 竪穴住居跡

1 検出遺構



S10 カマド C-C'

- S10 カマド C-C'
- 10YR4/2 灰黄褐色 シルト 締まり中 25YR6-8棕色の焼土ブロック状で2% 風化花崗岩粒5% 径1mmの炭1%含む
  - 7.5YR4/3 褐色 シルト 締まり中 25YR6-8棕色の焼土ブロック状で2% 径1mmの炭化物2%含む
  - 10YR6/3 にぶい黄褐色 粘土質シルト 締まり中 25YR4-6赤褐色の焼土ブロック状で2% 風化花崗岩粒5% 土器片含む ※カマド構築上の積層上か
  - 10YR4/2 灰黄褐色 シルト 締まりやや密 風化花崗岩粒3%含む
  - 2.5YR5/6 明赤褐色 焼土 締まりやや密 焼土部焼土



S10 カマド D-D'

- S10 カマド D-D'
- 10YR2/1 黒色 炭化物層 締まりやや疎 (B-B'の2層と同一層)
  - 10YR4/2 灰黄褐色 シルト 締まり疎 風化花崗岩粒5%含む (B-B'の3層と同一層)



S10 焼土 E-E'

- S10 焼土 E-E'
- 2.5YR5/6 明赤褐色 焼土 締まり密 (現地性焼土)



S10 1号土坑 F-F'

- S10 1号土坑 F-F'
- 10YR3/2 黒褐色 シルト 締まり中 風化花崗岩粒5% 径1mmの炭化物1% 径1mmの5YR5-8明赤褐色焼土粒1%含む

S10 1号土坑 F-F'

- S10 1号土坑 F-F'
- 10YR3/2 黒褐色 シルト 締まり中 風化花崗岩粒5% 径1mmの炭化物1% 径1mmの5YR5-8明赤褐色焼土粒1%含む



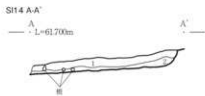
S10 PP1 G-G'

- S10 PP1 G-G'
- 10YR3/2 黒褐色 シルト 締まり中 風化花崗岩粒5% 径1mmの炭化物 土器片含む
  - 10YR3/2 黒褐色 シルト 締まりやや疎 風化花崗岩粒10%含む
  - 10YR4/2 灰黄褐色 シルト 締まりやや疎 風化花崗岩粒50%含む



S10 PP2 H-H'

- S10 PP2 H-H'
- 10YR3/2 黒褐色 シルト 締まり中 風化花崗岩粒5%含む
  - 10YR3/2 黒褐色 シルト 締まりやや疎 風化花崗岩粒10%含む



S14 A-A'

- S14 A-A'
- 10YR5/3 にぶい黄褐色 シルト 締まりやや密 風化花崗岩粒5% 径1mmの炭化物1%含む
  - 10YR4/2 灰黄褐色 シルト 締まりやや疎 風化花崗岩粒10% 5YR6-6棕色の焼土ブロック状で2%含む



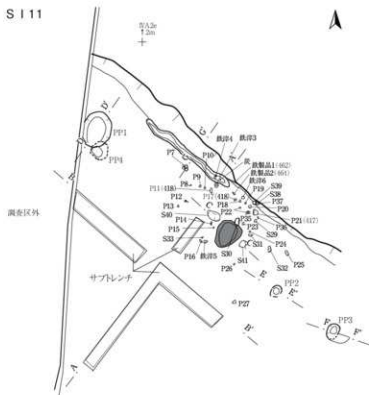
S14 B-B'

- S14 B-B'
- 10YR4/2 灰黄褐色 シルト 締まりやや疎 風化花崗岩粒10% 5YR6-6棕色焼土ブロック状で2%含む



第91図 S110・14 (2/2) 竈穴住居跡

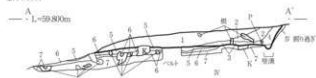
S 111



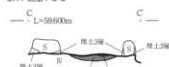
S 111 柱穴観察表 (数値) : 地表面

No.	遺構名	規模 (m) 開口基準	深さ	底面標高 (m)
1	PP1	56×41	25	59000
2	PP2	200×18	17	59050
3	PP3	200×18	30	58532
4	PP4	20×5(2)	41	98511

S111 A-A'



S111 礎土1 C-C'



S 111 礎土1 C-C'

- 1 5YR4/4 にふいせ褐色 砂質粘土 締まり中 炭化物粒1%含む  
2 2.5YR5/6 明赤褐色 砂質シルト 締まり中 苔が残土化した層

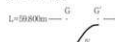
S111 PP2 E-E'



S 111 PP2 E-E'

- 1 10YR5/4 にふい黄褐色 砂質シルト 締まりやや硬 マサ土粒5%含む  
2 10YR6/4 にふい黄褐色 砂質シルト 締まりやや硬 マサ土粒10%含む

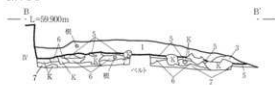
S111 礎土1 G-G'



S 111 礎土1 G-G'

- 1 10YR5/4 にふい黄褐色 砂質シルト 締まり中 マサ土粒23%含む

S111 B-B'



S 111 A-A'・B-B'

- 1 10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 締まり中  
2 10YR6/4 にふい黄褐色 砂質シルト 締まり中  
3 10YR2/3 黒褐色 砂質シルト 締まり中  
4 10YR4/4 褐色 砂質シルト 締まりやや硬  
5 10YR5/3 にふい黄褐色 砂質シルト 締まり中 マサ土粒15%含む  
6 10YR2/4 にふい黄褐色 砂質シルト 締まり中 マサ土粒30%含む  
7 10YR8/4 浅黄褐色 砂質シルト 締まりやや硬 マサ土粒50%含む  
壊溝 10YR5/4 にふい黄褐色 砂質シルト 締まり中 マサ土粒3%含む

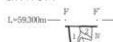
S111 PP1 D-D'



S 111 PP1 D-D'

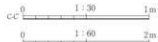
- 1 10YR5/4 にふい黄褐色 砂質粘土 締まりやや硬 炭化物粒1%  
マサ土粒5%含む

S111 PP3 F-F'



S 111 PP3 F-F'

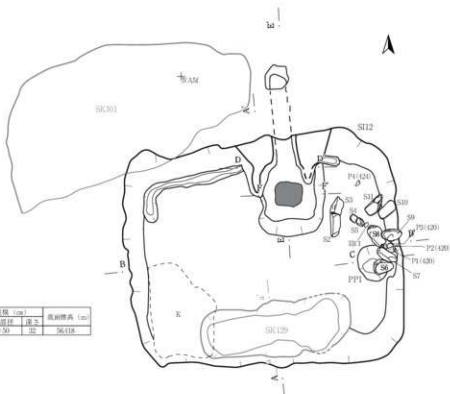
- 1 10YR6/3 にふい黄褐色 砂質シルト 締まりやや硬 マサ土粒5%含む  
2 10YR7/4 にふい黄褐色 砂質シルト 締まり中 マサ土粒状に15%含む  
3 10YR7/6 明黄褐色 砂質シルト 締まり中 マサ土粒状に10%含む



S 112

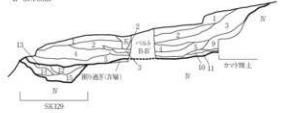
S 112 柱穴観察表

No	遺構名	規模 (cm)		底面標高 (cm)
		幅1部計	長さ	
1	PP1	38×30	32	36.118



S 112 A-A'

L=57.700m

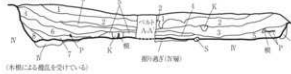


S 112 A-A', B-B'

- 1 10YR5/3 にぶい黄褐色 粗砂 織まり中 (B層起源)  
10YR7/2L, 5L, 黄褐色, 粗砂5%含む  
砂質シルト 織まり中
- 2 10YR4/2 灰黄褐色 粗砂 織まり中 (B層起源)  
10YR3/1黒褐色砂質シルト40% 炭化物1%含む  
粗砂 織まり中 炭化物1%含む
- 3 10YR4/3 にぶい黄褐色 粗砂 織まり中 10YR3/1黒褐色砂質シルト30%  
炭化物1%含む
- 4 10YR4/2 灰黄褐色 粗砂 織まり中 炭化物1% 10YR6/6明黄褐色1%  
10Y20/2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 28, 29, 30, 31, 32, 33, 34, 35, 36, 37, 38, 39, 40, 41, 42, 43, 44, 45, 46, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 55, 56, 57, 58, 59, 60, 61, 62, 63, 64, 65, 66, 67, 68, 69, 70, 71, 72, 73, 74, 75, 76, 77, 78, 79, 80, 81, 82, 83, 84, 85, 86, 87, 88, 89, 90, 91, 92, 93, 94, 95, 96, 97, 98, 99, 100, 101, 102, 103, 104, 105, 106, 107, 108, 109, 110, 111, 112, 113, 114, 115, 116, 117, 118, 119, 120, 121, 122, 123, 124, 125, 126, 127, 128, 129, 130, 131, 132, 133, 134, 135, 136, 137, 138, 139, 140, 141, 142, 143, 144, 145, 146, 147, 148, 149, 150, 151, 152, 153, 154, 155, 156, 157, 158, 159, 160, 161, 162, 163, 164, 165, 166, 167, 168, 169, 170, 171, 172, 173, 174, 175, 176, 177, 178, 179, 180, 181, 182, 183, 184, 185, 186, 187, 188, 189, 190, 191, 192, 193, 194, 195, 196, 197, 198, 199, 200, 201, 202, 203, 204, 205, 206, 207, 208, 209, 210, 211, 212, 213, 214, 215, 216, 217, 218, 219, 220, 221, 222, 223, 224, 225, 226, 227, 228, 229, 230, 231, 232, 233, 234, 235, 236, 237, 238, 239, 240, 241, 242, 243, 244, 245, 246, 247, 248, 249, 250, 251, 252, 253, 254, 255, 256, 257, 258, 259, 260, 261, 262, 263, 264, 265, 266, 267, 268, 269, 270, 271, 272, 273, 274, 275, 276, 277, 278, 279, 280, 281, 282, 283, 284, 285, 286, 287, 288, 289, 290, 291, 292, 293, 294, 295, 296, 297, 298, 299, 300, 301, 302, 303, 304, 305, 306, 307, 308, 309, 310, 311, 312, 313, 314, 315, 316, 317, 318, 319, 320, 321, 322, 323, 324, 325, 326, 327, 328, 329, 330, 331, 332, 333, 334, 335, 336, 337, 338, 339, 340, 341, 342, 343, 344, 345, 346, 347, 348, 349, 350, 351, 352, 353, 354, 355, 356, 357, 358, 359, 360, 361, 362, 363, 364, 365, 366, 367, 368, 369, 370, 371, 372, 373, 374, 375, 376, 377, 378, 379, 380, 381, 382, 383, 384, 385, 386, 387, 388, 389, 390, 391, 392, 393, 394, 395, 396, 397, 398, 399, 400, 401, 402, 403, 404, 405, 406, 407, 408, 409, 410, 411, 412, 413, 414, 415, 416, 417, 418, 419, 420, 421, 422, 423, 424, 425, 426, 427, 428, 429, 430, 431, 432, 433, 434, 435, 436, 437, 438, 439, 440, 441, 442, 443, 444, 445, 446, 447, 448, 449, 450, 451, 452, 453, 454, 455, 456, 457, 458, 459, 460, 461, 462, 463, 464, 465, 466, 467, 468, 469, 470, 471, 472, 473, 474, 475, 476, 477, 478, 479, 480, 481, 482, 483, 484, 485, 486, 487, 488, 489, 490, 491, 492, 493, 494, 495, 496, 497, 498, 499, 500, 501, 502, 503, 504, 505, 506, 507, 508, 509, 510, 511, 512, 513, 514, 515, 516, 517, 518, 519, 520, 521, 522, 523, 524, 525, 526, 527, 528, 529, 530, 531, 532, 533, 534, 535, 536, 537, 538, 539, 540, 541, 542, 543, 544, 545, 546, 547, 548, 549, 550, 551, 552, 553, 554, 555, 556, 557, 558, 559, 560, 561, 562, 563, 564, 565, 566, 567, 568, 569, 570, 571, 572, 573, 574, 575, 576, 577, 578, 579, 580, 581, 582, 583, 584, 585, 586, 587, 588, 589, 590, 591, 592, 593, 594, 595, 596, 597, 598, 599, 600, 601, 602, 603, 604, 605, 606, 607, 608, 609, 610, 611, 612, 613, 614, 615, 616, 617, 618, 619, 620, 621, 622, 623, 624, 625, 626, 627, 628, 629, 630, 631, 632, 633, 634, 635, 636, 637, 638, 639, 640, 641, 642, 643, 644, 645, 646, 647, 648, 649, 650, 651, 652, 653, 654, 655, 656, 657, 658, 659, 660, 661, 662, 663, 664, 665, 666, 667, 668, 669, 670, 671, 672, 673, 674, 675, 676, 677, 678, 679, 680, 681, 682, 683, 684, 685, 686, 687, 688, 689, 690, 691, 692, 693, 694, 695, 696, 697, 698, 699, 700, 701, 702, 703, 704, 705, 706, 707, 708, 709, 710, 711, 712, 713, 714, 715, 716, 717, 718, 719, 720, 721, 722, 723, 724, 725, 726, 727, 728, 729, 730, 731, 732, 733, 734, 735, 736, 737, 738, 739, 740, 741, 742, 743, 744, 745, 746, 747, 748, 749, 750, 751, 752, 753, 754, 755, 756, 757, 758, 759, 760, 761, 762, 763, 764, 765, 766, 767, 768, 769, 770, 771, 772, 773, 774, 775, 776, 777, 778, 779, 780, 781, 782, 783, 784, 785, 786, 787, 788, 789, 790, 791, 792, 793, 794, 795, 796, 797, 798, 799, 800, 801, 802, 803, 804, 805, 806, 807, 808, 809, 810, 811, 812, 813, 814, 815, 816, 817, 818, 819, 820, 821, 822, 823, 824, 825, 826, 827, 828, 829, 830, 831, 832, 833, 834, 835, 836, 837, 838, 839, 840, 841, 842, 843, 844, 845, 846, 847, 848, 849, 850, 851, 852, 853, 854, 855, 856, 857, 858, 859, 860, 861, 862, 863, 864, 865, 866, 867, 868, 869, 870, 871, 872, 873, 874, 875, 876, 877, 878, 879, 880, 881, 882, 883, 884, 885, 886, 887, 888, 889, 890, 891, 892, 893, 894, 895, 896, 897, 898, 899, 900, 901, 902, 903, 904, 905, 906, 907, 908, 909, 910, 911, 912, 913, 914, 915, 916, 917, 918, 919, 920, 921, 922, 923, 924, 925, 926, 927, 928, 929, 930, 931, 932, 933, 934, 935, 936, 937, 938, 939, 940, 941, 942, 943, 944, 945, 946, 947, 948, 949, 950, 951, 952, 953, 954, 955, 956, 957, 958, 959, 960, 961, 962, 963, 964, 965, 966, 967, 968, 969, 970, 971, 972, 973, 974, 975, 976, 977, 978, 979, 980, 981, 982, 983, 984, 985, 986, 987, 988, 989, 990, 991, 992, 993, 994, 995, 996, 997, 998, 999, 1000

S 112 B-B'

L=57.400m



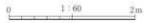
S 112 PP1 C-C'

L=56.800m



S 112 PP1 C-C'

- 1 10YR4/2 灰黄褐色 砂質シルト 織まり中 風化花崗岩粒2% φ2mm炭化物1%含む
- 2 10YR5/3 にぶい黄褐色 砂質シルト 織まりやや弱 風化花崗岩粒3% φ2mm炭化物1%含む
- 3 10YR3/2 黒褐色 シルト 織まり中 風化花崗岩粒2% φ1mm炭化物1%含む



第93図 S 112 (1/2) 壁穴住居跡

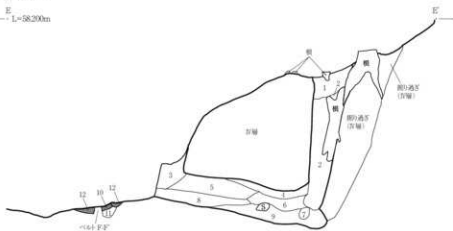
S112 カマド D-D'



S 112 カマド D-D'

1	10YR5/3	にぶい黄褐色	粗砂	締まり中	A-A'の9層に相当
2	10YR5/2	灰黄褐色	粗砂	締まり中	φ1mm炭化物1%含む
3	10YR5/3	暗褐色	砂質シルト	締まり中	5YR4/4にぶい赤褐色焼土粒含む
4	10YR5/3	にぶい黄褐色	粗砂	締まり中	カマド跡の前区上
5	5YR4/4	にぶい赤褐色	砂質シルト	締まり中	焼成面上に堆積する焼土
6	10YR5/3	にぶい黄褐色	粗砂	締まり中	焼燐層上
7	10YR5/3	にぶい黄褐色	粗砂	締まり中	炭化物5%含む 焼燐層上
8	10YR5/2	にぶい黄褐色	粗砂	締まり中	焼燐層上
9	10YR5/2 ~ 10YR5/3	灰黄褐色 ~ にぶい黄褐色	締まりやや密	焼燐層上	
10	10YR1/4	褐色	砂質シルト	締まり中	焼石の抜き取り後の埋土か?

S112 カマド E-E'

E  
— L=58.200m

S112 カマド F-F'

F  
— L=57.200m

S 112 カマド E-E'・F-F'

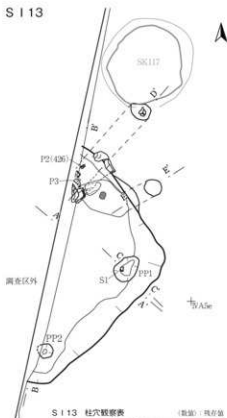
1	10YR5/4	にぶい黄褐色	砂質シルト	締まり中	風化花崗岩粒3% φ1mmの炭化物2%含む
2	10YR1/4	褐色	砂質シルト	締まり中	φ1mmの炭化物1% 7.5YR5/6明黄褐色土粒2%含む
3	10YR5/3	にぶい黄褐色	粗砂	締まり中	(D-D')層と同一層
4	10YR1/2	にぶい黄褐色	シルト	締まり疎	風化花崗岩粒10%含む
5	10YR5/4	にぶい黄褐色	シルト	締まり疎	炭化物粒ごく少量含む
6	10YR1/2	灰黄褐色	シルト	締まりやや疎	
7	10YR1/1	黒褐色	シルト	締まりやや疎	
8	10YR5/3	暗褐色	砂質シルト	締まり中	5YR4/4にぶい赤褐色焼土粒含む (D-D'層と同一層)
9	10YR3/2	黒褐色	シルト	締まり疎	φ10mm人の焼熱源 φ1mmの炭2%含む
10	7.5YR6/1	相灰色	粗砂	締まり中	2.5YR6/6褐色焼土粒含む 変色した風化礫
11	7.5YR6/1	相灰色	粗砂	締まりやや密	(変色した風化礫)
12	2.5YR6/6	褐色	焼土	締まりやや密	(熱燻焼土)

0 1:30 1m

第94図 S112 (2/2) 竪穴住居跡



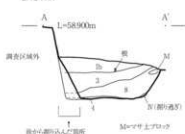
S113



S113 柱穴観覧表 (数値) 現存数

No.	遺構名	幅 (cm)	掘削深 (m)	残存高さ (m)
1	PP1	36×33	15	52.614
2	PP2	20×20	17	32.534

S113 A-A'



S113 B-B'



S113 A-A'-B-B'

- 1a 10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 締まり硬 炭粒土層  
 1b 10YR3/2 黒褐色 砂質シルト 締まり中 水痕多量含む  
 ① 10YR4/1 暗灰色 粗砂 締まり中 10YR6/2灰黄褐色 炭粒5%含む  
 1 10YR6/3 にぶい黄褐色 粗砂 締まり中  
 ※互層状のMマサ土の風化土塊  
 (1a層) 10YR5/2 灰黄褐色 炭粒30%含む  
 (1b層) 10YR2/2 にぶい黄褐色 炭粒5%含む  
 1c層 10YR5/3 にぶい黄褐色 炭粒40% 炭化物1%含む  
 2 10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 締まり中 10YR2/2黒褐色 砂質シルト40% 炭化物1%含む  
 3 10YR4/3 にぶい黄褐色 砂質シルト 締まり中 炭化物1%含む  
 4 10YR4/2 灰黄褐色 砂質シルト 締まり中 炭化物1%含む  
 5 10YR6/4 にぶい黄褐色 砂質シルト 締まり中  
 6 10YR4/3 にぶい黄褐色 砂質シルト 締まり中  
 7 10YR5/4 にぶい黄褐色 砂質粘土 締まりやや密  
 8 10YR5/3 にぶい黄褐色 砂質粘土 締まりやや密

S113 PP1 C-C'



S113 PP1 C-C'

- 1 10YR4/2 灰黄褐色 砂質シルト 締まり中  
 2 10YR6/4 にぶい黄褐色 粗砂 締まり中

S113 カヤ1 D-D'



S113 カヤ1 D-D'

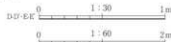
- 1 10YR5/4 にぶい黄褐色 砂質粘土 締まり密  
 2 10YR6/3 にぶい黄褐色 粗砂 締まり中  
 3 10YR6/3 にぶい黄褐色 粗砂 締まり中 炭化物1% 7YR4/4褐色 焼土プロット10%含む  
 4 10YR5/3 にぶい黄褐色 粗砂 締まり中 炭化物1%含む  
 5 10YR4/3 にぶい黄褐色 粗砂 締まり中  
 6 10YR5/4 にぶい黄褐色 粗砂 締まり中  
 7 10YR7/4 にぶい黄褐色 粘土 締まり密 10YR2/2灰白色 粗砂 5YR5/4にぶい黄褐色 焼土 5%含む  
 8a 10YR5/4 にぶい黄褐色 粗砂 締まり中 10R4/6褐色10%含む  
 8b 10YR5/4 にぶい黄褐色 粗砂 締まりやや疎  
 9 10YR3/4 暗褐色 砂質シルト 締まり中 炭化物1%含む  
 10 10YR3/2 暗褐色 砂質シルト 締まりやや疎 炭化物1%含む  
 11 10YR5/4 にぶい黄褐色 粗砂 締まり中

S113 カヤ2 E-E'



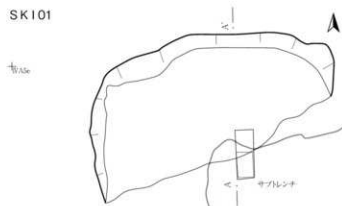
S113 カヤ2 E-E'

- 1 10YR5/4 にぶい黄褐色 粗砂 締まり中 10YR5/6黄褐色 砂質粘土プロット10%含む  
 2 10YR3/4 暗褐色 砂質シルト 締まりやや疎 炭化物1%含む

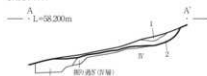


第95図 S113竪穴住居跡

## SK101



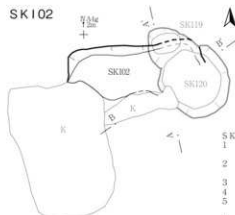
## SK101 A-A'



## SK101 A-A'

- 1 10YR4/3 にぶい黄褐色 砂質シルト 締まり中  
マサ土粒10%含む
- 2 10YR6/3 にぶい黄褐色 砂質シルト 締まりやや硬  
マサ土粒30%含む

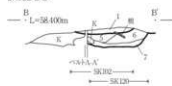
## SK102



## SK102 A-A'



## SK102 B-B'

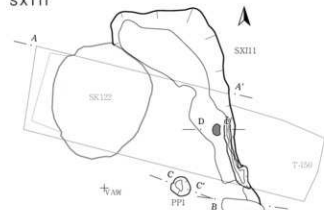


## SK102 A-A'・B-B'

- 1 10YR4/2 灰黄褐色
- 2 10YR3/2 黒褐色
- 3 10YR6/4 にぶい黄褐色
- 4 10YR4/2 ~ 10YR4/3 灰黄褐色 ~ にぶい黄褐色
- 5 10YR4/2 灰黄褐色
- 6 10YR5/4 にぶい黄褐色
- 7 7.5YR4/3 褐色

- 砂質シルト 締まりやや密  
風化花崗岩粒2%含む (SK102理上)  
シルト 締まり中 10YR8-2/6白色風化花崗岩粒2%含む  
(SK102理上)  
シルト 締まりやや密 風化花崗岩粒5%含む (SK119理上)  
シルト 締まり中 風化花崗岩粒5%含む (SK119理上)  
シルト 締まりやや密 風化花崗岩粒3%  
φ1mmの炭化物1%含む (SK120理上)  
シルト 締まりやや密 風化花崗岩粒3%含む (SK120理上)  
シルト 締まり中 風化花崗岩粒3%含む (SK120理上)

## SX111



## SX111-SK122 A-A'



## SX111 A-A'

- 1 10YR2/2 黒褐色 砂質シルト 締まり中
- 2 10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 締まり中
- 3 10YR4/3 にぶい黄褐色 粗砂 締まり中

## SX111 柱穴観測表

No.	観測名	観測径 (cm)		観測深 (m)
		開口部	底部	
1	PP1	32×30	27	27.50

## SX111 PP1 C-C'



## SX111 PP1 C-C'

- 1 10YR4/3 にぶい黄褐色 粗砂 締まり中
- 2 10YR6/3 にぶい黄褐色 粗砂 締まり中

## SX111 伊 D-D'



## SX111 伊 D-D'

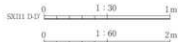
- 1 7.5YR6/4 にぶい棕色 硬土  
※石層が硬土化したもの

## SX111 B-B'



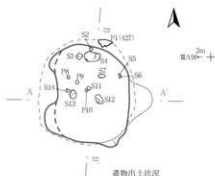
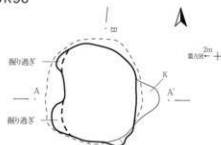
## SX111 B-B'

- 1 10YR4/3 にぶい黄褐色 粗砂 締まり中

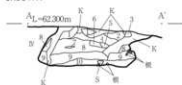


第96図 SK101・02型穴状遺構、SX111工房跡

SK96



SK96 A-A'



SK96 B-B'

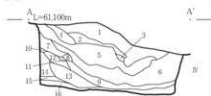


SK96 A-A'	SK96 A-A'	SK96 A-A'	SK96 A-A'
1 10YR5-6	黄褐色	砂質シルト	粘性弱 締まりやや密
2 10YR5-6	黄褐色	砂質シルト	粘性なし 締まりやや密
3 10YR7-6	明黄褐色	砂質シルト	粘性弱 締まりやや密 1層より粗粒
4 10YR4-3	にぶい黄褐色	砂質シルト	粘性弱 締まりやや密
5 10YR5-6	黄褐色	砂質シルト	粘性弱 締まりやや密
6 10YR4-4	褐色	砂質シルト	粘性中 締まりやや疎
7 10YR2-2	黒褐色	砂質シルト	粘性中 締まりやや密 炭化物中心 8層の層状に入る
8 10YR4-6	褐色	砂質粘土	粘性中 締まり中 黄褐色土ブロック層状に30%含む
9 10YR4-4	褐色	砂質粘土	粘性中 締まりやや密 黄褐色土ブロック層状に10%炭化物粒1%含む
10 10YR17/1	黒色	粘土質シルト	粘性中 締まり中 炭化物粒30% 黄褐色土ブロック2%含む

SK97



SK97 A-A'

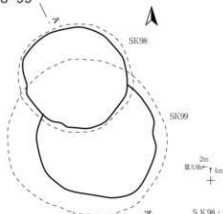


SK97 A-A'	SK97 A-A'	SK97 A-A'	SK97 A-A'	SK97 A-A'
1 10YR4-3	にぶい黄褐色	砂質シルト	締まり中	5mm前後の炭化物1%含む
2 10YR3-4	暗褐色	砂質シルト	締まり中	7.5YR5-6明褐色の風化花崗岩ブロック2%含む
3 10YR6-4	にぶい黄褐色	砂質シルト	締まりやや密	
4 10YR5-4	にぶい黄褐色	砂質シルト	締まり中	
5 10YR4-3	にぶい黄褐色	砂質シルト	締まり中	5mm前後の炭化物2%含む
6 10YR5-4	にぶい黄褐色	砂質シルト	締まり中	
7 10YR4-4	褐色	砂質シルト	締まり中	2mm前後の炭化物1%含む
8 10YR6-4	にぶい黄褐色	砂質シルト	締まりやや密	
9 10YR4-4	褐色	砂質シルト	締まり中	5mm前後の炭化物1%含む
10 10YR5-6	黄褐色	砂質粘土	締まりやや疎	
11 10YR6-6	明黄褐色	砂質シルト	締まり中	
12 10YR4-6	褐色	砂質シルト	締まりやや密	5mm前後の炭化物1%含む
13 10YR4-4	褐色	砂質シルト	締まり中	
14 10YR5-6	黄褐色	砂質シルト	締まり中	10YR8-4浅黄褐色の風化花崗岩ブロック層状に含む
15 10YR4-3	にぶい黄褐色	砂質シルト	締まり中	
16 10YR4-6	褐色	砂質シルト	締まり中	

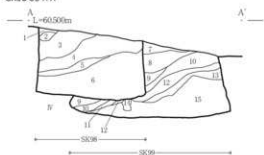


第97図 SK96・97土坑

## SK98-99



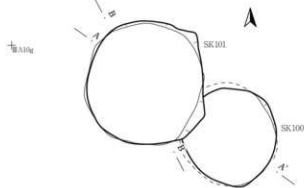
## SK98-99 A-A'



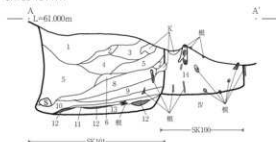
## SK98・99 A-A'

1	10YR5/4	にぶい黄褐色	砂質シルト	締まりやや密	マサ土主体
2	10YR7/2	にぶい黄褐色	砂質シルト	締まりやや密	マサ土主体
3	10YR5/3	にぶい黄褐色	砂質シルト	締まりやや密	マサ土約7%含む
4	10YR5/4	にぶい黄褐色	砂質シルト	締まりやや密	マサ土約20%含む
5	10YR6/4	にぶい黄褐色	砂質シルト	締まりやや密	マサ土約10%含む
6	10YR5/3	にぶい黄褐色	砂質シルト	締まりやや密	最大30mmのマサ土ブロック15% 炭化物約2%含む
7	10YR6/4	にぶい黄褐色	砂質シルト	締まりやや密	マサ土主体
8	10YR3/4	暗褐色	砂質シルト	締まりやや密	マサ土約25%含む
9	10YR2/4	暗褐色	砂質シルト	締まりやや密	マサ土約7%含む
10	10YR4/4	褐色	砂質シルト	締まりやや密	マサ土約30%含む
11	10YR3/3	暗褐色	砂質粘土	締まりやや密	マサ土約2%含む
12	10YR4/4	褐色	砂質シルト	締まりやや密	マサ土約25%含む
13	10YR3/4	暗褐色	砂質シルト	締まりやや密	マサ土約7%含む
14	10YR5/2	灰黄褐色	砂質シルト	締まりやや密	マサ土約10%含む
15	10YR4/3	にぶい黄褐色	砂質シルト	締まりやや密	マサ土約10%含む

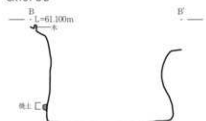
## SK100・101



## SK100-101 A-A'



## SK101 B-B'



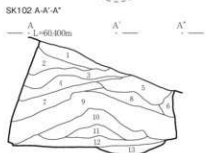
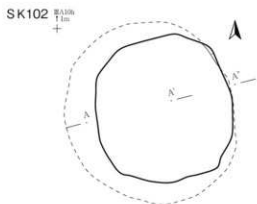
## SK100・101 A-A'

1	7.5YR5/8	明褐色	砂質シルト	締まりやや密	褐色のマサ土約30%含む
2	10YR5/3	にぶい黄褐色	砂質シルト	締まりやや密	マサ土約10%含む
3	10YR5/3	にぶい黄褐色	砂質シルト	締まりやや密	マサ土約20%含む
4	10YR4/3	にぶい黄褐色	砂質シルト	締まりやや密	3cmマサ土ブロック10% 炭化物約2%含む
5	10YR7/3	にぶい黄褐色	砂質シルト	締まりやや密	マサ土主体 崩落土
6	10YR5/8	黄褐色	砂質シルト	締まりやや密	褐色のマサ土約10%含む
7	10YR7/4	にぶい黄褐色	砂質シルト	締まりやや密	マサ土主体
8	10YR2/3	暗褐色	砂質粘土	締まりやや密	全体に金色の炭化物含む
9	10YR5/3	にぶい黄褐色	砂質シルト	締まりやや密	マサ土主体
10	10YR4/2	灰黄褐色	砂質シルト	締まりやや密	褐色のマサ土ブロック2% 10mm炭化物5%含む
11	10YR1.7/1	黒色	砂質粘土	締まりやや密	炭化物・炭化物50%以上 金色の炭化物含む
12	5YR3/2	暗赤褐色	砂質シルト	締まりやや密	焼土層
13	10YR7/3	にぶい黄褐色	砂質シルト	締まりやや密	マサ土主体
14	10YR5/3	にぶい黄褐色	砂質シルト	締まりやや密	マサ土主体

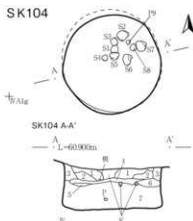
遺物出土状況

0 1:50 2m

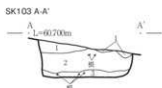
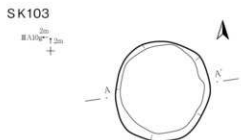
1 検出遺構



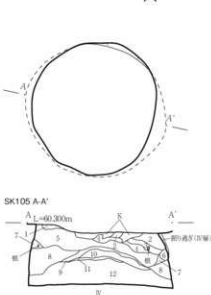
- SK 102 A-A'
- |    |         |              |       |      |                                  |
|----|---------|--------------|-------|------|----------------------------------|
| 1  | 10YR7/2 | にぶい黄褐色       | シルト   | 縫まり中 | 10YR8/2灰白色風化花崗岩粒30% φ2mmの炭化物1%含む |
| 2  | 10YR7/2 | にぶい黄褐色       | シルト   | 縫まり中 | 10YR8/2灰白色風化花崗岩粒20%含む            |
| 3  | 10YR6/2 | 灰黄褐色         | シルト   | 縫まり中 | 10YR8/2灰白色風化花崗岩粒10%含む            |
| 4  | 10YR6/2 | 灰黄褐色         | シルト   | 縫まり中 | φ2mmの炭化物1%含む                     |
| 5  | 10YR5/2 | 灰黄褐色         | シルト   | 縫まり中 | φ1mmの炭化物1%含む                     |
| 6  | 10YR5/2 | 灰黄褐色         | シルト   | 縫まり中 | 10YR8/2灰白色風化花崗岩粒10% φ1mmの炭化物1%含む |
| 7  | 10YR5/2 | 灰黄褐色         | シルト   | 縫まり中 | 10YR8/2灰白色風化花崗岩粒5%               |
| 8  | 10YR5/2 | 灰黄褐色         | シルト   | 縫まり中 | 10YR8/2灰白色風化花崗岩粒10% φ1mmの炭化物1%含む |
| 9  | 10YR7/2 | にぶい黄褐色       | 砂質シルト | 縫まり中 | 10YR8/2灰白色風化花崗岩粒30%含む            |
| 10 | 10YR5/2 | 灰黄褐色         | シルト   | 縫まり中 | 10YR8/2灰白色風化花崗岩粒5% 準断面からの崩落土     |
| 11 | 10YR5/2 | 10層よりやや明るい土色 | シルト   | 縫まり中 | 10YR8/2灰白色風化花崗岩粒2%含む             |
| 12 | 10YR5/3 | にぶい黄褐色       | シルト   | 縫まり中 | 10YR8/2灰白色風化花崗岩粒2%               |
| 13 | 10YR5/2 | 灰黄褐色         | 砂質シルト | 縫まり中 | 10YR8/2灰白色風化花崗岩粒50%含む            |



- SK 104 A-A'
- |   |         |        |       |      |              |
|---|---------|--------|-------|------|--------------|
| 1 | 10YR6/3 | にぶい黄褐色 | 砂質シルト | 縫まり中 | マサ土粒10~20%含む |
| 2 | 10YR7/2 | にぶい黄褐色 | 砂質シルト | 縫まり中 | マサ土粒30%含む    |
| 3 | 10YR6/3 | にぶい黄褐色 | 砂質シルト | 縫まり中 |              |
| 4 | 10YR4/2 | 灰黄褐色   | 砂質粘土  | 縫まり中 | 3層が少量埋込に入る   |
| 5 | 10YR8/3 | 灰黄褐色   | 砂質シルト | 縫まり中 | マサ土主体        |
| 6 | 10YR6/2 | 灰黄褐色   | 砂質シルト | 縫まり中 |              |
| 7 | 10YR6/3 | にぶい黄褐色 | 砂質シルト | 縫まり中 | マサ土粒10~15%含む |



- SK 103 A-A'
- |   |         |        |     |      |                                  |
|---|---------|--------|-----|------|----------------------------------|
| 1 | 10YR5/2 | 灰黄褐色   | シルト | 縫まり中 | 10YR8/2灰白色風化花崗岩粒5%含む             |
| 2 | 10YR5/2 | 灰黄褐色   | シルト | 縫まり中 | 10YR8/2灰白色風化花崗岩粒20% φ2mmの炭化物1%含む |
| 3 | 10YR5/3 | にぶい黄褐色 | シルト | 縫まり中 | 10YR8/2灰白色風化花崗岩粒2%含む             |



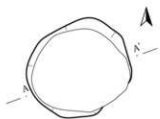
- SK 105 A-A'
- |    |         |        |       |      |                   |
|----|---------|--------|-------|------|-------------------|
| 1  | 10YR8/2 | 灰白色    | 砂質シルト | 縫まり中 | マサ土主体             |
| 2  | 10YR6/3 | にぶい黄褐色 | 砂質シルト | 縫まり中 | マサ土ブロック埋込15%含む    |
| 3  | 10YR6/2 | 灰黄褐色   | 砂質シルト | 縫まり中 | マサ土ブロック埋込30%含む    |
| 4  | 10YR4/2 | 灰黄褐色   | 砂質粘土  | 縫まり中 | マサ土ブロック7% 炭化物1%含む |
| 5  | 10YR6/3 | にぶい黄褐色 | 砂質シルト | 縫まり中 | マサ土粒10%含む         |
| 6  | 10YR4/2 | 灰黄褐色   | 砂質粘土  | 縫まり中 | マサ土               |
| 7  | 10YR5/3 | にぶい黄褐色 | 砂質シルト | 縫まり中 | マサ土粒5%含む          |
| 8  | 10YR7/3 | にぶい黄褐色 | 砂質シルト | 縫まり中 | マサ土主体             |
| 9  | 10YR5/2 | 灰黄褐色   | 砂質シルト | 縫まり中 | マサ土               |
| 10 | 10YR6/3 | にぶい黄褐色 | 砂質シルト | 縫まり中 | マサ土粒10%含む         |
| 11 | 10YR5/2 | 灰黄褐色   | 砂質シルト | 縫まり中 | 炭化物3%含む           |
| 12 | 10YR7/2 | にぶい黄褐色 | 砂質シルト | 縫まり中 | マサ土粒20%含む         |



第99図 SK 102・103・104・105土坑

## SK106

2m  
2m  
+



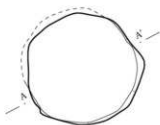
## SK106 A-A'



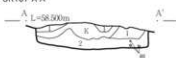
## S K 106 A-A'

- 1 10YR4/2 灰黄褐色 シルト 締まり中 10YR8-2灰白色風化花崗岩粒2%  
 $\phi$ 2mmの炭化物1%含む  
 2 10YR5/3 にぶい黄褐色 シルト 締まりやや硬 10YR8-2灰白色風化花崗岩粒20%含む  
 3 10YR8/2 灰白色 砂質土 締まりやや硬 中央からの積落土

## SK107



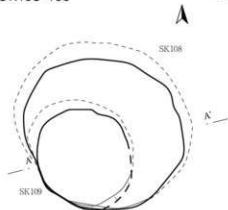
## SK107 A-A'



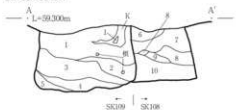
## S K 107 A-A'

- 1 10YR4/2 灰黄褐色 シルト 締まりやや硬 10YR7/4にぶい黄褐色風化花崗岩粒2%  
 $\phi$ 2mmの炭化物1%含む  
 2 10YR3/2 黒褐色 シルト 締まり中 10YR8-2灰白色風化花崗岩粒2%含む  
 K 締まりやや硬 10YR7/4にぶい黄褐色風化花崗岩粒30%含む ※本層に2層積花

## SK108・109



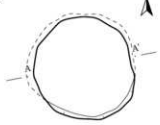
## SK108・109 A-A'



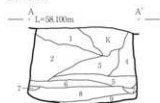
## S K 108・109 A-A'

- 1 10YR8/2 灰白色 砂質シルト 締まりやや硬 マサ土ブロック主体・塊状  
 2 10YR5/4 にぶい黄褐色 砂質シルト 締まり中  
 3 10YR6/3 にぶい黄褐色 砂質シルト 締まりやや硬 マサ土ブロック塊状  
 4 10YR5/3 にぶい黄褐色 砂質シルト 締まりやや硬 マサ土ブロック5%含む  
 5 10YR4/3 にぶい黄褐色 砂質シルト 締まり中  
 6 10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 締まり中 マサ土ブロック7%含む  
 7 10YR5/4 にぶい黄褐色 砂質シルト 締まり中 マサ土ブロック塊状  
 8 10YR6/4 にぶい黄褐色 砂質シルト 締まり中  
 9 10YR4/4 褐色 砂質シルト 締まり中  
 10 10YR3/4 暗褐色 砂質シルト 締まり中 マサ土粒3%含む

## SK110



## SK110 A-A'

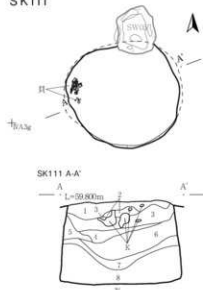


## S K 110 A-A'

- 1 10YR6/2 灰黄褐色 砂質シルト 締まり中 マサ土粒30%含む  
 2 10YR4/3 にぶい黄褐色 砂質シルト 締まり中 マサ土粒10%  
 $\phi$ 1mmの炭化物1%含む  
 3 10YR5/4 にぶい黄褐色 砂質シルト 締まり中 マサ土粒30%  
 $\phi$ 1mmの炭化物1%含む  
 4 10YR5/3 にぶい黄褐色 砂質シルト 締まりやや硬 マサ土粒25%含む  
 5 10YR6/2 灰黄褐色 砂質土 締まり中 マサの積落土  
 6 10YR4/3 にぶい黄褐色 砂質シルト 締まり中 マサ土粒5%  
 $\phi$ 1mmの炭化物1%含む  
 7 10YR2/3 黒褐色 シルト 締まり中 マサ土粒2%  
 $\phi$ 1mmの炭化物10%含む  
 8 10YR7/2 にぶい黄褐色 砂質土 締まりやや硬 マサの積落土  
 9 10YR6/2 灰黄褐色 砂質シルト 締まりやや硬 マサ土粒30%含む

0 1:50 2m

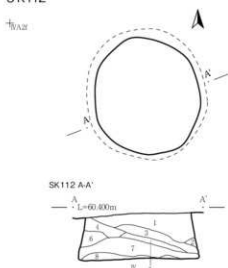
SK111



SK111 A-A'

- SK111 A-A'
- 1 10YR4/3 にぶい黄褐色 砂質シルト 締まり中 マサ土アロック層状10%含む
  - 2 10YR6/3 にぶい黄褐色 砂質シルト 締まり中  
20mm炭化物粒3% マサ土粒25%含む
  - 3 10YR7/2 にぶい黄褐色 砂質シルト 締まり中  
2~3mm炭化物粒3% マサ土粒40%含む
  - 4 10YR6/2 灰黄褐色 砂質シルト 締まり中  
5mm大の炭化物粒1% マサ土粒3%含む
  - 5 10YR5/4 にぶい黄褐色 砂質粘土 締まりやや硬
  - 6 10YR6/3 にぶい黄褐色 砂質シルト 締まりやや硬 マサ土粒主体
  - 7 10YR4/2 灰黄褐色 砂質シルト 締まり中 10mm未満の炭化物粒2%  
マサ土粒5%含む
  - 8 10YR5/2 灰黄褐色 砂質シルト 締まりやや硬 マサ土粒主体

SK112



SK112 A-A'

SK112 A-A'

- SK112 A-A'
- 1 10YR6/4 にぶい黄褐色 砂質シルト 締まり中 マサ土粒15%含む  
下空マサ土状
  - 2 10YR5/4 にぶい黄褐色 砂質粘土 締まり中
  - 3 10YR6/3 にぶい黄褐色 砂質粘土 締まり中 マサ土粒7%含む
  - 4 10YR5/4 にぶい黄褐色 砂質シルト 締まり中 マサ土粒3%含む
  - 5 10YR4/3 にぶい黄褐色 砂質シルト 締まり中 マサ土粒10%含む
  - 6 10YR6/4 にぶい黄褐色 砂質シルト 締まりやや硬  
褐色土とマサ土アロックが混在
  - 7 10YR4/4 褐色 砂質シルト 締まり中 マサ土粒15%含む
  - 8 10YR6/4 にぶい黄褐色 砂質シルト 締まりやや硬  
マサ土主体、褐色土が層状

SK113

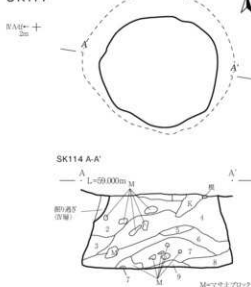


SK113 A-A'

SK113 A-A'

- SK113 A-A'
- 1 10YR5/4 にぶい黄褐色 砂質シルト 締まり中 マサ土粒10%含む
  - 2 10YR5/3 にぶい黄褐色 砂質シルト 締まり中
  - 3 10YR4/3 にぶい黄褐色 砂質シルト 締まりやや硬

SK114

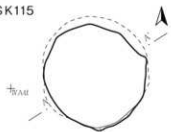


SK114 A-A'

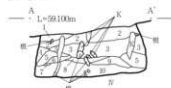
SK114 A-A'

- SK114 A-A'
- 1 10YR2/3 暗褐色 砂質粘土 締まり中 炭化物粒1%含む
  - 2 10YR4/4 褐色 砂質粘土 締まり硬 10cm前後のマサ土アロック マサ土粒10% 炭化物粒1%含む
  - 3 10YR3/4 暗褐色 砂質シルト 締まり中 マサ土粒(褐色)2%含む
  - 4 10YR4/3 にぶい黄褐色 砂質シルト 締まり中 10cm前後のマサ土アロック マサ土粒20%含む
  - 5 10YR5/3 にぶい黄褐色 砂質シルト 締まりやや硬 マサ土粒25%含む
  - 6 10YR4/3 にぶい黄褐色 砂質粘土 締まり中 3cm前後のマサ土アロック マサ土粒10%含む
  - 7 10YR5/3 にぶい黄褐色 砂質シルト 締まりやや硬 5cm前後・30cm大のマサ土アロック マサ土粒15%含む
  - 8 10YR4/4 褐色 砂質シルト 締まりやや硬 マサ土が層状に30%含む
  - 9 10YR2/3 暗褐色 砂質粘土 締まりやや硬 炭化物粒3%含む

SK115



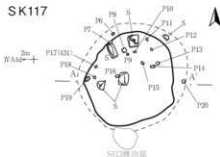
SK115 A-A'



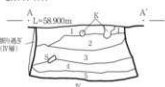
SK115 A-A'

- |    |         |        |       |        |              |
|----|---------|--------|-------|--------|--------------|
| 1  | 10YR4/3 | にぶい黄褐色 | 砂質シルト | 締まりやや硬 | マサ土粒2%含む     |
| 2  | 10YR5/3 | にぶい黄褐色 | 砂質シルト | 締まりやや密 | マサ土粒7%含む     |
| 3  | 10YR6/3 | にぶい黄褐色 | 砂質シルト | 締まり中   | マサ土粒15%含む    |
| 4  | 10YR6/3 | にぶい黄褐色 | 砂質シルト | 締まり中   | マサ土粒2%含む     |
| 5  | 10YR8/2 | 灰白色    | 砂質シルト | 締まり密   | マサ土主体 互層の細落土 |
| 6  | 10YR6/2 | 灰黄褐色   | 砂質シルト | 締まり中   |              |
| 7  | 2.5Y8/3 | 淡黄色    | 砂質シルト | 締まりやや密 | マサ土主体 互層の細落土 |
| 8  | 2.5Y8/3 | 淡黄色    | 砂質シルト | 締まりやや密 | マサ土主体50%含む   |
| 9  | 10YR5/4 | にぶい黄褐色 | 砂質粘土  | 締まりやや密 | マサ土粒5%含む     |
| 10 | 10YR6/3 | にぶい黄褐色 | 砂質シルト | 締まり中   | マサ土粒10%含む    |

SK117



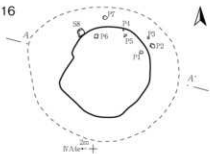
SK117 A-A'



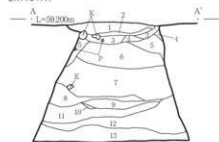
SK117 A-A'

- |   |         |        |       |        |                              |
|---|---------|--------|-------|--------|------------------------------|
| 1 | 10YR5/3 | にぶい黄褐色 | 砂質シルト | 締まりやや硬 | マサ土粒が現状に25%含む                |
| 2 | 10YR2/3 | 黒褐色    | 砂質粘土  | 締まりやや硬 | マサ土粒がマシ状に15%<br>φ1cmの炭化物7%含む |
| 3 | 10YR6/4 | にぶい黄褐色 | 砂質シルト | 締まり中   | マサ土粒主体<br>暗褐色が塊状に少量7%含む      |
| 4 | 10YR3/3 | 暗褐色    | 砂質粘土  | 締まり中   | マサ土粒5%含む                     |
| 5 | 10YR6/3 | にぶい黄褐色 | 砂質シルト | 締まりやや密 | マサ土粒主体                       |

SK116



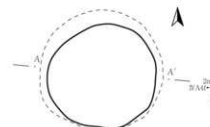
SK116 A-A'



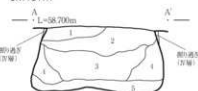
SK116 A-A'

- |    |         |        |       |        |                            |
|----|---------|--------|-------|--------|----------------------------|
| 1  | 10YR3/4 | 暗褐色    | 砂質シルト | 締まり中   | マサ土粒1%<br>炭化物粒1%含む         |
| 2  | 10YR5/4 | にぶい黄褐色 | 砂質シルト | 締まり中   | マサ土粒5%                     |
| 3  | 10YR5/3 | にぶい黄褐色 | 砂質シルト | 締まりやや密 | マサ土粒<br>マサ土ブロック30%含む       |
| 4  | 2.5Y6/2 | 灰黄色    | 砂質シルト | 締まりやや密 | マサ土主体                      |
| 5  | 10YR6/3 | にぶい黄褐色 | 砂質粘土  | 締まりやや硬 | マサ土粒1%<br>炭化物粒1%含む         |
| 6  | 10YR5/2 | 灰黄褐色   | 砂質シルト | 締まり中   | マサ土粒30%含む                  |
| 7  | 10YR4/3 | にぶい黄褐色 | 砂質粘土  | 締まり中   | 1~3cmのマサ土ブロック<br>マサ土粒10%含む |
| 8  | 10YR4/4 | 褐色     | 砂質粘土  | 締まり中   | マサ土粒5%含む                   |
| 9  | 10YR4/2 | 灰黄褐色   | 砂質シルト | 締まりやや密 | マサ土粒25%含む                  |
| 10 | 10YR5/3 | にぶい黄褐色 | 砂質粘土  | 締まりやや密 | マサ土粒3%含む                   |
| 11 | 10YR6/4 | にぶい黄褐色 | 砂質シルト | 締まり中   | マサ土粒15%含む                  |
| 12 | 10YR4/3 | にぶい黄褐色 | 砂質粘土  | 締まり中   | マサ土粒2%含む                   |
| 13 | 10YR7/4 | にぶい黄褐色 | 砂質粘土  | 締まり中   | マサ土粒5%含む                   |

SK118



SK118 A-A'



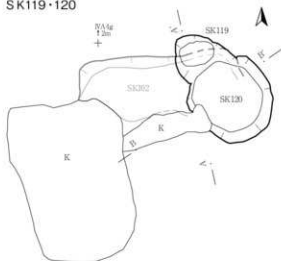
SK118 A-A'

- |   |         |      |       |        |             |
|---|---------|------|-------|--------|-------------|
| 1 | 10YR4/2 | 灰黄褐色 | 砂質シルト | 締まりやや密 | 風化花崗岩粒3%含む  |
| 2 | 10YR5/2 | 灰黄褐色 | 砂質シルト | 締まり中   | 風化花崗岩粒5%含む  |
| 3 | 10YR5/2 | 灰黄褐色 | 砂質シルト | 締まりやや硬 | 風化花崗岩粒3%含む  |
| 4 | 10YR4/2 | 灰黄褐色 | 砂質シルト | 締まりやや硬 | 風化花崗岩粒1%含む  |
| 5 | 10YR5/2 | 灰黄褐色 | 砂質シルト | 締まり中   | 風化花崗岩粒30%含む |

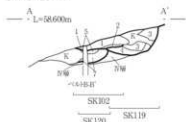
0 1:50 2m



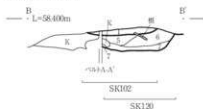
SK119・120



SK119・120 A-A'



SK02-SK120 B-B'



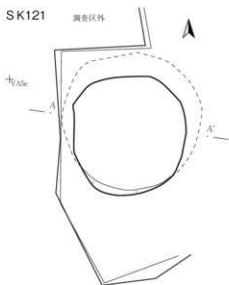
SK102・SK119・120 A-A'・B-B'

- |   |                   |               |
|---|-------------------|---------------|
| 1 | 10YR4/2           | 灰黄褐色          |
| 2 | 10YR3/2           | 黒褐色           |
| 3 | 10YR6/4           | にぶい黄褐色        |
| 4 | 10YR4/2 ~ 10YR4/3 | 灰黄褐色 ~ にぶい黄褐色 |
| 5 | 10YR4/2           | 灰黄褐色          |
| 6 | 10YR5/4           | にぶい黄褐色        |
| 7 | 7.5YR4/3          | 褐色            |

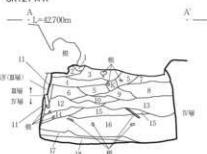
- 砂質シルト 締まりやや密 風化花崗岩粒2%含む (SK102埋土)  
 シルト 締まり中 10YR6/2灰白色風化花崗岩粒2%含む (SK102埋土)  
 シルト 締まりやや密 風化花崗岩粒5%含む (SK119埋土)  
 シルト 締まり中 風化花崗岩粒5%含む (SK119埋土)  
 シルト 締まりやや密 風化花崗岩粒3% φ1mmの炭化物1%含む (SK120埋土)  
 シルト 締まりやや密 風化花崗岩粒3%含む (SK120埋土)  
 シルト 締まり中 風化花崗岩粒3%含む (SK120埋土)

SK121

調査区外



SK121 A-A'

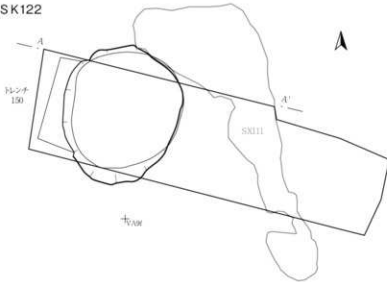


SK121 A-A'

- |    |         |        |  |
|----|---------|--------|--|
| 1  | 10YR6/4 | にぶい黄褐色 | 粘土 締まり密  |
| 2  | 10YR2/1 | 黒色     | シルト 締まりやや密   |
| 3  | 10YR4/3 | にぶい黄褐色 | 軽砂 締まり中  |
| 4  | 10YR2/1 | 黒色     | シルト 締まり中   |
| 5  | 10YR3/2 | 黒褐色    | 砂質シルト 締まり中   |
| 6  | 10YR3/3 | 黒褐色    | 砂質シルト 締まり中   |
| 7  | 10YR3/4 | 暗褐色    | 砂質シルト 締まり中 10YR6/4にぶい黄褐色粘土20% 10YR6/6明黄褐色プロラック3%含む (IV層起源) |
| 8  | 10YR3/2 | 黒褐色    | 砂質シルト 締まり中   |
| 9  | 10YR5/4 | にぶい黄褐色 | 粘土 締まり中 (IV層起源)  |
| 10 | 10YR4/3 | にぶい黄褐色 | 砂質粘土 締まり密 10YR6/4にぶい黄褐色粘土3%含む                              |
| 11 | 10YR2/1 | 黒色     | シルト 締まり密   |
| 12 | 10YR3/2 | 黒褐色    | 砂質シルト 締まり密 10YR4/3にぶい黄褐色20%含む                              |
| 13 | 10YR5/4 | にぶい黄褐色 | 粘土 締まり中 10YR2/3黒褐色10%含む (IV層起源)                            |
| 14 | 10YR5/3 | にぶい黄褐色 | 粘土 締まり中 10YR6/4にぶい黄褐色粘土3%含む (IV層起源)                        |
| 15 | 10YR3/2 | 黒褐色    | 砂質シルト 締まり中 10YR5/4にぶい黄褐色粘土10%含む                            |
| 16 | 10YR3/2 | 黒褐色    | 砂質シルト 締まり中 炭化物1% 10YR7/2にぶい黄褐色砂質粘土3%含む                     |
| 17 | 10YR4/3 | にぶい黄褐色 | 粘土 締まり中 10YR7/3にぶい黄褐色砂質粘土20%含む                             |
| 18 | 10YR5/4 | にぶい黄褐色 | 粘土 締まり中 10YR3/2 黒褐色砂質シルト10%含む                              |
- ※黒色土 ~ 暗褐色土を主体とする IV層起源の土はわずかなのである

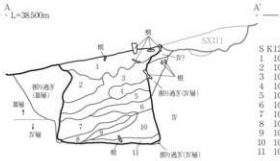
0 1:50 2m

## SK122



## SK122 A-A'

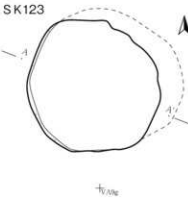
— A —  
L=38500m



## SK122 A-A'

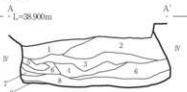
1	10YR3/4	暗褐色	砂質シルト	細まり中	木屑多量含む
2	10YR3/2	黒褐色	砂質シルト	細まり中	10YR4/3にふい・黄褐色 粗砂20%含む
3	10YR4/3	にふい・黄褐色	砂質粘土	細まり中	10YR3/4暗褐色 砂質シルト20%含む
4	10YR3/4	暗褐色	砂質シルト	細まり中	
5	10YR4/4	褐色	砂質粘土	細まり中	
6	10YR5/6	黄褐色	砂質粘土	細まり中	
7	10YR4/3	にふい・黄褐色	砂質粘土	細まり中	
8	10YR3/4	暗褐色	砂質シルト	細まり中	
9	10YR4/4	褐色	砂質粘土	細まり中	
10	10YR5/4	にふい・黄褐色	砂質粘土	細まり中	10YR8/3灰黄褐色粗砂(マサ土)10%含む
11	10YR5/6	黄褐色	砂質粘土	細まりやや密	1・2・4・8層が黒味を帯びる

## SK123



## SK123 A-A'

— A —  
L=38900m



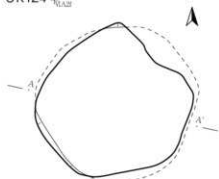
## SK123 A-A'

1	10YR4/3	にふい・黄褐色	粗砂	細まり中	
2	10YR5/3	にふい・黄褐色	粗砂	細まり中	
3	10YR4/4	褐色	粗砂	細まり中	
4	10YR4/3	にふい・黄褐色	粗砂	細まり中	
5	10YR7/2	にふい・黄褐色	粗砂	細まり中	(IV層起原)
6	10YR5/4	にふい・黄褐色	粗砂	細まり中	
7	10YR4/2	灰黄褐色	粗砂	細まり中	
8	10YR5/3	にふい・黄褐色	粗砂	細まり密	
9	10YR7/2	にふい・黄褐色	粗砂	細まり中	(IV層起原) (IV層起原の土・風化した土層粗砂中心)

0 1:50 2m

第104図 SK122・123土坑

SK124 七土



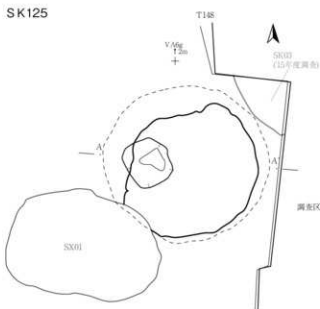
SK124 A-A'



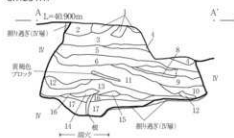
SK124 A-A'

- 1 10YR4/3 にぶい黄褐色 砂質シルト 締まり中
- 2 10YR5/3 にぶい黄褐色 粗砂 締まり中 10YR7/4にぶい黄褐色粗砂(マサ土)3%含む
- 3 10YR5/4 にぶい黄褐色 粗砂 締まり中 10YR7/4にぶい黄褐色粗砂(マサ土)5%含む
- 4 10YR4/3 褐色 粗砂 締まり中
- 5 10YR4/4 褐色 粗砂 締まり中
- 6 10YR5/4 にぶい黄褐色 粗砂 締まり中 10YR7/4にぶい黄褐色粗砂(マサ土)3%含む
- 7 10YR4/3 にぶい黄褐色 砂質シルト 締まり中
- 8 10YR5/4 にぶい黄褐色 粗砂 締まり中 10YR8/2灰白色粗砂(マサ土)5%含む
- 9 10YR5/3 にぶい黄褐色 粗砂 締まり中
- 10 10YR4/3 にぶい黄褐色 粗砂 締まり中
- 11 10YR4/4 褐色 砂質シルト 締まり中
- 12 10YR4/3 にぶい黄褐色 粗砂 締まり中※1・7・11層が厚味の強い土層

SK125



SK125 A-A'



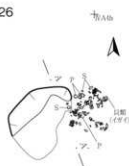
SK125 A-A'

- 1 10YR3/3 暗褐色 砂質シルト 締まり中
- 2 10YR4/3 にぶい黄褐色 粗砂 締まり中
- 3 10YR6/3 にぶい黄褐色 粗砂 締まり中
- 4 10YR5/2 灰黄褐色 粗砂 締まり中
- 5 10YR6/4 にぶい黄褐色 粗砂 締まり中 10YR7/3にぶい黄褐色ブロック10% 炭化物1%含む
- 6 10YR5/4 にぶい黄褐色 粗砂 締まり中
- 7 10YR5/3 にぶい黄褐色 粗砂 締まり中
- 8 10YR3/1 黒褐色 砂質シルト 締まり中
- 9 10YR5/3 にぶい黄褐色 粗砂 締まり中 10YR7/3にぶい黄褐色ブロック30% 炭化物1%含む
- 10 10YR4/3 にぶい黄褐色 粗砂 締まり中
- 11 10YR5/2 灰黄褐色 粗砂 締まり中 10YR7/3にぶい黄褐色ブロック1% 10YR5/6黄褐色ブロック3% 炭化物1%含む
- 12 10YR7/3 にぶい黄褐色 砂質粘土 締まり中 10YR5/2灰黄褐色ブロック5%含む
- 13 10YR5/2 灰黄褐色 粗砂 締まり中 10YR7/3にぶい黄褐色ブロック3%含む
- 14 10YR5/6 黄褐色 砂質粘土 締まりやや密
- 15 10YR6/4 にぶい黄褐色 砂質粘土 締まりやや密
- 16 10YR5/3 にぶい黄褐色 粗砂 締まり中
- 17 10YR6/3 にぶい黄褐色 粗砂 締まり密 10YR7/3にぶい黄褐色ブロック10%含む

SK125 副次観察表

No.	遺構名	面積 (㎡)		調査日	調査者
		開口面積	埋込		
1	SK120 跡	20×60	12	2012/1	

SK126



SK126 A-A'



SK126 A-A'

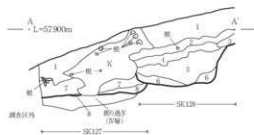
- 1 10YR4/2 灰黄褐色 砂質シルト 締まりやや密 10YR7/6明黄褐色風化花崗岩粒2%含む
- 2 10YR4/2 灰黄褐色 砂質シルト 締まりやや密 10YR7/6明黄褐色風化花崗岩粒5%含む

0 1:50 2m

## SK127・128

NAMS  
T 2m  
+

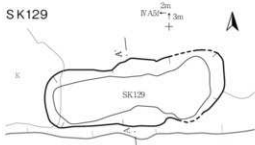
## SK127・128 A-A'



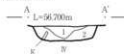
## SK127・128 A-A'

- |   |                |       |         |                       |
|---|----------------|-------|---------|-----------------------|
| 1 | 10YR4/2 灰黄褐色   | シルト   | 締まりやや硬  | 表土                    |
| 2 | 10YR4/3 に近い黄褐色 | シルト   | 締まりやや硬  | マサ土5% 本根含む            |
| 3 | 10YR6/1 に近い黄褐色 | 砂質シルト | マサ土5%含む |                       |
| 4 | 10YR3/2 茶褐色    | シルト   | 締まり中    | φ1mmの炭化物1% マサ土3% 土層含む |
| 5 | 10YR6/3 に近い黄褐色 | 砂質シルト | 締まり密    | マサ土5%含む               |
| 6 | 10YR4/3 に近い黄褐色 | 砂質シルト | 締まり中    | マサ土2%含む               |
| 7 | 10YR5/3 に近い黄褐色 | 砂質シルト | 締まりやや密  | マサ土5%含む               |
| 8 | 10YR4/3 に近い黄褐色 | 砂質シルト | 締まり中    |                       |

## SK129



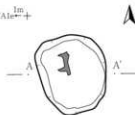
## SK129 A-A'



## SK129 A-A'

- |   |                |    |      |        |
|---|----------------|----|------|--------|
| 1 | 10YR4/2 灰黄褐色   | 粗砂 | 締まり中 | 本根含む   |
| 2 | 10YR6/3 に近い黄褐色 | 粗砂 | 締まり中 | (古層粘土) |
- 10YR7/3にに近い黄褐色粗砂 (古層マサ土) 5%含む

## SW04

NAMS  
T 1m  
+

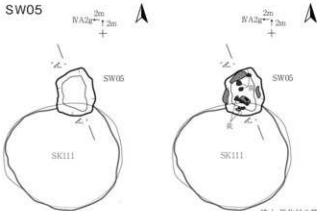
## SW04 A-A'



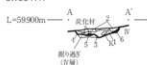
## SW04 A-A'

- |   |             |               |          |              |
|---|-------------|---------------|----------|--------------|
| S | SW04 A-A'   |               |          |              |
| 1 | 10YR3/2 黒褐色 | 砂質シルト         | 締まり中     | 炭化物5%        |
|   |             | 10YR5/4に近い黄褐色 | 10%      |              |
|   |             | 10YR6/6明黄褐色   | ブロック3%含む |              |
| 2 | 10YR2/1 黒色  | 砂質シルト         | 締まりやや硬   |              |
| 3 | 5YR5/6 明赤褐色 | 焼土            | 締まり密     | ※目撃者が焼土化したもの |

## SW05

NAMS  
T 2m  
+

## SW05 A-A'



## SW05 A-A'

- |   |                |       |         |            |
|---|----------------|-------|---------|------------|
| S | SW05 A-A'      |       |         |            |
| 1 | 10YR5/3 に近い黄褐色 | 砂質シルト | 締まり中    | マサ土約40%含む  |
| 2 | 10YR3/1 黒褐色    | 砂質シルト | 締まり中    | マサ土約15%含む  |
|   |                |       | 一部フロッツ状 |            |
| 3 | 7.5YR1.7/1 黒色  | 砂質粘土  | 締まり中    | 炭化物・材を多量含む |
| 4 | 10YR4/2 灰黄褐色   | 砂質シルト | 締まり中    | マサ土約7%含む   |
| 5 | 5YR3/4 暗赤褐色    | 砂質シルト | 締まりやや密  | 古層が焼土化した層  |
| 6 | 5YR6/3 に近い橙色   | 砂質シルト | 締まり密    | 古層が焼土化した層  |

■ 焼土  
■ 炭化材

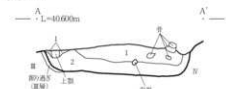
0 1:50 2m

1 検出遺構

SX01



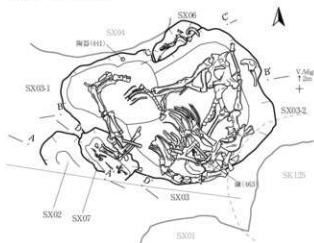
SX01 A-A'



SX01 A-A'

- 1 10YR4/3 にぶい黄褐色 粗砂 締まり疎 炭化物1% 獣骨含む  
2 10YR6/4 にぶい黄褐色 粗砂 締まり疎 10YR7/4にぶい黄褐色粘土10% 獣骨含む

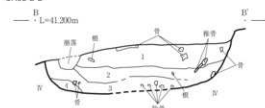
SX02・03・06・07



SX02 A-A'



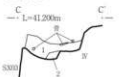
SX03 B-B'



SX03 B-B'

- 1 10YR4/3 にぶい黄褐色 粗砂 締まり疎 10YR6/9明黄褐色土ブロック (5cm×3%含む)  
2 10YR4/2 灰黄褐色 粗砂 締まり疎 10YR6/4にぶい黄褐色土ブロック (厚1~2cm×10%含む)  
3 10YR2/4 暗褐色 粗砂 締まり疎 獣骨含む  
4 10YR5/3 にぶい黄褐色 粗砂 締まり疎 瓦層起源

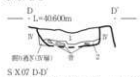
SX06 C-C'



SX06 C-C'

- 1 10YR4/3 にぶい黄褐色 粗砂 締まり疎 獣骨含む  
2 10YR4/4 褐色 粗砂 締まり疎

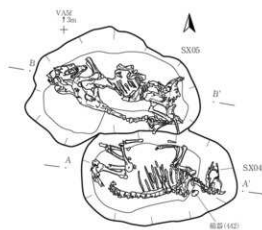
SX07 D-D'



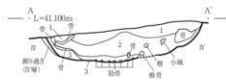
SX07 D-D'

- 1 10YR4/4 褐色 粗砂 締まり疎  
2 10YR3/4 暗褐色 粗砂 締まり疎 獣骨含む

SX04・05



SX04 A-A'



SX04 A-A'

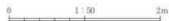
- 1 10YR4/3 にぶい黄褐色 粗砂 締まり疎  
2 10YR4/4 褐色 粗砂 締まり疎  
3 10YR6/3 にぶい黄褐色 粗砂 締まり疎 (瓦層起源)

SX05 B-B'



SX05 B-B'

- 1 10YR4/3 にぶい黄褐色 粗砂 締まり疎  
2 10YR4/4 褐色 粗砂 締まり疎 獣骨含む  
3 10YR3/4 暗褐色 粗砂 締まり疎 獣骨含む



第107図 SX01・02・03・04・05・06・07家畜埋葬墓域

## 2. 出土遺物

### (1) 出土遺物の概要

平成29年度調査では、土器（縄文土器、土師器・須恵器、陶磁器）大コンテナ2箱、土製品（羽口・焼成粘土塊）、石器10点、金属製品9点、ガラス製品、鉄滓類、動物遺存体、植物遺存体、炭化材が出土している。古代に属するものが主体である。以下、種別ごとに記す。

### (2) 土 器（第108～110図・写真図版85・86）

縄文土器78.9g・土師器8575.7g・須恵器376.2g・陶磁器162.9gが出土している。

縄文土器は1点掲載した。縄文時代前期の土器片が出土している。401は、胴部破片で、RLとLRの結束第1種の縄文原体を横位回転して施文している。胎土に繊維を多量に含む。

土師器は13点掲載した。全体的な特徴を記すと、器種は甕である。器形は胴部上半部に最大径を持ち、胴部に膨らみを持つ器形である。口縁部は短く、外側に屈曲する。底部は縁が外側に張り出し、底面に木葉痕を遺すものもある。417の底部は砂底である。調整は、口縁部はヨコナデ、胴部はヘラナデが主体である。土師器は、S I 04・10・11・12・13堅穴住居跡、S K 101・110・117土坑から出土している。須恵器は8点掲載した。甕の破片が多い。425は、長頸瓶の胴部片と推定される。他は、甕の底部・胴部の破片である。S I 10・12堅穴住居跡、S K 96土坑からの出土で、出土地点は限定されている。

陶磁器は2点掲載した。家畜埋葬墓壇に副葬された陶器・磁器が2点出土している。441は陶器で、瓶類か。442は磁器で、外面に「朝鮮守備記念 ○○○年歩兵、○五聯隊○○」の銘が記され、内面に旭日旗の絵が描かれている。戦時中に係る軍産と思われる。

### (3) 土 製 品

羽口が出土している。総重量340.1gで、S I 12堅穴住居跡からの出土である。小片のため不掲載である。その他、焼成粘土塊が出土している。小片であり、掲載していない。

### (4) 石 器（第111・112図・写真図版87・88）

10点出土した。内訳は、石匙1点、礫器1点、磨石2点、擦石1点、凹石1点、台石2点、砥石2点である。磨石は面的に使用され、滑らかな面が形成された石であり、擦石は側面が使用され、側面に周辺よりザラザラした平坦面が形成されている石として大別した。いずれも礫本来の形状のまま使用されたものである。

出土地点別では、S I 11堅穴住居跡から擦石1点、S I 12堅穴住居跡から石匙1点・磨石1点、S I 13堅穴住居跡から礫器1点・台石1点が出土している。460の砥石1点は出土地点から、S I 12堅穴住居跡の出土遺物の可能性があるものとして扱った。S I 12堅穴住居跡から出土した石匙（451）については、平成27年度調査のS I 02堅穴住居跡からも石匙が出土しており、縄文時代の可能性は残しつつ、古代においても使用された可能性についても留意したい。どちらの石匙とも縦型である。台石とした457・458はカマド周辺から出土したものであり、使用痕跡として被熱範囲が認められる。

### (5) 金 属 製 品（第113図・写真図版89）

## 2. 出土遺物

9点出土している。内訳は、鉄鍔2点、手鎌1点、刀子1点、刀子?1点、鍔2点、鉄鍋?1点、棒状製品1点である。時期は、463の鉄製手鎌が家畜埋葬墓の副葬品として近代に属するものである。それ以外は、古代に属するものと推定される。461・462の鉄鍔2点とも形態が類似する。467は中央部分が欠損している鍔と推定した。463は鉄製の手鎌で、木質部の柄と身部を固定した留め金が遺っている。柄の部分も下部が欠損している。近代の手鎌である。468は鉄鍋の破片と推測したが詳細は不明である。

出土地点をみると、S I 10堅穴住居跡から鉄鍔1点・鉄鍋?1点、S I 11堅穴住居跡から鉄鍔1点・刀子1点、S I 12堅穴住居跡から鍔2点・刀子?1点が出土している。

### (6) ガラス製品 (写真図版89)

総量777.6g出土している。出土地点別の内訳は、S X 01・03・06家畜埋葬墓及びトレンチ148であり、近代の家畜埋葬墓に関係する出土遺物である。471は形状のわかるビール瓶であることから図化した。口縁部を欠いている。「商標登録」「大日本ビール」の銘がある。

### (7) 鉄滓類 (写真図版90)

総量3168.0g出土している。出土地点をみると、堅穴住居跡及び周辺の土坑からの出土が多い。出土した鉄滓類の全体的な傾向として、色調が茶褐色を呈し、形状がゴツゴツしているものが多い。

### (8) 動物遺存体 (写真図版90)

貝殻がある。貝殻は総量707.7g出土している。出土地点別の内訳は、S K 110土坑の北半埋土上位から41.3g、S K 111土坑の埋土7層から151.5g、S K 126土坑の埋土から513.8gが出土している。S I 12堅穴住居跡は少片の出土で詳細は不明である。貝殻が主で魚骨・獣骨類は確認されなかった。貝殻の内訳は、S K 110土坑はイガイ主体で、チシマフジツボ・アカフジツボなどが出土している。S K 111土坑は、イガイ主体でエゾアワビを含む。S K 126土坑は、イガイ主体でムラサキインコヤエゾアワビが含まれる。詳細は、Ⅶ 分析・鑑定を参照されたい。S I 12堅穴住居跡の貝殻は小片のため種は不明であった。出土した貝類は、岩礁域に生息する貝類であり、宮古湾に注ぐ河川流域の山間地に位置する遺跡周辺の古環境を反映したものと推測される。

獣骨は、S X 01～07家畜埋葬墓から出土したウシ・ウマを主とし、カモシカなどを含む獣骨である。近代に属するものであり、獣骨については、種・部位等について、第51表による報告とした。

### (9) 植物遺存体

炭化種実が出土している。内訳は、S X 01・03家畜埋葬墓から出土したウメの種実が出土している。家畜埋葬時に土を埋め戻した際に混入したものであろう。時期は近代であり、文章のみの報告とする。

### (10) 炭化材

総重量423.09g・71点出土している。堅穴住居跡のほか、土坑、炭窯跡から出土している。22点について、肉眼鑑定による樹種同定では、クリ・ホノノキ・クルミなどの樹種があり、クリとされたものが多い。S W 04・05炭窯跡の炭化材の樹種はクリとの鑑定結果を得ている。出土した炭化材の重量などについては、第52表に記した。4点(S I 10・11・12堅穴住居跡、S W 05炭窯跡)について放射性炭素年代測定を行っている。詳細は、Ⅶ 分析・鑑定を参照されたい。

第41表 出土地点別遺物重量表

出土地点	総重量 (g)							
	縄文土器	弥生土器	土師器	須恵器	陶器	磁器	石口	鉄片
SI04			273.60					72.00
SI10	5.60		706.00	69.50				35.80
SI11			962.10					613.90
SI12			3261.40	190.40			340.10	195.00
SI13			413.20					1572.10
SK111			226.90		12.40			20.80
SK96			61.60	82.70				
SK97			2.60					
SK101			179.10					
SK102			111.20					289.40
SK103			49.50					
SK104	38.60		68.30					6.80
SK105			3.70					100.40
SK110			580.30					
SK111			143.60					
SK112			131.20					13.40
SK113			1.40					
SK114			18.70					17.40
SK115			8.50					
SK116			230.00					
SK117			183.70					
SK121	34.70							
SK123			60.10					
SK126			294.90					
SK127								
SK128			13.50					9.40
SK129			15.60					26.80
SX03					19.30			
SX04						57.40		
5区溝部			284.10	33.60	41.90	30.80		72.40
トレンチ 140			45.50					
トレンチ 150			130.40					120.40
トレンチ 155			3.00					
不明			22.00		1.10			
総重量	78.90		8575.70	376.20	74.70	88.20	340.10	3168.00

第42表 出土遺物掲載一覧表

出土地点	縄文土器	土師器	須恵器	陶磁器	石器・石製品	金属製品	鉄片	ガラス製品	動物遺存体
SI04	411				457 (台石)		481・482		
SI10	412・413	414～416				461 (鉄鏝)・468 (鉄鍋?)			
SI11	417・418				456 (磨石)	462 (鉄鏝)・464 (刀子)	483・484		
SI12	419～422	423～425			451 (石匙)・ 453・454 (磨石)	465 (刀子?)・466-467 (瓶?)			
SI13	426				452 (礫器)・ 458 (台石?)		485～487		
SK96			427・428		456 (円石?)				
SK101	429								
SK102							488		
SK104						469 (礫杖)			
SK105							489		
SK110	430								498 (ナシマフジツボ殻) 499 (アカフジツボ殻)
SK111					459 (瓶石?)				491 (エゾアワビ殻) 493 (クボガイ類殻)
SK117	431								
SK121	401								
SK126									492 (エゾアワビ殻) 494・495 (イガイ左殻・右殻) 496・498 (ムラサキイソノ左殻・ 右殻)
SX03				441		463 (手鎌)			
SX04				442					
SI12 付近					460 (瓶石)				
T148 周辺								471 (ビール瓶)	



第43表 縄文土器・弥生土器観察表

図録No.	出土地点	層位	時期	器種	文様の形態	文様の付着	内面 調整	底面	胎土	色調	計測値 (cm)	備考	図録No.
401	SK121	南平塚上中位	縄文前期	土師器 甕	文様の付着 無：北→北東 横→北東	—	—	—	—	107灰白 褐色色	口径 胎底 底径	—	108 85

第44表 土師器・須恵器観察表

図録No.	出土地点	層位	器種	形状	文様の付着	文様の付着	内面調整	底面	胎土	色調	計測値 (cm)		備考	図録No.
											口径	胎底		
411	SK104	南東下段・東上	土師器 甕	口縁部 文	—	—	—	—	—	107灰2 12.0.褐色色	口径 胎底 底径	—	108 85	
412	SK10	Q2東上下位	土師器 甕	口縁部 文	—	—	—	—	—	107灰1 灰白色	—	5.60	—	108 85
413	SK10	サウフ塚上中	土師器 甕	口縁部 文	—	—	—	—	—	107灰3 12.0.褐色色	—	6.8	—	108 85
414	SK10	Q1東上下位	須恵器 甕	口縁部 文	—	—	—	—	—	107灰1 褐色色	—	—	—	108 85
415	SK10	Q1東上下位	須恵器 甕	口縁部 文	—	—	—	—	—	107灰1 褐色色	—	—	—	108 85
416	SK10	サウフQ1東上中	土師器 甕	口縁部 文	—	—	—	—	—	107灰1 褐色色	—	—	—	108 85
417	SK11	南東上段・東上	土師器 甕	口縁部 文	—	—	—	—	—	107灰3 12.0.褐色色	—	6.6	140	108 85
418	SK11	東上	土師器 甕	口縁部 文	—	—	—	—	—	107灰4 12.0.褐色色	—	9.0	140	108 85
419	SK12	T55内住居?フタコ塚上中・南東上段・南西1/4東上段・南東1/4東土中位・北東塚土上段・北西塚土中位・ベルトAAY層・ベルトB4F2層	土師器 甕	口縁部 文	外周付着 内面付着	—	—	—	—	107灰2 12.0.褐色色 14.02	—	18.4	107	108 85
420	SK12	南東1/4東土中位・北東塚土上段・南東塚土下段・北→東段・ベルトB4F3層・ベルトB4F2層・東土中	土師器 甕	口縁部 文	—	—	—	—	—	107灰3 褐色色 107灰2 12.0.褐色色	—	—	—	108 85
421	SK12	南東塚土下段・東段・南平塚土中位・南平塚土1層・北平塚土1層	土師器 甕	口縁部 文	外周付着	—	—	—	—	107灰3 12.0.褐色色	—	1.93	—	109 85
422	SK12-SK120	東土上段・東平塚土上段	土師器 甕	口縁部 文	—	—	—	—	—	107灰2 灰褐色色	—	3.32	—	109 86
423	SK12	南西塚土上段(東→北上)	須恵器 甕	口縁部 文	—	—	—	—	—	107灰2 灰褐色色	—	—	—	109 86
424	SK12	南土中	須恵器 甕	口縁部 文	—	—	—	—	—	107灰1 褐色色	—	—	—	109 86
425	SK12	南土上段	須恵器 甕	口縁部 文	—	—	—	—	—	107灰1 褐色色	—	—	—	109 86
426	SK13	サウフ1.9層下	土師器 甕	口縁部 文	—	—	—	—	—	107灰4 12.0.褐色色	—	4.2	—	109 86
427	SK06	点取内遺物	須恵器 甕	口縁部 文	—	—	—	—	—	107灰3 褐色色	—	—	—	109 86
428	SK06	南土7層之平	須恵器 甕	口縁部 文	—	—	—	—	—	N3 褐色色	—	—	—	109 86
429	SK101	南土11層	土師器 甕	口縁部 文	—	—	—	—	—	107灰4 12.0.褐色色	—	4.2	—	110 86
430	SK101	北平塚土1層	土師器 甕	口縁部 文	—	—	—	—	—	107灰1 灰白色	—	6.3	—	110 86
431	SK117	4層点取小	土師器 甕	口縁部 文	—	—	—	—	—	107灰4 12.0.褐色色	—	5.60	—	110 86

(備考)：備考欄 (数値)：単位省略

第45表 陶磁器観察表

図録№	出土地点	層位	分類	器種	部位	計測値 (cm)			釉薬・絵付	胎土	色調	備考	図録№	写真№
						口径	器高	底径						
441	SX02	北半埋土	陶器	飯器	胴部	—	—	—	鉄釉?・透明釉	砂粒含灰白	23Y6/4に赤・黄色	遺物№2	110	86
442	SX04	南半埋土	磁器	茶室	口縁～底部	8.5	37	3.5	透明釉	白色	7.5GY 明緑灰色	遺物№1 内面・朝鮮守備記念 外面・○○年参兵。○五職陣○○?	110	86

第46表 石器・石製品観察表

(数値)：推定値

図録№	出土地点	層位	器種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	石質	産地	時代	備考	図録№	写真№
451	SI12	南西1/4埋土下位	石匙	260	540	90	767	頁岩	北上山地	中生代	横置 片面一側縁加工	111	87
452	SI13	埋土下位 埋土4層床土 点取り№1	礫器	1630	480	310	371.70	流紋岩	浄土ヶ浜・松山・立丸峠	新生代古第三紀	一面に剥離面 片方?	111	87
453	SI12	ベルトA-A5層	磨石	(790)	640	570	400.87	細粒花崗閃緑岩	北上山地	中生代白亜紀	両面磨面	111	87
454	SI12	北西1/4埋土中位	磨石	1120	780	380	515.13	花崗岩	北上山地	中生代白亜紀	全面磨面 片面縁打直	111	87
455	SI11	床面	コケラン	1450	950	890	1480.00	花崗岩	北上山地	中生代白亜紀	断面三角形 断面1辺23mm 縦断面あり	111	87
456	SK96	10層 点取り№12	円石?	(1200)	760	500	651.29	花崗岩	北上山地	中生代白亜紀	両面に凹み 片面に縦断面	111	87
457	S004	埋土下位 S№1	台石	3100	(1250)	830	4090.00	花崗閃緑岩	北上山地	中生代白亜紀	片面に縦断面あり	112	88
458	SI13	コマツ16a層	台石?	(1050)	(1200)	500	665.50	流紋岩	浄土ヶ浜・松山・立丸峠	新生代古第三紀	両面に縦断面あり	112	88
459	SK111	北半埋土1層	砥石?	760	560	340	34.32	軽石	十和田火山	新生代古第三紀	両面取直縁あり	112	88
460	SI12 付底	5区埋土表土	砥石	(570)	(700)	470	219.20	砂岩	北上山地	中生代	両面取直縁あり	112	88

第47表 金属製品観察表

(数値)：推定値

図録№	出土地点	層位	類別	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	材質	備考	図録№	写真№
461	SI10	Q1埋土下位	鉄錐	(4.4)	1.1	0.4	2.40	鉄	総重量 6.2g a+b+c a・b 刃部、c 柄部	113	89
462	SI11	埋土4層中位	鉄錐	(16.0)	(1.0)	0.9	12.00	鉄	№1	113	89
463	SX03	南半埋土	手鎌	(20.6)	(13.6)	(3.0)	113.30	鉄	遺物№1 留金の径 3.0cm、幅 1.0cm	113	89
464	SI11	埋土4層下位	刀子	(6.7)	(1.9)	0.2	7.10	鉄	№2	113	89
465	SI12	南東1/4埋土	刀子?	(3.4)	(2.0)	0.1	3.20	鉄		113	89
466	SI12	南東1/4埋土下位	鋸?	7.5	5.2	1.0	14.00	鉄		113	89
467	SI12	南東埋土中位	鋸?	(3.0)	1.2	0.6	1.00	鉄	総重量 1.7g a+b	113	89
468	SI10	Q1埋土下位	鉄錐?	(3.5)	(1.9)	0.3	13.80	鉄		113	89
469	SK104	北半埋土7層上段	棒状	(7.4)	0.4	0.2	2.00	鉄	鉄線車の軸?	113	89
							総重量	173.50			

第48表 鉄洋類観察表 (1)

図録№	図録№	出土地点	層位	重量 (g)	分類	磁気	メタル反応	類別	備考	写真№
91	481	S004	コマツ埋土下位黒色土	4330	I B	無	—	流動洋		90
92	482	S004	埋土下位黒色土層	2400	I B	無	—	流動洋		90
93		S004	コマツ埋土埋土下位黒色土	050	I B	無	—	流動洋		
94		S004	埋土下位一床土	380	I B	無	—	流動洋		
		S004		総重量	7200					
96		SI10	コマツ埋土中	3000	I B	無	—	流動洋		
95		SI10Q4	埋土下位	580	II B	右	無	中硬洋		
97		SI11	埋土	9000	I B	無	—	流動洋		
98		SI11	埋土	1180	II A	右	強	中内洋		
99		SI11	東側埋土	100	II A	無	—	中内洋		
100		SI11	東側埋土	5070	II A	右	強	中内洋		
101	483	SI11	埋土4層下位点取り	18480	II A	無	—	中内洋	№3	90
102		SI11	埋土4層下位点取り	5190	II B	無	—	中硬洋	№4	
103	484	SI11	埋土3層床点取り	22570	II B	右	無	中硬洋	№5	90
		SI11		総重量	61590					
104		SI12	埋土上面	8500	II B	無	—	中硬洋		
105		SI12	南西1/4埋土下位	3920	II A	右	強	中内洋		

## 2. 出土遺物

第48表 鉄洋類観察表(2)

整理№	図取№	出土地点	層位	重量(g)	分類	組欠	メタル反応	種別	備考	写取№
106		SI12	北東理土1/4下位	1230	B A	有	無	中内洋		
107		SI12	北西理土中位	820	B A	有	弱	中内洋		
108		SI12	南東理土中位	270	B A	有	弱	中内洋		
109		SI12	バルトB-B5層	4500	B A	有	強	中内洋		
110		SI12	バルトB-B2層	260	B A	有	無	中内洋		
				総重量	13600					
111	485	SI13	理土	7800	I A	無	—	流動洋		90
112		SI13	北平理土中位	6050	I A	無	—	流動洋		
113	487	SI13	理土上位	40170	B B	有	強	中内洋		90
114	486	SI13	カマド1&8層	62390	B B	有	弱	中内洋		90
115		SI13	理土	13790	I A	無	—	流動洋		
116		SI13	理土中位	3150	I A	無	—	流動洋		
117		SI13	理土	690	I B	無	—	流動洋		
118		SI13	バルト3層	10920	I A	無	—	流動洋		
119		SI13	バルト2層	5710	B A	有	強	中内洋		
				総重量	151570					
120		SI13PP1	南平理土	2180	B A	有	強	中内洋		
121		SI13PP1	理土	3400	B A	有	強	中内洋		
				総重量	5640					
136		SX11	南平理土	1280	I B	有	弱	流動洋		
137		SX11	南平理土	800	B A	無	—	中内洋		
				総重量	2080					
122	488	SK102	理土上位	28940	B B	有	弱	中内洋		90
123		SK104	北平理土7層	680	B A	有	無	中内洋		
124	489	SK105	南平理土上位	5490	I B	無	—	流動洋		90
125		SK105	南平理土上位	590	B A	有	弱	中内洋		
126		SK105	南平理土上位	1770	B A	無	—	中内洋		
127		SK105	北平理土2層	2190	B A	有	強	中内洋		
				総重量	10040					
128		SK112	北平理土1層	160	B A	有	無	中内洋		
129		SK112	北平理土5層	360	B A	有	弱	中内洋		
130		SK112	北平理土4層	430	B A	有	弱	中内洋		
131		SK112	北平理土4層	390	I B	無	—	流動洋		
				総重量	1340					
132		SK114	北平理土2層	1400	I B	無	—	流動洋		
133		SK114	北平理土6層	340	I B	無	—	流動洋		
				総重量	1740					
134		SK128	4層中	940	I B	有	無	流動洋		
135		SK129	東平理土2層	2690	B A	有	強	中内洋		
137		トレンチ150	1層	12040	I A	無	—	流動洋		
138		5区南端	1層	7240	I B	無	—	流動洋		
				重量合計	336800					

第49表 ガラス製品観察表

(数値): 残存値

図取№	出土地点	層位	種別	口径(cm)	器高(cm)	口径(cm)	重量(g)	備考	図取№	写取№
471	T148 周辺	土坑?プラン検出面	ビール瓶	—	(26.40)	7.50	777.60	登録商標 大日本ビール	113	89

第50表 動物遺存体観察表 貝

整理№	図取№	出土地点	層位	重量(g)	備考
6041		SI12	北東理土下位	1.10	鏡片
6042		SK110	北平理土上位	990	片面 分析試料
6043	498・499	SK110	北平理土上位	31.40	鏡片 分析試料
				総重量	41.30
6044		SK111	7層	2250	片面 分析試料
6045	492	SK111	7層	11040	鏡片 分析試料
6046	491	SK111	7層	460	アワビ 分析試料
6047		SK111	北平理土7層	360	鏡片 分析試料
				総重量	15150
6048	494・495・496・497	SK126	理土中	22650	片面 分析試料
6049		SK126	理土中	28170	鏡片 分析試料
6050	492	SK126	西端理土中	560	鏡片 分析試料
				総重量	51380
				重量合計	707.70

第51表 動物遺存体観察表 骨(1)

動物No.	出土地点	層位	種別	部位	左右	備考
1	SK01-a		ウマ	肩甲骨	L	
2	SK01-a	北半層上	ウマ	肩甲骨	R	
3	SK01-a		ウマ	上腕骨	L・R	
4	SK01-a		ウマ	尺骨	L	
5	SK01-a ｶ?	トレンチ 148 土曜墓褐色土層	ウマ	中手骨	L	
6	SK01-a ｶ?	T148 奥道	ウマ	指骨		
7	SK01	南半層上	ウマ	指骨		
8	SK01	北半層上 1層	ウマ	腕骨		
9	SK01-a		ウマ	脛骨	L	
10	SK01-a		ウマ	胸椎		
11	SK01-a		ウマ	胸椎		
12	SK01-a		ウマ	腰椎		
13	SK01-a		ウマ	仙骨		
14	SK01-a		ウマ	尾椎		
15	SK01-a		ウマ	椎骨		
16	SK01-a		ウマ	椎骨		
17	SK01	北半層上 1層	ウマ	肋骨		
18	SK01-a		ウマ	肋骨	L	
19	SK01-a		ウマ	肋骨		
20	SK01-a		ウマ	寛骨	L	
21	SK01-a		ウマ	寛骨	R	
22	SK01-a		ウマ	大頰骨	L	
23	SK01-a		ウマ	大頰骨・ 脛骨	R・R	
24	SK01-a		ウマ	大頰骨・ 脛骨	L・L	
25	SK01 ｶ?	トレンチ 148 土曜墓褐色土層	ウマ	踵骨	R	
26	SK01-a		ウマ	中足骨	L	
27	SK01-b		ウマ	上顎骨		
28	SK01-b ｶ?	北半層上	ウマ	上顎骨		
29	SK01-b		ウマ	下顎骨	L	
30	SK01-b		ウマ	下顎骨	R	
31	SK01-b		ウマ	肩甲骨	R	
32	SK01-b		ウマ	上腕骨	R	
33	SK01-b		ウマ	上腕骨	L	
34	SK01-b		ウマ	尺骨	R	
35	SK01-b		ウマ	指骨	L	
36	SK01-b		ウマ	中手骨・ 指骨	R・R	
37	SK01-b		ウマ	脛骨		
38	SK01-b		ウマ	脛骨	L	
39	SK01-b		ウマ	趾骨		
40	SK01-b		ウマ	趾骨		
41	SK01-b		ウマ	胸椎		
42	SK01-b		ウマ	胸椎		
43	SK01-b		ウマ	腰椎		
44	SK01-b		ウマ	仙骨		
45	SK01-b		ウマ	肋骨		
46	SK01-b		ウマ	肋骨	R	
47	SK01-b		ウマ	肋骨	L	
48	SK01-b		ウマ	寛骨	R	
49	SK01-b		ウマ	寛骨	L	
50	SK01-b		ウマ	大頰骨	R	
51	SK01-b		ウマ	大頰骨	L	
52	SK01-b		ウマ	中足骨	R	
53	SK01-b		ウマ	趾骨・踵骨	一	
54	SK02	南半層上	不明	歯	一	
55	SK02 (SK03 ｱ?)	北半層上 1層	ウマ	腰椎・胸椎	一	
56	SK03-a		ウマ	肋骨		
57	SK03-a		ウマ	胸椎		
58	SK03-a ｶ?		ウマ	下顎骨	L	
59	SK03-a		ウマ	下顎骨	R	
60	SK03-a		ウマ	肩甲骨	L	
61	SK03-a		ウマ	尺骨	L	
62	SK03-a		ウマ	尺骨		
63	SK03-a		ウマ	中手骨	L	
64	SK03-a (SK03-a ｶ?)		ウマ	指骨	R	
65	SK03-a		ウマ	脛骨	L	
66	SK03-a		ウマ	寛骨	R	
67	SK03-a		ウマ	寛骨	L	
68	SK03-a		ウマ	大頰骨	L	
69	SK03-b ｱ		ウマ	大頰骨	R	
70	SK03-a		ウマ	中足骨	L	
71	SK03-a		ウマ	踵骨	R	
72	SK03-b		ウマ	上顎骨		
73	SK03-b		ウマ	上顎骨		
74	SK03-b		ウマ	上顎骨		
75	SK03-b		ウマ	下顎骨	L	
76	SK03-b		ウマ	下顎骨	R	
77	SK03-E (SK03-b ｶ?)		ウマ	肩甲骨	L	
78	SK03-E (SK03-b ｶ?)		ウマ	肩甲骨	R	
79	SK03-E (SK03-b ｶ?)		ウマ	上腕骨	L	
80	SK03-E		ウマ	上腕骨	R	
81	SK03-E (SK03-b ｶ?)		ウマ	尺骨	L	
82	SK03-b		ウマ	脛骨・ 尺骨	R	
83	SK03-b		ウマ	指骨		
84	SK03-a		ウマ	胸椎		
85	SK03-b		ウマ	胸椎		
86	SK03-b		ウマ	胸椎		
87	SK03-b		ウマ	胸椎		
88	SK03-b		ウマ	腰椎		
89	SK03-b		ウマ	仙骨		
90	SK03-b		ウマ	胸椎		
91	SK03-b		ウマ	胸椎		
92	SK03-b		ウマ	胸椎		
93	SK03-b		ウマ	肋骨	L	
94	SK03-b		ウマ	肋骨	R	
95	SK03-b		ウマ	寛骨	L	
96	SK03-b		ウマ	寛骨	R	
97	SK03-b		ウマ	大頰骨	L	
98	SK03-D (SK03-b ｶ?)		ウマ	大頰骨	R	
99	SK03-D		ウマ	脛骨	L	
100	SK03-D (SK03-b ｶ?)		ウマ	脛骨	R	
101	SK03-b		ウマ	中足骨	R	
102	SK03-c		ウマ	肩甲骨	L	
103	SK03-D (SK03-c ｶ?)		ウマ	肩甲骨	R	
104	SK03-c		ウマ	尺骨	L	
105	SK03-c		ウマ	尺骨	R	
106	SK03-a (SK03-c ｶ?)		ウマ	上腕骨		
107	SK03-c		ウマ	上腕骨	L	
108	SK03-c		ウマ	中手骨	R	
109	SK03-c		ウマ	胸椎		
110	SK03-c		ウマ	腰椎		
111	SK03-c		ウマ	仙骨		
112	SK03-c		ウマ	肋骨	L	
113	SK03-c		ウマ	寛骨	L	
114	SK03-c		ウマ	寛骨	R	
115	SK03-c		ウマ	大頰骨	L	
116	SK03-c		ウマ	大頰骨	R	
117	SK03-c		ウマ	脛骨	L	
118	SK03-c		ウマ	脛骨	R	
119	SK03-c		ウマ	不明	L	
120	SK03-c		ウマ	脛骨・ 中足骨	R	
121	SK03-c		ウマ	趾骨・ 中足骨	L	
122	SK03-D (SK03-a ｶ?)		ウマ	上顎骨		
123	SK03-D		ウマ	上顎骨		

## 2. 出土遺物

第51表 動物遺存体観察表 骨(2)

整理№	出土地点	層位	種別	部位	左右	備考
124	SX03-d		ウマ	肩甲骨	R	
125	SX03-d		ウマ	上腕骨	R	
126	SX03-d		ウマ	中足骨	R	
127	SX03-#		ウマ	肋骨・ 中手骨	L	
128	SX03		不明	頭蓋骨		
129	SX03		ウマ	下顎骨		
130	5区西側面 堀内遺造	1層	ウマ	下顎骨		
131	5区	焼物出土地点(T148 西南側)	ウマ	下顎骨		
132	5区 の北側 (SX03)	横骨墓裡土上段	ウマ	中足骨		
133	SX03	南半埋土	ウマ	肋骨		
134	SX03	南半埋土		不明		
135	SX03 (面)	北半埋土	ウマ	脛骨		
136	SX03	北半埋土	ウマ	脛骨		
137	SX03	北半埋土	ウマ	脛骨		
138	SX03	北半埋土	ウマ	脛骨		
139	SX03	南半埋土	ウマ	不明		ガラス
140	SX04 (SX03-cの?)		ウマ	中手骨	L	
141	SX04		ウシ	上顎骨		
142	SX04		ウシ	上顎骨		
143	SX04		ウシ	上顎骨		
144	SX04		ウシ	下顎骨	L	
145	SX04		ウシ	下顎骨	R	
146	SX04		ウシ	肩甲骨	L	
147	SX04		ウシ	肩甲骨	R	
148	SX04		ウシ	上腕骨	L	
149	SX04		ウシ	上腕骨	R	
150	SX04		ウシ	肋骨・尺骨	L	
151	SX04		ウシ	肋骨・尺骨	R	
152	SX04		ウシ	中手骨	L	
153	SX04		ウシ	中手骨	R	
154	SX04		ウシ	肋骨・肋骨	L	
155	SX04		ウシ	肋骨・肋骨	R	
156	SX04		ウシ	脛骨		
157	SX04		ウシ	脛骨		
158	SX04		ウシ	脛骨		
159	SX04		ウシ	脛骨		
160	SX04		ウシ	肋骨		
161	SX04		ウシ	肋骨	R	
162	SX04		ウシ	寛骨	L	
163	SX04		ウシ	寛骨	R	
164	SX04		ウシ	大腿骨	L	
165	SX04		ウシ	大腿骨	R	
166	SX04		ウシ	脛骨・脛骨	L	
167	SX04		ウシ	脛骨	R	
168	SX04		ウシ	脛骨		
169	SX04		ウシ	肋骨・踵骨	R	
170	SX04		ウシ	尾骨?		
171	SX04		ウシ	肋骨・踵骨・ 中足骨	一 L	
172	SX04	北半埋土	ウシ	踵骨	L	
173	SX04	北半埋土	ウシ	肋骨		
174	SX04	北半埋土1層	小動物	不明		
175	SX04	南半埋土	小動物	不明		
176	SX05 (SX05-a)	北半埋土	ウシ	上顎骨		
177	SX05		ウシ	上顎骨	R	
178	SX05-a		ウシ	上顎骨		

整理№	出土地点	層位	種別	部位	左右	備考
179	SX05-a		ウシ	下顎骨	L	
180	SX05-a		ウシ	下顎骨	R	
181	SX05-a		ウシ	肩甲骨	L	
182	SX05-a		ウシ	肩甲骨	R	
183	SX05-a		ウシ	上腕骨	L	
184	SX05-a		ウシ	上腕骨	R	
185	SX05(SX05-a)	北半埋土	ウシ	肋骨・尺骨	L	
186	SX05(SX05-a)	北半埋土	ウシ	肋骨・尺骨	R	
187	SX05-a	北半埋土1層	ウシ	肋骨		
188	SX05(SX05-a)		ウシ	肋骨		
189	SX05(SX05-a)	北半埋土	ウシ	肋骨		
190	SX05-a		ウシ	頸椎		
191	SX05-a		ウシ	頸椎		
192	SX05(SX05-a)	南半埋土	ウシ	頸骨		
193	SX05(SX05-a)	南半埋土	ウシ	頸骨		
194	SX05-a		ウシ	肋骨	R	
195	SX05(SX05-a)	南半埋土	ウシ	肋骨		
196	SX05(SX05-a)	北半埋土1層	ウシ	肋骨		
197	SX05(SX05-a)	北半埋土	ウシ	肋骨	L	
198	SX05-a		ウシ	寛骨	R	
199	SX05(SX05-a)	北半埋土1層	ウシ	中手骨	L	
200	SX05 旧 (SX05-a)	北半埋土	ウシ	中手骨	R	
201	SX05-a	北半埋土	ウシ	大腿骨	L	
202	SX05-a		ウシ	大腿骨	R	
203	SX05-a		ウシ	脛骨	L	
204	SX05-a		ウシ	脛骨	R	
205	SX05-a	北半埋土1層	ウシ	中手骨	L	
206	SX05-a	北半埋土1層	ウシ	中手骨	R	
207	SX05-b		ウマ	上顎骨		
208	SX05-b		ウマ	上顎骨		
209	SX05-b		ウマ	下顎骨	L	
210	SX05-b		ウマ	下顎骨	R	
211	SX05-b		ウマ	肩甲骨	L	
212	SX05-b		ウマ	肩甲骨	R	
213	SX05-b		ウマ	上腕骨	L	
214	SX05-b		ウマ	上腕骨	R	
215	SX05-b	北半埋土1層	ウマ	中手骨	L	
216	SX05-b		ウマ	頸椎		
217	SX05-b		ウマ	頸椎		
218	SX05-b		ウマ	頸椎		
219	SX05		ウマ	頸椎		
220	SX05-b		ウマ	頸椎		
221	SX05-b		ウマ	肋骨		
222	SX05-b		ウマ	肋骨		
223	SX05		ウマ	寛骨	L	
224	SX05-b		ウマ	寛骨	R	
225	SX05-b		ウマ	大腿骨	L	
226	SX05-b		ウマ	大腿骨	R	
227	SX05-b		ウマ	脛骨	L	
228	SX05-b		ウマ	脛骨	R	
229	SX05-b		ウマ	中足骨	L	
230	SX05-b		ウマ	踵骨・ 中足骨	R	
231	SX05-b		ウマ	中足骨	L	
232	SX05-b ?	北半埋土1層	ウマ	脛骨		
233	SX06	南半埋土	カモシカ?	下顎骨	L	
234	SX06		カモシカ?	肩甲骨	L・R	
235	SX06	北半埋土	カモシカ?	上腕骨?		
236	SX06		カモシカ?	上腕骨・ 肋骨	L	
237	SX06		カモシカ?	脛骨		
238	SX07		カモシカ?	上腕骨	R	
239	SX07	南半埋土	カモシカ?	中手骨	R	
240	SX07	南半埋土	カモシカ?	尺骨		
241	SX07		カモシカ?	脛骨	L・R	

第52表 炭化材観察表

整理No.	出土地点	層位	重量 (g)	観察判定	備考
191	SD4	カマド周辺埋土下位黒色土	0.53	クワ	
193	SD10	東側南北ベルト最下層	28.93	ホオノキ	
197	SD10	東側南北ベルト埋土上位	11.21		
199	SD10	東側南北ベルト埋土下位	28.51	ホオノキ	
200	SD10	カマド埋土 (最層)	0.26		
192	SD10Q2	埋土上位	1.05		
195	SD10 カマドQ2	埋土中	0.89		
196	SD10 カマドQ3	埋土中	1.35		
194	SD10Q4	埋土下位	5.28	クワ	℃分析
201	SD10	埋土	総重量 97.45		
201	SD11	埋土	0.87	クワ	
202	SD11	埋土 北12土層	0.59		℃分析
203	SD11	埋土4層点取り	0.45		
204	SD11	埋土	総重量 1.91		
204	SD12	南西埋土中位	2.62		
205	SD12	北西埋土下位	12.87		
206	SD12	北西埋土中位	5.51		
207	SD12	南東埋土下位	5.29		
208	SD12	ベルトA-A2層	0.89		
209	SD12	南西埋土下位～床上	2.44		
210	SD12	ベルトB-B5層	0.39		
211	SD12	床面直上	0.85		℃分析
215	SD12	カマド1層中	0.10		
212	SD12	埋土下位	総重量 30.96		
213	SD13	カマド1&4層	0.28		
214	SD13	カマド1-10層	0.28		
213	SD13	埋土	総重量 0.82		
216	SK96	埋土7層北半	22.09	クワ	
217	SK96	埋土上位南半	4.17		
219	SK96	南半埋土下位	4.09		
218	SK96	埋土	総重量 30.35		
218	SK97	南半埋土中位	0.57		
220	SK97	埋土中位	4.58	クワ	
221	SK97	埋土下位	0.49		
222	SK97	埋土	総重量 5.44		
222	SK99	埋土上位	1.27	クワ	
223	SK100	北半埋土1層	0.74	クワ	
224	SK101	南半埋土中位黒褐色土	7.18		
226	SK101	埋土1層	14.92		
227	SK101	11層	28.11	クワ	
228	SK101	状況面 (写真あり)	4.82		
227	SK101	埋土	総重量 106.03		

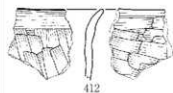
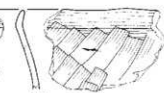
整理No.	出土地点	層位	重量 (g)	観察判定	備考
229	SK103	2層中	0.01		
230	SK111	南半埋土上位	9.15	ホオノキ・クワ混じる	
231	SK111	埋土7層	0.98		
232	SK111	埋土	総重量 10.13		
232	SK112	北半埋土2層	1.41		
233	SK112	北半埋土4層	3.17		
234	SK112	北半埋土5層	1.07		
233	SK112	埋土	総重量 5.65		
235	SK116	北半埋土13層	2.90	クワ混	
236	SK117	北半埋土2層	0.54		
237	SK117	北半埋土2層	0.53		
238	SK117	4層中	0.66	クワ	
238	SK117	埋土	総重量 1.73		
239	SK125	南半埋土中位	6.94		
240	SK125	北半埋土3層	7.67		
241	SK125	北半埋土5層	1.80		
242	SK125	北半埋土6層	7.68		
243	SK125	北半埋土8層	1.27		
244	SK125	北半埋土10層	0.37		
245	SK125	北半埋土11層	13.79	クワ	
245	SK125	埋土	総重量 39.52		
256	SX111	ベルトA-A1層	0.65		
257	SW04	埋土中	0.36	クワ	
258	SW05	埋土3層	2.01		℃分析
259	SW05	埋土3層	2.56		
260	SW05	3層 炭化材	30.08	クワ	
260	SW05	埋土	総重量 34.65		
246	SX01	南半埋土上位	8.60	ホオノキ	
247	SX01	北半埋土1層	5.60		
248	SX01	埋土	3.88		
249	SX01	埋土	総重量 18.08		
249	SX03	南半埋土	14.64	クワ混	
250	SX03	北半埋土1層	0.92		
251	SX03	埋土	総重量 15.56		
251	SX04	南半埋土	0.90		
253	SX04	北半埋土	10.93	クワ混	
253	SX04	埋土	総重量 11.83		
252	SX05	南半埋土	0.50		
254	SX06	南半埋土	4.46	クワ混	
255	SX07	北半埋土	2.37	ホオノキ	
261	トレンチ 148	褐色土層	0.19		
		重量合計	423.09		

2. 出土遺物

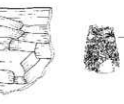
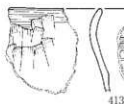
S K 121



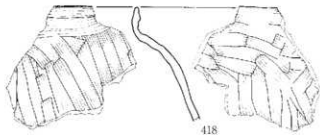
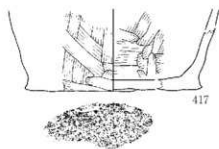
S 104



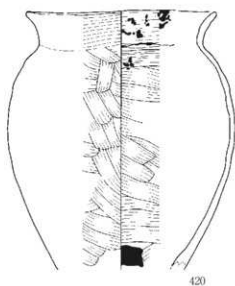
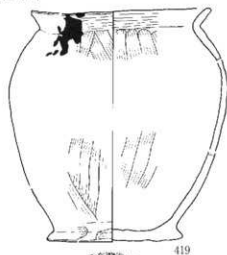
S 110



S 111



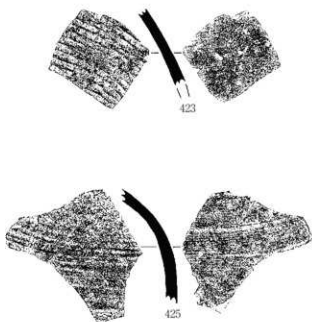
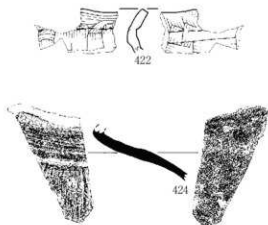
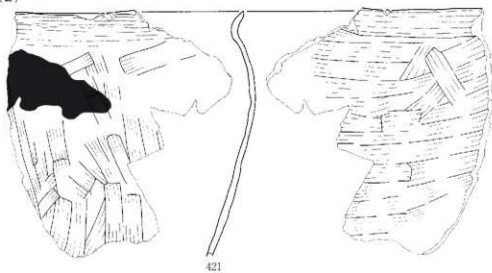
S 112 (1)



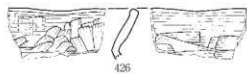
0 1:3 10cm

第108圖 土器 (1)

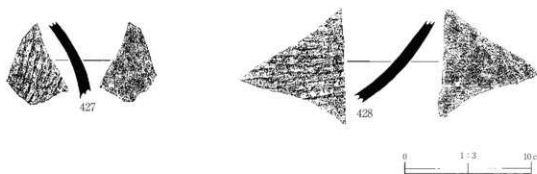
S I 12 (2)



S I 13



S K 96



0 1:3 10 cm

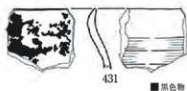


2. 出土遺物

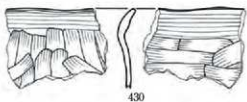
SK101



SK117



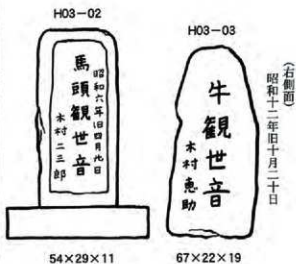
SK110



SX03

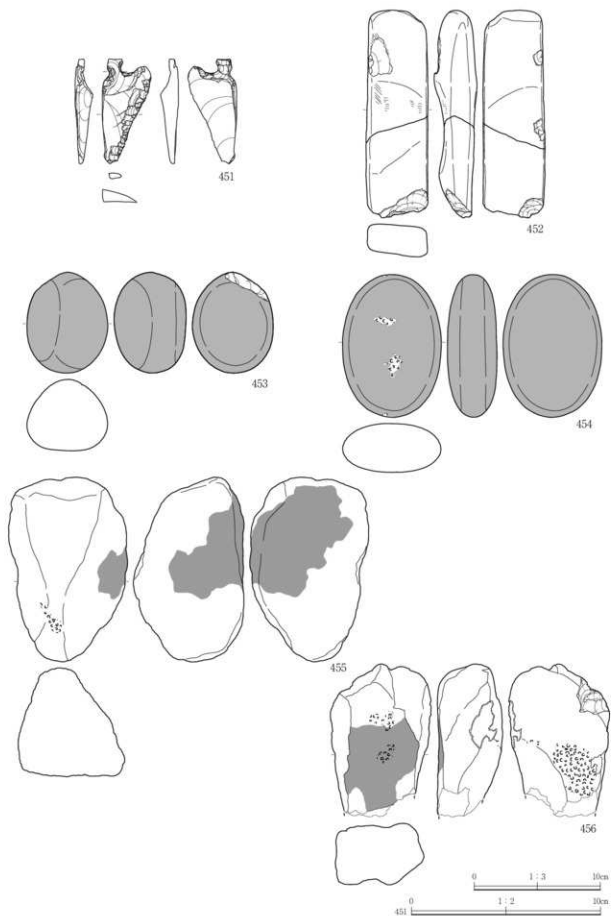


SX04

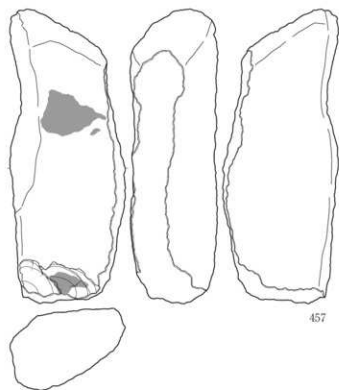


※名古屋市教育委員会編 2010『名古屋市の石碑』より引用。  
 ※図は、石碑の形状をできる限り模写したもので、実測図ではない。  
 ※石碑の寸寸は最大長で、左から高さ×幅×厚さの順に cm 単位で表示。台座の寸法は省略。

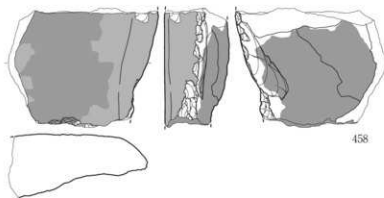
第110図 土器(3)、家畜埋葬墓場と石碑位置図



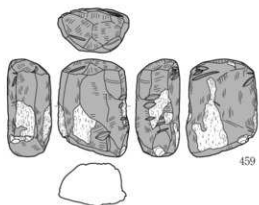
第111図 石器(1)



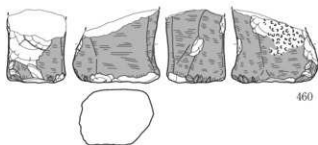
457



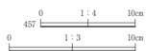
458



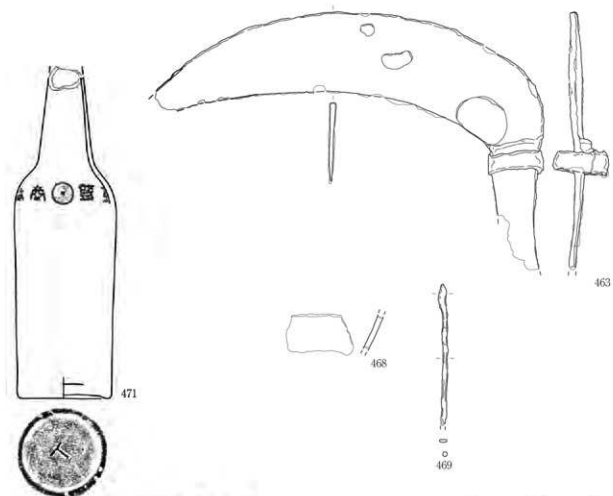
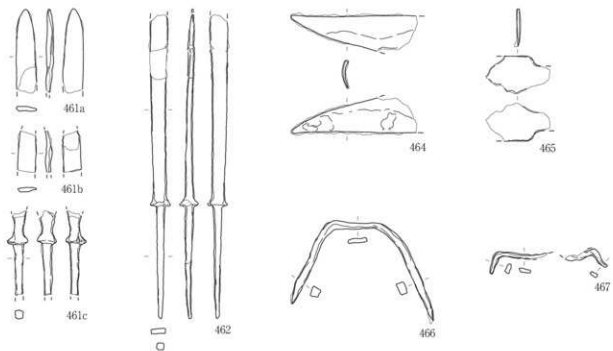
459



460

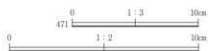


第112図 石器(2)

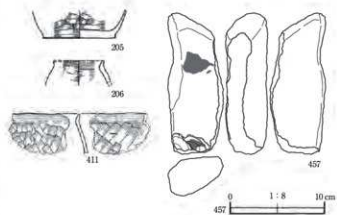


福成 監製

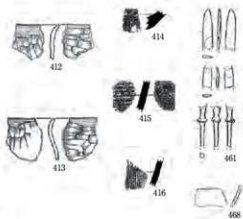
ルビ本日大



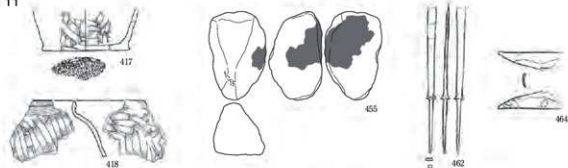
S 104



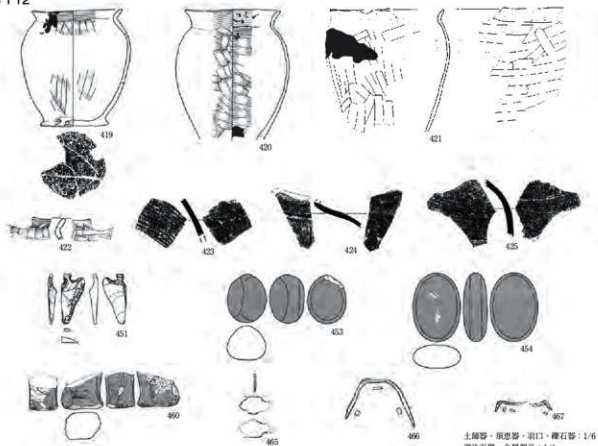
S 110



S 111



S 112



土師器・須恵器・須口・藤石器：1/6  
瀬片石器・金属製品：1/4

第114図 遺構内出土遺物集成図

## Ⅶ 分析・鑑定

### 1 放射性炭素年代（AMS測定）（平成27年度調査）

（株）加速器分析研究所

#### （1）測定対象試料

青猿Ⅰ遺跡は、岩手県下閉伊郡宮古市近内第2地割内（北緯39° 38' 41"、東経141° 55' 32"）に所在し、丘陵地に立地する。測定対象試料は、遺構から出土した炭化物3点である（表1）。

#### （2）測定の意義

試料が出土した遺構の時期を判断するための材料とする。

#### （3）化学処理工程

- （1）メス・ピンセットを使い、根・土等の付着物を取り除く。
- （2）酸-アルカリ-酸（AAA：Acid Alkali Acid）処理により不純物を化学的に取り除く。その後、超純水で中性になるまで希釈し、乾燥させる。AAA処理における酸処理では、通常1 mol/ℓ（1M）の塩酸（HCl）を用いる。アルカリ処理では水酸化ナトリウム（NaOH）水溶液を用い、0.001Mから1Mまで徐々に濃度を上げながら処理を行う。アルカリ濃度が1Mに達した時には「AAA」、1M未滴の場合は「AaA」と表1に記載する。
- （3）試料を燃焼させ、二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）を発生させる。
- （4）真空ラインで二酸化炭素を精製する。
- （5）精製した二酸化炭素を、鉄を触媒として水素で還元し、グラファイト（C）を生成させる。
- （6）グラファイトを内径1mmのカソードにハンドプレス機で詰め、それをホイールにはめ込み、測定装置に装着する。

#### （4）測定方法

加速器をベースとした<sup>14</sup>C-AMS専用装置（NEC社製）を使用し、<sup>14</sup>Cの計数、<sup>13</sup>C濃度（<sup>13</sup>C/<sup>12</sup>C）、<sup>14</sup>C濃度（<sup>14</sup>C/<sup>12</sup>C）の測定を行う。測定では、米国立標準局（NIST）から提供されたシュウ酸（HOX II）を標準試料とする。この標準試料とバックグラウンド試料の測定も同時に実施する。

#### （5）算出方法

- （1） $\delta^{13}\text{C}$ は、試料炭素の<sup>13</sup>C濃度（<sup>13</sup>C/<sup>12</sup>C）を測定し、基準試料からのずれを千分偏差（‰）で表した値である（表1）。AMS装置による測定値を用い、表中に「AMS」と注記する。
- （2）<sup>14</sup>C年代（Libby Age：yrBP）は、過去の大気中<sup>14</sup>C濃度が一定であったと仮定して測定され、1950年を基準年（0yrBP）として遡る年代である。年代値の算出には、Libbyの半減期（5568年）を使用する（Stuiver and Polach 1977）。<sup>14</sup>C年代は $\delta^{13}\text{C}$ によって同位体効果を補正する必要がある。補正した値を表1に、補正していない値を参考値として表2に示した。<sup>14</sup>C年代と誤差は、下1桁を丸めて10年単位で表示される。また、<sup>14</sup>C年代の誤差（ $\pm 1\sigma$ ）は、試料の<sup>14</sup>C年代がそ

の誤差範囲に入る確率が68.2%であることを意味する。

- (3) pMC (percent Modern Carbon) は、標準現代炭素に対する試料炭素の<sup>14</sup>C濃度の割合である。pMCが小さい (<sup>14</sup>Cが少ない) ほど古い年代を示し、pMCが100以上 (<sup>14</sup>Cの量が標準現代炭素と同等以上) の場合Modernとする。この値も  $\delta^{13}\text{C}$  によって補正する必要があるため、補正した値を表1に、補正していない値を参考値として表2に示した。
- (4) 暦年較正年代とは、年代が既知の試料の<sup>14</sup>C濃度をもとに描かれた較正曲線と照らし合わせ、過去の<sup>14</sup>C濃度変化などを補正し、実年代に近づけた値である。暦年較正年代は、<sup>14</sup>C年代に対応する較正曲線上の暦年代範囲であり、1標準偏差 ( $1\sigma = 68.2\%$ ) あるいは2標準偏差 ( $2\sigma = 95.4\%$ ) で表示される。グラフの縦軸が<sup>14</sup>C年代、横軸が暦年較正年代を表す。暦年較正プログラムに入力される値は、 $\delta^{13}\text{C}$ 補正を行い、下1桁を丸めない<sup>14</sup>C年代値である。なお、較正曲線および較正プログラムは、データの蓄積によって更新される。また、プログラムの種類によっても結果が異なるため、年代の活用にあたってはその種類とバージョンを確認する必要がある。ここでは、暦年較正年代の計算に、IntCal13データベース (Reimer et al. 2013) を使い、OxCalv4.2較正プログラム (Bronk Ramsey 2009) を使用した。暦年較正年代については、特定のデータベース、プログラムに依存する点を考慮し、プログラムに入力する値とともに参考値として表2に示した。暦年較正年代は、<sup>14</sup>C年代に基づいて較正 (calibrate) された年代値であることを明示するために「cal BC/AD」または「cal BP」という単位で表される。

## (6) 測定結果

測定結果を表1、2に示す。

試料の<sup>14</sup>C年代は、4が $1100 \pm 20\text{yrBP}$ 、11が $1110 \pm 20\text{yrBP}$ 、20が $1050 \pm 20\text{yrBP}$ である。暦年較正年代 ( $1\sigma$ ) は、4が898~979cal ADの間に2つの範囲、11が898~978cal ADの間に2つの範囲、20が987~1016cal ADの範囲で示される。

試料の炭素含有率はすべて60%を超える十分な値で、化学処理、測定上の問題は認められない。

表1 放射性炭素年代測定結果 ( $\delta^{13}\text{C}$ 補正值)

測定番号	試料名	採取場所	試料形態	処理方法	$\delta^{13}\text{C}$ (‰) (AMS)	$\delta^{13}\text{C}$ 補正あり	
						Libby Age (yrBP)	pMC (%)
IAAA-151632	4	SI02 南半埋土4層・炭化材 No.6	炭化物	AAA	$-10.58 \pm 0.37$	$1100 \pm 20$	$87.16 \pm 0.26$
IAAA-151633	11	SK01 西半埋土6層	炭化物	AAA	$-26.51 \pm 0.46$	$1110 \pm 20$	$87.14 \pm 0.25$
IAAA-151634	20	SXI04 埋土13層	炭化物	AAA	$-28.08 \pm 0.44$	$1050 \pm 20$	$87.74 \pm 0.25$

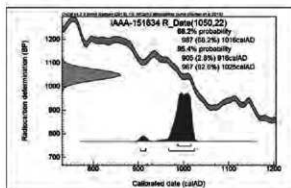
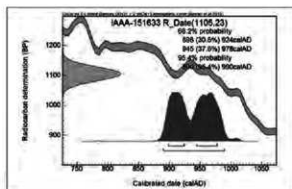
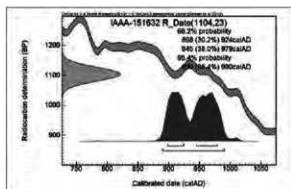
[#7618]

表2 放射性炭素年代測定結果 ( $\delta^{13}\text{C}$ 未補正值、暦年較正用 $^{14}\text{C}$ 年代、較正年代)

測定番号	$\delta^{13}\text{C}$ 補正なし		暦年較正用 (yrBP)	1 $\sigma$ 暦年代範囲	2 $\sigma$ 暦年代範囲
	Age (yrBP)	pMC (%)			
IAAA-151632	870 $\pm$ 20	89.75 $\pm$ 0.25	1,104 $\pm$ 23	898calAD-924calAD (30.2%) 945calAD-979calAD (38.0%)	890calAD-990calAD(95.4%)
IAAA-151633	1,130 $\pm$ 20	86.87 $\pm$ 0.24	1,105 $\pm$ 23	898calAD-924calAD (30.6%) 945calAD-978calAD (37.6%)	890calAD-990calAD(95.4%)
IAAA-151634	1,100 $\pm$ 20	87.18 $\pm$ 0.23	1,050 $\pm$ 22	987calAD-1016calAD (68.2%)	905calAD-916calAD ( 2.8%) 967calAD-1025calAD(92.6%)

[参考値]

## 文献

Bronk Ramsey, C. 2009 Bayesian analysis of radiocarbon dates, *Radiocarbon* 51 (1) , 337-360Reimer, P.J. et al. 2013 IntCal13 and Marine13 radiocarbon age calibration curves, 0-50,000 years cal BP, *Radiocarbon* 55 (4) , 1869-1887Stuiver, M. and Polach, H.A. 1977 Discussion: Reporting of  $^{14}\text{C}$  data, *Radiocarbon* 19(3), 355-363

[図版] 暦年較正年代グラフ (参考)



## 2 放射性炭素年代 (AMS測定) (平成28年度調査)

(株) 加速器分析研究所

### (1) 測定対象試料

青猿 I 遺跡は、岩手県下閉伊郡宮古市近内第 2 地割内(北緯39° 38' 41", 東経141° 55' 32")に所在し、丘陵地に立地する。測定対象試料は、堅穴住居跡、土坑、炭竈跡から出土した炭化物4点である(表1)。

### (2) 測定の意義

試料が出土した遺構の時期を判断するための材料とする。

### (3) 化学処理工程

- (1) メス・ピンセットを使い、土等の付着物を取り除く。
- (2) 酸-アルカリ-酸 (AAA: Acid Alkali Acid) 処理により不純物を化学的に取り除く。その後、超純水で中性になるまで希釈し、乾燥させる。AAA処理における酸処理では、通常1 mol/ℓ (1M) の塩酸 (HCl) を用いる。アルカリ処理では水酸化ナトリウム (NaOH) 水溶液を用い、0.001Mから1Mまで徐々に濃度を上げながら処理を行う。アルカリ濃度が1Mに達した時には「AAA」、1M未満の場合は「AaA」と表1に記載する。
- (3) 試料を燃焼させ、二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) を発生させる。
- (4) 真空ラインで二酸化炭素を精製する。
- (5) 精製した二酸化炭素を、鉄を触媒として水素で還元し、グラファイト (C) を生成させる。
- (6) グラファイトを内径1 mmのカソードにハンドプレス機で詰め、それをホイールにはめ込み、測定装置に装着する。

### (4) 測定方法

加速器をベースとした<sup>14</sup>C-AMS専用装置 (NEC社製) を使用し、<sup>14</sup>Cの計数、<sup>13</sup>C濃度 (<sup>13</sup>C/<sup>12</sup>C)、<sup>14</sup>C濃度 (<sup>14</sup>C/<sup>12</sup>C) の測定を行う。測定では、米国国立標準局 (NIST) から提供されたシュウ酸 (HOx II) を標準試料とする。この標準試料とバックグラウンド試料の測定も同時に実施する。

### (5) 算出方法

- (1)  $\delta^{13}\text{C}$ は、試料炭素の<sup>13</sup>C濃度 (<sup>13</sup>C/<sup>12</sup>C) を測定し、基準試料からのずれを千分偏差 (‰) で表した値である(表1)。AMS装置による測定値を用い、表中に「AMS」と注記する。
- (2) <sup>14</sup>C年代 (Libby Age: yrBP) は、過去の大気中<sup>14</sup>C濃度が一定であったと仮定して測定され、1950年を基準年 (0yrBP) として遡る年代である。年代値の算出には、Libbyの半減期 (5568年) を使用する (Stuiver and Polach 1977)。<sup>14</sup>C年代は $\delta^{13}\text{C}$ によって同位体効果を補正する必要がある。補正した値を表1に、補正していない値を参考値として表2に示した。<sup>14</sup>C年代と誤差は、下1桁を丸めて10年単位で表示される。また、<sup>14</sup>C年代の誤差 ( $\pm 1\sigma$ ) は、試料の<sup>14</sup>C年代がその誤差範囲に入る確率が68.2%であることを意味する。
- (3) pMC (percent Modern Carbon) は、標準現代炭素に対する試料炭素の<sup>14</sup>C濃度の割合である。pMCが小さい (<sup>14</sup>Cが少ない) ほど古い年代を示し、pMCが100以上 (<sup>14</sup>Cの量が標準現代炭素

と同等以上)の場合Modernとする。この値も $\delta^{13}\text{C}$ によって補正する必要があるため、補正した値を表1に、補正していない値を参考値として表2に示した。

- (4) 暦年較正年代とは、年代が既知の試料の $^{14}\text{C}$ 濃度をもとに描かれた較正曲線と照らし合わせ、過去の $^{14}\text{C}$ 濃度変化などを補正し、実年代に近づけた値である。暦年較正年代は、 $^{14}\text{C}$ 年代に対応する較正曲線上の暦年代範囲であり、1標準偏差( $1\sigma = 68.2\%$ )あるいは2標準偏差( $2\sigma = 95.4\%$ )で表示される。グラフの縦軸が $^{14}\text{C}$ 年代、横軸が暦年較正年代を表す。暦年較正プログラムに入力される値は、 $\delta^{13}\text{C}$ 補正を行い、下1桁を丸めない $^{14}\text{C}$ 年代値である。なお、較正曲線および較正プログラムは、データの蓄積によって更新される。また、プログラムの種類によっても結果が異なるため、年代の活用にあたってはその種類とバージョンを確認する必要がある。ここでは、暦年較正年代の計算に、IntCal13データベース(Reimer et al. 2013)を用い、OxCalv4.2較正プログラム(Bronk Ramsey 2009)を使用した。暦年較正年代については、特定のデータベース、プログラムに依存する点を考慮し、プログラムに入力する値とともに参考値として表2に示した。暦年較正年代は、 $^{14}\text{C}$ 年代に基づいて較正(calibrate)された年代値であることを明示するために「cal BC/AD」または「cal BP」という単位で表される。

## (6) 測定結果

測定結果を表1、2に示す。

試料の $^{14}\text{C}$ 年代は、30が $930 \pm 20\text{yrBP}$ 、84が $920 \pm 20\text{yrBP}$ 、114が $1090 \pm 20\text{yrBP}$ 、129が $1120 \pm 20\text{yrBP}$ である。暦年較正年代( $1\sigma$ )は、30が $1045 \sim 1154\text{cal AD}$ 、84が $1046 \sim 1155\text{cal AD}$ 、114が $901 \sim 988\text{cal AD}$ 、129が $895 \sim 969\text{cal AD}$ の間に各々複数の範囲で示される。

試料の炭素含有率はすべて60%を超える十分な値で、化学処理、測定上の問題は認められない。

## 文献

- Bronk Ramsey, C. 2009 Bayesian analysis of radiocarbon dates, *Radiocarbon* 51 (1), 337-360  
 Reimer, P.J. et al. 2013 IntCal13 and Marine13 radiocarbon age calibration curves 0-50,000 years cal BP, *Radiocarbon* 55 (4), 1869-1887  
 Stuiver, M. and Polach, H.A. 1977 Discussion: Reporting of  $^{14}\text{C}$  data, *Radiocarbon* 19 (3), 355-363

表1 放射性炭素年代測定結果 ( $\delta^{13}\text{C}$ 補正值)

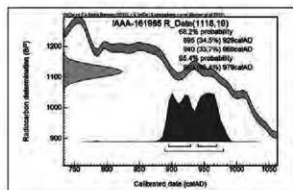
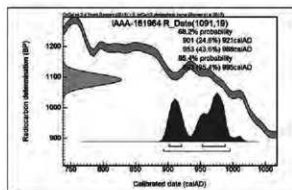
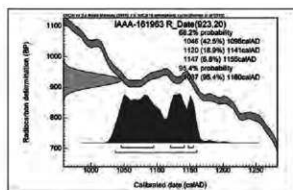
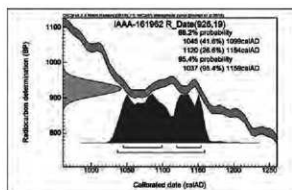
測定番号	試料名	採取場所	試料形態	処理方法	$\delta^{13}\text{C}$ (‰) (AMS)	$\delta^{13}\text{C}$ 補正あり	
						Libby Age (yrBP)	pMC (%)
IAAA-161962	30	SI08 ベルト C'C'5 層	炭化物	AAA	-25.61 ± 0.17	930 ± 20	89.11 ± 0.22
IAAA-161963	84	SK65 北半埋土 6 層	炭化物	AAA	-24.76 ± 0.28	920 ± 20	89.14 ± 0.23
IAAA-161964	114	SK88 西半埋土 11 層	炭化物	AAA	-27.14 ± 0.19	1,090 ± 20	87.29 ± 0.21
IAAA-161965	129	SW03 西半埋土 2 層 炭化材層	炭化物	AaA	-27.58 ± 0.21	1,120 ± 20	87.00 ± 0.21

[#8349]

表2 放射性炭素年代測定結果 ( $\delta^{13}\text{C}$ 未補正值、暦年較正用 $^{14}\text{C}$ 年代、較正年代)

測定番号	$\delta^{13}\text{C}$ 補正なし		暦年較正用 (yrBP)	1 $\sigma$ 暦年代範囲	2 $\sigma$ 暦年代範囲
	Age (yrBP)	pMC (%)			
IAAA-161962	940 ± 20	89.00 ± 0.22	926 ± 19	1045calAD - 1099calAD (41.6%) 1120calAD - 1154calAD (26.6%)	1037calAD - 1159calAD (95.4%)
IAAA-161963	920 ± 20	89.19 ± 0.22	923 ± 20	1046calAD - 1095calAD (42.5%) 1120calAD - 1141calAD (18.9%) 1147calAD - 1155calAD ( 6.8%)	1037calAD - 1160calAD (95.4%)
IAAA-161964	1,130 ± 20	86.91 ± 0.21	1,091 ± 19	901calAD - 921calAD (24.6%) 953calAD - 988calAD (43.6%)	893calAD - 995calAD (95.4%)
IAAA-161965	1,160 ± 20	86.54 ± 0.21	1,118 ± 19	896calAD - 929calAD (34.5%) 940calAD - 969calAD (33.7%)	889calAD - 979calAD (95.4%)

[参考値]



[図版] 暦年較正年代グラフ (参考)

## 3 動物遺存体同定 (平成28年度調査)

バリノ・サーヴェイ株式会社

## はじめに

青猿Ⅰ遺跡(岩手県宮古市近内第2地割地内に所在)は、閉伊川左岸に広がる丘陵地斜面から尾根部にかけて位置する。これまでの発掘調査の結果、縄文時代の土器・石器、古代の工房跡や土坑などが検出されている。

今回、10世紀代の古代の土坑覆土から出土した動物遺存体、主に貝類についてその種類を明らかにし、当時の食料資源等に関する情報を得ることとした。

## (1) 試料

試料は、S K75から13試料(No.6001~6009, 6027~6029, 6034)、S K77から5試料(No.6010~6014)、S K90から16試料(No.6015~6026, 6030~6033)の合計34試料である。いずれも乾燥された状態にある。なお、試料の詳細については、結果とともに表示する。

## (2) 分析方法

試料を肉眼および実体顕微鏡下で観察し、形態的特徴から種・部位を同定する。必要に応じてデジタルノギスを使用して計測する。なお、貝類の生態等については、奥谷ほか(2000)、奥谷編著(2004)を参考とする。

## (3) 結果

確認された種類は、ウニ綱、腹足綱5種類(クボガイ類・キサゴ類・ヨウラクガイ?・チヂミボラ・パツラマイマイ)、二枚貝綱2種類(ムラサキインコ・マルスダレガイ科)、顎脚綱(チシマフジツボ)、硬骨魚綱(タイ科?)である(表1)。同定結果を表2に示す。以下、遺構ごとに結果を記す。

S K75では、二枚貝のムラサキインコを主体とし、クボガイ類・キサゴ類・チシマフジツボを伴う。また、魚類のタイ科の可能性のある歯牙がみられる。

S K77は、二枚貝綱を主体とするが、破片が多く、その多くはイガイ科である。

S K90は、S K75と同様に二枚貝のムラサキインコを主体とする。また、ヨウラクガイ?・チヂミボラ・パツラマイマイ・マルスダレガイ科・チシマフジツボを伴う。

表1. 検出動物分類群一覧

軟体動物門	Phylum Mollusca
腹足綱	Class Gastropoda
前鰓亜綱	Subclass Prosobranchia
古腹足目	Order Vetigastropoda
ニシキウズガイ科	Family Trochidae
クボガイ類	Chlorostoma sp.
キサゴ類	Umbonium sp.
新腹足目	Order Neogastropoda
アツキガイ科	Family Muricidae
ヨウラクガイ亜科	Subfamily Ocenebrinae
ヨウラクガイ?	<i>Pteropurpura</i> ( <i>Ocenebrellus</i> ) <i>falcata</i> ?
チヂミボラ	<i>Nucella lima</i>
有肺亜綱	Subclass Pulmonata
柄眼目	Order Stylommatophora
ナタネガイ科	Family Punctidae
パツラマイマイ	<i>Discus pauper</i>
二枚貝綱	Class Bivalvia
翼形亜綱	Subclass Pteriomorphia
イガイ目	Order Mytiloidea
イガイ科	Family Mytilidae
イガイ	<i>Mytilus coruscus</i>
ムラサキインコ	<i>Scapharca vitreata</i>
異歯亜綱	Subclass Heterodonta
マルスダレガイ目	Order Veneroida
マルスダレガイ科	Family Veneridae
マルスダレガイ科	Gen. et. sp. indet.
節足動物門	Phylum Arthropoda
顎脚綱	Class Maxillopoda
鞘甲亜綱	Subclass Thecostraca
無柄目	Order Sessilia
フジツボ亜目	Balanina
フジツボ科	Family Balanidae
アカフジツボ亜科	Subfamily Megabalaninae
チシマフジツボ	<i>Balanus cariosus</i>
脊椎動物門	Phylum Vertebrata
硬骨魚綱	Class Osteichthyes
条鰭亜綱	Subclass Actinopterygii
スズキ目	Order Perciformes
スズキ亜目	Suborder Percoidei
タイ科?	Family Sparidae?
タイ科?	Gen. et. sp. indet.

## (4) 考 察

各遺構とも破片が多い傾向にあるが、SK90で最も多く、次いでSK75、SK77の順に検出される(表3)。

表2 同定結果(1)

整理No.	出土地点	層位	注記	種類	部位	左	右	部分	数量	重量(g)	
6001	SK75	埋土上位(26層)	①	イガイ	殻	左		破片	1		
				ムラサキインコ	殻	左		破片	2		
					殻		右		破片	3	
					残渣					0.01 g	
6002	SK75	埋土上位(26層)	①	二枚貝綱	殻		破片	12.34 g			
				残渣					0.32 g		
6003	SK75	埋土上位(26層)	②	二枚貝綱	殻		破片	8.44 g			
				残渣					0.44 g		
6004	SK75	埋土上位(26層)	③	二枚貝綱	殻		破片	0.43 g			
6005	SK75	埋土上位(27層)	①	ムラサキインコ	殻		右	破片	2		
				残渣					0.28 g		
6006	SK75	埋土上位(27層)	①	チシマフジツボ	殻			破片	16		
				フジツボ類	殻			破片	15		
					二枚貝綱	殻			破片	31.07 g	
					残渣					3.15 g	
				残渣					1.76 g		
6007	SK75	埋土上位(27層)	③	残渣					1.76 g		
				ムラサキインコ	殻	左		破片	4		
					殻		右		破片	5	
				チシマフジツボ	殻			破片	8		
					二枚貝綱	殻			破片	10.09 g	
残渣					1.02 g						
6009	SK75	埋土上位(27層)	④	ムラサキインコ	殻	左		破片	5		
					殻		右		破片	7	
6010	SK77	埋土(8層)		イガイ	殻	左		破片	1		
					殻		右		破片	1	
					殻				破片	3	
				二枚貝綱	殻			破片	5.52 g		
				残渣					1.24 g		
6011	SK77	8層		イガイ	殻			破片	2		
				二枚貝綱	殻			破片	13.73 g		
				残渣					1.82 g		
6012	SK77	埋土中層(8層)		二枚貝綱	殻			破片	4.85 g		
				残渣					0.24 g		
6013	SK77	埋土中層(8層)		二枚貝綱	殻			破片	1.62 g		
				残渣					0.38 g		
6014	SK77	埋土中層9層		イガイ	殻			破片	1		
				残渣					1.71 g		
6015	SK90	南半埋土下位	貝殻a	チシマフジツボ	殻			破片	10		
				フジツボ類	殻			破片	4		
					二枚貝綱	殻			破片	84.76 g	
					残渣					12.09 g	
				6016	SK90	南半埋土下位	貝殻a	ハツラマイマイ	殻		
ムラサキインコ	殻	左						破片	5		
	殻		右						破片	5	
チシマフジツボ	殻							破片	30		
フジツボ類	殻							破片	4		
二枚貝綱	殻			破片	7.89 g						
残渣					3.21 g						
6017	SK90	南半埋土下位	貝殻a	ムラサキインコ	殻	左		破片	42		
					殻		右		破片	25	
				残渣					0.25 g		
6018	SK90	南半埋土下位	貝殻a	イガイ	殻	左		破片	8		
					殻		右		破片	3	
				ムラサキインコ	殻	左		破片	10		
					殻		右		破片	6	
				二枚貝綱	殻			破片	3.79 g		
残渣					0.91 g						

表2 同定結果(1)

整理No.	出土地点	層位	注記	種類	部位	左	右	部分	数量	重量(g)	
6019	SK90	南半埋土下位	貝殻a	イガイ	殻	左		破片	7		
					殻	右		破片	8		
				ムラサキインコ	殻	左		ほぼ完存	1		
					殻	左		破片	47		
					殻	右		破片	34		
				マルスダレガイ科	殻	左		破片	1		
				二枚貝綱	殻			破片	3.47		
残渣							2.76 g				
6020	SK90	南半埋土下位	貝殻a	イガイ	殻	左		破片	7		
					殻	右		破片	6		
				ムラサキインコ	殻	左		破片	1		
					殻	左		ほぼ完存	10		
					殻	左		破片	8		
				殻	右		ほぼ完存	13			
				殻	右		破片	9			
				二枚貝綱	殻			破片	0.62		
				残渣							1.61 g
				6021	SK90	南半埋土下位	貝殻a	チシマフジツボ	殻		
フジツボ類	殻							破片	2		
二枚貝綱	殻							破片	45.79		
二枚貝綱主体残渣	殻							破片	270.29		
残渣											375.29 g
6022	SK90	南半埋土下位	貝殻a	腹足綱	殻			破片	1		
				ヨウラクガイ?	殻			破片	1		
				イガイ	殻			破片	4		
				ムラサキインコ	殻	右		破片	2		
					殻			破片	7		
				チシマフジツボ	殻			破片	7		
				二枚貝綱	殻			破片	124.67		
				二枚貝綱主体残渣	殻			破片	279.89		
残渣							178.39 g				
6023	SK90	南半埋土下位	貝殻b	チシマフジツボ	殻			破片	3		
				二枚貝綱	殻			破片	0.61		
				残渣							0.71 g
6024	SK90	南半埋土下位	貝殻b	チシマフジツボ	殻			破片	15		
				フジツボ類	殻			破片	1		
				二枚貝綱	殻			破片	1.69		
6025	SK90	南半埋土下位	貝殻b	二枚貝綱	殻			破片	0.09		
6026	SK90	南半埋土下位	貝殻b	二枚貝綱	殻			破片	0.02		
6027	SK75	埋土上位(26層)	①	キサゴ類	殻			破片	1		
6028	SK75	埋土上位(27層)	①	腹足綱	殻			破片	1		
6029	SK75	埋土上位(27層)	④	腹足綱	殻			破片	3		
6030	SK90	南半埋土下位	貝殻a	クボガイ類	殻			破片	2		
				腹足綱	殻			破片	5		
6031	SK90	南半埋土下位	貝殻b	ハツママイマイ	殻			ほぼ完存	1		
6032	SK90	南半埋土下位	貝殻a	チヂミボラ	殻			破片	1		
				腹足綱	殻			破片	2		
				腹足綱	殻			破片	2		
6033	SK90	南半埋土下位	貝殻a④	腹足綱	殻			破片	2		
				ムラサキインコ	殻	左		破片	8		
					殻	右		破片	6		
				チシマフジツボ	殻			破片	4		
				残渣							0.61 g
6034	SK75	埋土上位(27層)	②貝	腹足綱	殻			破片	2		
				チシマフジツボ	殻			破片	43		
				フジツボ類	殻			破片	23		
				二枚貝綱	殻			破片	9.72		
				タイ類?	歯牙?			破片	2		
				残渣							2.02 g

ただし、これら3遺構とも貝類組成は類似しており、ムラサキインコを主体とし、イガイを伴う。

ムラサキインコやイガイは、北海道西南部～九州に分布し、潮間帯の岩礁に生育するとされている。遺跡近隣の岩礁地で採取されていたとみられる。これらの種類は、岩手県沿岸域に立地する縄文時代の貝塚などでは主体種となる。また、このような岩礁地でクボガイ類・ヨウラクガイ?・チヂミボラ・チシマフジツボなども、また砂浜部でキサゴ類やマルスタレガイ科も数量が少ないが採取されたことがわかる。

しかし、種類構成が単調である点は、採取場所が限定されていた、あるいは嗜好性、短期間で埋没したなどのことを反映している可能性がある。今後、同時期の遺構について貝類が廃棄された土坑があれば検討を行いたい。

## 引用文献

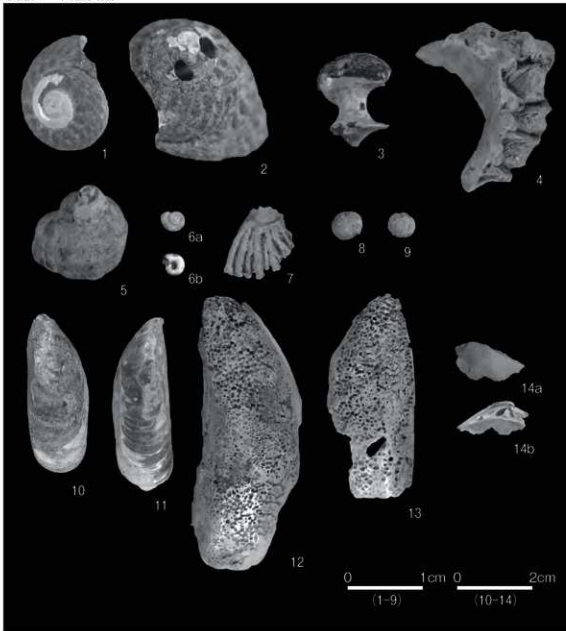
奥谷喬司・窪寺恒己・黒住耐二・齋藤 寛・佐々木猛智・土田英治・土屋光太郎・長谷川和範・濱谷 巖・逢水 格・堀 成夫・松隈明彦 2000. 日本近海産貝類図鑑. 奥谷喬司編. 東海大学出版会. 1173p.

奥谷喬司編著 2004. 改訂新版 世界文化生物大図鑑 貝類. 株式会社世界文化社. 399p.

表3. 遺構別出土傾向

	S K 75		S K 77		S K 90
	埋土 上位 (26層)	埋土 上位 (27層)	埋土 中層 (8層)	埋土 中層 9層	南半 埋土 下位
クボガイ類					2
キサゴ類	1				1
ヨウラクガイ?					1
チヂミボラ					3
パツラマイマイ		6			10
腕足綱					
イガイ	1		1		22
			1		17
			5		5
ムラサキインコ	2	9		1	131
	3	14			100
					7
マルスタレガイ科					1
二枚貝綱	21.21g	50.88g	25.72g		273.4g
チシマフジツボ					90
フジツボ類					11
タイ類?		2			
歯牙?					
残渣	0.77g	8.23g	3.68g	1.71g	1126.01g

図版 1 出土貝類



1. クボガイ類殻 (No.6030;SK90 南半埋土下位貝殻 a) : 掲載番号 311
2. クボガイ類殻 (No.6030;SK90 南半埋土下位貝殻 a) : 掲載番号 312
3. キサコ類殻 (No.6027;SK75 埋土上位 (26層)①) : 掲載番号 313
4. ヨウラクガイ? 殻 (No.6022;SK90 南半埋土下位貝殻 a) : 掲載番号 314
5. チヂミボラ殻 (No.6032;SK90 南半埋土下位貝殻 a) : 掲載番号 315
6. バツラマイマイ殻 (No.6016;SK90 南半埋土下位貝殻 a) : 掲載番号 316
7. チシマフジツボ殻 (No.6016;SK90 南半埋土下位貝殻 a) : 掲載番号 317
8. タイ類? 歯牙? (No.6034;SK75 埋土上位 (27層)②貝) : 掲載番号 318
9. タイ類? 歯牙? (No.6034;SK75 埋土上位 (27層)②貝) : 掲載番号 319
10. ムラサキインコ左殻 (No.6020;SK90 南半埋土下位貝殻 a) : 掲載番号 320
11. ムラサキインコ右殻 (No.6020;SK90 南半埋土下位貝殻 a) : 掲載番号 321
12. イガイ左殻 (No.6020;SK90 南半埋土下位貝殻 a) : 掲載番号 322
13. イガイ右殻 (No.6020;SK90 南半埋土下位貝殻 a) : 掲載番号 323
14. マルスタレガイ科左殻 (No.6019;SK90 南半埋土下位貝殻 a) : 掲載番号 324



## 4 植物遺存体（炭化種実）同定（平成28年度調査）

バリノ・サーヴェイ株式会社

### はじめに

本分析調査では、青猿Ⅰ遺跡（岩手県宮古市近内第2地割地内）の古代（平安時代）とされる竪穴住居跡および土坑から出土した炭化種実の同定を実施し、当時の植物利用に関する資料を作成する。

### （1）試料

試料は、S I 07西半埋土（No.5001）、S I 08カマド北半埋土下位（No.5002）、S I 09カマド燃焼ブ（No.5003）、S I 09カマド（No.5004）、S K 75埋土上位（27層）（No.5005）より出土した炭化種実5点38個である。試料は全て乾燥した状態でガーゼ上に置かれ、容器に入っている。また、一部に接着剤を使用した接合痕が認められる。種実同定は、全試料を対象に実施する。

### （2）分析方法

試料を双眼実体顕微鏡下で観察し、ピンセットを用いて、同定が可能な炭化種実を抽出する。炭化種実の同定は、現生標本や椿坂（1993）、石川（1994）、中山ほか（2010）、鈴木ほか（2012）等を参考に実施し、部位・状態別の個数と重量、長さ、幅、厚さ等を計測し、結果を一覧表で示す。実体顕微鏡下による区別が困難な複数分類群間は、ハイフォンで結んで表示する。同定した分類群は、写真を添付して同定根拠とする。

分析後は、炭化種実を容器に戻して返却する。

### （3）結果

結果を表1に示す。また、炭化種実各分類群の写真を図版1に、計測値を表1に示して同定根拠とする。

分析に供された5試料より、被子植物6分類群（木本のオニグルミ、ミズナラ・コナラ、コナラ属、草本のイネ、キビ、アワ）37個3.04gの炭化種実が同定された。1個0.01g（No.5003）は不明で、残存長3.6mm、残存幅4.4mm、厚さ2.5mmのやや偏平な半円体で表面が発泡している。炭化した豆類のダイズ類の種子の可能性もある。

炭化種実群のうち、栽培種は、穀類のイネの胚乳が1個0.00g（No.5003）、雑穀類のキビの穎・胚乳が11個0.04g（No.5004）、アワの胚乳が1個0.00gの、計13個0.04gが確認され、全てS I 09カマドより出土している。

栽培種を除いた分類群は、高木になる落葉広葉樹で堅果類のオニグルミの核の半分が1個1.37g（S K 75.No.5005）、破片（微細片含む）が16個1.35g（S I 08.No.5002）と、ミズナラ・コナラの子葉の半分が1個0.17g、破片が1個0.10g、コナラ属の子葉の微細片が5個0.01g（S I 07.No.5001）の、計24個3.00gが確認された。

## (4) 考 察

古代（平安時代）の堅穴住居・土坑の炭化種実群は、栽培種のイネ、キビ、アワと、堅果類のオニグルミ、ミズナラ-コナラから成る組成が確認された。

栽培種は、S I 09カマド燃焼部より穀類のイネと、S I 09カマドより雑穀類のキビ、アワが確認された。イネ、キビ、アワは、当時利用された植物質食糧と示唆され、食用されずに火を受け炭化したとみなされる。また、キビには穎（初）が残ることから、脱稃（だっぶ）前の状態で火を受けたと推測される。

栽培種を除いた分類群は、落葉広葉樹で高木になる河畔林要素のオニグルミと、二次林要素のコナラ属ミズナラ-コナラが確認された。これらの樹種は、現在の本地域にも分布しており、当時の本遺跡周辺域の落葉樹林に生育していたと考えられる。また、S I 08カマド北半埋土下位とS K 75埋土上位（27層）より確認されたオニグルミは、核内の子葉が食用可能で、S I 07西半埋土より確認されたコナラ属ミズナラ-コナラは、あく抜きをすることで子葉が食用可能となる。これらの炭化堅果類は、遺構内に持ち込まれた植物質食料と示唆され、火を受けたとみなされる。オニグルミの核片は食用のために中の子葉を取り出した後の食糧残滓の可能性があり、コナラ属ミズナラ-コナラの子葉は食用されずに火を受けた可能性がある。

表 1. 種実同定結果

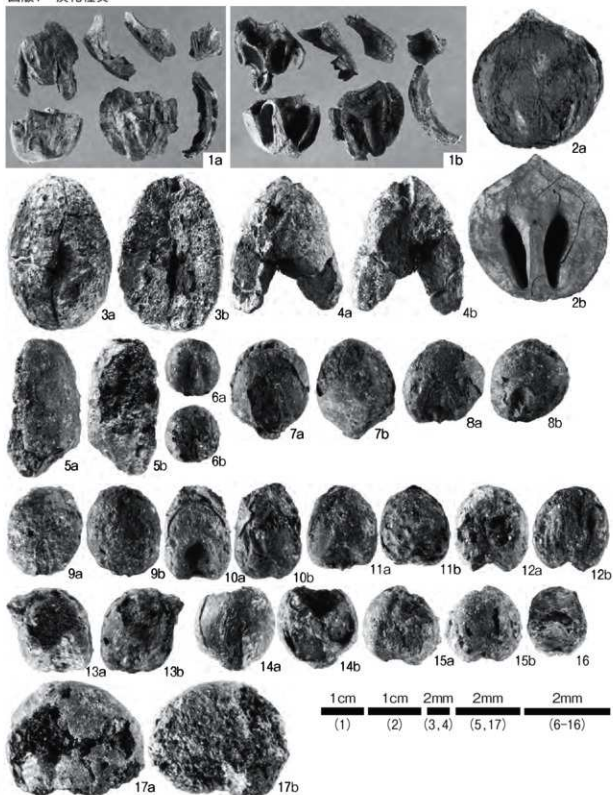
整理 No.	出土地点	層位	分類群	部位	状態	個数	重量 (g)	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	胚長 (mm)	採取番号	備考	
0001	S87	西半埋土	ミズナラ-コナラ	子葉	半分	1	0.17	-	14.0	9.5	57+	-	3	主根孔長 1.4mm, 縦合痕基部欠損, 主根孔長 2.9mm, 縦合痕
				核片	1	0.10	-	126+	101+	48+	-	-	4	ミズナラ-コナラの可能性
0002	S88	カマド北半埋土下位 黒褐色土	オニグルミ	核	破片	7	1.33	-	182+	18.6	70+	-	1	縦合痕, 半分未満3個, 合計2個体分以上
				核片	9	0.02	-	42+	-	-	-	-	-	-
0003	S89	カマド燃焼部	イネ	胚乳	完形未滅	1	0.00	-	4.3	25+	23+	1.5	5	背面-横面欠損
				不明 (ダイズ類 種子?)	破片	1	0.05	-	36+	4.4+	2.5	-	17	やや扁平な半円体, 完形は横円体か?
0004	S89	カマド	キビ	縦・胚乳	完形	10	0.04	1	2.3	1.9	1.7	1.2	7	背面欠損
					2	1.9	1.9	1.5	0.9	8				
					3	2.1	1.7	1.5	1.0	9				
					4	2.1	1.5	1.4	1.3	10				
					5	1.9	1.6	1.5	1.0	11				
					6	2.0	1.7	1.5	1.0	12				
					7	2.0	1.7	1.7	1.1	13				
					8	1.9+	1.8	1.4	1.5	14				
					9	1.8	1.8	1.3	0.9	15				
					10	1.6	1.3	1.1	1.0	16				
					完形未滅	1	0.00	-	2.2	-	-	-	-	
0005	埋土上位 (27層)	オニグルミ	核	縦・胚乳	完形	1	0.00	-	1.3	1.3	0.8	10	6	表面中葉皮片残存
				半分	1	1.37	-	26.2	24.8	10.4+	-	2		
合計						38	3.05							

注) 計測はデジタルノギスを使用し、欠損は残存部に「+」で示す。重量は標本に使用された接着剤も含まれる。

## 引用文献

- 石川茂雄.1994.原色日本植物種子写真図鑑.石川茂雄図鑑刊行委員会.328p.  
 中山至大・井之口希秀・南谷忠志.2010.日本植物種子図鑑 (2010年改訂版).東北大学出版会.678p.  
 鈴木庸夫・高橋 冬・安延尚文.2012.ネイチャーウォッチングガイドブック 草木の種子と果実-形態や大きさが一目でわかる植物の種子と果実632種-誠文堂新光社.272p.  
 椿坂恭代.1993.アワ・ヒエ・キビの同定.吉崎昌一先生還暦記念論集「先史学と関連科学」.261-281.

図版1 炭化種実



- |                           |                            |                          |
|---------------------------|----------------------------|--------------------------|
| 1. オニグルミ核 (No.5002)       | 2. オニグルミ核 (No.5005)        | 3. ミズナラ-コナラ子葉 (No.5001)  |
| 4. ミズナラ-コナラ子葉 (No.5001)   | 5. イネ胚乳 (No.5003)          | 6. アワ胚乳 (No.5004)        |
| 7. キビ胚乳 (No.5004;計測番号1)   | 8. キビ胚乳 (No.5004;計測番号2)    | 9. キビ胚乳 (No.5004;計測番号3)  |
| 10. キビ胚乳 (No.5004;計測番号4)  | 11. キビ胚乳 (No.5004;計測番号5)   | 12. キビ胚乳 (No.5004;計測番号6) |
| 13. キビ胚乳 (No.5004;計測番号7)  | 14. キビ胚乳 (No.5004;計測番号8)   | 15. キビ胚乳 (No.5004;計測番号9) |
| 16. キビ胚乳 (No.5004;計測番号10) | 17. 不明 (ダイズ類種子?) (No.5003) | 1~17: 掲載番号331~347        |

## 5 放射性炭素年代（AMS測定）（平成29年度調査）

（株）加速器分析研究所

## （1）測定対象試料

青猿I遺跡は、岩手県宮古市近内第2地割地内（北緯39° 38′ 41″、東経141° 55′ 32″）に所在し、丘陵地に位置する。測定対象試料は、炭化物4点である（表1）。

## （2）測定の意義

遺構の時期の判断材料にする。

## （3）化学処理工程

- （1）メス・ピンセットを使い、土、植物片等の付着物を取り除く。
- （2）酸-アルカリ-酸（AAA：Acid Alkali Acid）処理により不純物を化学的に取り除く。その後、超純水で中性になるまで希釈し、乾燥させる。AAA処理における酸処理では、通常1 mol/ℓ（1M）の塩酸（HCl）を用いる。アルカリ処理では水酸化ナトリウム（NaOH）水溶液を用い、0.001Mから1Mまで徐々に濃度を上げながら処理を行う。アルカリ濃度が1Mに達した時には「AAA」、1M未満の場合は「AaA」と表1に記載する。
- （3）試料を燃焼させ、二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）を発生させる。
- （4）真空ラインで二酸化炭素を精製する。
- （5）精製した二酸化炭素を、鉄を触媒として水素で還元し、グラファイト（C）を生成させる。
- （6）グラファイトを内径1mmのカソードにハンドプレス機で詰め、それをホイールにはめ込み、測定装置に装着する。

## （4）測定方法

加速器をベースとした<sup>14</sup>C-AMS専用装置（NEC社製）を使用し、<sup>14</sup>Cの計数、<sup>13</sup>C濃度（<sup>13</sup>C/<sup>12</sup>C）、<sup>14</sup>C濃度（<sup>14</sup>C/<sup>12</sup>C）の測定を行う。測定では、米国国立標準局（NIST）から提供されたシユウ酸（HOx II）を標準試料とする。この標準試料とバックグラウンド試料の測定も同時に実施する。

## （5）算出方法

- （1） $\delta^{13}\text{C}$ は、試料炭素の<sup>13</sup>C濃度（<sup>13</sup>C/<sup>12</sup>C）を測定し、基準試料からのずれを千分偏差（‰）で表した値である（表1）。AMS装置による測定値を用い、表中に「AMS」と注記する。
- （2）<sup>14</sup>C年代（Libby Age：yrBP）は、過去の大気中<sup>14</sup>C濃度が一定であったと仮定して測定され、1950年を基準年（0yrBP）として遡る年代である。年代値の算出には、Libbyの半減期（5568年）を使用する（Stuiver and Polach 1977）。<sup>14</sup>C年代は $\delta^{13}\text{C}$ によって同位体効果を補正する必要がある。補正した値を表1に、補正していない値を参考値として表2に示した。<sup>14</sup>C年代と誤差は、下1桁を丸めて10年単位で表示される。また、<sup>14</sup>C年代の誤差（ $\pm 1\sigma$ ）は、試料の<sup>14</sup>C年代がその誤差範囲に入る確率が68.2%であることを意味する。
- （3）pMC（percent Modern Carbon）は、標準現代炭素に対する試料炭素の<sup>14</sup>C濃度の割合である。pMCが小さい（<sup>14</sup>Cが少ない）ほど古い年代を示し、pMCが100以上（<sup>14</sup>Cの量が標準現代炭素

と同等以上) の場合 Modern とする。この値も  $\delta^{13}\text{C}$  によって補正する必要があるため、補正した値を表 1 に、補正していない値を参考値として表 2 に示した。

- (4) 暦年較正年代とは、年代が既知の試料の  $^{14}\text{C}$  濃度をもとに描かれた較正曲線と照らし合わせ、過去の  $^{14}\text{C}$  濃度変化などを補正し、実年代に近づけた値である。暦年較正年代は、 $^{14}\text{C}$  年代に対応する較正曲線上の暦年代範囲であり、1 標準偏差 ( $1\sigma = 68.2\%$ ) あるいは 2 標準偏差 ( $2\sigma = 95.4\%$ ) で表示される。グラフの縦軸が  $^{14}\text{C}$  年代、横軸が暦年較正年代を表す。暦年較正プログラムに入力される値は、 $\delta^{13}\text{C}$  補正を行い、下 1 桁を丸めない  $^{14}\text{C}$  年代値である。なお、較正曲線および較正プログラムは、データの蓄積によって更新される。また、プログラムの種類によっても結果が異なるため、年代の活用にあたってはその種類とバージョンを確認する必要がある。ここでは、暦年較正年代の計算に、IntCal13 データベース (Reimer et al. 2013) を用い、OxCalv4.3 較正プログラム (Bronk Ramsey 2009) を使用した。暦年較正年代については、特定のデータベース、プログラムに依存する点を考慮し、プログラムに入力する値とともに参考値として表 2 に示した。暦年較正年代は、 $^{14}\text{C}$  年代に基づいて較正 (calibrate) された年代値であることを明示するために「cal BC/AD」または「cal BP」という単位で表される。

## (6) 測定結果

測定結果を表 1、2 に示す。

試料の  $^{14}\text{C}$  年代は、194 が  $930 \pm 20\text{yrBP}$ 、202 が  $1140 \pm 20\text{yrBP}$ 、211 が  $1120 \pm 20\text{yrBP}$ 、258 が  $860 \pm 20\text{yrBP}$  である。暦年較正年代 ( $1\sigma$ ) は、194 が  $1042 \sim 1154\text{cal AD}$  の間に 3 つの範囲、202 が  $884 \sim 964\text{cal AD}$ 、211 が  $895 \sim 970\text{cal AD}$  の間にそれぞれ 2 つの範囲、258 が  $1166 \sim 1210\text{cal AD}$  の範囲で各々示される。

試料の炭素含有率は 64% (258) ~ 69% (194) の適正な値で、化学処理、測定上の問題は認められない。

## 文 献

Bronk Ramsey, C. 2009 Bayesian analysis of radiocarbon dates, Radiocarbon 51 (1), 337-360

Reimer, P.J. et al. 2013 IntCal13 and Marine13 radiocarbon age calibration curves 0-50,000 years cal BP, Radiocarbon 55 (4), 1869-1887

Stuiver, M. and Polach, H.A. 1977 Discussion: Reporting of  $^{14}\text{C}$  data, Radiocarbon 19 (3), 355-363

表 1 放射性炭素年代測定結果 ( $\delta^{13}\text{C}$  補正值)

測定番号	試料名	採取場所	試料形態	処理方法	$\delta^{13}\text{C}$ (‰) (AMS)	$\delta^{13}\text{C}$ 補正あり	
						Libby Age (yrBP)	pMC (%)
IAAA-172099	194	SI10 埋土下位	炭化物	AAA	$-26.55 \pm 0.45$	$930 \pm 20$	$89.07 \pm 0.26$
IAAA-171039	202	SI11 埋土 No.12 土器	炭化物	AAA	$-23.88 \pm 0.28$	$1,140 \pm 20$	$86.76 \pm 0.23$
IAAA-171040	211	SI12 床面直上	炭化物	AAA	$-30.37 \pm 0.27$	$1,120 \pm 20$	$87.03 \pm 0.24$
IAAA-171041	258	SW05 埋土 3 層	炭化物	AaA	$-30.19 \pm 0.19$	$860 \pm 20$	$89.83 \pm 0.23$

[IAA 登録番号: #8681-2 ~ 4, 88883]

表2 放射性炭素年代測定結果 ( $\delta^{13}\text{C}$ 未補正值、暦年較正用 $^{14}\text{C}$ 年代、較正年代)

測定番号	$\delta^{13}\text{C}$ 補正なし		暦年較正用 (yrBP)	1 $\sigma$ 暦年代範囲	2 $\sigma$ 暦年代範囲
	Age (yrBP)	pMC (%)			
IAAA-172099	950 $\pm$ 20	88.79 $\pm$ 0.25	929 $\pm$ 23	1042calAD - 1068calAD (12.6%) 1075calAD - 1107calAD (25.5%) 1117calAD - 1154calAD (30.1%)	1033calAD - 1159calAD (95.4%)
IAAA-171039	1,120 $\pm$ 20	86.96 $\pm$ 0.23	1,141 $\pm$ 21	884calAD - 903calAD (20.5%) 919calAD - 964calAD (47.7%)	777calAD - 790calAD (3.7%) 807calAD - 842calAD (4.9%) 862calAD - 976calAD (86.8%)
IAAA-171040	1,200 $\pm$ 20	86.07 $\pm$ 0.23	1,116 $\pm$ 22	896calAD - 928calAD (35.3%) 941calAD - 970calAD (32.9%)	888calAD - 984calAD (95.4%)
IAAA-171041	950 $\pm$ 20	88.88 $\pm$ 0.23	861 $\pm$ 20	1166calAD - 1210calAD (68.2%)	1057calAD - 1076calAD (2.6%) 1153calAD - 1224calAD (92.8%)

[参考値]

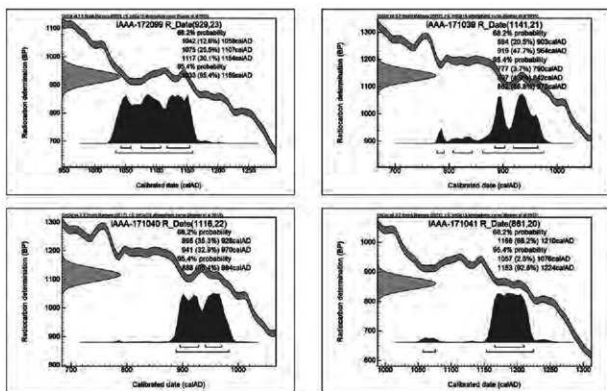


図1 暦年較正年代グラフ (参考)

## 6 動物遺存体同定 (平成29年度調査)

バリノ・サーヴェイ株式会社

## はじめに

青猿Ⅰ遺跡(岩手県宮古市近内第2地割46ほかに所在)は、近内川とその支流によって形成された丘陵地の縁辺部、南向きの緩斜面(標高約30~80m)に位置する。これまでの発掘調査により、古代の堅穴住居、鉄生産に関連する工房、土坑、陥し穴状遺構、炭窯跡、焼土遺構などが確認されている。

この内、堅穴住居や土坑などからは少量ながら貝類が検出された。この内、比較的形質を留めている土坑から出土した貝類について、その種類を明らかにした。

## (1) 試料

試料は、S K110から採取された2試料(No.6042・6043)、S K111から採取された4試料(No.6044~6047)、S K126から採取された3試料(No.6048~6050)、合計9試料である。

いずれの試料も既に水洗・クリーニング、乾燥された状態にある。なお、試料の詳細については結果とともに表示する。

## (2) 分析方法

試料を肉眼および実体顕微鏡下で観察し、形態的特徴から種、部位を特定する。なお、貝類の生態等については、奥谷ほか(2000)、奥谷編著(2004)を参考とする。

## (3) 結果

検出された種類は、腹足綱2種類(エゾアワビ・クボガイ類)、二枚貝綱2種類(イガイ・ムラサキインコ)、顎脚綱2種類(チシマフジツボ・アカフジツボ)である(表1)。同定結果を表2に示す。以下、試料ごとに示す。

・No.6042 S K110 北半埋土上位

イガイの左殻である。

・No.6043 S K110 北半埋土上位

イガイの右殻、イガイ科や二枚貝綱の破片、チシマフジツボ・アカフジツボの破片である。

・No.6044 S K111 7層

イガイの左右殻である。

・No.6045 S K111 7層

クボガイ類、イガイ科、二枚貝綱の破片である。

・No.6046 S K111 7層

エゾアワビの破片である。3片みられるが、おそらくは同一個体であろう。

・No.6047 S K111 北半埋土7層

表1. 検出分類群一覧

軟体動物門	Phylum Mollusca
腹足綱	Class Gastropoda
前鰓亜綱	Subclass Prosobranchia
古腹足目	Order Vetigastropoda
ミミガイ科	Family Haliotidae
エゾアワビ	Haliotis (Nordotis) discus hannai
ニシキウズガイ科	Family Trochidae
クボガイ類	Chlorostoma sp.
二枚貝綱	Class Bivalvia
翼形亜綱	Subclass Pteriomorpha
イガイ目	Order Mytiloidea
イガイ科	Family Mytilidae
イガイ	Mytilus coruscus
ムラサキインコ	Septifer virgatus
節足動物門	Phylum Arthropoda
甲殻亜門	Subphylum Crustacea
顎脚綱	Class Maxillopoda
鞘甲亜綱	Subclass Thecostraca
無柄目	Order Sessilia
フジツボ亜目	Suborder Balanina
ムカンフジツボ科	Family Archaeobalanidae
チシマフジツボ亜科	Subfamily Semibalaninae
チシマフジツボ	Balanus cariosus
フジツボ科	Family Balanidae
アカフジツボ亜科	Subfamily Megabalaninae
アカフジツボ	Megabalanus rosa

二枚貝綱の破片である。

- ・No.6048 S K 126 埋土中

イガイの左右殻、ムラサキインコの左右殻、イガイ科、二枚貝綱の破片である。

- ・No.6049 S K 126 埋土中

イガイの左右殻、イガイ科、二枚貝綱、チシマフジツボ・フジツボ類の破片である。

- ・No.6050 S K 126 西側埋土中

エゾアワビ、イガイ科、二枚貝綱の破片である。

表2. 貝類同定結果

整理No.	出土地点	層位	種類	部位	左右	部分	数量 (個体数または重量)	備考
6042	SK110	北半埋土上位	イガイ	殻	左	破片	1	
6043	SK110	北半埋土上位	イガイ	殻	右	破片	1	
			イガイ科	殻		破片	9	
			二枚貝綱	殻		破片	19.17 g	
			チシマフジツボ	殻		破片	3	
			アカフジツボ	殻		破片	16	
6044	SK111	7層	イガイ	殻	左	破片	8	
			イガイ	殻	右	破片	15	
6045	SK111	7層	クボガイ類	殻		破片	1	
			イガイ科	殻		破片	18	
			二枚貝綱	殻		破片	83.15 g	イガイ主体?
			残渣				2.09 g	
6046	SK111	7層	エゾアワビ	殻		破片	3	
6047	SK111	北半埋土7層	二枚貝綱	殻		破片	3.48 g	
6048	SK126	埋土中	イガイ	殻	左	破片	24	
			イガイ	殻	右	破片	23	
			ムラサキインコ	殻	左	破片	2	
			ムラサキインコ	殻	右	破片	3	
			イガイ科	殻		破片	4	
			二枚貝綱	殻		破片	1.15 g	
			6049	SK126	埋土中	イガイ	殻	左
イガイ	殻	右				破片	7	
イガイ科	殻					破片	63	
二枚貝綱	殻					破片	138.5 g	イガイ主体?
チシマフジツボ	殻					破片	4	
フジツボ類	殻					破片	3	
残渣							3.5 g	
6050	SK126	西側埋土中	エゾアワビ	殻		破片	6	
			イガイ科	殻		破片	3	
			二枚貝綱	殻		破片	0.98 g	

#### (4) 考 察

土坑から出土した貝類は、エゾアワビ、クボガイ類、イガイ、ムラサキインコ、チシマフジツボ、アカフジツボであり、種類数が少なく、遺構間で見てもほぼ共通する種類が検出されている。同定対象とした試料は少量であるが、遺構間でそれほど大きな差があったとは思えない。

検出された種類は、いずれも岩礁域に棲息する種類である。近内川、閉伊川が注ぎ込む宮古湾内の沿岸部に形成された岩礁域で食料として採取され、遺跡内に持ち込まれたものと考えられる。これらの種類は、本遺跡周辺の縄文時代の遺跡では比較的良好に見かけられる種類であり、入手が割と容易であったことが推定される。

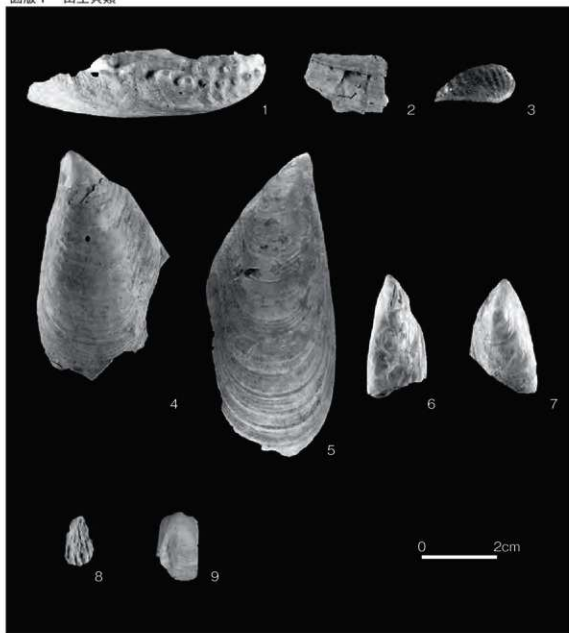


## 引用文献

奥谷喬司・窪寺恒己・黒住耐二・斎藤寛・佐々木猛智・土田英治・土屋光太郎・長谷川和範・濱谷巖・連水格・堀成夫・松隈明彦.2000.日本近海産貝類図鑑.奥谷喬司編.東海大学出版会.1173p.

奥谷喬司編著.2004.改訂新版 世界文化生物大図鑑 貝類.株式会社世界文化社.399p.

図版1 出土貝類



- 1.エゾアワビ殻 (No.6046:SK111 7層) :掲載番号491
- 2.エゾアワビ殻 (No.6050:SK126西側埋土中) :掲載番号492
- 3.クボガイ類殻 (No.6045:SK111 7層) :掲載番号493
- 4.イガイ左殻 (No.6048:SK126埋土中) :掲載番号494
- 5.イガイ右殻 (No.6048:SK126埋土中) :掲載番号495
- 6.ムラサキインコ左殻 (No.6048:SK126埋土中) :掲載番号496
- 7.ムラサキインコ右殻 (No.6048:SK126埋土中) :掲載番号497
- 8.チシマフジツボ殻 (No.6043:SK110北半埋土上位) :掲載番号498
- 9.アカフジツボ殻 (No.6043:SK110北半埋土上位) :掲載番号499

## 7 科学的分析・鑑定結果と調査所見

## (1) 放射性炭素年代 (AMS測定) について

平成27年度調査で3点、平成28年度調査で4点、平成29年度調査で4点、計11点の年代測定を行った。堅穴住居跡5棟、工房跡1棟、土坑3基、炭窟跡2基である。おおむね、平安時代後半(10世紀代と11世紀中頃)の測定値が示されている。遺構・遺物の年代観と大きな隔たりがない。

第53表 放射性炭素年代測定値一覧表

No	遺構名	層位	<sup>14</sup> C年代	暦年校正年代
IAAA-151632	S I 02 堅穴住居跡	南半埋土4層	1100 ± 20yrBP	898 ~ 979cal AD
IAAA-151633	S K 01 土坑	西半埋土6層	1100 ± 20yrBP	898 ~ 978cal AD
IAAA-151634	S X I 04 工房跡	埋土13層	1050 ± 20yrBP	987 ~ 1016cal AD
IAAA-161962	S I 08 堅穴住居跡	ベルトC C'5層	930 ± 20yrBP	1045 ~ 1154cal AD
IAAA-161963	S K 65 土坑	北東埋土6層	920 ± 20yrBP	1046 ~ 1155cal AD
IAAA-151964	S K 88 土坑	西半埋土11層	1090 ± 20yrBP	901 ~ 988cal AD
IAAA-151965	S W 03 炭窟跡	西半埋土2層炭化材層	1120 ± 20yrBP	895 ~ 969cal AD
IAAA-172099	S I 10 堅穴住居跡	埋土下位	930 ± 20yrBP	1042 ~ 1154cal AD
IAAA-171039	S I 11 堅穴住居跡	埋土No12土器	1140 ± 20yrBP	884 ~ 964cal AD
IAAA-171040	S I 12 堅穴住居跡	床上直上	1120 ± 20yrBP	895 ~ 970cal AD
IAAA-171041	S W 05 炭窟跡	埋土3層	860 ± 20yrBP	1166 ~ 1210cal AD

## (2) 動物遺存体について

平成28年度に3点、平成29年度に3点、計6点の分析を行った。土坑からの出土で、食物残渣と考えられる貝殻である。岩礁性の貝類という宮古地域の地域性を反映した貝種の組成である。

第54表 動物遺存体種別一覧表

No	遺構名	層位	重量 (g)	内容
6001 ~ 6009	S K 75 土坑	埋土上位26層・27層	98.61	ムラサキインコ主体
6010 ~ 6014	S K 77 土坑	埋土中層8層・9層	60.36	イガイ主体
6015 ~ 6034	S K 90 土坑	南半埋土下位	1610.67	ムラサキインコ主体、イガイを含む
6042 ~ 6043	S K 110 土坑	埋土上位	41.30	イガイ主体
6044 ~ 6047	S K 111 土坑	7層	151.50	イガイ主体、エゾアワビを含む
6048 ~ 6050	S K 126 土坑	埋土	513.80	イガイ主体、ムラサキインコ・エゾアワビを含む

## (3) 植物遺存体について

平成28年度に炭化種実5点の分析を行った。堅穴住居跡と土坑から出土した。栽培種のイネ・キビ・アワと、堅果類のオニグルミ・ミズナラ・コナラが確認された。栽培種、ミズナラ・コナラは食用されず火を受けたもの、オニグルミの核片は食物残渣と推測されており、良好な資料を蓄積できた。

第55表 植物遺存体種別一覧表

No	遺構名	層位	重量 (g)	種別
5001	S I 07 堅穴住居跡	西半埋土	0.28	ミズナラ・コナラ
5002	S I 08 堅穴住居跡	カマド北半埋土下位	1.35	オニグルミ
5003	S I 09 堅穴住居跡	カマド燃焼部	0.01	イネ
5004	S I 09 堅穴住居跡	カマド	0.04	キビ・アワ
5005	S K 75 土坑	埋土上位(27層)	1.37	オニグルミ

## VIII 総 括

## I 遺 構

## (1) 概 要

3箇年の調査成果を総括する。確認された遺構は、古代の竪穴住居跡14棟、竪穴状遺構2棟、工房跡11棟、土坑126基、炭窯跡5基、炉跡・焼土遺構7基である。他に縄文時代と推定される陥し穴状遺構1基、近代の家畜埋葬墓壙7基を確認した。以下、調査した遺構について時代順に概観する。

## (2) 縄 文 時 代

縄文時代と想定される遺構は2基ある。ひとつは、縄文時代前期の土器が出土したSK121土坑で、埋土の様相の違いから、古代とした他の土坑とは時間差があると推測する。もうひとつは、溝状を呈するSK60陥し穴状遺構で、古代の土坑に切られており、出土遺物は無いが、他の調査事例から縄文時代の陥し穴の可能性がある。青猿I遺跡1次調査で隣接する東側の尾根において、陥し穴状遺構4基(第1号土壙跡から第4号土壙跡)が確認されており、西側緩斜面での検出状況も類似する。(註1)。

## (3) 古 代

古代の遺構としては、竪穴住居跡14棟、竪穴状遺構2棟、工房跡11棟、土坑126基、炭窯跡5基、焼土遺構7基がある。ここでは、竪穴住居跡、工房跡、土坑、炭窯跡の遺構を中心に特徴をまとめる。

## 遺構の立地(第115図)

遺構は、尾根筋に分布し、尾根頂部から南斜面・東斜面に広がる。遺構が確認された東斜面側は、谷地形で比較的大きく開析されている。遺構の重複の多さは、山間部で生活する際、竪穴などの施設をつくる場所が、尾根筋に限定されていたことを推測させる。谷を挟んで東側の山稜(青猿I遺跡1～3次調査)では、頂部から西側の緩斜面で遺構が確認されており、大きく開析された谷を挟んだ両側の山稜の尾根筋に集落が形成されたと推測する。

## 竪穴住居跡

竪穴住居跡は、規模で大小に大別される。一辺7m前後の大型のものは、S I 02・05・06竪穴住居跡が該当する。一辺4m前後の小型のものは、S I 01・03・04・07・09・10・11・12・13・14竪穴住居跡が該当する。平面形は方形基調である。柱配置は四隅を結ぶ対角線上に位置する配置が一部で確認された。カマドの痕跡は大きく二つの形態に分けられる。ひとつは、煙道の痕跡が竪穴の壁からやや張り出す程度に掘り込まれ、袖等も含めたカマドのつくりが比較的簡易なものである。燃焼部の焼土の規模も小さい。S I 01・03・05・07・08竪穴住居跡が該当する。もうひとつは、石組を芯材としてカマドを明確につくり、削り貫き式の煙道を伴う事例で、S I 02・09・12・13竪穴住居跡が該当する。竪穴内のカマドの位置は、壁の中央寄りの位置に設けられる。遺跡の地形全体が南東向きの斜面であり、多くの竪穴住居跡のカマドは、斜面上位の北側や西側に設けられており、地形的な制約を受けて設けられたものと推測される。S I 09竪穴住居跡の1例だけは南側の地形が高くなる位置にカマドが設けられている。床面は明確な貼り床が確認されず、掘り込んだIV層を直接床面としている事例が多い。壁溝は床面の一部、特に斜面上位側のカマドが設けられる壁面に痕跡を確認できたものが多い。



第115図 遺構配置図

堅穴住居跡の出土遺物の年代観と放射性炭素年代測定から得られた年代値をみると、おおむね9世紀半ば以降10世紀代を中心とした年代と考えられる（註2）。

#### 工房跡

堅穴状に掘り込まれ、内部に焼土が確認され、壁際に柱が配置される構造である。地床炉及び周辺の床面で鍛冶作業を行った痕跡、鍛造剥片は確認できなかった。遺物全体としても羽口や鉄滓など出土量は少なく、今回の調査区で大規模な鉄生産が行われた痕跡はなく、この点、青泉1遺跡の第1次調査で鉄生産関連遺構が確認された東側の山稜とは状況が異なる。放射性炭素年代測定から得られた年代値では、10世紀後半から11世紀前半とされている。

#### 土坑

今回の調査では土坑126基（SK121土坑を含む）を確認した。規模は、最大のSK77土坑で開口部250cm、深さ260cmである。底面に不整形な落ち込み（副穴）を伴うものが複数確認できた。平面形は円形で、断面形はフラスコ状やピーカー状の土坑である。用途について積極的に解釈できる事例に乏しく、今後の類例の増加をまって検討が必要である。周辺遺跡の調査では、宮古市松山館跡の30号土坑の底面直上（8層相当）で炭化種実（アワ主体）約3kgが出土している。土師器の出土から平安時代と判断されている。このことから、今回の調査で確認された土坑群の性格も、食料貯蔵が用途の一つとして推測される。

土坑群は、重複が多く、堅穴住居跡同様に限られた場所での土地利用の在り方を示している。126基中、単独の土坑は65基（51%）、他遺構と重複していた土坑は61基（48%）である。土坑の時期は、放射性炭素年代測定から得られた年代値では、SK01土坑が9世紀末～10世紀後半、SK65土坑が11世紀中～12世紀中頃、SK88土坑が10世紀代とされている。遺構により差があるが、概ね平安時代後半に収まる。他の土坑も、おおむね平安時代後半に属すると推定される（註3）。

#### 炭窯跡

炭窯跡は5基確認した。規模は径1m内で、平面形は円形基調である。底面や壁面に被熱して焼土化した痕跡があり、埋土下部や底面直上に炭化材が確認できた。時期を判断できる出土遺物はない。放射性炭素年代測定から得られた年代値は、SW03炭窯跡が9世紀末から10世紀中頃、SW05炭窯跡が12世紀後半である。二つの事例に時間差はあるが、概ね平安時代の遺構として捉えておきたい。

### （4）近 代

家畜埋葬墓7基、都合11体の獣骨を確認した。種別は、ウマ・ウシ・カモシカ・小動物である。獣骨の状態、陶磁器類などの副葬品から当該遺構の時期は、近代と推定される。遺跡から南約350m付近、近内川に架かる坂本橋の北側を通る旧道沿いに牛馬など家畜埋葬に関係する石碑が複数建てられており、本遺構に関係して建てられたと推測される。

## 2 遺 物

### （1）概 要

土器（縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・陶磁器）、土製品、石器・石製品、金属製品、銭貨、鉄滓類、ガラス製品、動物遺存体、植物遺存体、炭化材が出土している。以下、時期毎に記す。

### （2）縄 文 時 代

縄文時代は、前期の土器片が少量出土している。S K 121土坑からの出土である。石器のなかには石匙や磨製石斧など縄文時代のものと思われる石器も出土しているが、はっきりしない。

### (3) 弥生時代

弥生時代は、土器片が少量出土している。器形・文様などの特徴から、弥生時代後期（天王山式土器）と推測される（註4）。石器のなかには同時代の石器も含まれる可能性があるが、はっきりしない。

### (4) 古 代 (第116・117図)

古代は、土師器・須恵器、土製品（羽口）、石器・石製品、金属製品、動物遺存体、植物遺存体などが出土している。時期は、これまでの土師器の編年から平安時代後期（10世紀頃）と推定される。

#### 土師器・須恵器

土師器の器種は、甕・坏がある。甕の器形は、口縁部の反りの長さが短く、口縁部と胴部の境界が不明瞭である。胴部の形状は膨らみ、胴部上半部に最大径を持つものが多い。底部は縁が鐮状に外側に張り出し、底面に木葉痕を遺すものが多い。一部砂底の底面が確認できる。胎土には細礫を含み、色調は褐色～黄褐色が主体である。調整は口縁部はヨコナデ、胴部はヘラナデが主体である。坏はロクロ成形で底面に回転糸切り痕を遺す。内面は黒色処理されている。数点の土師器の外表面・内面に煮炊きで使用された痕跡を示すス・コゲの付着や被熱による変色範囲を確認した。おおむね外面のスは体部上半に散在し、内面のコゲは帯状に付着した状態であった。須恵器の器種には甕・長頸瓶がある。甕は胴部破片が多く、色調は主に黄灰色である。時期は、10世紀前半頃と推定される（註5）。

#### 土製品

羽口がある。出土量は少なく、全体の形状を把握できるものもない。

#### 石器・石製品

30点出土した。内訳は、石鏃1点、石匙2点、石錘1点、磨製石斧1点、敲磨器類13点（磨石5点、擦石3点、敲打石1点、凹石4点）、礫器1点、台石4点、砥石5点、カマド支脚礫1点、穿孔礫の石製品1点である。石匙や磨製石斧は縄文時代と推定される。石匙は2点とも古代の竪穴住居跡出土である。竪穴住居跡出土の磨石・台石・砥石等は、当該時期に使用されたものと思われる。

#### 金属製品

金属製品は、土師器・須恵器の出土量に比して、比較的多く出土している。主な製品としては、鉄鏃9点・刀子11点・紡錘車3点、その他、鉄釘類などがある。刀子・鉄鏃が比較的多い。

#### 出土遺物と年代観

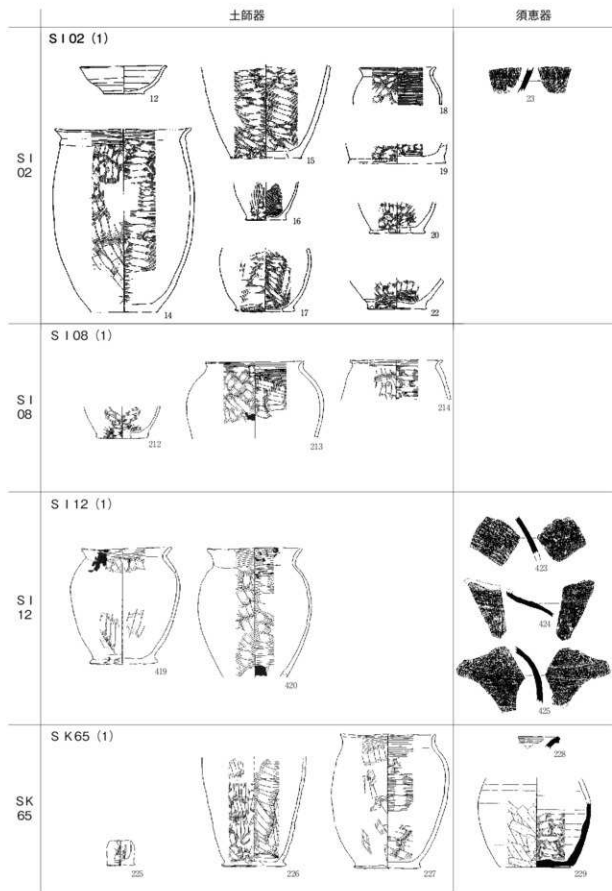
土師器・須恵器・金属製品などの出土遺物がまとまって出土し、かつ放射性炭素年代測定により年代値が提示された資料（S I 02・08・12、S K 65）を確認する（集成図参照）。放射性炭素年代測定では、9世紀半ば以降10世紀代と11世紀後半～12世紀前半頃の二つの年代値が提示されている。平安時代後半（9世紀半ば以降、10世紀代）とする出土遺物の年代観とおおむね調和するものと思われる。

#### 動物遺存体

動物遺存体は、イガイ・ムラサキインコ主体の貝殻が土坑に廃棄された事例が見られた。岩礁域に生息する貝類を主とする内容である。宮古湾の湾奥に位置する遺跡の特徴的な出土状況を示している。

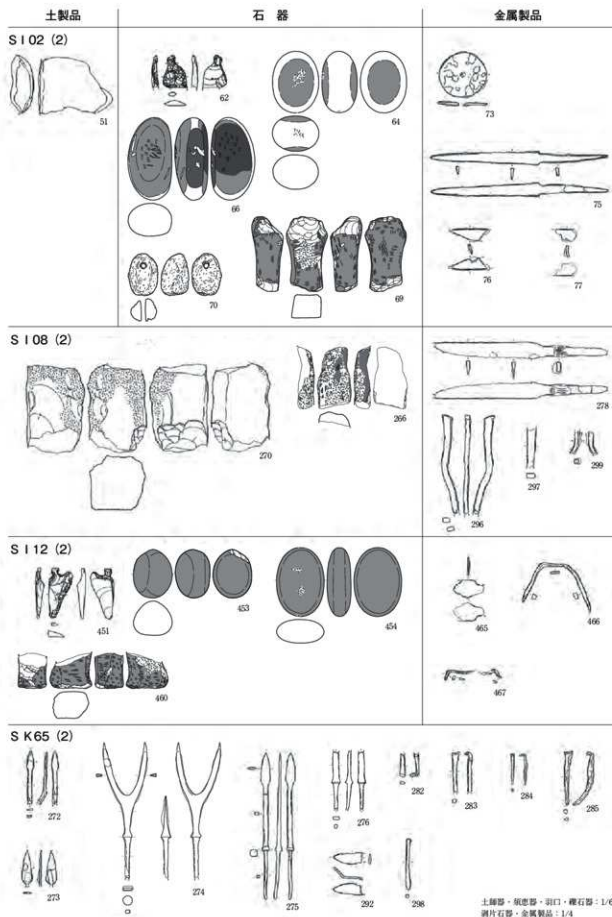
#### 植物遺存体

植物遺存体は、竪穴住居跡からイネ・キビ・アワの栽培種、堅果類のオニグルミ・ミズナラ・コナラが出土している。特にイネ・キビ・アワが竪穴住居跡のカマドから出土したのは良好な事例である。



土師器・須恵器・須石・礫石器：1/6  
須石石器・金属製品：1/4

第116図 遺構別出土遺物集成図(1)



土製品・銅製品・銅片・鐵石器：1/6  
銅片石器・金屬製品：1/4

第117圖 遺構別出土遺物集成圖(2)



## (5) 近 世

寛永通寶が3点出土している。

## (6) 近 代

家畜埋葬墓壇の副葬品として、陶磁器、鉄製の手鎌、周辺から大日本ビール製造のビール瓶が出土している。

## 3 ま と め

今回の調査で、青猿Ⅰ遺跡の古代の集落跡の様相の一端が明らかになった。尾根筋につくられた集落の様相は、宮古市内の他の遺跡の古代集落の調査事例と類似し、山間の尾根筋を中心に連綿と古代の集落が形成された状況が読み取れる(註6)。以下に各時代の土地利用の変遷を概観し、まとめる。

縄文時代には、尾根から斜面にかけて陥し穴状遺構がつくられ、狩猟場として利用されていた。平安時代後半には、南北方向の尾根筋の南斜面を中心に堅穴住居跡や土坑群からなる集落が形成された。近代には、調査区南側の尾根筋の標高の比較的低い南向きの緩斜面に家畜埋葬墓壇が設けられた。

## 註

- (1) 出土遺物がなく、時期は明言していないが、縄文時代の可能性に言及している。宮古市教育委員会 1988
- (2) 東側に隣接する尾根から確認された、第1次調査の第1号堅穴住居跡の事例は、9世紀後半から10世紀代の年代観が与えられている。今回の調査で確認された堅穴住居跡もほぼ同時期と推測される。
- (3) 青猿Ⅰ遺跡の第1次調査で、内面黒色処理した土師器の杯の破片が出土した第4号土坑跡がある。平面形は円形基調、規模は開口部径20m、深さ1.35mで、底部に不整な円形状のビットが伴う。周辺で確認された堅穴住居跡は、出土物から、9世紀後半から10世紀代の年代観が与えられ、第4号土坑も同時期の可能性が高いと推測される。類似する古代の土坑は、宮古市松山館跡、近内館跡、山田町クク井遺跡で確認されている。鳥田Ⅱ遺跡でも相当数の土坑が確認されているが考察の対象から外れており、詳細に検討されていない。沿岸部の古代集落における土坑群の在り方は、今後検討を要する。
- (4) 類似する土器は、周辺の遺跡では長根Ⅰ遺跡で出土している。小田野編年Ⅳ期に相当する。
- (5) 字部2013の8B期(10世紀前半)とその前後の時期に属するものと推定される。
- (6) 遺跡全体を面的に広く調査し、尾根筋に古代の大規模な集落が確認された事例に鳥田Ⅱ遺跡がある。近内館跡の調査でも尾根の南端に古代の堅穴住居跡が高密度で分布していることが明らかになっている。青猿Ⅰ遺跡も、鳥田Ⅱ遺跡や近内館跡と同様に丘縁全体の尾根筋に古代の大規模な集落が形成されているものと推測される。

## 引用・参考文献

- 小田野哲恵 1987「岩手の弥生土器編年試論」『岩手県立博物館研究報告第5号』
- 宮古市教育委員会 1988「青猿Ⅰ遺跡・下在家Ⅱ遺跡・千徳城遺跡群(組合館) -昭和62年度発掘調査報告書」宮古市埋蔵文化財調査報告書14
- (財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 1990「長根Ⅰ遺跡発掘調査報告書」岩文振第146集
- 宮古市教育委員会 1991「青猿Ⅰ遺跡・千徳城遺跡群 -平成元年・2年度発掘調査報告書」宮古市埋蔵文化財調査報告書27
- 宮古市教育委員会 1992「細越Ⅰ遺跡・李野Ⅱ遺跡」宮古市埋蔵文化財調査報告書36
- (財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 2001「鳥田Ⅱ遺跡第1次発掘調査報告書」岩文振第368集
- (財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 2004「鳥田Ⅱ遺跡第2~4次発掘調査報告書」岩文振第450集
- 宮古市教育委員会 2007「近内館跡」宮古市埋蔵文化財調査報告書71
- 宇部剛保 2013「古代馬淵川流域周辺の土器様相」『研究紀要』第2号、八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館
- (公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 2014「松山館跡発掘調査報告書」岩文振第625集
- (公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 2017「クク井遺跡発掘調査報告書」岩文振第667集

# 写 真 図 版

平成27年度調査

写真図版：1～28／遺構：1～22、遺物：23～28

平成28年度調査

写真図版：29～64／遺構：29～56、遺物：57～64

平成29年度調査

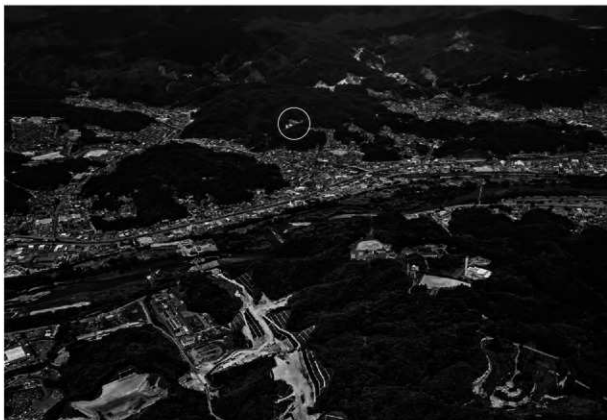
写真図版：65～90／遺構：65～84、遺物：85～90

・遺構図版：縮尺不定

・遺物図版：縮尺：土器≒1/3。土製品≒1/3。石器・石製品≒1/2・1/3。金属製品≒1/2。銭貨≒1/1。鉄滓類≒1/3。動物遺存体≒1/1。植物遺存体≒1/1または拡大。

※掲載図版の縮尺と近似値とした。一部、スケールを入れ、大きさを示したものがある。





遺跡遠景（南から）

○青猿Ⅰ遺跡



調査区近景（直上から）



6区 調査前現況 (北から)



7区 調査前現況 (北から)



6・7区 平面 (北から)



7区トレンチ60~65 平面 (北東から)



6・7区谷部 (埋没沢2) 平面 (東から)



6区谷部 (埋没沢2) 断面 (南から)



6区基本層序 断面 (南から)



7区基本層序 断面 (南から)



2区トレンチ1~8 平面(東から)



2区トレンチ66~75 平面(東から)



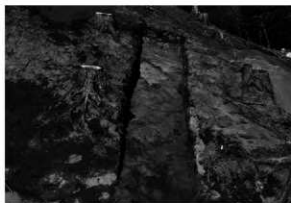
2区トレンチ77 平面(東から)



3区トレンチ103~110 平面(南から)



3区トレンチ101 平面(南から)



3区トレンチ113 平面(南から)



3区作業風景(南から)



3・4区 平面(東から)



平面 (南から)



断面 (南から)



炉 平面 (南から)



炉 断面 (南から)



炉 断面 (南から)



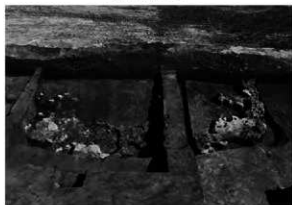
平面（南から）



断面（南から）



断面（西から）



焼土出土状況（西から）



炭化材出土状況（西から）





カマド(新) 平面(東から)



カマド(新) 断面(南から)



焼土 断面(南から)



カマド(旧) 平面(南から)



煙道(旧) 断面(東から)



カマド(旧) 断面(南から)



土器No.2 (18) 出土状況(南から)



土器No.3・4 出土状況(南から)



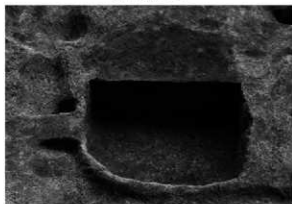
平面 (西から)



断面 (西から)



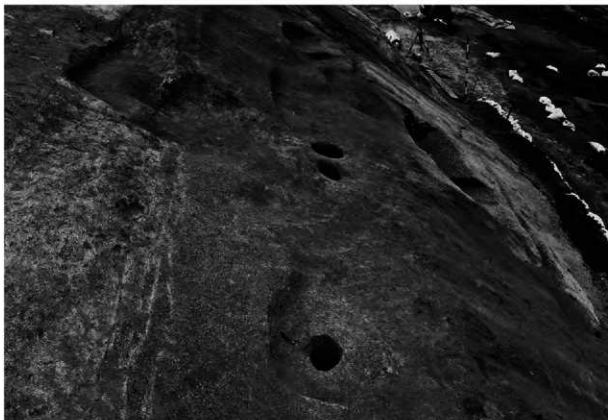
炉 断面② (西から)



PP1 断面 (西から)



PP2 断面 (西から)



平面 (南から)



断面 (南から)



PP1 断面 (北から)



PP2 断面 (南から)



PP3 断面 (南から)



平面（西から）



断面（西から）



ベルト4 断面 (西から)



ベルト3 断面 (西から)



PP1 断面 (南から)



炉1 断面 (西から)



炉2 平面 (南から)



炉2 断面 (西から)



作業風景



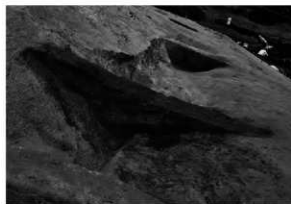
作業風景



平面 (西から)



ベルト1 断面 (西から)



ベルト2 断面 (西から)



PP4 断面 (南から)



PP6 断面 (南から)



SK01 平面 (東から)



SK01 断面 (東から)



SK02 平面 (南から)



SK02 断面 (南から)



SK02 鉄製品No1 (78) 出土状況 (南から)



作業風景 (東から)



SK03 平面 (南から)



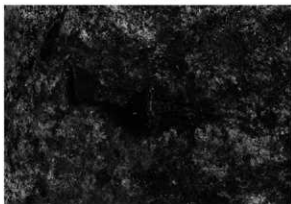
SK03 断面 (南から)



SK04 平面 (南から)



SK04 断面 (南から)



SK04 鉄製品No1 (74) 出土状況 (南から)



6区土坑群 平面 (南東から)



SK05 平面 (南から)



SK05 断面 (南から)



SK06 平面 (南から)



SK06 断面 (南から)





SK07 平面 (南から)



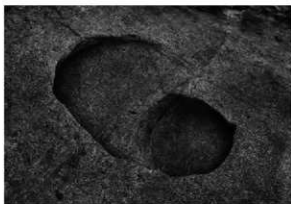
SK07 断面 (南から)



SK08 平面 (東から)



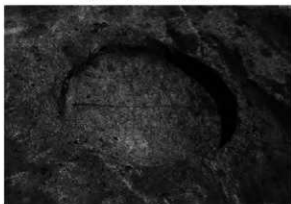
SK08 断面 (東から)



SK09・10 平面 (南から)



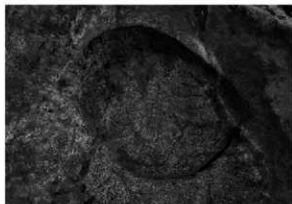
SK09・10 断面 (南から)



SK11 平面 (南西から)



SK11 断面 (南西から)



SK12 平面 (南から)



SK12 断面 (南から)



SK13 平面 (南から)



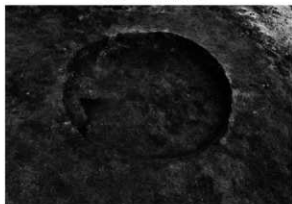
SK13 断面 (南から)



SK14 平面 (南から)



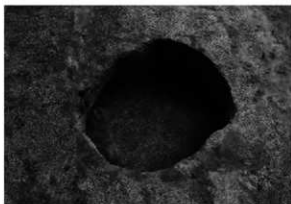
SK14 断面 (南から)



SK15 平面 (南から)



SK15 断面 (南から)



SK16 平面 (南から)



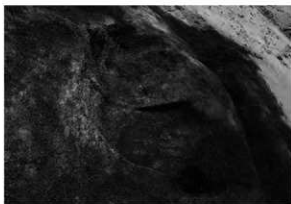
SK16 断面 (南から)



SK17 平面 (西から)



SK17 断面 (西から)



SK18 平面 (南から)



SK18 断面 (南から)



SK19・20 平面 (東から)



SK19・20 断面 (東から)



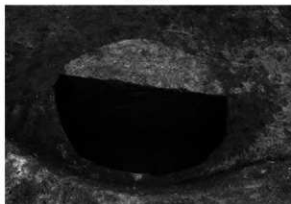
S K 19・20 断面 (南から)



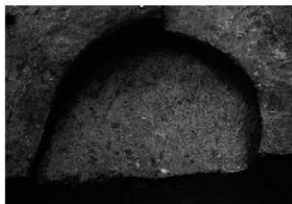
作業風景



S K 21 平面 (南から)



S K 21 断面 (南西から)



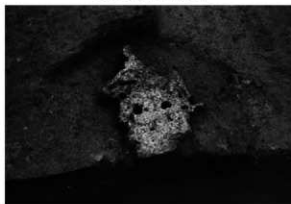
S K 22 平面 (北から)



S K 22 断面 (北から)



S K 22 断面 (東から)



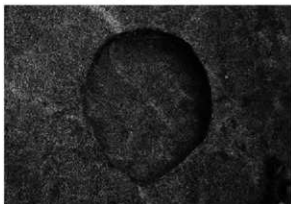
S K 22 焼土検出状況 (北から)



S K23 平面 (南から)



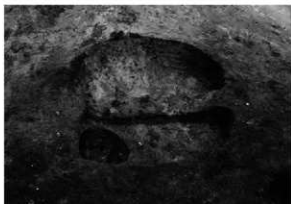
S K23 断面 (南から)



S K24 平面 (南から)



S K24 断面 (南から)



S K25 平面 (西から)



S K25 断面 (西から)



S K26 平面 (東から)



S K26 断面 (東から)



S K27 平面 (北から)



S K27 断面 (北から)



S K28 平面 (東から)



S K28 断面 (東から)



S K29 平面 (西から)



S K29 断面 (西から)



S K30 平面 (西から)



S K30 断面 (西から)



SK31 平面 (東から)



SK31 断面 (東から)



SK32 平面 (南から)



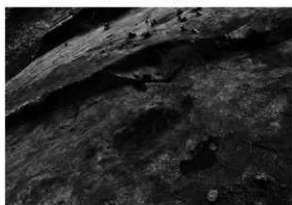
SK32 断面 (南から)



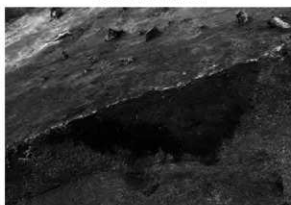
SK33 平面 (南から)



SK33 断面 (南から)



SW01 平面 (東から)



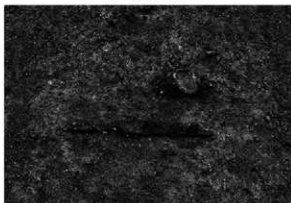
SW01 断面 (東から)



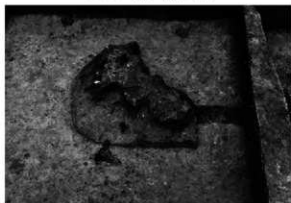
SN01 平面 (南東から)



SN01 断面 (南西から)



SN01 鉄製品№1 (79) 出土状況 (南から)



SN02 検出状況 (北西から)



SN02 断面 (西から)



SN02 断面 (南から)



SN02 鉄製品№1 (85) 出土状況 (東から)



SN03 須恵器 (41) 出土状況 (北から)





SN03 平面 (南から)



SN03 断面 (東から)



SN03 平面 (北東から)



SN03 断面 (北東から)



SN04 平面 (南西から)



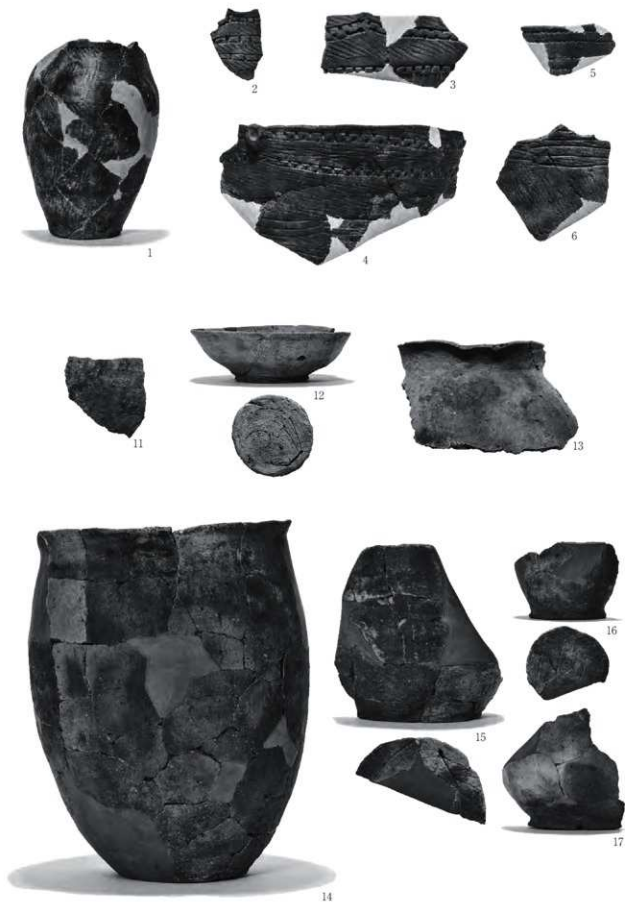
SN04 断面 (南西から)



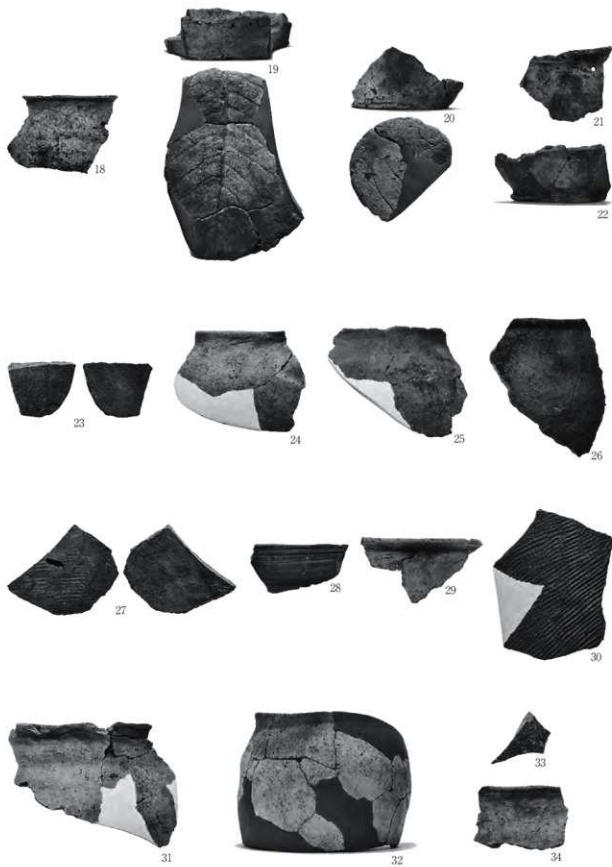
SN04 断面 (西から)



SN05 平面 (南西から)



写真図版23 土器(1)



写真図版24 土器(2)



35



36



37



38



39



40



41



42



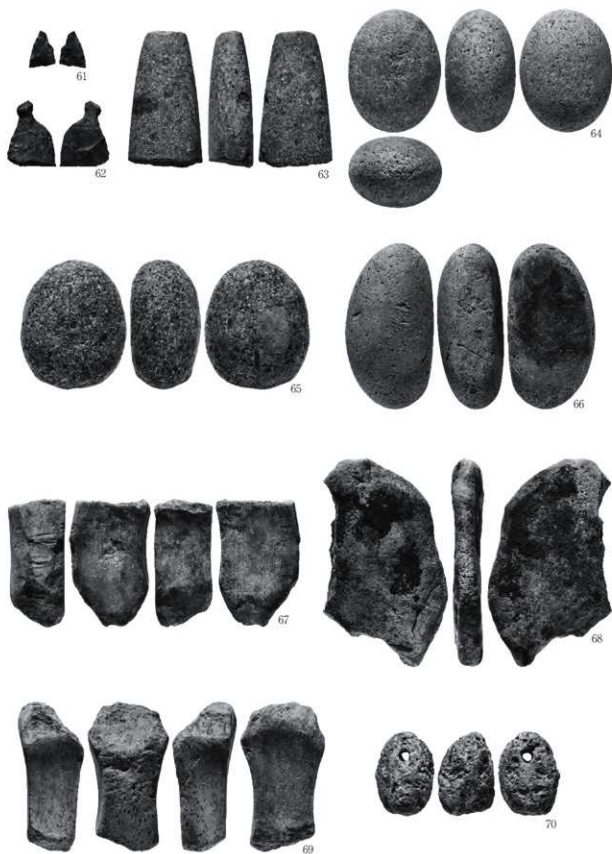
43



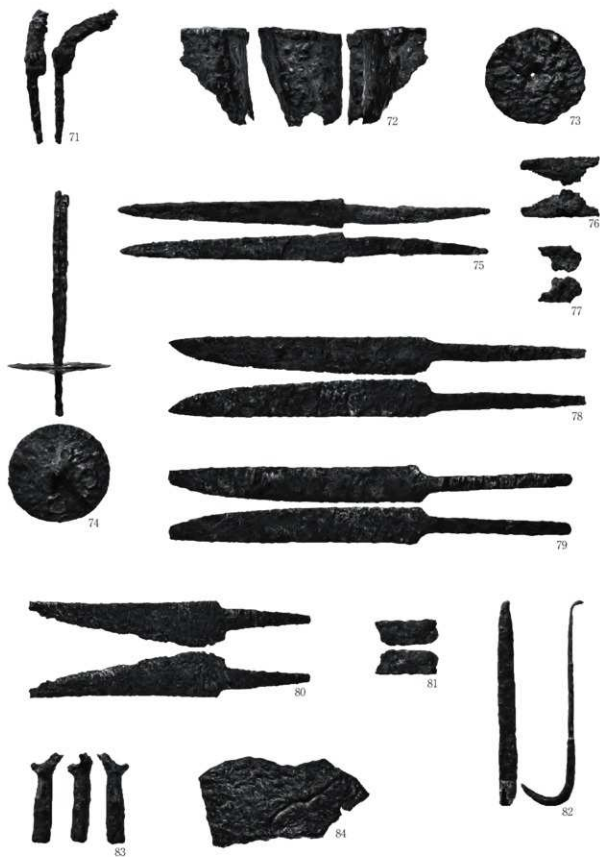
44



51



写真図版26 石器・石製品







遺跡遠景（南から）

○青猿Ⅰ遺跡



調査区近景（真上から）





調査区 平面 (東から)



調査区より重茂半島を望む (北から)



1区頂部 平面 (北から)



1区頂部 平面 (東から)



1区南斜面 平面 (北から)



1区南斜面 平面 (南から)



1区北東斜面 平面 (南から)



1区基本層序 断面 (東から)



4区 平面 (東から)



4区 平面 (東から)



4区基本層序 断面 (東から)



4区東側 平面 (東から)



トレンチ119 平面 (東から)



トレンチ121 平面 (南から)



トレンチ122 平面 (南から)



トレンチ123 平面 (南から)



平面（南から）



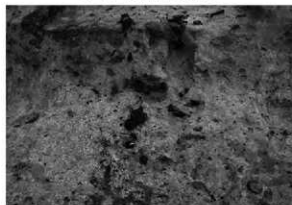
断面（南西から）



カマド 検出状況（東から）



カマド 断面（北東から）



カマド 検出状況（南から）



平面（東から）/平成28年度調査



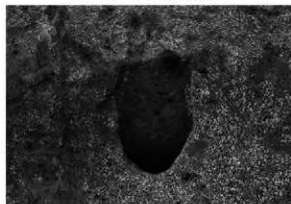
断面（東から）/平成28年度調査



平面（東から）/平成29年度調査



断面（東から）/平成29年度調査



PP6 断面（東から）/平成29年度調査



平面 (南から)



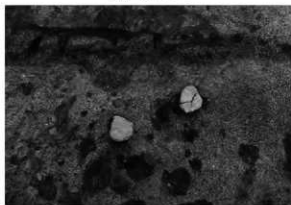
断面 (南から)



断面 (南西から)



カマド 断面 (東から)



カマド 平面 (南から)



平面 (南から)



断面 (東から)



断面 (東から)



カマド 平面 (南から)



埋設土器 (208) 断面 (南から)



平面 (南から)



断面 (東から)



カマド 検出状況 (南から)



カマド 断面 (南から)



カマド 平面 (南から)



平面 (東から)



断面 (東から)



断面 (南から)



カマド 断面 (南から)



カマド 断面 (南から)





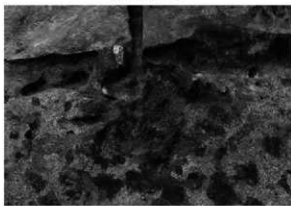
平面（北から）



断面（東から）



カマド 検出状況（北から）



カマド 平面（北から）



カマド 断面（東から）



SX105・06 平面 (南から)



SX105・06 断面 (南から)



SX105・06 断面 (南から)



SX105 断面 (南から)



SX105 須恵器 (216) 出土状況 (南から)



SX107 平面 (東から)



SX107 断面 (東から)



SX108 平面 (東から)



SX108 断面 (東から)



SX109・10 平面 (東から)



SX109 断面 (東から)



SX110 断面 (東から)



SX110伊 断面 (東から)



S K34 平面 (南から)



S K34 断面 (南から)



S K35 平面 (南から)



S K35 断面 (南から)



S K36 平面 (南から)



S K36 断面 (南から)



S K37 平面 (南から)



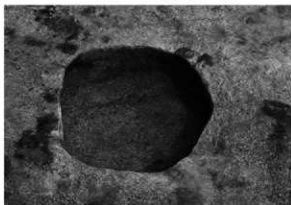
S K37 断面 (南から)



S K38 平面 (南から)



S K38 断面 (南から)



S K39 平面 (南から)



S K39 断面 (南から)



S K40 平面 (東から)



S K40 断面 (南から)



S K41 平面 (北から)



S K41 断面 (南から)



SK42 平面 (南から)



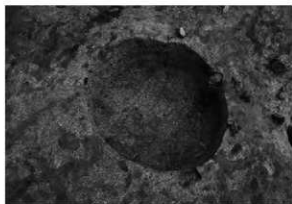
SK42 断面 (南から)



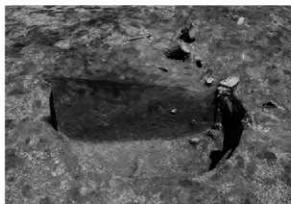
SK43 平面 (南から)



SK43 断面 (南から)



SK44 平面 (南から)



SK44 断面 (南から)



SK45 平面 (南から)



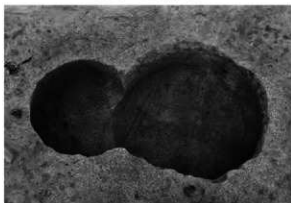
SK45 断面 (南から)



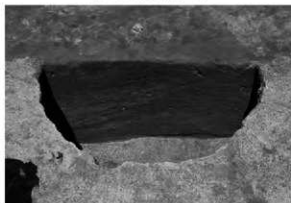
S K 46 平面 (南から)



S K 46 断面 (南から)



S K 46・47 平面 (南から)



S K 47 断面 (南から)



S K 48・49 平面 (南から)



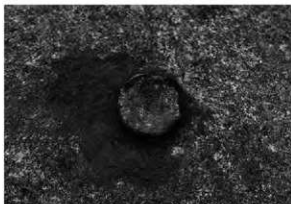
S K 48・49 断面 (南から)



S K 50 平面 (南から)



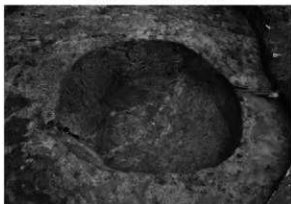
S K 50 断面 (南から)



SK50 土師器(220) 出土状況(南から)



SK51 椽出状況(南から)



SK51 平面(南から)



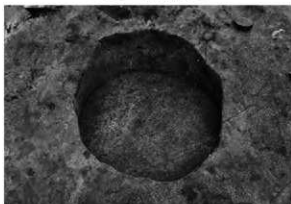
SK51 断面(南から)



SK52 平面(南から)



SK52 断面(南から)

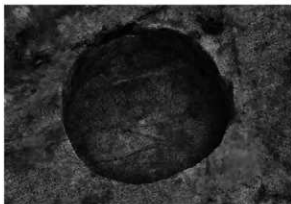


SK53 平面(南から)



SK53 断面(南から)





S K 54 平面 (南から)



S K 54 断面 (南から)



S K 55 平面 (南から)



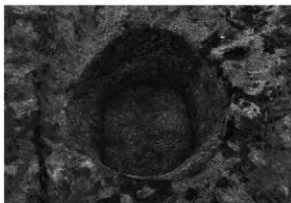
S K 55 断面 (南から)



S K 56 平面 (南から)



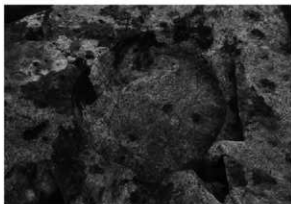
S K 56 断面 (南から)



S K 57 平面 (南から)



S K 57 断面 (南から)



S K 58 平面 (西から)



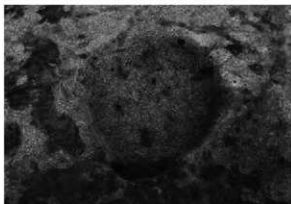
S K 58 断面 (西から)



S K 58 鉄製品No1 (279) 出土状況 (南から)



S K 59 鉄製品No1 (271) 出土状況 (南から)



S K 59 平面 (南から)



S K 59 断面 (南から)



S K 60 平面 (北から)



S K 60 断面 (北から)



S K 61 平面 (南から)



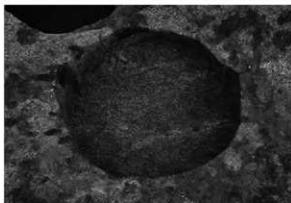
S K 61 断面 (南から)



S K 62・63 平面 (東から)



S K 62・63 断面 (東から)



S K 64 平面 (南から)



S K 64 断面 (南から)



S K 65 須恵器 (229) 出土状況 (南から)



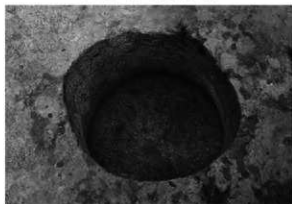
S K 65 鉄製品№4 (274) 出土状況 (南から)



S K 65・66 平面 (南から)



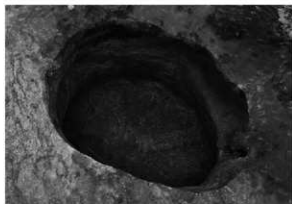
S K 65 断面 (南から)



S K 67 平面 (南から)



S K 67 断面 (南から)



S K 68 平面 (南から)



S K 68 断面 (南から)



S K 69 平面 (南から)



S K 69 断面 (南から)



SK70 平面 (南から)



SK70 断面 (南から)



SK71 平面 (南から)



SK71 断面 (南から)



SK72 平面 (南から)



SK72 断面 (南から)



SK73 平面 (南から)



SK73 断面 (南から)



SK75 平面 (南から)



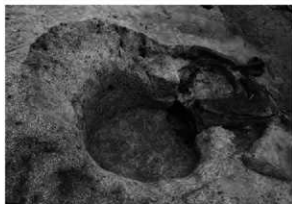
SK75 断面 (南から)



SK76 平面 (南から)



SK76 断面 (南から)



SK77 平面 (南から)



SK77・78 断面 (南から)



SK78 平面 (南から)



SK78 断面 (南から)



SK79 平面 (南から)



SK79 断面 (南から)



SK77 北半埋土8層貝殻出土状況 (南から)



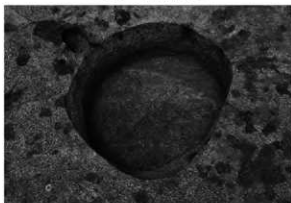
SK81 土器№1 (231) 出土状況 (南から)



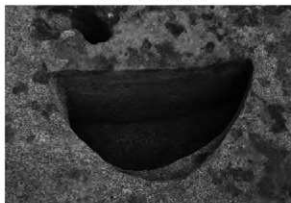
SK81 平面 (南から)



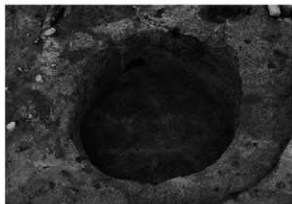
SK81 断面 (南から)



SK82 平面 (南から)



SK82 断面 (南から)



SK83 平面 (東から)



SK83 断面 (東から)



SK84 平面 (東から)



SK84 断面 (東から)



SK85 平面 (南から)



SK85 断面 (南から)



SK86 平面 (南から)



SK86 断面 (南から)





S K 87 平面 (西から)



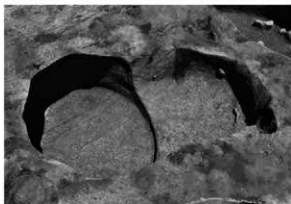
S K 87 断面 (西から)



S K 88 平面 (東から)



S K 88 断面・遺物出土状況 (東から)



S K 89・95 平面 (南から)



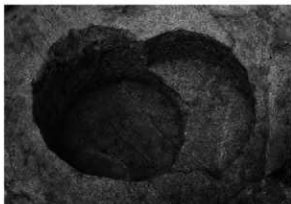
S K 89・95 断面 (南から)



S K 90 鉄製品№1 (277) 出土状況 (南から)



S K 90 貝殻出土状況 (南から)



S K90・91 平面 (南東から)



S K90・91 断面 (南東から)



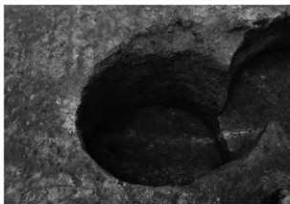
S K92・93 平面 (南東から)



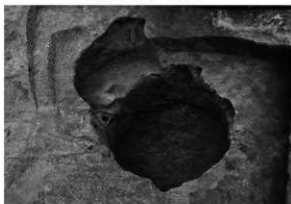
S K92・93 断面 (南東から)



S K92 平面 (南東から)



S K93 平面 (南東から)



S K94 平面 (南から)



S K94 断面 (南東から)



SW02 平面 (南から)



SW02 断面 (南から)



SW03 平面 (東から)



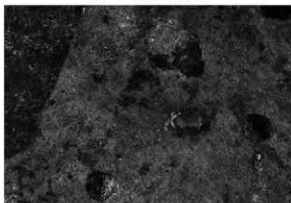
SW03 断面 (東から)



SN06 平面 (南東から)



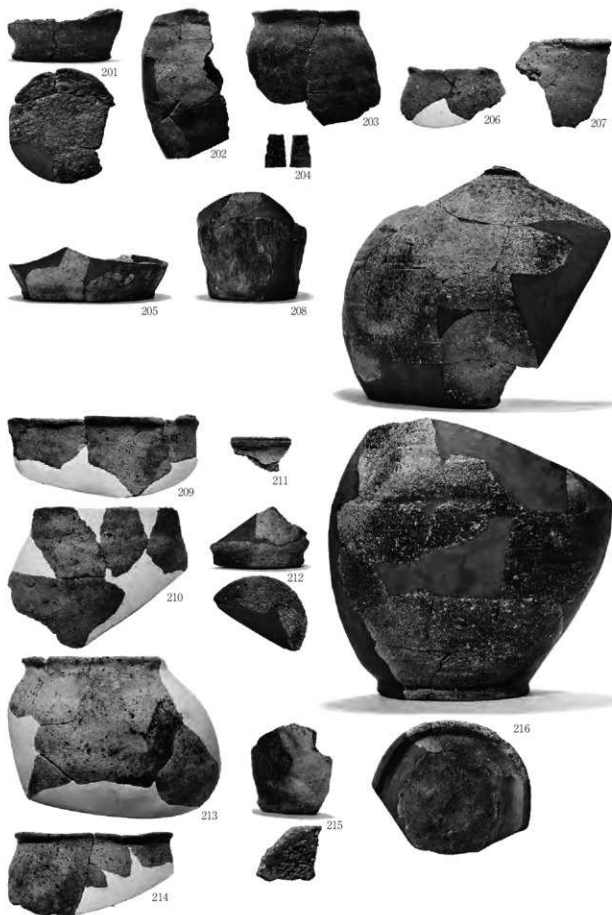
SN06 断面 (南東から)



SN07 平面 (南から)

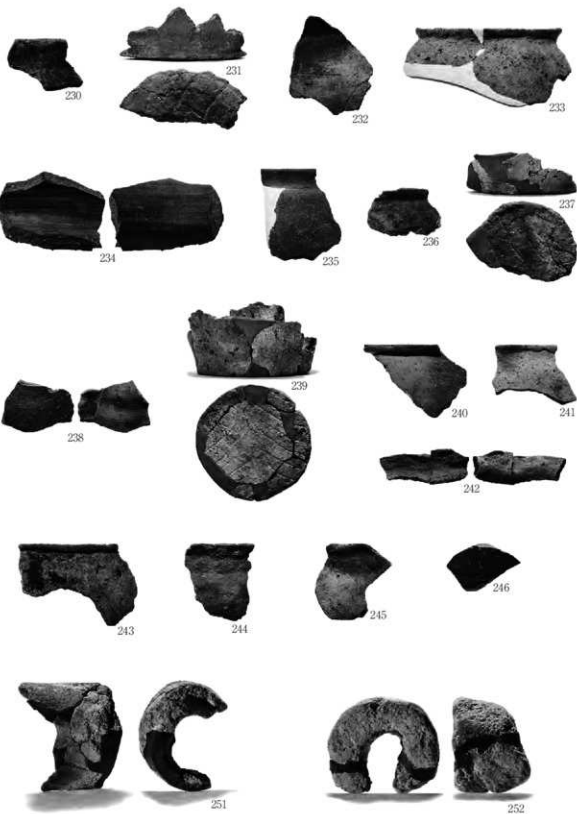


SN07 断面 (南から)



写真図版57 土器 (1)









266



267



268



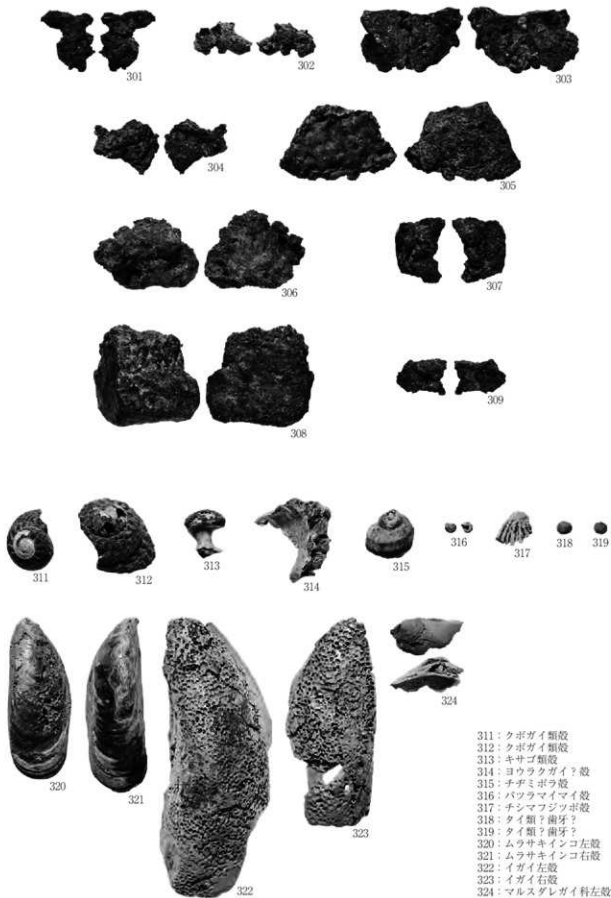
269



270







- 311：クボガイ類殻
- 312：クボガイ類殻
- 313：キサゴ類殻
- 314：ヨウラクガイ？殻
- 315：チヂミボラ殻
- 316：ハツラマイマイ殻
- 317：チシマフジツボ殻
- 318：タイ類？歯牙？
- 319：タイ類？歯牙？
- 320：ムラサキインコ左殻
- 321：ムラサキインコ右殻
- 322：イガイ左殻
- 323：イガイ右殻
- 324：マルスダレガイ科左殻



331a



331b

- 331: オニグルミ 核
- 332: オニグルミ 核
- 333: ミズナラ・コナラ 子葉
- 334: ミズナラ・コナラ 子葉
- 335: イネ 胚乳
- 336: アワ 胚乳
- 337: キビ 胚乳
- 338: キビ 胚乳
- 339: キビ 胚乳
- 340: キビ 胚乳
- 341: キビ 胚乳
- 342: キビ 胚乳
- 343: キビ 胚乳
- 344: キビ 胚乳
- 345: キビ 胚乳
- 346: キビ 胚乳
- 347: 不明 (ダイズ類種子?)



332



333



334



335



336



337



338



339



340



341



342



343



344



345



346



347



335



336



337



338



339



340



341



342



343



344



346



347



345

335~347拡大





調査区近景（真上から）



調査区近景（南から）



5区北側頂部 現況 (南から)



5区北側頂部 平面 (南から)



5区中央斜面 現況 (南から)



5区中央斜面 トレンチ141~147 平面 (南から)



5区南側斜面 現況 (北から)



5区南側斜面 平面 (北から)



5区北側頂部基本層序 断面 (東から)



5区南側斜面基本層序 断面 (東から)



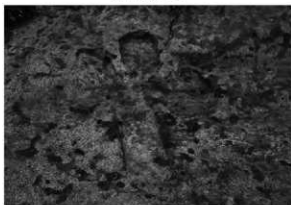
平面 (東から)



断面 (東から)



断面 (南から)



カマド 平面 (東から)



カマド 断面 (南から)



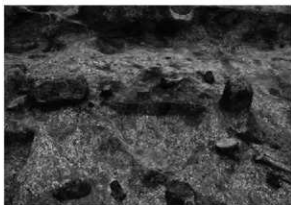
平面 (南西から)



断面 (南東から)



断面 (南西から)



焼土1 断面 (南西から)



遺物出土状況 (南東から)



平面 (南から)



断面 (南から)



断面 (東から)



カマド煙道 断面 (東から)



窯・遺物出土状況 (南から)





平面 (南から)



断面 (東から)



煙出1 検出状況 (南から)



カマド1煙道 断面 (東から)



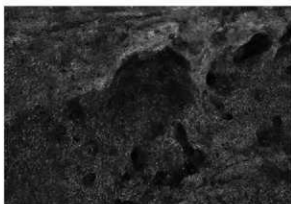
カマド2煙道 断面 (東から)



平面 (南から)



断面 (東から)



カマド 平面 (南から)



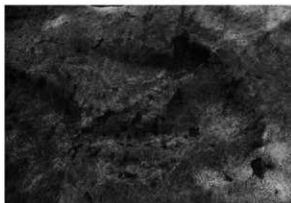
カマド 断面 (西から)



SK101 平面 (南から)



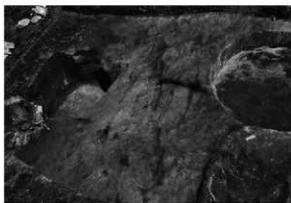
SK101 断面 (東から)



SK102 平面 (南から)



SK102 断面 (東から)



SX111 平面 (南から)



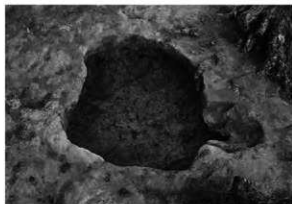
SX111 断面 (南から)



SX111 炉 断面 (南から)



作業風景



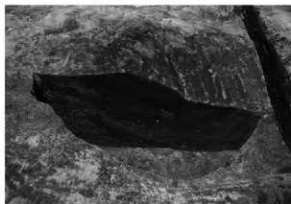
S K 96 平面 (南から)



S K 96 断面 (南から)



S K 97 平面 (南から)



S K 97 断面 (南から)



S K 98・99 検出状況 (南から)



S K 98・99 断面 (西から)



S K 98 平面 (西から)



S K 98・99 平面 (西から)



S K 100・101 平面 (南西から)



S K 100・101 断面 (南西から)



S K 101 11層炭化材・遺物出土状況 (南西から)



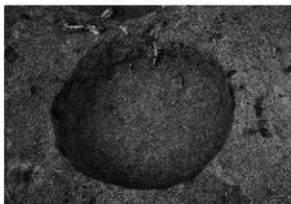
S K 101 12層焼土面検出状況 (南西から)



S K 102 平面 (南から)



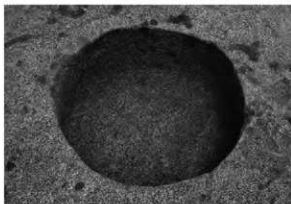
S K 102 断面 (南から)



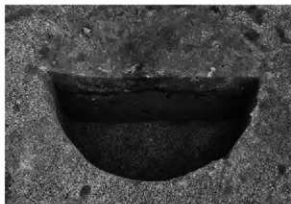
S K 103 平面 (南から)



S K 103 断面 (南から)



S K104 平面 (南から)



S K104 断面 (南から)



S K104 底面遺物出土状況 (南から)



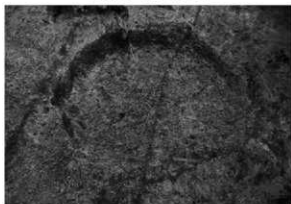
作業風景



S K105 平面 (南から)



S K105 断面 (南から)



S K106 平面 (南から)



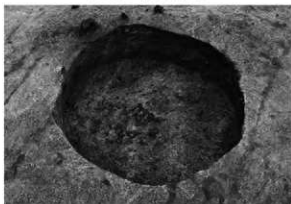
S K106 断面 (南から)



SK107 平面 (南から)



SK107 断面 (南から)



SK108 平面 (南から)



SK108・109 断面 (南から)



SK109 平面 (南から)



5区北側頂部 遺構検出状況 (南東から)



SK110 平面 (南から)



SK110 断面 (南から)



SK111 平面 (南から)



SK111 断面 (南から)



SK111 7層貝殻出土状況 (南東から)



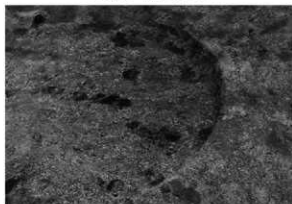
作業風景



SK112 平面 (南から)



SK112 断面 (南から)

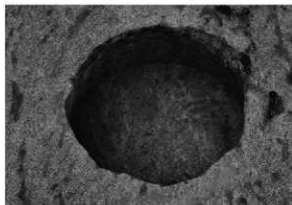


SK113 平面 (東から)



SK113 断面 (東から)





SK114 平面 (南から)



SK114 断面 (南から)



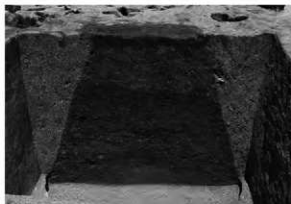
SK115 平面 (南東から)



SK115 断面 (南から)



SK116 平面 (南から)



SK116 断面 (南から)



SK116 13層遺物出土状況 (南西から)



作業風景



SK117 平面 (南から)



SK117 断面 (南から)



SK117 礎出土状況 (南から)



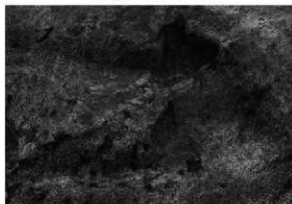
SK117 土器出土状況 (南から)



SK118 平面 (南から)



SK118 断面 (南から)



SK119・120 平面 (南から)



SK119・SK120 断面 (東から)



SK121 平面 (南から)



SK121 断面 (南から)



SK122 平面 (南から)



SK122 断面 (南から)



SK123 平面 (南から)



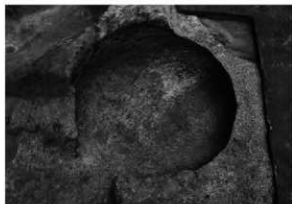
SK123 断面 (南から)



SK124 平面 (南から)



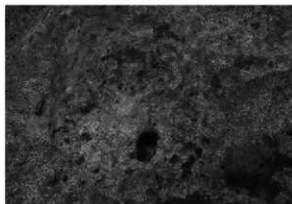
SK124 断面 (南から)



S K125 平面 (南から)



S K125 断面 (南から)



S K126 平面 (南から)



S K126 断面 (西から)



S K126 遺物出土状況 (南から)



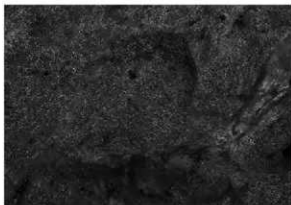
作業風景



S K127・128 平面 (東から)



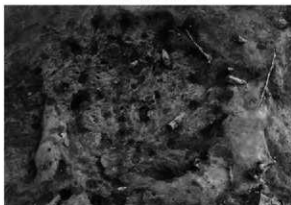
S K127・128 断面 (東から)



SK129 平面 (南から)



SK129 断面 (東から)



SW04 平面 (南から)



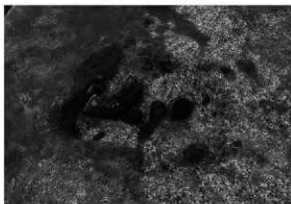
SW04 断面 (南から)



SW05 平面 (東から)



SW05 断面 (東から)



SW05 3層炭化材出土状況 (東から)



作業風景



S X01~07 平面 (南から)



S X01~07 獣骨出土状況 (南から)



S X01 獣骨 a・b 出土状況 (南から)



S X01 獣骨 a 出土状況 (南から)



S X02・03・06・07 獣骨出土状況 (南から)



S X03 獣骨 D・E 出土状況 (南から)



S X03 鉄製品 (463) 出土状況 (南から)



S X03 陶磁器 (441) 出土状況 (南から)



S X 04 獣骨出土状況 (南から)



S X 04 断面 (南から)



S X 04 陶磁器 (442) 出土状況 (西から)



S X 05 獣骨出土状況 (南から)



S X 05 獣骨b出土状況 (南から)



S X 07 獣骨出土状況 (南から)



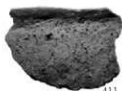
石碑 (南西から)



石碑 (南から)



401



411



412



413



414



415



416



417



418



419



420



421





422



423



424



425



426



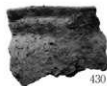
427



428



429



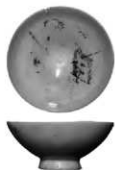
430



431



441



442



451



452



453



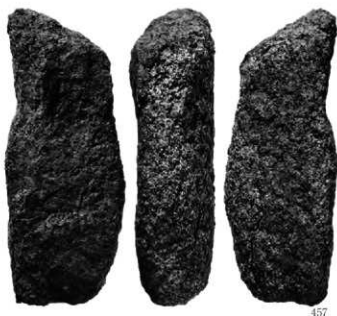
454



455



456



457



458



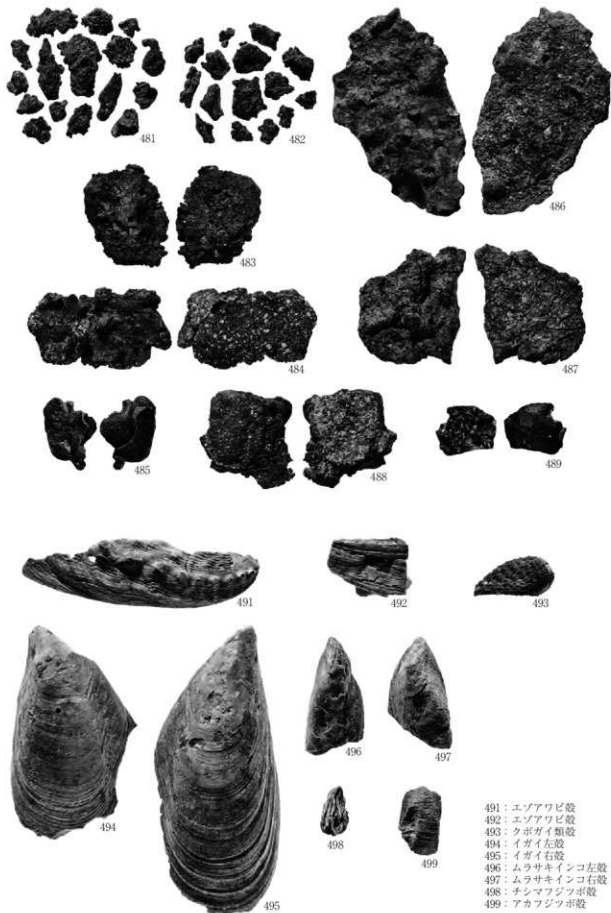
459



460



写真図版89 金属製品・ガラス製品



491：エゾアワビ殻  
 492：エゾアワビ殻  
 493：クボガイ類殻  
 494：イガイ左殻  
 495：イガイ右殻  
 496：ムラサキインコ左殻  
 497：ムラサキインコ右殻  
 498：チシマフジツボ殻  
 499：アカフジツボ殻

## 報告書抄録

ふりがな	あおざるいせきはつくつちょうさほうこくしょ							
書名	青猿I遺跡発掘調査報告書							
副書名	三陸沿岸道路建設事業関連遺跡発掘調査							
巻次								
シリーズ名	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ番号	第711集							
編著者名	阿部勝則・菊池貴広・白戸このみ・光井文行・野中裕貴・直江康雄							
編集機関	(公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター							
所在地	〒020-0853 岩手県盛岡市下飯岡11地割185番地 TEL (019) 638-9001							
発行年月日	2020年3月13日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 〇〇°	東経 〇〇°	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号					
あおざるいせき 青猿I遺跡	あおざるいせき 宮古市近内第 2地割461ほか	03202	LG33- 0221	39度 38分 41秒	141度 55分 32秒	2015.4.20 ~ 2015.7.24	11,000	三陸沿岸 道路建設 事業関連 遺跡発掘 調査
						2015.9.7 ~ 2015.10.1		
						2015.11.4 ~ 2015.11.26		
						2016.4.7 ~ 2016.7.22	2,100	
						2017.4.6 ~ 2017.12.15	1,400	
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
青猿I遺跡	集落跡	古代	堅穴住居跡	14棟	縄文土器・弥生土器	古代の堅穴住居跡・工房跡と土坑群からなる集落跡を確認。		
		近代	堅穴状遺構	2棟	土師器・須臾器			
工房跡	11棟		石器					
土坑	126基		金属製品					
陥し穴状遺構	1基		動物遺存体					
炭窯跡	5基		植物遺存体					
			炉跡・焼土遺構	7基				
			家畜埋葬墓壇	7基				
要約	古代の堅穴住居跡・工房跡・土坑群が尾根上の平坦面から緩斜面にかけて確認された。出土した動物遺存体・植物遺存体や、放射性炭素年代測定によって得られた年代値など、沿岸部における当時の集落の立地や具体的な様子について知ることができる良好な資料が得られた。							

※緯度、経度は世界測地系による数値である。

---

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第711集

## 青猿Ⅰ遺跡発掘調査報告書

三陸沿岸道路建設事業関連遺跡発掘調査

印刷 令和2年3月6日

発行 令和2年3月13日

編集 (公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター  
〒020-0853 岩手県盛岡市下飯岡11地割185番地  
電話 (019) 638-9001

発行 国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所  
〒027-0029 岩手県宮古市藤の川4番1号  
電話 (0193) 62-1711

(公財)岩手県文化振興事業団  
〒020-0023 岩手県盛岡市内丸13番1号  
電話 (019) 654-2235

印刷 (株)杜陵印刷  
〒020-0122 岩手県盛岡市みたけ二丁目22番地50号  
電話 (019) 641-8000